

TOKYO 2020 OLYMPIC AND PARALYMPIC GAMES

UNIVERSITY AND COLLEGE PARTNERSHIP REPORT

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会 大学連携報告書

December 2021 The Tokyo Organising Committee of the Olympic and Paralympic Games 公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会



はじめに

東京2020組織委員会会長メッセージ	005
「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会 大学連携報告書」の 発行にあたって	006

1. 大学連携の始まり

1.1 招致活動時代の大学連携	007
1.2 大学連携協定締結式・記念シンポジウム	007
1.3 連携大学 地域巡回フォーラム	010
1.4 「出張講座プログラム」の始まり	019
1.5 「大学連携検討会」の発足	019

2. 大会に向けた活動

2.1 大学連携の新しいコンセプト	020
3つのキーワード	020
2020年の大学連携	020
2.2 出張講座プログラム	021
大学連携'17イベント 出張講座プログラム Special vol.1 「学生が考えるアスリート飯（めし）」	021
大学連携'17イベント 出張講座プログラム Special vol.2 「パートナーとオリンピック・パラリンピック」	023
大学連携'19イベント 出張講座プログラム Special vol.3 「東京2020大会と持続可能性」	025
大学連携 出張講座プログラム Special 株式会社アシックス主催 「学生が考える、東京2020大会に向けたボランティアウエア」	026
2.3 機運醸成イベント	027
学生×みんなの輝き、つなげていこう。#Tokyo2020学生キャンペーン	027
大学連携プログラム 学生のための「Rio to Tokyo」	028
大学連携'17イベント 「Tokyo 2020 学園祭」	030
大学連携'18イベント 「Tokyo 2020 学園祭 the 2nd」	032
大学連携'19イベント 「Tokyo 2020 学園祭next」	034

2.4 連携大学や学生による新しい動き	035
「東京2020参画プログラム」のスタート	035
連携大学担当連絡会	039
2.5 東京2020大会に向けて	042
東京2020ライブサイトin 2016ーリオから東京へー	042
東京2020ライブサイト in 2018	043
大学連携'18プログラム 東京2020オリンピック・パラリンピック ボランティア募集説明会	045
東京2020 みんなのフードプロジェクト	
日本の「食」を選手村アスリートへと届けよう！あなたのメニュー募集キャンペーン	047
Tokyo 2020"Make The Beat!" 応援プロジェクト発表会	047

3. 大会の開催と大学連携

3.1 大会の延期と大学連携	048
出張講座プログラム online	048
大学連携イベント'20「Tokyo2020学園祭 online」	050
ウェブ リザルト システム（競技結果表示システム）アクセシビリティ向上ユーザーテスト	052
東京2020アスリートサポートプログラム	053
事前キャンプの受入調査	054
大学連携協定の継続	054
3.2 大会の開催と大学連携	055
大学連携 情報保障プログラム	055
「ゲームズ・エクスペリエンス・プログラム」への協力	058
OISスポーツ・レポーティング・プログラム	060
ブロードキャスティング・トレーニング・プログラム（BTP）	061
「東京2020公式アートポスター」のキャンパスでの掲出	063
「東京NIPPONフェスティバル」への参加	064
連携大学におけるパブリックビューイング	065
みんなの応援！NHK「世界を応援しよう！」×大学連携 連動企画	065
大会期間中の大学施設の協力	066
東京2020ライブサイトin2020	067
分別ナビゲーター	069

4. 大学連携を振り返って

大学連携の活動を振り返って	070
東京2020大会における大学連携について	071
伝えるために	072
大学連携を振り返って	073
「知の飛翔」と大学連携	074
10,000人の学生と共に創り上げた「東京2020」レガシー	075
大学連携を後世へのレガシーに	076

巻末資料

協定書（見本）	077
締結校一覧	078
出張講座プログラム テーマ一覧	083
出張講座プログラム 年度別実施一覧	089
東京2020参画プログラム アクション申請一覧	095
ポスター・パンフレット	105
大学連携のあゆみ（主な出来事）	108
東京2020大会概要	113
感謝状	114

留意事項

役職、大学名、団体名は、当時の役職、大学名、団体名を使用しています。

東京2020組織委員会 会長メッセージ

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会は、史上初の大会延期、新型コロナウイルス感染症という未曾有の困難の中での開催となりましたが、国民のみなさま、大会関係者をはじめ、大会を支えてくださった、すべてのみなさまのご協力により、安全最優先の大会を実現することができました。心から御礼を申し上げます。

東京2020組織委員会は、2014年以降、全国810校の大学・短期大学と連携協定を締結し、オリンピック・パラリンピック教育の推進や機運の醸成等に取り組み、オリンピック・パラリンピックムーブメントに新たな潮流を起こし、その活動を大会のレガシーとすることを目指して、大学連携事業をスタートしました。

また、連携大学のみなさまには、大会を盛り上げるため、当会が主催する各種事業への参加や、大学独自の機運醸成の取組など、様々な形で、東京2020大会にご貢献いただきました。

学生のみなさまの中には、オリンピック・パラリンピックに関する理解を深めるにあたり、大会開催の数年前から、活動いただき、私たちと共に、着実に準備を重ねて下さった方も多くいらっしゃいます。

卒業や、1年間の大会延期による環境の変化等により、残念ながら、大会期間中の活動に参加できなかった方も大勢いらっしゃったと伺っております。

これまで活動いただいた、すべてのみなさまに支えられ、東京2020大会を無事に開催することができましたことを改めて深く感謝を申し上げます。

東京2020大会には、多様な方々が集まり、1つのチームとなりました。

学生のみなさまが、元気よく、フットワークよく、活き活きと活動する姿は大変眩しく、日本の若者のパワーをお見せすることができたのではないかと思います。学生のみなさまが、それぞれの得意分野で、存分に力を発揮いただいたおかげで、大会運営を円滑に進めることができました。

みなさまのおもてなしの気持ちは、アスリートをはじめとする多くの関係者に確実に伝わり、日本のファンになっていただけたと実感しております。大会終了後には、多くの選手や大会関係者が、感謝の意を示してくださいました。

私は、みなさまと共に、オリンピック・パラリンピックを実現することができたことを、大変、誇りに思っております。

しかし、我々のジャーニーは、ここで終わりではありません。

大学連携での活動の経験を活かし、多様性の輪を広げていただき、よりよい未来を築いていくことができれば、東京2020大会の大きなレガシーの1つになると考えています。

今後も、みなさまの活躍の舞台は、益々広がっていくものと信じております。

最後になりますが、今後も、みなさまのさらなる活躍と飛躍をご祈念申し上げ、私からの御礼とかえさせていただきます。

本当にありがとうございました。

東京2020組織委員会会長
橋本 聖子



「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会 大学連携報告書」の発行にあたって

東京2020大会は、オリンピックでの日本チームのメダルラッシュ、パラリンピックでのアスリートの超人的なプレイなど、数々の記録と記憶を残して、2021年9月5日に閉会しました。

史上初の開催延期や新型コロナウイルス感染症の蔓延など、様々な困難を乗り越え、恙なく大会を運営できたのも、大学連携協定を締結し、ご協力をいただいた大学関係者のみなさま、学生のみなさまのご支援の賜物であり、心より御礼申し上げます。

みなさまには、2014年6月23日の連携協定締結時から、「教育」、「経験」、「レガシー」の3つのキーワードを基に、オリンピック・パラリンピック教育の推進をはじめ、各種プロジェクトやイベントへの参加など、様々な機運醸成の活動に積極的に取り組んでいただきました。

大会期間中には、大会ボランティアや大学連携のプログラムへの参加、事前キャンプや練習会場としてのご協力など、その活動の1つ1つが、大会の成功を支えていただいたものと考えます。

このような形で、これほど多くの大学・短期大学が、オリンピック・パラリンピックムーブメントに関わり、学生のみなさまが大会への参画や機運醸成への協力に取り組んだことは、過去のオリンピック・パラリンピックには例がなく、東京2020大会が初の試みです。

本報告書では、オリンピック・パラリンピックムーブメントの推進のために、多岐にわたり実施した、大学連携の活動について詳しく紹介し、その取組を、貴重な財産として残すために、作成したものです。

特に、大会を契機に、次世代を担う学生のみなさまが、自分たちの出来ることで如何に東京2020大会を盛り上げられるのかを主体的に考え、行動し、また、他大学との交流の中で有機的につながり、協働して新たな価値を創造していくという活動・経験は、正に、大学連携事業が目指したものです。

学生のみなさまが、その活動を通じて学んだオリンピズムやパラリンピックの理念、多様性と調和の考え方を、これからの社会生活に活かし、それが未来へとつなぐレガシーとなったのであれば、喜ばしい限りです。

本報告書がその一助となることを、心より、願っています。

東京2020組織委員会総務局長
チーフ・コンプライアンス・オフィサー
手島 浩二



1. 大学連携の始まり

1.1 招致活動時代の大学連携

2008年、東京都は、2016年のオリンピック・パラリンピック競技大会の立候補都市となりました。続く、2013年、2020年のオリンピック・パラリンピック競技大会の招致で、東京都の開催が決定しました。招致機運を盛り上げていくため、2016年大会招致では9大学が、特定非営利活動法人東京オリンピック・パラリンピック招致委員会と、東京2020年大会招致では、86大学が、特定非営利活動法人東京2020オリンピック・パラリンピック招致委員会および東京都と連携協定を締結しました。開催決定を受け、東京2020大会では、より多くの大学・短期大学と連携し、活動の輪を全国に広げていくことを目指し、大学連携の準備を開始しました。

【巻末資料：連携協定締結大学一覧参照】

1.2 大学連携協定締結式・記念シンポジウム

2014年1月24日に設立した東京2020組織委員会（以下、組織委員会）は、準備期間を経て、2014年6月23日に、全国の大学・短期大学と、連携協定の締結を開始しました。毎年オリンピックデーにあたるこの日は、約120年前、クーベルタンが、パリ大学ソルボンヌ校において、近代オリンピックの復興を提案し、開催を決定した日でもありました。近代オリンピックの出発点が、学びのある大学であったように、大学連携も、記念すべきこの日をスタートとし、同日には、「大学連携協定締結式・記念シンポジウム」を開催しました。多くの大学関係者が一堂に会し、次代を担う若い世代に向け、オリンピック・パラリンピック教育の推進や大会機運の醸成に取り組むことが宣言されました。

(1) 概要

日時：2014年6月23日（月） 13:30～16:45

会場：早稲田大学 大隈記念講堂 大講堂（東京都新宿区西早稲田1-6-1）

主催：特定非営利活動法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会

締結数：552大学（2014年6月23日時点）

参加大学数：267大学

(2) プログラム

大学連携協定締結式

①主催者挨拶

森 喜朗（東京2020組織委員会会長）

「大学連携は、オリンピック憲章の精神を実践することにあります。大学と組織委員会が、それぞれの資源を活用し、オリンピック教育の推進やグローバル人材の育成など、様々な活動に積極的に取り組んでまいります。そして、学生のパワーを東京2020大会に注入していただきたいと考えております。」

②代表者挨拶

鎌田 薫（早稲田大学総長）

「東京2020大会の成功に向け、大学の枠を超えて、組織委員会との交流、及び大学相互の交流を深め、次の世代を担う世界の若者たちとも手を携えながら、オリンピックムーブメントを盛り上げていくことが、我が国と我が国の大学の発展にとって、また世界の平和の実現にとって、大いに貢献することは、間違いないと期待しております。」

川淵 三郎（首都大学東京理事長／東京2020組織委員会評議員）

「学生が、東京2020大会の発展に尽くす、連携をとることは、将来の日本にとっても大きなプラスになると考えています。この大会は、世界に日本を発信する最大のチャンスです。日本の歴史、文化、伝統、国民性、自然、そういった知識を、学生たちが新たに身に着ける環境、グローバルな人材を育てていく環境を、将来の日本に、世界中に、作っていくためにも、この大会は大切であり、また大学との連携が何よりも大事だと思います。」

土井 杏南（大東文化大学1年／ロンドンオリンピック陸上競技女子4×100mリレー出場）

「この大学連携協定は、私たち学生アスリートにとって、本当に心強く、頼もしい限りです。関係者の皆様に御礼を申し上げるとともに、学生アスリートが東京2020年大会に向けて、努力を惜しまず、切磋琢磨することを改めて誓いたいと思います。」

山崎 福太郎（信州大学4年／ソチオリンピックアルペンスキー出場）

「アスリートの一人として戦っている姿を、東京2020大会で見せることができたいと思います。今回の連携はとても意味があることだと思います。この協定を大切にして、アスリートとして、パラリンピアンとして、力強く努力していきたいと思います。」

③来賓挨拶

ジャン・アンダー・マンソン (AISTS会長)

「TOKYO2020と非常に実り多い、持続的な協力を、スポーツと教育の価値観の元に持てますことを、大変心待ちにいたしております。スポーツは子供たちの夢を形成することを忘れてはなりません、オリンピックのスポーツを、公正で、安全で、クリーンで、インスピレーションの富んだものとし、次の世代に渡していくというのが私共の責任です。」

記念シンポジウム

①基調講演 「開催に向けて大学ができること」

武藤 敏郎 (東京2020組織委員会事務総長／東京2020組織委員会専務理事)

「これだけの大学が連携することは、過去の大会でも例がない取り組みです。オリンピックムーブメントを推進するために、大学は重要な担い手となります。ハードだけではなく、ソフトのレガシーが東京2020大会には大切だと考えております。若者の心に何を残すことができるのか、大会後にいったい何が残るのか、大学連携が非常に重要な意味を持っています。大学連携が一過性に終わることなく、新しいオリンピック・レガシーとして残るものにしていきたいと思っております。」

②シンポジウム

パネリスト

布村 幸彦 (東京2020組織委員会副事務総長／東京2020組織委員会常務理事)

「今回、東京2020大会の実現に向けては、500を超える大学・短大との連携が可能になりました。大会運営や通訳といった学生のボランティアへの参画、大学にある施設や指導者、トレーナーの皆さまからの練習場の提供、文化・芸術の面でも参加いただき、日本中を熱くする大会を作るためにお力をお借りしたいと思います。」

クラウド・ストリックカー (AISTS事務局長)

「AISTSは、国際オリンピック委員会 (IOC) と多くの国際スポーツ連盟 (IF) が本拠地を置く、スイス・ローザンヌにあります。IOC、IFと大学との門戸として機能するため、IOCのもとに設立された学校です。スポーツマネジメント、児童、技術、法律、医療、その他の分野についても学んでいます。AISTSが国際的なアカデミーとしてアドバイスをする、専門家のネットワークを活用して短期プログラムを提供する、という形で、連携大学へ協力できるのではないかと考えております。」

田中 理恵 (日本体育大学卒・同教員／ロンドンオリンピック体操女子出場／東京2020組織委員会理事)

「現役時代にはたくさんの支援を大学から受け、大変感謝をしています。アスリートとして大学に期待することは、多くのオリンピックの輩出もありますが、スポーツを通し、礼儀正しい、素晴らしい人間性、頑張ること、努力することを伝えられる人間を育ててほしいと思っております。」

永富 良一 (東北大学大学院教授)

「グローバルな人材を育成するには他者を知って、自己を知ることが大切です。日本は海外へ出る機会が少ないですが、オリンピック・パラリンピックが様々な人々とコミュニケーションを取る良い機会であると思います。また、被災地にあってのスポーツの価値を改めて見直しました。アスリート、競技団体からの多くの支援を受け、元気づけられました。スポーツの価値は何物にも代えがたいものと感じ、スポーツの大きな力を具体的に感じることができました。」

コーディネーター

真田 久 (東京2020組織委員会参与／筑波大学教授)

「大学としてオリンピックムーブメントに対して何ができるのか、と考える際に、大学の持っている資源、専門性が重要です。長野大会では、1校1国運動という活動がありました。長野から始まった1校1国運動のような新しいレガシーを東京から発信できればと思います。今回の大学連携ではそれぞれの大学で、1大学1コマのオリンピックについて学ば時間を設けるというのも良いことだと思います。」

AISTS (International Academy of Sports Science and Technology) について

スイスのローザンヌにあるIOC (国際オリンピック委員会)が中心となり、IMDビジネススクール、スイス連邦工科大学ローザンヌ校、ジュネーブ大学、ローザンヌ大学、ヴォー州などと2000年に共同設立したスポーツマネジメント大学院 (修士)。授業構成は、経営学と経済学、テクノロジー、法律、社会学と医学の5分野に分かれており、オリンピックをケーススタディとした様々な分野を幅広く学ぶことができる。



▲上段右から（敬称略）

泉田利治／蕪野亜紀／高橋 巧／小西雄介／
高土拓也／櫻本尚子／遠藤由華／阪部 創／
井上義浩／宮川総大／井上奈都希／安谷屋名月／
三井利仁

▲中段右から

黒岩俊喜／千葉麻美／田山寛豪／足立夢実／
秋山エリカ／青柳 徹／高木美帆／北園新光／
大森重宣／杉林孝法／長屋恭一／植田辰哉／
松田 亮

▲下段右から

杉本美香／富田洋之／鈴木大地／塚田真希／
佐藤理恵／森田淳悟／星奈津美／藤本 俊／
鈴木聡美／巽 樹里／柴田亜衣／室伏広治／
ヨーコ・ゼッターランド

1.3 連携大学 地域巡回フォーラム

2014年6月23日にスタートを切った大学連携は、全国各地の大学・短期大学が集まり、まさにオールジャパンの体制となりました。そこで、まずは、各地の大学・学生とコミュニケーションを図るため、大学連携初めてのプログラムとして、「連携大学 地域巡回フォーラム」を開始しました。全国を9つの地域に分け、各地の連携大学を会場に、現地の学生、教職員、自治体関係者のみなさん等と、意見交換、情報交換を重ねました。初めは、連携活動のヒントを探っていましたが、次第に、各連携大学・地域ならではの活動が始まり、具体的なアイデアやテーマを希望する声があがっていきました。また、「地域巡回フォーラム 首都圏ブロック大会 in 東京」以降、共催大学の学生ボランティアが、司会進行や会場運営をつとめました。約2年間に渡り、全13回のフォーラムを実施しました。

地域巡回フォーラム 中国ブロック大会 in 広島		2014年8月6日（水）16時～17時30分	会場：福山大学 宮地茂記念館
実施内容	・講演「2020年大会概要について」 ・学生との意見交換		
登壇者	■コーディネーター 真田 久（東京2020組織委員会参与／筑波大学教授） ■アドバイザー 雑賀 真（東京2020組織委員会CCO・総務局長）		
参加大学	岡山大学／岡山理科大学／環太平洋大学／倉敷芸術科学大学／ノートルダム清心女子大学／島根大学／鳥取大学／鳥取環境大学／広島大学／県立広島大学／広島修道大学／広島都市学園大学／福山大学／福山平成大学		
参加者の意見	● 大学生が地域の障がい者スポーツ団体の練習会などにボランティアで参加することで、障がい者スポーツを身近に感じてもらう、関心を持ってもらう。そうした活動を全国に発信していくことで、パラリンピックの認知度を高めることができるのではないかと。（福山大学・学生） ● スポーツと国際協力に関する勉強をしており、2020年は、その分野で研究者として関わりたい。（広島大学・学生） ● 自分の大学では、色々なスポーツの大会で応援バスツアーを実施している。留学生も多いので、オリンピックでは、留学生も含めてバスツアーができると良い。（IPU環太平洋大学・学生） ● 原爆のことや平和教育について、何かしらのプログラムで大会の参加者に伝えるなど、平和のメッセージを発信してもらいたい。（福山平成大学・教員） ● 今後、オリンピック関連の事業を進めていくにあたり、マンパワー＋語学力のある大学には期待する部分が多い。（広島県・職員）		
地域巡回フォーラム 四国ブロック大会 in 高知		2014年8月8日（金）16時30分～18時	会場：高知工科大学 講義棟3階
実施内容	・講演「2020年大会概要について」 ・学生との意見交換		
登壇者	■コーディネーター 真田 久（東京2020組織委員会参与／筑波大学教授） ■アドバイザー 雑賀 真（東京2020組織委員会CCO・総務局長）		
参加大学	高知大学／高知県立大学／高知工科大学／鳴門教育大学		
参加者の意見	● 「ニアレスト・オリンピック」をコンセプトに二つの意味でオリンピックを身近にしたい。一つは、ハイテクを活用して、遠くに居ても実際に観戦しているような体験ができたり、選手の目線から観戦できるようにしたい。もう一つは、オリンピックの前後に、選手が各地に来て交流ができると良い。（高知工科大学・学生） ● 教員を目指しており、授業の中でオリンピックの話をし、運動の楽しさを教えることで、オリンピックやスポーツへの関心を高めるオリンピック教育を実践したい。（高知大学・学生） ● オリンピックの意義を伝えるために、オリンピック運動について、もっと県民の方々に理解してもらえるような地域教育、生涯学習に力を入れていく必要がある。（高知県立大学・教員） ● 高知からたくさん学生などにボランティアで参加してもらい、間近でオリンピックを感じてもらいたいので、ぜひ地方からもボランティアを募集してもらいたい。（高知県・職員）		
地域巡回フォーラム 北海道ブロック大会		2014年9月22日（月）15時～16時30分	会場：北海道大学 1階 第1会議室
実施内容	・講演「2020年大会概要について」 ・学生との意見交換		

登壇者	■コーディネーター 真田 久（東京2020組織委員会参与／筑波大学教授） ■アドバイザー 和田 浩一（フェリス女学院大学教授） 江上 いずみ（筑波大学講師） 雑賀 真（東京2020組織委員会CCO・総務局長）
参加大学	旭川医科大学／北見工業大学／北海道教育大学／北海道大学／室蘭工業大学／札幌国際大学／札幌大学／藤女子大学／北翔大学／北海道科学大学／北海道科学大学短期大学部
参加者の意見	● 学生委員会を組織し、ボランティア活動や国際交流に取り組みたい。学生同士がつながりを持つことで、レガシーとして続いていくのではないか。（北海道大学・学生） ● 規模が大きい競技大会は、審判等の資格がないと関わりにくい。2020年大会では、ボランティアとして誰でも関わられるようにしてもらいたい。（北海道大学・学生） ● 理学療法士を目指しているが、大学では、病院で働くことを前提とした教育となっている。理学療法士は、スポーツトレーナーとしても活躍できるので、大学にはスポーツに関する授業を増やしてもらいたい。（北海道大学・学生） ● 大学と一緒にパラリンピックの合宿を誘致したい。障がい者スポーツの魅力を伝え、パラリンピックの理解促進につなげたい。（岩見沢市・職員） ● 教員を目指している学生たちにオリンピック教育を教えたいが、どのようにすれば良いのか、情報が欲しい。（北海道教育大学・教員）
地域巡回フォーラム 東北ブロック大会 in 青森 2014年9月23日（祝・火）15時～16時30分 会場：弘前学院大学 1号館	
実施内容	・講演「2020年大会概要について」 ・学生との意見交換
登壇者	■コーディネーター 真田 久（東京2020組織委員会参与／筑波大学教授） ■アドバイザー 来田 享子（中京大学教授） 和田 浩一（フェリス女学院大学教授） 江上 いずみ（筑波大学講師） 雑賀 真（東京2020組織委員会CCO・総務局長）
参加大学	弘前大学／青森県立保健大学／青森中央学院大学／八戸学院大学／弘前学院大学／岩手大学／岩手県立大学／岩手県立大学宮古短期大学部／岩手県立大学盛岡短期大学部／石巻専修大学／仙台大学／東北学院大学
参加者の意見	● 大学がチームになって県の代表選手を応援するCMを作ってはどうか。（青森中央学院大学・学生） ● オリンピックは皆で作り上げるという気持ちを国民が共有することが大事。（岩手大学・学生） ● オリンピックや各競技の歴史を知り、文化の違いや世界平和について考えるオリンピック教育は、子供だけではなく、大人にも広めるべき。（弘前大学・学生） ● 大学と地域の市民団体が連携して組織を作り、その中に大学生の教育、研究活動を組み込んでいってはどうか。（弘前学院大学・教員） ● 東北の文化を発信するだけではなく、多くの人に見に来てもらい、被災者が復興に向かっている姿と一緒に学んでもらうことが必要。また、レガシーを被災地に残すことは、東北にある大学、自治体の責任。（仙台大学・教員）
地域巡回フォーラム 九州ブロック大会 in 福岡 2014年10月22日（水）16時30分～18時 会場：福岡大学	
実施内容	・講演「2020年大会概要について」 ・学生との意見交換
登壇者	■コーディネーター 和田 浩一（フェリス女学院大学教授） ■アドバイザー 来田 享子（中京大学教授） 江上 いずみ（筑波大学講師） 雑賀 真（東京2020組織委員会CCO・総務局長） 相川 準（東京2020組織委員会総務局総合調整部長）
参加大学	九州工業大学／九州大学／福岡教育大学／北九州市立大学／福岡県立大学／九州国際大学／九州女子大学／第一薬科大学／西日本工業大学／日本経済大学／日本赤十字九州国際看護大学／福岡工業大学／福岡歯科大学／福岡大学／九州女子短期大学／西日本短期大学／福岡医療短期大学／福岡工業大学短期大学部／長崎県立大学／熊本大学／平成音楽大学／大分大学／大分県立芸術文化短期大学／日本文理大学／立命館アジア太平洋大学／鹿屋体育大学
参加者の意見	● 多くの人にスポーツの良さを知ってもらうため、大運動会を開きたい。大学の活動を知ってもらうとともに、地域とコミュニケーションを取る機会になると思う。どうすれば実現できるか、助言をもらいたい。（福岡大学・学生）

参加者の意見	● 自分は、こういったシンポジウムや学会に積極的に参加して発言していきたい。自分がやらねばという気持ちを持って国民全体が関わるのが大事。(福岡大学・学生) ● オリンピックは、日本が国際化を進める絶好の機会。観光客をホームステイで受け入れるプログラムなどが必要ではないか。自分は、自治体へ就職する予定のため、そういった事業に関わっていければと思う。(北九州市立大学・学生) ● 学内でも、連携に取り組んでいることを知らない人が多い。大学連携という活動をもっと周知し、認識してもらうべき。(立命館アジア太平洋大学・学生) ● 日本の文化を紹介するだけではなく、体験してもらうと良い。大学は施設が充実しているので、そういったイベントなど色々できるのではないか。(福岡教育大学・教員) ● 宮崎県では大学との連携として、宮崎大学のリハビリテーション施設をスポーツ合宿に来る選手のフィジカルチェックに利用してもらっている。(宮崎県・職員) ● 2020年大会に関わるだけではなく、レガシーまで考えていく必要がある。県民のスポーツ実施率を上げるために、地域スポーツにどうつなげていくかが大事になる。(熊本県・職員)
地域巡回フォーラム 東海ブロック大会 in 愛知 2014年11月5日(水) 15時～17時 会場：中京大学	
実施内容	・講演「2020年大会概要について」 ・5つのテーマに分かれ、分科会による学生との意見交換
登壇者	■コーディネーター 来田 享子 (中京大学教授) ■アドバイザー 江上 いずみ (筑波大学講師) 相川 準 (東京2020組織委員会総務局総合調整部長)
参加大学	岐阜大学／中京学院大学／順天堂大学(三島キャンパス)／静岡産業大学／愛知教育大学／豊橋技術科学大学／名古屋工業大学／名古屋大学／愛知県立芸術大学／愛知東邦大学／愛知みずほ大学／至学館大学／中京大学／東海学園大学／同朋大学／豊田工業大学／名古屋外国語大学／名古屋造形大学／南山大学／日本福祉大学／名城大学／愛知みずほ大学短期大学部／至学館大学短期大学部／三重大学／四日市大学／佐野短期大学／福岡教育大学
参加者の意見	● これから教員になる立場として、子供たちにスポーツの楽しさや素晴らしさをどのように伝えていけるか話し合いたい。(愛知教育大学・学生) ● オリンピックとパラリンピックの融合を進めてもらいたい。(三重大学・副学長) 【分科会】 ①オリンピックの理解促進 ● オリンピックを身近なものにしていくため、大学で事前キャンプの受入れ、プレオリンピックやミニオリンピックの開催、選手村の食事を大学の食堂で提供、パラリンピック用具等の技術の紹介、大学にオリンピック・パラリンピックに関する博物館を作るなどしてはどうか。 ● 留学生に自国の紹介をしてもらう。 ②パラリンピックの理解促進 ● 障がいを持った方々をサポートする機器をオープンキャンパスなどで紹介し、実際に体験してもらう。 ● ソーシャルネットワークを活用して、個々人が障がい者スポーツに関する情報を発信する。 ③グローバル人材の育成 ● 大学連携を通して、色々な大学と交流を進めて、他者理解の機会を学生に提供していく。 ● 海外の方と身近に触れ合う機会を得るため、事前キャンプ等で大学の施設を使ってもらう。 ④地域活性化と文化発信 ● それぞれの大学がスペシャリティー、強みを発揮して地域を活性化していくことが重要。 ● 情報を発信するために、自分たちの地域を見つめ直し、よく知る必要がある。 ⑤おもてなし ● 子供たちに、人と人との関わり、人を大切にすることについて、どのように教育していくかが課題。 ● おもてなしは、あくまで方法であり、日本でオリンピックが開かれることにより、それぞれ何ができるかを考えていくことが重要。
地域巡回フォーラム 近畿ブロック大会 in 京都 2014年12月8日(月) 17時30分～19時 会場：立命館大学 朱雀キャンパス	
実施内容	・講演「2020年大会概要について」 ・参加連携大学による活動紹介、学生との意見交換
登壇者	■コーディネーター 真田 久 (東京2020組織委員会参与／筑波大学教授) ■アドバイザー 和田 浩一 (フェリス学院大学教授) 江上 いずみ (筑波大学講師)

参加大学	滋賀大学／びわこ成蹊スポーツ大学／京都教育大学／京都工芸繊維大学／京都大学／京都府立医科大学／京都府立大学／京都外国語大学／京都学園大学／京都産業大学／京都ノートルダム女子大学／同志社女子大学／同志社大学／佛教大学／明治国際医療大学／立命館大学／龍谷大学／京都外国語短期大学／龍谷大学短期大学部／大阪教育大学／大阪大学／追手門学院大学／大阪観光大学／大阪工業大学／大阪歯科大学／大阪成蹊大学／大阪電気通信大学／関西大学／関西福祉科学大学／近畿大学／四條畷学園大学／摂南大学／関西女子短期大学／神戸大学／兵庫教育大学／神戸市外国語大学／兵庫県立大学／芦屋大学／大手前大学／関西学院大学／神戸情報大学院大学／神戸親和女子大学／兵庫大学／武庫川女子大学／大手前短期大学／兵庫大学短期大学部／武庫川女子大学短期大学部／奈良教育大学／奈良女子大学／奈良先端科学技術大学院大学／帝塚山大学／天理大学／和歌山県立医科大学／福山大学
参加者の意見	【活動事例の発表】 ①オリンピックの理解促進 ● スポーツマネジメントの授業の中で、「奈良でオリンピックを開催！」をテーマに、奈良県でオリンピックを開催するにはどうしたら良いかという視点で、選手村の活用方法や交通の不便さの解決策、自然環境の保護について学生によるプレゼンテーション大会を実施した。（帝塚山大学） ②パラリンピックの理解促進 ● 「義足で目指したパラリンピック」と題し、学生、附属高校生、オープンカレッジ受講生を対象とした講座を実施した。事故で片足を失った教師が、義足でパラリンピックに挑戦していく過程を描いた記録映像を用いて、パラリンピックの歴史や種目を紹介するとともに、障がいに対する理解を深めた。（武庫川女子大学） ③グローバル人材の育成 ● ベトナム、タイ、マレーシアなど海外6大学と連携した交流会「アジアデー」を実施した。それぞれの国や地域の文化を紹介するプレゼンテーションがあり、学生が講師となって折り紙の講習を行い、交流を深めた。（京都工芸繊維大学） ④イベントの開催 ● 学生が企画・運営する「ジュニアスポーツフェスティバル」を実施した。市内小学生を集めて、日頃なかなか経験できないラクロス、アメリカンフットボール、アルティメット、ダブルダッチなどの競技体験や、チアリーダーによる応援指導などを行い、スポーツへの関心を高めてもらった。（立命館大学） ⑤地域連携 ● 堺市と共催で地域連携講座「スポーツ、ここを見てほしい」を実施した。見るスポーツとして、勝った、負けただけではなく、エクセレンス、フレンドシップ、リスペクトといったオリンピックの基本理念を中心に、スポーツの価値、見方を市民に伝えた。（関西大学） 【その他の意見】 ● オリンピックだけでなく、パラリンピックにも目を向けなければいけないと思った。パラリンピック競技は、オリンピック競技に比べ、知名度が低いように感じている。学内で、もっと多くの学生が、パラリンピックについて触れることができる環境を作っていくべきだと思った。（立命館大学・学生）
地域巡回フォーラム 首都圏ブロック大会 in 東京 2015年5月23日（土）14時～16時 会場：首都大学東京 南大沢キャンパス	
実施内容	・講演「2020年大会概要について」 ・「2020年大会に向け大学ができること」「ボランティア」について、学生との意見交換
登壇者	■コーディネーター 真田 久 （東京2020組織委員会参与／筑波大学教授） ■アドバイザー 和田 浩一 （フェリス学院大学教授） 舩本 直文 （首都大学東京教授） 伊藤 華英 （オリンピック／水泳 北京・ロンドン大会出場） 木村 賢一 （東京都オリンピック・パラリンピック準備局大会準備部運営担当課長） 雑賀 真 （東京2020組織委員会CCO・総務局長）
参加大学	筑波技術大学／筑波大学／茨城県立医療大学／佐野短期大学／十文字学園女子大学／女子栄養大学／文京学院大学／文教大学／明海大学／国際学院埼玉短期大学／川村学園女子大学／神戸外語大学／国際武道大学／城西国際大学／聖徳大学／千葉科学大学／放送大学／麗澤大学／東京医科歯科大学／東京学芸大学／東京藝術大学／首都大学東京／亜細亜大学／跡見学園女子大学／学習院女子大学／共立女子大学／國學院大学／国士舘大学／実践女子大学／順天堂大学／上智大学／聖路加国際大学／拓殖大学／中央大学／デジタルハリウッド大学／東京医療保健大学／東京工科大学／東京女子体育大学／東京電機大学／東京都市大学／東京未来大学／東京薬科大学／東洋学園大学／日本女子体育大学／武蔵野大学／明治学院大学／明治大学／ヤマザキ学園大学／立教大学／早稲田大学／女子栄養大学短期大学部／貞静学園短期大学／戸板女子短期大学／神奈川県立保健福祉大学／鎌倉女子大学／星槎大学／桐蔭横浜大学／東海大学／フェリス学院大学／信州大学／徳島大学

参加者の意見	【2020年大会に向け大学ができること、活動していること】 ● 日本・東京に訪れる国内外の観光客をお迎えするための活動を、他大学と連携したサークルで既に取り組んでいる。意識を持って取り組むことが大事。（日本観光学生連盟／立教大学・学生） ● 2020年大会でボランティア活動ができるよう、会期に重なっている期末テストの日程を変更していただくよう大学にお願いしたい。（首都大学東京・学生） ● 自分でできることとして、競技を知るために指導員資格を取ることも一つの方法であることを授業で学んだ。（実践女子大学・学生） ● 外国人をおもてなしするために観光ルートを作ったり、語学力を身に付けるなど、大学の役割を期待したい。（東京都・職員） 【ボランティアについて】 ①ボランティア活動を通じて、学んだこと。 ● 地元のお年寄りとは花見で交流をするボランティアをしたが、お年寄りが若い世代との交流に喜びを感じていただいていることを知り、活動の意義や価値を学んだ。（実践女子大学・学生） ● スポーツボランティアでリーダーをしている。皆をまとめるのは大変だが、良い経験になるので、多くの人に経験してもらいたい。（筑波技術大学・学生） ②2020年大会でしてみたいボランティア活動 ● 海外からの観光客に対し、フリー Wi-Fi を普及させたい。（首都大学東京・学生） ● 長野県の観光案内や県の文化の紹介など、地域に密着した活動をし、長野県を活性化させたい。（信州大学・学生） ③地域と連携したボランティア活動 ● 2013年東京国体は地域住民が一体となって盛り上げた。語学だけでなく地域の魅力を発信できるようなおもてなしのプロを育成したい。（立川市・職員） ● 小中高等学校へのオリンピック教育の推進には、学校の先生だけでは数が足りないので、学生が授業の協力をしたい。（筑波大学大学院・学生） ● 障がい者スポーツのボランティア養成を、地域と連携し行っている。（首都大学東京・教員） ● パラリンピックを盛り上げることで、運動機能を生かし健康寿命を延ばすなど、高齢化社会に向けた健康づくりを目指したい。（神奈川県・職員）
地域巡回フォーラム 北信越ブロック大会 in 石川 2015年6月19日（金）17時～19時 会場：金沢大学サテライトキャンパス	
実施内容	・講演「2020年大会概要について」 ・「2020年大会に向け大学ができること」 「観光・地域の魅力発信」について、学生との意見交換
登壇者	■コーディネーター 真田 久（東京2020組織委員会参与／筑波大学教授） ■アドバイザー 和田 浩一（フェリス女学院大学教授） 大森 重宣（オリンピック 陸上 ロサンゼルス大会出場／金沢星稜大学教授） 嶋本 麻美（オリンピック ウェイトリフティング ロンドン大会出場／金沢学院大学職員） 千葉 千枝子（観光ジャーナリスト／中央大学客員講師） 雑賀 真（東京2020組織委員会 CCO・総務局長）
参加大学	上越教育大学／新潟大学／長岡技術科学大学／新潟薬科大学／富山大学／金沢大学／北陸先端科学技術大学院大学／金沢美術工芸大学／金沢医科大学／金沢学院大学／金沢工業大学／金沢星稜大学／金城大学／金城大学短期大学部／小松短期大学／福井大学／信州大学／筑波大学／帝京平成大学／京都工芸繊維大学／大阪経済大学
参加者の意見	【2020年大会に向け大学ができること】 ● 学生の力で大会を盛り上げられたらと思う。大学で、スポーツトレーナーになるための勉強をし、言語も学び、お客様をもてなしたい。（金沢学院大学・学生） ● 北陸新幹線にオリンピック車両を作り、オリンピックがアナウンスしたらどうか。大学同士連携して企画をすれば、コミュニケーションにもなる。（富山大学・学生） ● 2020年大会を機に、なぜクーベルタンがオリンピックを始めたかを調べるため、大学同士が力を合わせて文献等を和訳したらどうか。（金沢星稜大学・教員） 【観光・地域の魅力発信】 ● 金沢の良さを外国の方に知ってもらうために、学生に侍、忍者の格好をさせて街を歩いた。こういった活動を街全体で行い、皆が自分の街の魅力を見直し、伝えていく必要がある。（北陸大学・教員） ● 北陸新幹線のグランクラスのアテンダントなど、旅行業界で活躍できる人材を育成している。語学力だけではなく、地域や自国の文化を語れる人材が必要である。（小松短期大学・教員）

参加者の意見	● 地方は地方の魅力を伝えたい。行政だけが考えるのではなく、学生が自らの地元のことをうまく伝えられるようにしたい。(富山大学・学生) ● 東京だけで盛り上がるのではなく、地域のスポーツの力で盛り上げたい。子供の体力向上など、スポーツを楽しむための仕掛け作りが必要。(金沢星稜大学・教員) ● 事前合宿を誘致し、海外の選手と交流をしたり、石川県の伝統工芸品や伝統文化を大会で紹介するなど、石川の魅力を存分に伝えていきたい。(石川県・職員) ● 今日の意見交換を聞いて、地元大学との連携の道筋が見えた。大学連携は新たな視点である。(富山県・職員) ● 学生が作家や社会的背景を調べ、オリンピックポスター展を大学で開催した。すべての連携大学がそれぞれの専門・分野を生かせば、いろいろなことができレガシーになる。(京都工芸繊維大学・教員) ● 最先端技術を活用し学生食堂でベジタリアンの食を提供している。工学系単科大として、大会に協力できるのではないか。(長岡技術科学大学・教員) ● アテネとロンドンのパラ大会を見てきたが、観客数・選手村などかなり違いがあった。選手村は生活しやすくすることが大事。日本国民の7%は障がいを持っている。そういう人たちにとって東京2020大会が転機になるよう、パラリンピックについてもオリンピックと同じ議論が出来るといい。(金城大学・教員)
地域巡回フォーラム 首都圏ブロック大会 in 東京 2015年7月26日(日) 13時～16時45分 会場：東京藝術大学 奏楽堂	
実施内容	・講演「芸術とオリンピズム」 和田 浩一 (フェリス学院大学教授) ・講演「フィギュアスケート競技における芸術性」 河合 彩 (オリンピック/元フィギュアスケート・アイスダンス代表 長野大会出場) ・講演「アートとスポーツ」 日比野 克彦 (東京藝術大学教授) ・東京藝大ウィンドオーケストラによる演奏 ・講演「2020年大会概要について」 ・「2020年大会に向け大学ができること」 ・「2020年大会と日本の芸術・文化」について、学生との意見交換
登壇者	■コーディネーター 真田 久 (東京2020組織委員会参与/筑波大学教授) ■アドバイザー 日比野 克彦 (東京藝術大学教授) 来田 享子 (中京大学教授) 河合 彩 (オリンピック/元フィギュアスケート・アイスダンス代表 長野大会出場) 雑賀 真 (東京2020組織委員会CCO・総務局長)
参加大学	茨城大学/筑波技術大学/筑波大学/宇都宮大学/宇都宮短期大学/群馬大学/埼玉大学/埼玉県立大学/駿河台大学/国際学院埼玉短期大学/千葉大学/植草学園大学/亀田医療大学/川村学園女子大学/神田外語大学/城西国際大学/放送大学/麗澤大学/和洋女子大学/植草学園短期大学/お茶の水女子大学/電気通信大学/東京医科歯科大学/東京外国語大学/東京海洋大学/東京藝術大学/東京工業大学/東京大学/東京農工大学/一橋大学/首都大学東京/青山学院大学/亜細亜大学/桜美林大学/学習院女子大学/共立女子大学/國學院大学/駒澤大学/実践女子大学/順天堂大学/上智大学/女子美術大学/成蹊大学/創価大学/拓殖大学/中央大学/帝京平成大学/デジタルハリウッド大学/東京音楽大学/東京経済大学/東京女子体育大学/東京電機大学/東洋学園大学/東洋大学/日本体育大学/武蔵野大学/明治大学/明星大学/立教大学/立正大学/杉野服飾大学短期大学部/帝京短期大学/貞静学園短期大学/新渡戸文化短期大学/横浜国立大学/横浜国立大学/鎌倉女子大学/洗足学園音楽大学/東海大学/山梨県立大学/仙台大学/中京大学/東海学園大学/大阪経済大学/香川大学/沖縄県立芸術大学
参加者の意見	【2020年大会に向け大学ができること】 ● 授業でトランポリンをどう盛り上げるかについてグループワークをした。トランポリン教室で競技体験をしたが、そういった施設があることも知らなかった。子供たちがもっと体験できるよう、大学生が中心となり、施設の整備を呼びかけたらどうか。(実践女子大学・学生) ● 東京2020大会は、世界における日本を考え直すチャンスである。何かできるのではないかとこの予感を持っている。(東京藝術大学・学生) ● オリンピック後に何が残せるかを考えるため、学生団体を立ち上げた。ボランティア活動や外国人との交流を通じて得たマインドは残るのではないかと考えている。(千葉大学・学生) 【東京2020大会と日本の芸術・文化】 ①どのような場面で、どのような芸術・文化を紹介したいか ● 日本の歴史や文化を発信するには文化財が活用できるのではないかと。特に、建築装飾などの江戸の文化は、知られざる日本の文化である。(東京藝術大学・学生) ● 海外から来る人たちに本当の日本を知ってもらいたい。また、日本の子供たちにとっても、色々な国のことを調べたりする学習の機会が多くある。そのために、選手との交流を進めたい。(東京学芸大学・職員)

参加者の意見	②芸術・文化を身近に感じたり、再認識するためのアイディア（施策） ● 盆踊り、屋台といった日本のお祭りと、生け花、三味線、和太鼓といった日本の文化を融合した一つの空間を作りたい。在日の外国人や留学生を招き、海外に発信してもらう。そういったイベントを東京の大学生の組織で実施したらどうか。（武蔵野大学・学生） ● まずは私たち日本人が全国にある文化を知ることが必要。東京から離れたところも盛り上がっていきけるよう、それぞれの地域の文化を再認識し、発表する機会があると良い。（実践女子大学・学生） ● 2月を障がい者スポーツ月間と位置付けて、様々な障がい者スポーツの体験プログラムを実施している。障がい者スポーツの理解、心のバリアフリーに大変有効。（足立区・職員） ● スポーツが東京なら、文化は京都で頑張ろうと考えている。国際的に発信していくことはもちろん、京都の人が京都のことをあらためて知ってもらうということも大事。（京都府・職員）
地域巡回フォーラム in 香川	2015年8月6日（木）18時～19時30分 会場：香川大学 幸町キャンパス
実施内容	・講演「2020年大会に向けて」 秋山 エリカ（オリンピック 新体操 ロサンゼルス大会・ソウル大会出場／東京女子体育大学教授） ・参加連携大学による活動紹介、学生との意見交換
登壇者	■コーディネーター 真田 久（東京2020組織委員会参与／筑波大学教授） ■アドバイザー 秋山 エリカ（オリンピック 新体操 ロサンゼルス大会・ソウル大会出場／東京女子体育大学教授） 深澤 晶久（実践女子大学大学教育研究センター特任教授） 江上 いずみ（筑波大学・大学院客員教授） 雑賀 真（東京2020組織委員会CCO・総務局長）
参加大学	岡山大学／岡山理科大学／環太平洋大学／福山大学／福山平成大学／山口大学／徳島大学／鳴門教育大学／四国大学／香川大学／香川県立保健医療大学／香川短期大学／高松大学／愛媛大学／愛媛県立医療技術大学／松山大学／松山短期大学／高知工科大学／大阪経済大学
参加者の意見	【活動報告「これまでの成果と今後の展開」】 「龍河洞の外国人観光客向け案内アプリ開発」 高知工科大学 ● 昨年度の連携大学地域巡回フォーラム「四国ブロック大会」in 高知において、「オリンピックは東京だけで開催しているイメージがあり、遠くて関係ないことと感じる。そのため、ニアレスト・オリンピックをコンセプトに、ハイクを活用して、オリンピックを身近にしたい。」と発表した。 ● 「ソフトウェア工学」の授業の一環で、オリンピックを身近にするための地域の課題解決に取り組んだ。 ● 高知県にある日本三大鍾乳洞の一つ、龍河洞において最近増えている外国人観光客に対して、言語が話せるスタッフがおらず対応できていなかったため、4か国語で案内ができるアプリを開発し、実際にサービスを提供した。 ● 今後、音声、画像、テキストを差し替えることで、全国各地で展開することが可能。 ● こうしたサービスを活用することで、新しいサービスが生まれてくることも期待される。 ● 2020年に向けて、地方と東京はまだまだ格差があるが、学生が主体的に地域の課題解決を行っていくことで、よりオリンピック・パラリンピックを身近にしていきたい。 「授業におけるオリンピック・パラリンピック教育の展開」 実践女子大学 ● 昨年度から一般教養科目「国際理解とキャリア形成」の授業の中で、オリンピック・パラリンピックを取り上げている。 ● 昨年度は「オリンピック・パラリンピックに対して、実践女子大学の学生は何かができるか」をテーマに学生がグループワーク、プレゼンテーションを行った。 ● 今年度は、元トランポリン日本代表である丸山准教授が教鞭を執る石川県の金沢学院大学とも連携し、「トランポリン競技を盛り上げるため何かができるか」をテーマに授業を展開した。 ● 調べていく中で、トランポリンが盛んな足立区に学生が取材に行き、体験をしたり、指導者の話を聞いたりと積極的な学習がなされた。 ● また、首都圏で開催された2回の連携大学地域巡回フォーラムに学生が参加し、積極的に意見を発表することや他大学・団体の人々との交流、ネットワークづくりを行っている。 ● 今後も、学生が主体となって、地域や大学の枠を超えた参加型の活動をしていきたい。 ● そのためには、大学同士が横でつながっていくことが重要になってくる。 ● 大学を飛び出した合同の授業、イベントなどをぜひ実施していきたい。 【今後計画している活動について】 ● 大学生だけではなく、地域の子供やお年寄りも関われるよう、ボランティアなど様々な形で出来ることを検討していきたい。（香川大学・学生）

参加者の意見	●今の学生は、5年後は社会人になっている。企業に入った場合、ロンドンのように10日間ボランティアに従事するのは難しい。学生時代にせっかくボランティア精神を培っても、これでは続かない。大企業以外でもボランティア休暇が取れるようにするなど、日本の社会を変えていく必要がある。ボランティアを育てることが企業の使命として認知されるよう、ムーブメントをどう作り上げていくか、声を上げていくことが大事。(環太平洋大学・教員) ●活動していくにあたっては、自治体の後押しがあると良いが、なかなか動きが見られない。(福山大学・教員) ●まずは地元の市町村を口説き、同時に県とも連携していくことが重要ではないか。(広島県・職員) ●市町村までなかなか熱が伝わらず、連携が取りづらい。スポーツ指導員など地域で活躍している人にダイレクトに働きかけていくことで、市町村を動かしていく必要がある。(高知県・職員) ●ボランティアを育成していくためには、2019年ラグビーワールドカップや2021年ワールドマスターズゲームズとも連携していく必要があるのではないかと。(徳島大学・学生) ●前回の瀬戸内芸術祭の時は、参加する香川大生を特集したラジオ番組を制作した。来年また瀬戸内芸術祭があるので、オリンピックをスポーツだけではなく、文化でも盛り上げていきたい。違う県の大学生同士が連携して何か取り組むと面白いのではないかと。(香川大学・学生)
地域巡回フォーラム in 熊本	2015年10月18日(木) 16時30分～18時30分 会場：熊本大学 黒髪キャンパス
実施内容	・講演「オリンピックとクーベルタン」 和田 浩一 (フェリス女学院大学教授) ・講演「2020年大会概要について」 ・参加連携大学による活動紹介、学生との意見交換
登壇者	■コーディネーター 真田 久 (東京2020組織委員会参与/筑波大学教授) ■アドバイザー 和田 浩一 (フェリス女学院大学教授) 檜崎 教子 (オリンピック 柔道 アトランタ大会銅メダル・シドニー大会銀メダル/福岡教育大学准教授) 雑賀 真 (東京2020組織委員会CCO・総務局長)
参加大学	九州工業大学/九州大学/福岡教育大学/北九州市立大学/九州国際大学/西日本工業大学/日本経済大学/福岡大学/佐賀大学/長崎大学/熊本大学/熊本県立大学/九州ルーテル学院大学/熊本学園大学/熊本保健科学大学/平成音楽大学/宮崎大学/九州保健福祉大学/南九州大学/鹿児島大学/鹿屋体育大学/筑波大学/東京女子体育大学/奈良女子大学
参加者の意見	【活動報告「これまでの成果と今後の展開」】 「福岡大学史上初大運動会」 福岡大学 ●昨年度の連携大学地域巡回フォーラム「九州ブロック大会」in 福岡において、「スポーツの楽しさを知ってもらうとともに、地域とのコミュニケーションを図るため、大運動会を開催したい。」と発表した。 ●たくさんの学部がある総合大学なのに他学部との関わりが少ない、11校区にまたがり設置され地域に根付いているのに騒音等で地域に迷惑をかけている、などの問題意識から、福岡大学に関わる年代や学問を超えた人々が集まる場所をつくりたいと考えた。 ●「学生チャレンジプロジェクト」として、大学からも支援を受けている。また、行政(地元の区役所)からも助言・指導を受けている。 ●応援指導部、ダンスサークル、和太鼓サークルなどが参加し、学生が中心となって作り上げている。 ●リオの時、ミニオリンピック・パラリンピックのようなものを福岡市役所の前で開催したい。 ●文化プログラムなども含め、学生が大学の垣根を越えて集まり、実施したい。 【今後の活動について】 ●最初は、自分たちのようなスポーツ系ではない小さい大学とオリンピックが結び付かなかったが、話を聞いていると、何かやれそうだと感じた。障がい者スポーツ大会へのボランティア派遣や地元のお祭りでの健康チェックなど、学生は地道に活動しており、オリンピックがあることで、視野が広がるだろう。(熊本保健科学大学・職員) ●今までやっていることをどうオリンピック・パラリンピックにつなげていくかが大事。県の特徴を活かしたイベントを4年間かけてやっていくなど良いのではないかと。(熊本大学・教員) ●熊本学園大学との定期戦や県内5大学の競技会などを実施している。地域の盛り上げを創出していくために、そういった活動をどうつなげていくかを考えるきっかけになった。(熊本大学・学生) ●吹奏楽部に所属している。地域の人に演奏を聴いてもらい、音楽を通して恩返しをしたい。そのために自分ができることを考えたい。(熊本県立大学・学生) ●東日本大震災のことがあって、オリンピックに対して反発があったが、話を聞いて、うまく関われば良いと思った。目的の一つに東北復興があると思う。日本だけではなく、世界で困っている人たちが幸せな気持ちになれるような大会にしたい。(熊本大学・学生) ●音楽の大学として何かできないかと動いているが、まだまだ周りに理解されにくい。スポーツをしている人から欲してもらうとやりやすい。(平成音楽大学・教員)

地域巡回フォーラム in 奈良		2015年11月5日(木) 17時～19時	会場：奈良女子大学 奈良女子大学講堂
実施内容	・講演「1964年東京オリンピックはどのようにして 成功したのか」 石坂 友司 (奈良女子大学准教授) ・「2020年大会に向けて～オリンピック大会に参加して～」 朝原 宣治 (オリンピック/陸上 北京大会銅メダル) ・「2020年大会概要について」 ・参加連携大学による活動紹介、学生との意見交換		
登壇者	■コーディネーター 真田 久 (東京2020組織委員会参与/筑波大学教授) ■アドバイザー 来田 享子 (中京大学教授) 朝原 宣治 (オリンピック/陸上 北京大会銅メダル) 雑賀 真 (東京2020組織委員会CCO・総務局長)		
参加大学	滋賀大学/びわこ成蹊スポーツ大学/京都教育大学/京都工芸繊維大学/京都大学/京都外国語大学/京都ノートルダム女子大学/明治国際医療大学/大阪教育大学/大阪大学/追手門学院大学/大阪経済大学/大阪歯科大学/大阪商業大学/近畿大学/四條畷学園大学/阪南大学/神戸大学/大手前大学/関西福祉大学/関西学院大学/神戸親和女子大学/神戸山手大学/武庫川女子大学/奈良教育大学/奈良女子大学/奈良先端科学技術大学院大学/奈良県立医科大学/畿央大学/帝塚山大学/天理大学/和歌山大学/筑波大学/上智大学/東洋大学		
参加者の意見	「外国人観光客への観光案内を実施して」～2020東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて～ 京都外国語大学 ●京都市交通局が行う外国人観光客への観光案内にボランティアとして参加。 ●交通案内だけでなく、日本の生活などあらゆる質問を受けるため、様々な知識を身に着けることが課題。 ●この体験が、2020年大会につながるよう、続けていきたい。 【今後計画している活動について】 ●管理栄養士の資格を取得し、スポーツ選手の栄養管理に携わりたい。(奈良女子大学・学生) ●京都府では、京都の文化を紹介する構造を策定している。若い方の意見を聞きながら、一緒にイベントを作っていきたいと思っている。関西からムーブメントを盛り上げていきたい。(京都府・職員) ●大学でスポーツ大会を開催しているが、年々、参加者が減っている。スポーツに関心のない人を巻き込みたい。今日のフォーラムで、人は身近な人に影響を受けると感じた。地元のプロスポーツや選手の活動を知ること、スポーツの関心が高まるのではないかと考えている。(京都大学・学生) ●2020年になぜ東京で大会をしなければいけないのかということを研究者としてもっと追究していきたい。また、オリンピックの理解を深めるために、日本語で読めるクワベルタンの書籍を増やすべきだと思う。(奈良女子大学・職員) ●外国語での対応は難しいが、日本人対応のボランティアから始めて、社会に出ていくきっかけになればいい。(高校生) ●今の大学生は社会人となるので社会人としての参加を考えるべき。高校生は今後ボランティアの主体となっていくため、活動への参画だけでなくボランティアの形態を考える機会も欲しい。(高校生)		



1.4「出張講座プログラム」の始まり

大学連携の開始以降、「大学で、オリンピック・パラリンピックに関する講座を実施したい」というご意見が増えていきました。そこで、2015年5月、その年の後期授業を対象に、「出張講座プログラム」の募集を開始しました。連携大学で行われる授業や公開講座等に、特定非営利活動法人日本オリンピックアカデミー（JOA）会員、または、組織委員会職員がお伺いし、オリンピック・パラリンピックの歴史や理念、東京2020大会が目指す姿を、直接、学生に伝える、貴重な機会となっていきました。このプログラムは、オリンピック・パラリンピック教育を促進する上で、指導教員不足という課題も解消し、全国の連携大学で活用されていきました。

【巻末資料：出張講座プログラム実施テーマ一覧、出張講座プログラム年度別実施一覧参照】

特定非営利活動法人日本オリンピックアカデミー（JOA）について

1978年に設立された日本国内のオリンピックアカデミー。ギリシャに本部を持つ国際オリンピックアカデミーを頂点とし、世界の137（2008年5月現在）の国や地域にある国内アカデミーの1つ。オリンピックの思想や歴史、それを取り巻く医学や生理学の研究、オリンピックムーブメントの普及や教育、オリンピックについて、様々な面に関心を持つメンバーで構成。広く一般に対し、オリンピック憲章の理念に則り、オリンピックおよびスポーツに関する研究および教育を通じた青少年の健全な育成ならびに社会一般に対するオリンピックおよびスポーツの普及に関する事業を行い、世界の平和の維持と国際的友好親善に努め、オリンピックおよびスポーツの振興に寄与することを目的としている。

<https://olympic-academy.jp/>

1.5「大学連携検討会」の発足

大学連携の活動の進め方について、教育的観点、または、専門的な識見に基づいた助言を得るため、2014年8月15日、「大学連携検討会」を設置しました。検討会の委員長には、東京2020組織委員会参与である真田久氏を迎え、オリンピック・パラリンピックに造詣の深いメンバーが集められました。同年の8月26日に、「第1回 大学連携検討会」を実施し、新しい活動の計画や大学の関心・興味が議論され、以降、2021年の大会終了後まで、全22回実施されました。

大学連携検討会委員一覧（委員以下、五十音順／2021年9月現在）

委員長	東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会参与 筑波大学特命教授	真田 久
委員	筑波大学准教授	齊藤 まゆみ
委員	東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会総務局長	手島 浩二
委員	東京藝術大学美術学部長・教授	日比野 克彦
委員	東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会理事 中京大学教授	來田 享子
委員	フェリス女学院大学教授	和田 浩一

2. 大会に向けた活動

2.1 大学連携の新しいコンセプト

オリンピックには、スポーツを通して、体と心を鍛え、世界中の人々と交流し、平和な世界を築いていくという理念があります。この理念は「オリンピズム」と呼ばれ、オリンピックにおける憲法に位置づけられている「オリンピック憲章」にも記されています。大会は、オリンピズムを広めようとする運動である「オリンピック・ムーブメント」の重要な一部です。オリンピックは、社会の変化に適応するため挑戦を続けてきました。2014年12月には、モナコで開催された国際オリンピック委員会（IOC）臨時総会で、最新の改革案である「オリンピック・アジェンダ2020」が採択されました。この改革案では、これからのオリンピックがめざすことの一つに“Engage with youth（若者と交流すること）”が提言されていました。

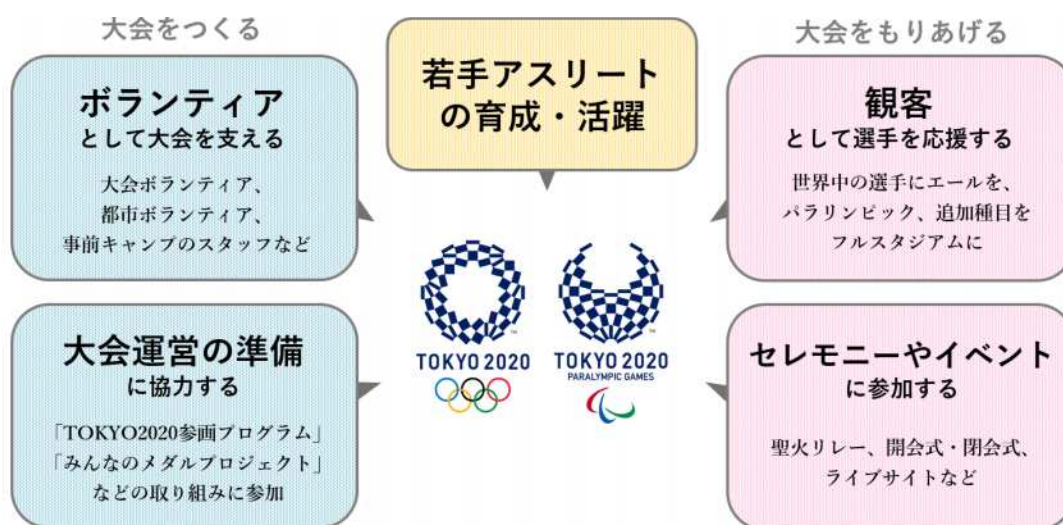
大学連携では、「地域巡回フォーラム」でのご意見や、スタートしたばかりの「出張講座プログラム」での反響を踏まえながら、オリンピズムとアジェンダ2020の精神を受け止め、学生のみなさんによる新たなムーブメントの広がりを支えに、大会を成功に導き、オリンピック・パラリンピックの未来を作っていくために、新しいコンセプトを打ち出しました。

3つのキーワード

1. 教育（Education）
オリンピック・パラリンピック教育の広がりや研究が地域や社会の課題を解決する
2. 経験（Experience）
学生が一生涯に一度の特別な経験をする
3. レガシー（Legacy）
大学の知識や資産が、大会を支える

2020年の大学連携

学生のみなさんによる新しい「オリンピック・パラリンピックムーブメント」の広がりが、東京2020大会の成功を支える存在に



2.2 出張講座プログラム

2015年5月に募集を開始した出張講座プログラムは、試験的に2015年度の後期授業を対象としました。しかし、募集時には、すでに後期授業のカリキュラムが決定しているため、「翌年度に検討したい」というご意見が多くあったことから、2016年度も、引き続き、このプログラムを実施することとしました。以降、「出張講座プログラム」は、大学連携において、重要なプログラムとなり、2020年度まで継続しました。また、「他の大学の学生と一緒に学ぶ機会がほしい」「若者たちが学ぶ姿を発信したい」というご意見があり、出張講座プログラムの特別版（「出張講座プログラム Special」）も実現しました。この特別版は、2020年までに、全3回実施しました。

【巻末資料：出張講座プログラム実施テーマ一覧、出張講座プログラム実施テーマ一覧参照】

大学連携'17イベント 出張講座プログラム Special vol.1 「学生が考えるアスリート飯（めし）」

組織委員会では、東京2020大会での飲食提供について、アスリートの栄養管理や食品衛生、環境面での配慮、といった、あらゆるケースの検討を行っていました。大学連携では、学生が、東京2020大会を通じて、将来のスポーツ栄養業界の担い手として、活躍することを期待し、大学連携'17イベント 出張講座プログラム Special vol.1 「学生が考えるアスリート飯（めし）」を開催しました。主に、栄養学やスポーツについて学ぶ学生が参加し、日本における、トップレベル競技者の国際競技力向上を図るトレーニング施設「味の素ナショナルトレーニングセンター」にて、施設見学、特別講義、「アスリートの食」をテーマとした、グループワーク、プレゼンテーションを行いました。

（1）概要

日時：2017年7月8日（土） 13:00～16:45

会場：味の素ナショナルトレーニングセンター大研修室（東京都北区西が丘3-15-1）

主催：公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会

協力：公益財団法人日本オリンピック委員会、味の素株式会社

参加者数：70名（学生、教員）

参加大学：青山学院大学、大阪市立大学、鹿児島純心女子大学、神奈川県立保健福祉大学、鎌倉女子大学、甲南女子大学、昭和女子大学、昭和大学、女子栄養大学、女子栄養大学短期大学部、仙台大学、中央大学、桐蔭横浜大学、東京医療保健大学、東京家政大学、東洋大学、新潟医療福祉大学、文教大学、宮城学院女子大学、山口県立大学、山梨学院大学

（2）プログラム

①「選手村」をイメージしよう！「味の素ナショナルトレーニングセンター」見学ツアー

「栄養管理食堂サクラダイニング」や、柔道、卓球、バレーボールの各トレーニング場など、普段は見ることのできない施設を見学。トップアスリートへの栄養指導の現場や国際基準のトレーニング環境を体感。

②特別講義「東京2020大会の飲食について」

東京2020組織委員会大会準備運営第一局大会計画部部長 澤崎 道男

組織委員会として、東京2020大会時には、選手村や各競技会場において、選手や観客、スタッフやメディアなどへ食事を提供することを紹介。提供メニューについて、世界中からの参加者に対し、栄養面、安全衛生だけでなく、宗教的な配慮や、ドーピングコントロールへの影響も配慮するなど、様々な対応が必要となることを説明。

③特別講義「アスリートのスポーツ栄養について」

味の素ナショナルトレーニングセンター栄養管理食堂サクラダイニング 管理栄養士 井上真理子氏

的確な栄養サポートをするために、さまざまな工夫を行っていることを紹介。小学生から大人まで、競技も年齢も異なるさまざまなトップアスリートが利用することを踏まえたメニューカードや栄養管理システムの実践、アスリートとのコミュニケーション方法などについて説明。

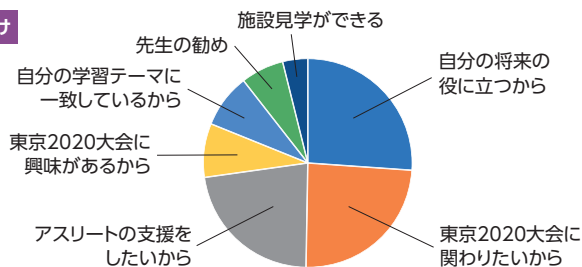
④グループワーク&プレゼンテーション「学生が考えるアスリート飯（めし）」

競技・性別・体重を条件に、3つのアスリートモデルをつくり、それぞれのアスリートモデルに対して、どのような栄養指導を行うべきか、グループワーク&プレゼンテーションを実施。参加学生は、事前課題として、アスリートモデルと講座当日のサクラダイニングのメニューをもとに、さまざまなケースに対し、「どのような理由で、どのようなメニューを提案すべきか」について、準備をしてきました。

はじめに	事前課題①【対象：栄養系学部学生】	事前課題②【対象：栄養系学部以外の学生】
オリンピック・パラリンピック開催期間中、世界のアスリートたちは選手村と呼ばれる大きなエリアで生活をするようになります。 選手村には、住居エリアのほか、食事をするための大きな食堂があります。それをメインダイニングと呼びます。 オリンピック・パラリンピックのような国際大会において、自国から遠く離れた土地に集ったアスリートたちにとって、大事な試合に向けてコンディションを維持するため、食事は重要な要素となります。 栄養士はそんなアスリートにとって、重要なサポート役を果たすことになります。 7月8日（土）の講座では、実際に味の素ナショナルトレーニングセンターSAKURA Diningでどのようなサポートを行っているかについて体験していただきます。 TOKYO 2020	あなたは、栄養サポートデスクで働く栄養士です。 今、あなたは次に挙げる3つのケースのアスリートから、「お昼に何を食べてほしいか」と相談を受けています。 別紙「7月8日の味の素ナショナルトレーニングセンターSAKURA Diningのメニュー表」から最適なメニューを考えてください。 >> 課題 あなたならどのようなメニューを提案しますか？ 【ケース1】 競泳／種目：長距離（持久系）／男性／体重70kg 【ケース2】 バレーボール（球技系）／女性／体重65kg 【ケース3】 体操（跳躍系）／女性／体重40kg TOKYO 2020	あなたはアスリートです！ 次に挙げる3つのケースのアスリートに身を置き換えてみて、「お昼に何を食べてほしいか」と考えてください。 別紙「7月8日の味の素ナショナルトレーニングセンターSAKURA Diningのメニュー表」から最適なメニューを考えてください。 >> 課題 あなたならどのようなメニューを食べた方がよいと思いますか？ 【ケース1】 競泳／種目：長距離（持久系）／男性／体重70kg 【ケース2】 バレーボール（球技系）／女性／体重65kg 【ケース3】 体操（跳躍系）／女性／体重40kg TOKYO 2020

(3) 参加者の感想（一部抜粋）

参加のきっかけ



自分の将来の役に立つから	28%
東京2020大会に関わりたから	26%
アスリートの支援をしたいから	24%
自分の学習テーマに一致しているから	9%
先生の勧め	9%
施設見学ができる	7%
東京2020大会に興味があるから	4%

- 食べることが楽しくなる工夫がなされ、食事が充実していることが分かった。
- 今の勉強が実際に活用できると実感できた。
- アスリートへの実際のサポート現場は、本人に適した食事を寄り添って考えていることが分かった。
- グループでは、スポーツをする側の人との意見交流も行えて、有意義だった。
- 栄養面だけではなく、心の面でも、栄養士は大きな役割を担っていることを感じた。
- 選手は勝つために食を学ぼうとするが、その疑問に栄養士が適切に応えることの大切さを知った。
- 「何を食べるか」より「何のために食べるか」が示すように、持続的な栄養意識の向上が必要不可欠だと思った。
- 出来れば、スポーツ選手の意見も講義で聞きたかった。
- 大会時はボランティアとして関わり、将来的にはアスリートのサポートをしたい。
- 食事と身体、スポーツの関わりを、子供に知識をつけてもらおうような活動をしたい。
- スポーツ栄養士になりたい気持ちが強くなった。
- スポーツ選手が、食事に関する悩みを相談したいと思える存在になりたい。
- 栄養士として大会を意識して成長したい。
- 将来は、地域の住民を健康にする仕事がしたい。
- 大会に限らず、環境や時代にあった食材やメニュー開発に携わりたい。



大学連携'17イベント 出張講座プログラム Special vol.2 「パートナーとオリンピック・パラリンピック」

「大会パートナー（スポンサー）」は、オリンピック・パラリンピックをあらゆる側面から支えています。そこで、オリンピック・パラリンピック教育に積極的に取り組む、ワールドワイドオリンピック・パラリンピックパートナーのパナソニック株式会社とともに、「大学連携'17イベント 出張講座プログラム Special vol.2 「パートナーとオリンピック・パラリンピック」を開催しました。同社の特色を活かしたソリューションやものづくりを参考に、大会の成功を支えるパートナーの取り組みや、サービス・技術などを学びながら、日本をどのように発信していきたいか、学問や将来の職業を通して、どのように2020年の日本にかかわってしていきたいか、について、グループワーク、プレゼンテーションを実施しました。また、このイベントは、東京2020大会の開会1000日前を記念した「1000 Days to Go!」キャンペーンの一環としても、開催されました。

(1) 概要

日時：2017年11月18日（土） 13:30～16:30

会場：パナソニックセンター東京（東京都江東区有明3-5-1）

主催：公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会

協力：パナソニックセンター東京

参加者数：60名（学生、教員）

参加大学：朝日大学、大阪大谷大学、実践女子大学、芝浦工業大学、昭和女子大学、杉野服飾大学短期大学部、宝塚大学、千葉工業大学、千葉大学、筑波大学、デジタルハリウッド大学、東京有明医療大学、東京女子体育大学、東京女子大学、東洋大学、獨協大学、日本体育大学、武蔵野大学、明治学院大学

(2) プログラム

①特別講義「パートナーってなに？」

東京2020組織委員会マーケティング局 牧野 健児

「パートナーは、協賛金や商品・サービス等によって大会運営を担い、選手の活躍の舞台を支え、大会の価値や大会を通して感じた感動を世界と共有し、社会に貢献していく活動を行っています。まさに、オリンピック・パラリンピックムーブメントの推進・向上を一緒に行う仲間です。」

②大会を支える"ものづくり"を体感しよう！ パナソニックセンター東京 見学ツアー

オリンピック・パラリンピック大会に関するクリエイティブをテーマにした、「いっしょにTOKYOをつくろう。」特別企画展 The Passionsをはじめ、8Kスーパーハイビジョンシアターや2020年に向けた新たなソリューションを紹介するエリアを特別に見学。

③特別講義「パナソニックとオリンピック・パラリンピック」

パナソニック株式会社オリンピック・パラリンピック課 福田 泰寛

「パナソニックの経営理念は、平和でよりよい世界を目指すオリンピック・ムーブメントの理念と共通しています。競技会場、開会式・閉会式、パブリックビューイングを初め、技術を通じて大会を支援し、パートナーとして、スポーツを通じた社会貢献活動を行っていきたいと思っています。」

④グループワーク&プレゼンテーション

グループワーク ストーリー

「開会1000日前を迎えた東京2020大会。なんと！本日まで参加いただいた学生のみなさんへ、メディアから取材の申し込みがありました！みなさんの熱意やパワー、大会に対する期待を、伝えてください！」

グループワーク&プレゼンテーション	グループワーク&プレゼンテーション	グループワーク&プレゼンテーション
以下1～3のうち、どの取材（テーマ）を受けるか、1つ選択してください。	以下1～3のうち、どの取材（テーマ）を受けるか、1つ選択してください。	以下1～3のうち、どの取材（テーマ）を受けるか、1つ選択してください。
1. A新聞社より A新聞社からのコメント オリンピック・パラリンピックを支えるサービスや技術が、「社会や人々の生活の未来を変えていく」のだと感じました。 A新聞社より、本日参加した学生のみなさんに取材したいこと 東京2020大会では、日本は、どのような街に、また、どのようなライフスタイルに変わってほしいと願っていますか？ぜひ、みなさんの視点でお答えください。	2. Bニュース番組より Bニュース番組からのコメント 東京2020大会に向けて、さまざまな人が準備を進めていることがわかりました。 Bニュース番組より、本日参加した学生のみなさんに取材したいこと でも、やっぱり大会を盛り上げるのは、観客のみなさんです。みなさんは、世界各国から集まる選手を、どのように応援し、どのように盛り上げたいですか。それを実現するために、活用したいサービスや技術があれば、あわせて教えてください。	3. Cインターネットメディアより Cインターネットメディアからのコメント 「ものづくり」「デジタル」「デザイン」「クリエイティブ」などのキーワードが、オリンピック・パラリンピック大会を運営する上で、改めて重要だと感じました。 Cインターネットメディアより、本日参加した学生のみなさんに取材したいこと 上記のワードにおいて、みなさんが普段、勉強されていること、研究していること、好きなことが、どのように東京2020大会につながっていると感じますか、または、どのように活かしたいと考えますか。
TOKYO 2020	TOKYO 2020	TOKYO 2020

テーマ1：東京2020大会では、日本は、どのような街、ライフスタイルに変わってほしいか

- ・大会を楽しむためには、防災面も大切、・テロ対策として、街のごみ箱の整備、・コミュニケーションチャームをつけて意思表示、・ハード面のバリアフリーもまだまだ足りない

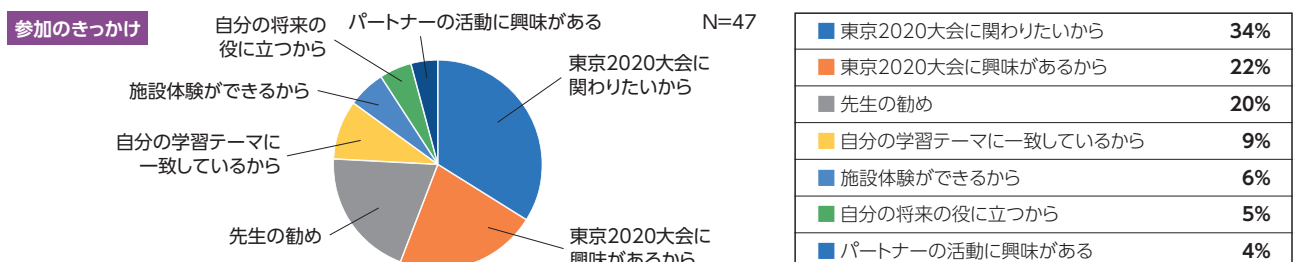
テーマ2：世界各国の選手を、どのように応援し、どのように盛り上げたいか

- ・応援メッセージ数と連動して光るリストバンド、・競技中の選手の心拍数を目で体感できる、・選手とハイタッチ感覚が味わえる触覚テクノロジー、・ホームとアウェーがない応援

テーマ3：自分の勉強や研究、好きなことが、どのように大会につながっていくとを感じるか

- ・競技中のモニターに、応援メッセージを表示するアプリ、・CM動画で、マイナー競技の理解を促進、・日本の高い技術と人々の感情を結びつけたい、・脈拍によって色が変わる座席シート

(3) 参加者の感想（一部抜粋）



- 大会におけるパートナーの存在が重要であることが分かった。
- パラリンピックの迫力をはじめて知り、多くの人に知ってもらいたいと思った。
- 大学内でもこのようなワークはあまりないので、他大学との交流もできてとてもよかった。
- 2020への想いを共有できた。出たアイデアを実現したいと思った。
- 今回のグループワークでも人との意見を併せることの難しさを感じたので、大会時の海外の方と接する機会の多さを大変だと思ったと同時に、楽しみのになった。
- 自分が周りに影響を与え、みんなで日本や世界を盛り上げたい。
- オリンピック開催を契機に、多くの人に対するデザインを考えてみたい。
- 世界を繋げ、個性を大切に、それを保存していく。そんな技術を創っていききたい。
- スポーツを通じて、子どもたちに豊かな感性を育ててあげたい。
- ゼミの活動を通じて、オリンピック・パラリンピックに関わる活動を行いたい。
- 大会に向けて、様々なボランティアで経験を積みたい。
- SNS発信での情報共有や、友人との会話にも大会の楽しさを伝えていきたい。
- コピーライターを目指しているので、大会に関わるキャッチコピーを書きたい。
- 競技を知ってもらおう活動を行いたい。
- 様々な人に役立つことをしたい。日本が共生できる社会にしたい。
- 日本全体を、バリアフリーにしたい。



大学連携'19イベント 出張講座プログラム Special vol.3 「東京2020大会と持続可能性」

連携大学の1つである実践女子大学は、組織委員会が実施する「使い捨てプラスチックを再生利用した表彰台プロジェクト～みんなの表彰台プロジェクト～」に参加を表明し、約2カ月をかけて、キャンパス内で、独自に使用済みプラスチックの回収を行いました。これをきっかけに、同大学で開催されたイベント「『ALL JISSEN FESTIVAL!』～東京2020オリンピック・パラリンピックに向けて、オール実践で盛り上げよう！2019」内において、大学連携'19イベント 出張講座プログラム Special vol.3 「東京2020大会と持続可能性」を開催し、回収いただいた使用済みプラスチックの贈呈式を行いました。

(1) 概要

日時：2019年12月21日（土） 12:15～13:00／15:30～16:00

会場：実践女子大学 渋谷キャンパス（東京都渋谷区東1-1-49）

主催：公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会

参加者数：200名

(2) プログラム

①特別講義「東京2020大会と持続可能性」

東京2020組織委員会総務局持続可能性部 大谷 貴嗣

東京2020大会におけるさまざまな持続可能性の取組事例を紹介、また東京2020大会をきっかけに思い描く未来、大会終了後も共に歩みたい取り組みについて、など

②「使い捨てプラスチックを再生利用した表彰台プロジェクト～みんなの表彰台プロジェクト～」贈呈式

出演者：実践女子大学 プロジェクトメンバー（2019年）

手島 浩二（東京2020組織委員会総務局長）

ミライトワ（東京2020オリンピックマスコット）

ソメイティ（東京2020パラリンピックマスコット）

③東京2020マスコット「ミライトワ」「ソメイティ」握手＆記念撮影会

イベントは、在学生を中心としたプロジェクトメンバーによって企画運営され、東京2020組織委員会のイベントやプログラムに参加した学生、大会ボランティアに参加予定の学生、卒業生、付属の中学校・高等学校の生徒が参加し、ボッチャ大会や「Make The Beat!」の動画撮影も行われました。プロジェクトメンバーによる呼びかけにより、キャンパス内での使用済みプラスチックの回収量は、プラスチック容器約400本相当になりました。



大学連携 出張講座プログラム Special 株式会社アシックス主催 「学生が考える、東京2020大会に向けたボランティアウエア」

東京2020大会において、フィールドキャストのウエアを担当した株式会社アシックスは、出張講座プログラムSpecialを参考に、ワークショップを開催しました。全国の連携大学から参加した学生をグループに分け、学生ならではの視点で、東京2020大会に向けたボランティアウエアについて、「自分が着たいボランティアウエアとは」をテーマにグループワークを実施し、多様な意見交換と発表会を行いました。このワークショップを通じた学生の意見は、ウエアの開発・デザインの参考となり、また、学生の大会に対する意識の向上をはかることができました。

(1) 概要

日時：2017年12月16日（土） 13:30～17:30

会場：株式会社アシックス神戸本社（兵庫県神戸市中央区港島中町7-1-1）

主催：株式会社アシックス

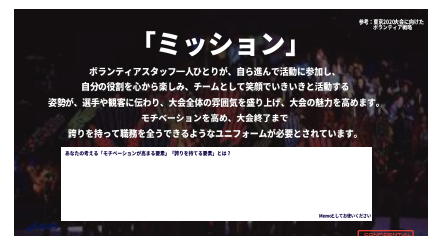
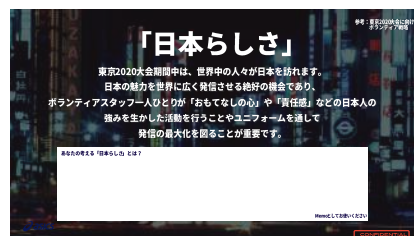
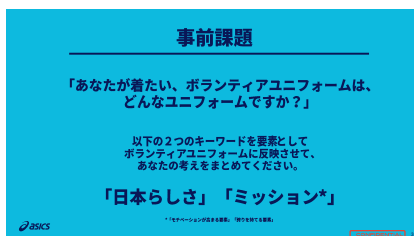
協力：公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会

参加者数：60名

参加大学：秋田大学、朝日大学、大阪大谷大学、大阪経済大学、大阪電気通信大学、京都産業大学、京都女子大学、甲南女子大学、神戸芸術工科大学、神戸市外国語大学、神戸松蔭女子学院大学、筑波大学、津田塾大学、東京学芸大学、東洋大学、名古屋市立大学、西日本工業大学、武庫川女子大学、立命館大学

(2) プログラム

- ①アシックスの会社紹介
- ②東京2020大会の紹介
- ③スポーツウエアのデザイナーによる企画・開発ストーリー
- ④スポーツ用品の歴史やアスリートのパフォーマンスを体験「アシックススポーツミュージアム」見学
- ⑤「あなたが期待する、ボランティアユニフォームは？」ワークショップ
ユニフォームに求める「日本らしさ」「ミッション」



- ⑥フリースロー対決
- ⑦各グループからの発表・評価・質疑
- ⑧総評・メッセージ

(3) 参加者の感想

- 大会をより身近に感じるようになった。
 - 何らかのかたちで大会に関わりたい。
- など



2.3 機運醸成イベント

リオ2016大会をきっかけに、オリンピック・パラリンピックが、身近に感じられるようになり、東京2020大会への期待も高まってきました。大学連携は、少しずつ近づくと、東京2020大会に、学生ならではの形で、「楽しんで盛り上がろう」という機運に包まれていきました。

学生×みんなの輝き、つなげていこう。#Tokyo2020学生キャンペーン

2016年4月、東京2020大会のエンブレムおよび広報メッセージ「みんなの輝き、つなげていこう。」が発表されました。この大会エンブレムが、多くの学生に親しまれるよう、連携大学では、キャンパス内で、大会エンブレムポスター、および、のぼり旗の掲出が始まりました。あわせて、Twitter、Facebookのハッシュタグを活用した「学生×みんなの輝き、つなげていこう。#Tokyo2020学生キャンペーン」を実施しました。みなさんの写真を見た、東京2020組織委員会室伏広治スポーツディレクターは、自身のTwitterで、感謝の言葉を投稿しました。その後、大会エンブレムポスター、および、のぼり旗は、多くの連携大学で、大会終了後まで、大切に掲出されました。

(1) 概要

キャンパス内に飾られた大会エンブレムポスターまたはのぼり旗と一緒に、写真を撮り、TwitterまたはFacebookに、ハッシュタグ「#Tokyo2020学生」をつけて、投稿いただきました。投稿写真は、1枚のコラージュポスターとなり、その後のイベント等で、展示されました。

期間：2016年7月1日（金）～7月15日（金）

主催：公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会

参加者数：約100件の投稿（約120枚の写真）



大学連携プログラム 学生のための「Rio to Tokyo」

リオ2016大会では、多くの日本人選手が活躍しました。そして、東京は、リオからバトンを受け取り、いよいよ、世界の注目が、東京2020大会に集まり始めました。大学連携では、学生たちが、大会を身近に感じ、今からできること、これからできること、この4年間を楽しむアイデアを提案する「大学連携プログラム 学生のための「Rio to Tokyo」」を開催しました。第1部では、実際に、リオ2016大会に参加した学生からのレポート、第2部では、リオ2016大会に出場した学生アスリートを迎えたシンポジウムを開催しました。また、会場内には、東京2020公式ライセンスショップが登場し、オリンピックトーチをはじめ、大会グッズ、フォトコーナーなど、企画展示が行われました。

(1) 概要

日時：2016年11月13日（日） ステージ13:00～15:30、展示12:30～16:00

会場：上智大学 2号館17階 大会議室（東京都千代田区紀尾井町7-1）

主催：公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会

共催：上智大学

後援：東京都

参加者数：250名（学生、教員）

参加大学：青森大学、亜細亜大学、跡見学園女子大学、大阪経済大学、北里大学、國學院大学、国士舘大学、駒澤大学、埼玉大学、芝浦工業大学、首都大学東京、順天堂大学、上智大学、成蹊大学、宝塚大学、千葉工業大学、千葉大学、中京大学、筑波大学、電気通信大学、桐蔭横浜大学、東海大学、東京医科歯科大学、東京外国語大学、東京海洋大学、東京女子体育大学、東京富士大学、東洋学園大学、東洋大学、日本女子体育大学、日本体育大学、広島修道大学、法政大学、武蔵野大学、明治学院大学、明治大学、横浜市立大学、早稲田大学、和洋女子大学

(2) プログラム

オープニング 主催者挨拶 布村 幸彦（東京2020組織委員会副事務総長）

共催者挨拶 早下 隆士（上智大学学長）

第1部 リオ2016大会を振り返るPlayback Rio!（ステージイベント）

「写真によるリオ大会レポート」 竹見 脩吾（東京2020組織委員会フォトグラファー）

「学生が見て感じたリオ大会レポート」

- ・大林 太郎（筑波大学 大学院生 リオ2016オリンピック視察）
- ・磯部 翔平、鈴木 章大、千葉 佳奈子（上智大学 学生 リオ2016パラリンピック視察）
- ・池田 杏奈、新山 美紗子（東京外国語大学 リオ2016大会ボランティア経験者）
- ・中田 吉光（青森大学 体操競技部監督）、大岩 達也、左右木 星斗（青森大学 体操競技部 リオ2016大会フラッグハンドオーバーセレモニー出演）

第2部 東京2020大会に向けてGo Tokyo!（シンポジウム）

コーディネーター 和田 浩一（フェリス学院大学教授）

パネリスト 来田 享子（中京大学教授）

大黒田 裕芽（立正大学 7人制ラグビー）

小出 深冬（東京学芸大学 7人制ラグビー）

寺村 美穂（日本大学 水泳／競泳 ＊当日はご都合によりご欠席）

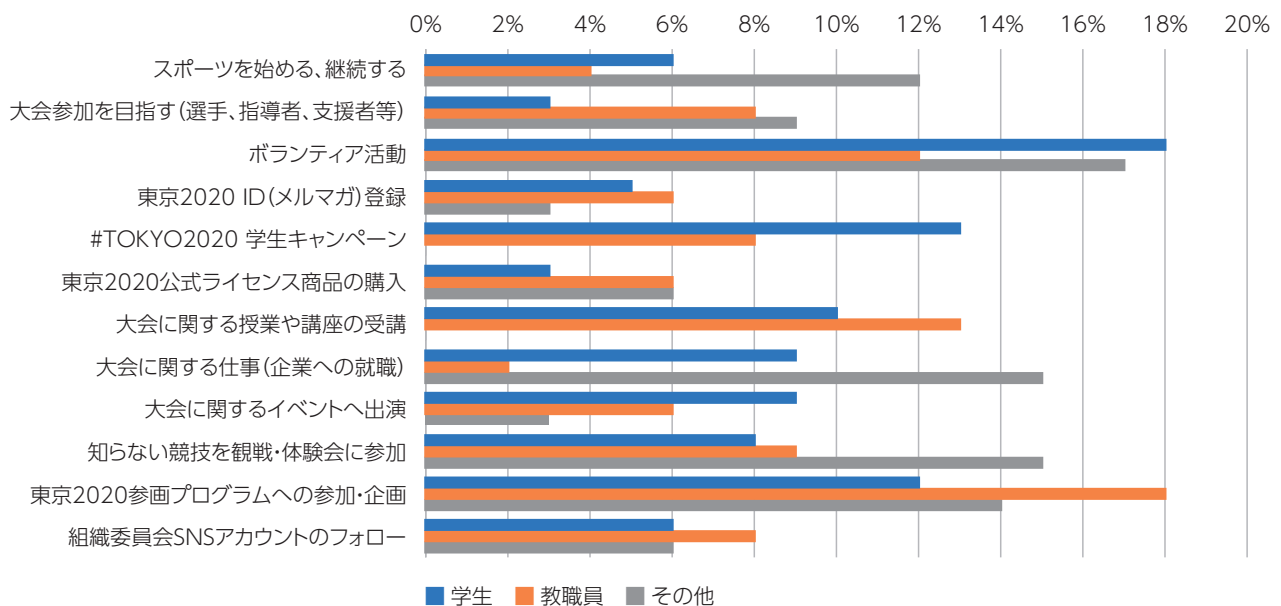
三井 梨紗子（日本大学 水泳／シンクロナイズドスイミング）

クロージング 真田 久（筑波大学教授）

エキシビション

- ①大学連携マップ
- ②映像でみる東京2020大会
- ③みんなで撮ろう！#Tokyo2020 学生（記念撮影コーナー）
- ④オリンピック・パラリンピック大会コーナー（リオ2016オリンピック聖火リレーで使用されたトーチ・上智大学リオパラリンピック調査団のご協力による大会グッズ、東京2020大会エンブレムの形がわかる“触れるエンブレム”など）
- ⑤東京2020公式ライセンス商品販売

■今すぐやってみたいことは？（参加後のアンケートより）



大学連携'17イベント 「Tokyo 2020 学園祭」

オリンピックデーおよび全国の大学・短期大学との連携協定締結開始日を記念し、「大学連携'17イベント 「Tokyo 2020 学園祭」」を開催しました。近代オリンピック競技の1つであった絵画や彫刻、音楽などを競う「芸術競技」を、学生にとって身近な学園祭にアレンジし、オリンピックと文化・芸術の関係性やその重要性について、楽しく理解を深めることを目的に、パフォーマンスバトルが行われました。東京2020大会ビジョンである「全員が自己ベスト」「多様性と調和」「未来への継承」の基本コンセプトをテーマにしたパフォーマンスは、観客を惹きつけ、学生のパワーを映し出しました。これまで、オリンピック・パラリンピックや、東京2020大会に関心のなかった学生も巻き込んだ、新しいイベントとなりました。

(1) 概要

日時：2017年6月24日（土） 開場 14:30 ～、開演 15:00 ～ 18:30

会場：明治学院大学白金キャンパス パレットゾーン2階 インナー広場 さん・サン（東京都港区白金台1-2-37）

主催：公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会

共催：明治学院大学

協力（連携大学）：慶應義塾大学、國學院大學、実践女子大学、首都大学東京、上智大学、東海大学、東京家政大学、東洋大学、日本大学、武蔵野大学、立教大学、早稲田大学（12大学・17団体）

協力（パートナー）：日本コカ・コーラ株式会社、JXTG エネルギー株式会社、イー・エフ・エデュケーション・ファースト・ジャパン株式会社、日本航空株式会社、株式会社日本経済新聞社

参加者数：約1,000名（一般来場含む）

(2) プログラム

ステージ出演

オープニングアクト 戸村峻（國學院大學/米ジャグ）

パフォーマンスバトル 太鼓サークル暁（東京家政大学/和太鼓）

首都大学東京グリークラブ（首都大学東京/合唱）

跳舞人（東洋大学/ダブルダッチ）

アカペラサークルMAM（武蔵野大学/アカペラ・ボイスパーカッション）

SHAMGOD（慶應義塾大学/フリースタイルバスケットボール）

Coffret danse ensemble（立教大学/ダンス）

実践女子大学なぎなた部（実践女子大学/リズムなぎなた）

邦楽部琴之音会（武蔵野大学/箏曲演奏）

國學院大學全學應援團（國學院大學/応援団演舞）

東京家政大学マンドリンクラブ（東京家政大学/マンドリンオーケストラ）

Tomboys ☆（東洋大学/ダンス）

日本大学文理学部体育学科有志（日本大学/旗演舞）

東海大学チャレンジセンター DAN DAN DANCE&SPORTS プロジェクト（東海大学/ダンス）

青葉雅楽会（國學院大學/雅楽）

G-Splash（上智大学/ダンス）

SHOCKERS（早稲田大学/チアリーディング）

ベストパフォーマンス賞 東海大学チャレンジセンター DAN DAN DANCE&SPORTS プロジェクト（東海大学/ダンス）

審査員 渡邊 充（明治学院大学副学長）

真田 久（大学連携検討会委員長/筑波大学教授）

和田 浩一（大学連携検討会委員/フェリス学院大学教授）

布村 幸彦（東京2020組織委員会副事務総長）

手島 浩二（東京2020組織委員会総務局長）

エキシビション

Tokyo2020 ブース

- ・みんなで発信！ #Tokyo2020 学生
- ・東京2020公式ライセンス商品販売
- ・映像でみる東京2020大会
- ・都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト（会場にて、使用済みとなった携帯電話・パソコン等の小型家電を回収）
- ・みんなでつくる東京2020開会式・閉会式！（会場にて、開会式・閉会式に関するご意見を募集）

明治学院大学 学生ボランティアブース「明学スタイル」

- ・歴代オリンピック大会のポスター展示
- ・フォトコーナー
- ・スタンプラリー
- ・現地の模様をリアルタイムツイート



大学連携'18イベント 「Tokyo 2020 学園祭 the 2nd」

前年の「Tokyo 2020 学園祭」が好評となり、学園祭イベントはシリーズ化していきました。2018年の第2弾は、オリンピズムの根本原則にある、「肉体と意思と精神の資質を高め」、「スポーツを文化、教育と融合する」ことを体現することを目指し、オリンピック・パラリンピックや東京2020大会に関するクイズ、東京2020大会における追加競技等を体験しながら、得点を競い合う、連携大学対抗戦を開催しました。出場者、運営ボランティア、ステージパフォーマーは、すべて学生が中心となって活躍し、一般来場者も数多く訪れました。イベントの最後には、オリンピックデーを祝った学生の活動に対し、IOCより、メッセージと記念品が贈られました。

(1) 概要

日時：2018年6月23日（土） 開場 14:00 ～ 開演 15:00 ～ 18:00

会場：青山学院記念館（大学体育館）（東京都渋谷区渋谷 4-4-25）

主催：公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会

共催：青山学院大学

協力：・クイズの提供：日本オリンピックアカデミー（JOA）

・運営ボランティア（3団体）：青山学院大学VOLAG、明治学院大学MGオリンピックパラリンピックプロジェクト実行委員会、学生団体おりがみ

・パートナー（15社）：日本コカ・コーラ株式会社、インテル株式会社、パナソニック株式会社、トヨタ自動車株式会社、株式会社アシックス、JXTGエネルギー株式会社、株式会社ジェイティービー、大日本印刷株式会社、凸版印刷株式会社、日本航空株式会社、株式会社リクルートホールディングス、株式会社読売新聞東京本社、株式会社日本経済新聞社、丸大食品株式会社、株式会社産業経済新聞社

参加者数：約1,000名（一般来場含む）

参加学生：・出場学生（21大学、26チーム、約100名）

青山学院大学、朝日大学、亜細亜大学、大阪経済大学、鎌倉女子大学、神田外語大学、北里大学、國學院大學、国際基督教大学、実践女子大学、首都大学東京、上智大学、千葉大学、東京女子体育大学、東洋大学、日本体育大学、法政大学、武蔵野大学、明治学院大学、明治大学、早稲田大学

・学生による運営ボランティア（3団体、約100名）

・ステージ出演学生（2組、約100名）

(2) プログラム

オープニングアクト United Rhythm Carries（青山学院大学/ボーカルグループ）

選手宣誓 チームおりがみ（千葉大学）／コア・オブ大学東京（首都大学東京）＊抽選により、当日決定

「クイズ」「スポーツ」バトル予選…全出場チームが、各コーナーの総合得点を競い、決勝進出チームを決定

（クイズゾーン）〇×クイズ、ばら撒きクイズ

（スポーツゾーン）スポーツクライミング、バスケットボール（3×3）

パフォーマンスステージ SHAMGOD（慶應義塾大学/フリースタイルバスケットボール）

「クイズ」「スポーツ」バトル決勝戦 予選上位5チームによる早押しクイズ決勝戦

連携大学王 MGオリパラ（明治学院大学）

エキシビション

競技体験コーナー（スポーツクライミング、バスケットボール（3×3））

Tokyo2020学園祭 フォトスポット

#Tokyo2020学生&#olympicdayキャンペーン

東京2020公式ライセンス商品販売

都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト（会場にて、使用済みとなった携帯電話・パソコン等の小型家電を回収）

大会ボランティア募集 特設ブース（会場にて、大会ボランティアの募集PR）



大学連携'19イベント 「Tokyo 2020 学園祭next」

2019年の第3弾は、これまで訪れたことのなかった地域の連携大学で、実際に行われる「学園祭」に、その場をお借りすることとなりました。各連携大学の学園祭実行委員の学生とともに、東京2020マスコット「ミライトワ」「ソメイティ」とのコラボステージを企画し、地域の学生や子供たちとともにステージに出演しました。また、学生のブースに並び、「東京2020大会PRブース」を出展し、東京2020大会の情報発信をはじめ、東京2020マスコットの握手＆記念撮影会等を実施しました。学生だけでなく、地域のご家族など、多くの方に立ち寄っていただき、幅広い年代にPRすることができました。

(1) 概要およびプログラム

主 催：公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会

参加者：約5,000名（一般来場含む）

ステージ

日程	共催・会場	実施内容
10月5日	秋田県立大学（秋田キャンパス） 「松風祭」（秋田）	・秋田県立大学竿燈会と東京2020マスコットのコラボステージ
10月12日	清泉女学院大学・清泉女学院大学 短期大学「清泉祭」（長野）	・清泉女学院大学・短期大学「中村卒業研究セミナー」受講学生によるダンスパフォーマンスと東京2020マスコットのコラボステージ
10月20日	鳥取看護大学・鳥取短期大学 「シグナス祭」（鳥取）	・鳥取看護大学附属こども園の園児たちによるダンスパフォーマンスと東京2020マスコットのコラボステージ
11月9日	愛媛大学（城北キャンパス） 「学生祭」（愛媛）	・愛媛大学ダンス部による、NHK2020応援ソング『パプリカ』ダンスパフォーマンスと東京2020マスコットのコラボステージ
11月23日	和歌山大学「和太祭」（和歌山）	・和歌山大学学生企画「巨太人生ゲーム」ステージ、東京2020マスコット登場
11月30日	名桜大学「名桜大学祭」（沖縄）	・名桜大学ダンス部によるダンスパフォーマンスと東京2020マスコットのコラボステージ

※清泉女学院大学・清泉女学院短期大学「清泉祭」については、台風19号の影響により、中止となりました。

東京2020大会PRブース

東京2020マスコットと握手＆記念撮影

東京2020マスコットフォトスポット

PR動画放映＆パネル展示

みんなの表彰台プロジェクト（使用済みプラスチックを回収）



2.4 連携大学や学生による新しい動き

2016年頃より、オリンピック・パラリンピックや東京2020大会に向けた学生団体の設立、学生が東京2020大会に参加できるよう、大会期間に配慮いただいた学年歴変更の検討、事前キャンプをきっかけとした自治体との連携など、新しい動きが見られるようになりました。それに伴い、連携大学、学生の独自の活動も活発になっていきました。

「東京2020参画プログラム」のスタート

組織委員会は、2016年に、東京2020大会に一人でも多くの方に参画していただき（アクション）、そして東京2020大会をきっかけにした成果を未来につなげる（レガシー）ための取組、「アクション&レガシープラン」を発表しました。そして、このアクション&レガシープランを実現するため、同年10月より、全国の様々な組織・団体がオリンピック・パラリンピックとつながりを持ちながら、大会開催に向けた機運醸成やレガシー創出に向けたアクションを実施することができる「東京2020参画プログラム」を開始しました。2017年4月には、大学が単独で参加できる「東京2020応援プログラム」もスタートし、連携大学や学生が、独自のアイデアと行動力で行ってきた、さまざまな活動（アクション）は、まさに、アクション&レガシープラン、および、東京2020参画プログラムの支えのひとつとなっていきました。

（1）概要

申請期間：2016年10月～2021年5月

登録大学数：112校

アクション申請件数：620件

主なアクション：大学で行われるオリンピック・パラリンピックに関する授業・研究や公開講座、シンポジウム、スポーツ大会、競技体験イベント、展示会、企画展、ボランティア活動など

【巻末：東京2020参画プログラム アクション申請一覧】

東京2020参画プログラム

アクション&レガシープラン 2016

一人でも多くの方が参画【アクション】し、大会をきっかけにしたアクションの成果を未来に継承する【レガシー】のためのプラン

東京2020参画プログラム

東京2020大会に向けた盛り上がり・レガシー創出に向けて、2020年までの4年間でオールジャパンで取り組む参加型のプログラム

<8つの分野>

スポーツ・健康

街づくり

持続可能性

文化

教育

経済・テクノロジー

復興

オールジャパン・世界への発信

東京2020公認マーク



東京2020応援マーク



(2) 学生からの実施レポート

※「参画プログラム特設サイト」に掲載された学生からの実施レポートより、一部抜粋

障がい者スポーツチャレンジ2017 in KOTO

2017年12月3日

有明スポーツセンターにて『障がい者スポーツチャレンジ2017 in KOTO』を開催しました。多くの競技が開催される江東区から東京2020オリンピック・パラリンピックを盛り上げ、2020年以降のダイバーシティ社会の実現に寄与することを目的にパラスポーツ競技の体験会を開催しました。

最初は恐る恐る競技用車椅子に乗っていた子供たちが、ストップやターンを車椅子鬼ごっこで習得し、最後は試合やバッティングができるまでに上達していました。「めっちゃ疲れた～」といいながらもとても楽しそうで、車椅子を操作しながら競技をする楽しさと難しさを体験してもらうことができました。

ポッチャはだれでも手軽にルールを覚えられそれでいて戦略性もあるため、体験コーナーでは選手や学生も交えて大人も子供も楽しんでプレーしていました。ブラインドサッカーの体験コーナーでは学生が主体となり運営を行いました。目の見えない感覚や助け合う大切さを伝えるために工夫を重ねました。

パラカヌーの瀬立モニカ選手、ポッチャの蛭沢文子選手、元体操選手の田中光さんをお招きし、トークショーを行いました。ダイバーシティ社会について、会場の皆様と共に理解を深め、東京2020オリンピック・パラリンピックに向けて、私たちにできることへの気づきを得ることができました。

武蔵野大学スポーツマネジメントゼミ

2020年以降のダイバーシティ社会実現への寄与、
スポーツを通しての地域貢献、オリンピック・パラリンピック応援を目的とし、
江東区で小学校への授業などを行っています。



千葉大学ポッチャオープン・パラボラ研修会

2017年12月16日～17日

当イベントの目的は「16日に障がい者と交流し、その経験を通して17日の共生社会の議論を展開すること」でした。また、参加対象を、16日は小学生以上、17日は中学生以上と比較的幅広い年齢層を対象にすることによって、多角的視野からの考えや意見を取り入れた議論を行うイベントになりました。

両日を合わせて、その参加者は、のべ150人以上を記録しました。近隣の住人、小学生から高齢者、ポッチャ協会など、様々な人が交流を実現し、それぞれの活動や想いを共有する機会となりました。

16日の千葉大学ポッチャオープンでは、チーム制度を採用し、健常者と障がい者の密に交流できる機会を設置しました。このイベントを通して、健常者と障がい者が接し、17日における共生社会に向けたボランティア議論のための実体験となりました。

16日の千葉大学ポッチャオープンにおける障がいを持つ人との交流をもとに、17日では、スポーツ・文化・地域・国際の観点から、共生社会におけるボランティアについて議論しました。この時には、中高生～社会人という幅広い年齢層で議論をすることによって、ボランティアにつながる種を各々が見つけました。

学生団体おりがみ

学生が軸となり、一人でも多くの人が関われる
オリンピック・パラリンピックをつくることを目標に活動しています。



ふくしま復興オリンピックプロジェクトin 福大祭

2018年10月27日

福島大学にて、「ふくしま復興オリンピックプロジェクトin 福大祭」が開催されました。オリンピックの講演をはじめ、東京2020大会マスコットのミライトワとソメイティも来場し、オリンピックを身近に感じてもらえるイベントを開催しました。

福島大学の学生が東京2020大会に向けてどんな取り組みをしているかを報告しました。

今までに東京2020大会を通じて福島にレガシーを遺すため行ってきた活動をパネル展示し、大学祭に訪れた多くの方々に見ていただきました。

千田健太氏を招き、オリンピック出場当時のことなどについてご講演いただきました。

気仙沼市出身ということもあり、スポーツを通じた東北復興のことについてもお話しいただきました。

また、千田健太氏によるフェンシング実演や参加者の方々に体験をしていただき、会場は大いに盛り上がりしました。

千田健太氏を中心に福島県オリンピック・パラリンピック教育推進校代表、学生団体おりがみ代表、学生団体わだち代表がそれぞれ「福島、東北でオリンピックが行われることの意義」について語り合いました。東京2020大会に向けてそれぞれ何ができるのかを考えるプログラムとなりました。

Fukushima Legacy実行委員会（福島大学）

「学生団体わだち」という団体で東京2020オリンピック・パラリンピックを通じて福島にレガシーを遺すべく活動をしています。



叡智が世界をつなぐ～東京2020オリンピック・パラリンピックを体感する一週間～

2018年11月22日～28日

オリンピック・パラリンピックを身近に関してもらうために開催した競技体験。あまり体験できないフェンシング、以前オリンピック公式種目であった立幅跳、パラスポーツのボッチャとブラインドサッカーを用意しました。体感するからこそ理解が深まり、2年後が楽しみになったという声をいただきました。

2020年だけでなく、ボランティアに興味のある学生が思いや考えを共有する場を作りました。理想のボランティアとは？来場者に喜んでもらうためには？多様性を理解しているボランティアとは？など様々な視点から話し合うことで、2年後が楽しみでボランティアをぜひやりたいと思える機会となりました。

誰もが楽しみに、そして、かけがえのない時となる東京2020。パラリンピックの魅力を伝え、輝く選手の姿を見てもらい、2020年大会会場へ一緒に応援しに行く、ファンになってもらうことを目的に行いました。当日はパラアスリート5名と、NHKアナウンサーに協力していただきました。

ソフィア オリンピック・パラリンピック 学生プロジェクト「Go Beyond」（上智大学）

オリンピック・パラリンピックには、人の心に響く感動と、魅了される輝きを持つ力があると思います。

そんな素晴らしいものをみんなで応援していきたいです。



横浜市立大学スポーツボランティア講習会

2019年1月12日

1月12日、横浜市立大学にてオリンピック・パラリンピック等のスポーツ大会で起こるリスクを想定した対策講座を、スポーツボランティアに関心のある地域の方々や学生に向けて行いました。こういった現場ではどのような危険が起こり、またそれにどう対処するのかを、具体的な例を挙げて学びました。

1部は医学部YDCの学生によるリスク対策講義でした。夏開催のオリンピック・パラリンピックでの脱水症状の危険性と対処法、多くの人が集まる場所で懸念される人災やパンデミックについて、参加した皆で意見交換しました。まずは自分の身を守ることで、被害拡大を防ぐことができると学びました。

2部ではグループに分かれて、怪我人・病人を想定したケースワークを行い、正しい応急手当の方法やAEDの使い方を学びました。食中毒になった、熱中症で倒れたなど具体的に想定したので、参加者の方々からも「実践的でとてもためになった」「ケース別でわかりやすかった」等の感想をいただきました。

今回の講習会をきっかけとして、オリンピック・パラリンピックをはじめとした様々なスポーツ大会に携わるボランティアの方々の現場に、集団感染の予防や正しい応急手当等の基本的な知識が必要なることを実感しました。今回のような講座をまた開催し、知識がもっと広がっていけば良いと思います。

ボランティア支援室学生スタッフ「Volunch」(横浜市立大学)

横浜から、2020年のオリンピック・パラリンピックを盛り上げていけるよう頑張ります！



学生×アスリート×ファッション 学園祭 番外編 in 青山学院大学

2019年6月23日

このイベントは、現在スポーツに興味がない人にも、東京2020大会に興味を持って欲しいという思いから企画されました。そのため、おしゃれな青学生によるファッションショーや、豪華ゲストによるトークショーなど、スポーツに興味がない人にも親しみやすい内容のイベントとなりました。

東京2020大会は、夏の開催ともあって暑さ・日焼け対策が重要となってきます。そこでテーマを青学生の夏のファッションとし、おしゃれと実用性を兼ね揃えたファッションを提案しました。

青山学院大学ラグビー部、サッカー部、レスリング部のみなさんにパフォーマンスをしていただきました。ラグビー部はラインアウト・ストラックアウト、サッカー部はリフティング、レスリング部はタックル・投げ技を披露してくれました。迫力あるパフォーマンスで会場は盛り上がりしました。

リオデジャネイロ2016大会柔道金メダリストの田知本遥選手、北京2008大会新体操日本代表の坪井保菜美選手をはじめとした豪華ゲストによるトークショーを行いました。オリンピックでの経験など貴重なお話をたくさん聞くことができました。さらに坪井選手にはリボンの実演もしていただきました！

青山学院大学 VOLAGU

初めてのイベント企画で色々大変なこともありましたが、多くの方に支えられ、とても貴重な体験ができました。ありがとうございました！



連携大学担当連絡会

さまざまな活動やプログラムが増え、連携大学と組織委員会のコミュニケーションが、より一層大切になりました。そこで、各連携大学で窓口をご担当いただく職員の方を対象に、「連携大学担当連絡会」を開始しました。1年間の活動の御礼、活動報告と共に、連携大学間同士の情報共有の場となることを目的に、毎年、年度末に実施しました。

(1) 概要

	日程	会場	参加校数（参加者数）	主な内容
第1回	2017年 3月17日 (午前、午後 の2回開催)	東京2020 組織委員会 虎ノ門オフィス	122大学（約200名） 愛知教育大学／朝日大学／亜細亜大学／青山学院大学／茨城県立医療大学／茨城大学／大阪教育大学／大阪体育大学／桜美林大学／大阪成蹊大学／大妻女子大学／関西大学／関西学院大学／神戸外語大学／鹿児島大学／神奈川大学／金沢大学／鎌倉女子大学／亀田医療大学／京都産業大学／岐阜大学／慶應義塾大学／工学院大学／神戸親和女子大学／國學院大学／国士舘大学／産業能率大学／四天王寺大学／淑徳大学／首都大学東京／至学館大学／静岡産業大学／昭和大学／上越教育大学／女子美術大学／実践女子大学・短期大学部／順天堂大学／城西国際大学／上智大学／女子栄養大学／女子栄養大学短期大学部／駿河台大学／成蹊大学／聖徳大学／聖マリアンナ医科大学／仙台大学／洗足学園音楽大学／宝塚大学／拓殖大学／千葉県立保健医療大学／中央大学／中京大学／千葉経済大学／千葉大学／筑波大学／津田塾大学／都立文科大学／つくば国際大学／帝京科学大学／デジタルハリウッド大学／桐蔭横浜大学／東京医科歯科大学／東京家政大学／東京経済大学／東京工芸大学／東京農工大学／東京福祉大学／東北大学／東洋英和女学院大学／東洋大学／富山大学／東海大学／東京有明医療大学／東京医科大学／東京海洋大学／東京工業大学／東京女子体育大学／東京都市大学／東京富士大学／長野県看護大学／名古屋学院大学／名古屋工業大学／名古屋市立大学／奈良県立医科大学／日本医科大学／日本福祉大学／新潟医療福祉大学／日本ウェルネススポーツ大学／日本女子大学／日本文化大学／日本薬科大学／浜松医科大学／東日本国際大学／広島国際大学／びわこ成蹊スポーツ大学／フェリス学院大学／福岡教育大学／福岡大学／福井大学／佛教大学／文京学院大学／北陸大学／法政大学／放送大学／松本歯科大学／宮城大学／武蔵野美術大学／武蔵丘短期大学／武蔵野大学／明海大学／明治学院大学／明星大学／山梨学院大学／山梨県立大学／山形大学／山梨大学／横浜市立大学／横浜創英大学／立命館大学／立教大学／流通経済大学／麗澤大学／和洋女子大学／早稲田大学	・東京2020大会トピックと大学連携の取り組み ・「東京2020参画プログラム」について ・「東京2020参画プログラム」事例発表 実践女子大学、大阪経済大学 ・飲食提供に係る基本戦略の策定について ・東京2020大会におけるブランド保護について (午前、午後ともに、同じ内容)
第2回	2018年 3月20日	東京2020 組織委員会 虎ノ門オフィス	90大学（約100名） 愛国学院短期大学／青山学院大学／旭川医科大学／朝日大学／亜細亜大学／茨城大学／上野学園大学／桜美林大学／大阪学院大学／大阪教育大学／大阪体育大学／大妻女子大学／鹿屋体育大学／鎌倉女子大学／亀田医療大学／川村学園女子大学／関西学院大学／神戸外語大学／共栄大学／京都外国語大学／近畿大学／群馬医療福祉大学／慶應義塾大学／国際基督教大学／国際武道大学／国士舘大学／相模女子大学／静岡産業大学／実践女子大学／芝浦工業大学／十文字学園女子大学／首都大学東京／上越教育大学／上智大学／情報セキュリティ大学院大学／昭和大学／女子栄養大学短期大学部／女子美術大学／駿河台大学／成蹊大学／聖心女子大学／聖徳大学／専修大学／仙台大学／宝塚大学／拓殖大学／玉川大学／千葉大学／中京大学／筑波大学／津田塾大学／貞静学園短期大学／テンプル大学ジャパンキャンパス／東海大学／東京有明医療大学／東京医科大学／東京外国語大学／東京家政大学／東京経済大学／東京大学／東京都市大学／東邦大学／東洋学園大学／東洋大学／富山大学／長崎国際大学／名古屋市立大学／新潟医療福祉大学／日本医科大学／日本女子体育大学／日本女子大学／浜松医科大学／一橋大学／広島国際大学／びわこ成蹊スポーツ大学／フェリス学院大学／福岡教育大学／福岡大学／法政大学／松本歯科大学／武蔵野大学／明治学院大学／明治学院大学／明治大学／明星大学／山梨大学／立教大学／立命館大学／麗澤大学／早稲田大学／和洋女子大学	・東京2020大会概要と大学連携の取り組み ・「東京2020参画プログラム」について ・「東京2020参画プログラム」事例発表 法政大学 ・「東京2020公式ライセンス商品」の販売について ・「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」について ・「東京2020大会ボランティア」について ・連携大学の取り組みについて 首都大学東京 ・連携大学の取り組みについて 実践女子大学 ・東京2020大会におけるブランド保護について *会場内にて、パネル展示を同時開催

第3回目以降は、書面にて開催

	日程	主な内容
第3回	2019年3月15日	・2019年度 東京2020大会トピック ・2019年度 活動報告（組織委員会、各連携大学） ・大学連携向けプログラムのご案内（出張講座プログラム、東京2020参画プログラム、東京2020PRツールの貸出、ホームページ用エンブレムバナー提供、学内での東京2020公式ライセンス商品販売など） ・東京2020大会におけるブランド保護について ・今後の予定
第4回	2020年3月24日	・2019年度 東京2020大会トピック ・2019年度 活動報告（組織委員会、各連携大学） ・大学連携向けプログラムのご案内（出張講座プログラム、東京2020参画プログラム、東京2020応援プログラム（祭り）、東京2020PRツールの貸出、東京2020パブリックビューイング、ホームページ用エンブレムバナー提供、学内での東京2020公式ライセンス商品販売など） ・東京2020大会におけるブランド保護について ・今後の予定
第5回	2021年3月24日	・2019年度 東京2020大会トピック ・2019年度 活動報告（組織委員会、各連携大学） ・大学連携向けプログラムのご案内（出張講座プログラム、東京2020参画プログラム、東京2020PRツールの貸出、東京2020パブリックビューイング、ホームページ用エンブレムバナー提供、学内での東京2020公式ライセンス商品販売など） ・東京2020大会におけるブランド保護について ・今後の予定



(2) 主なトピックス

連携大学担当連絡会では、「出張講座プログラム」や「東京2020参画プログラム」のほか、連携大学でご活用いただけるコンテンツをご紹介します。

①東京2020PRツールの貸出

東京2020PRツール（のぼり、横断幕、動画など）の貸出を開始しました。講演会、学園祭やスポーツイベント、学生課窓口等にて、ご活用いただきました。

東京2020PRツールリスト（2021年1月6日現在）

区分	制作物の名称等
PRグッズ	ポスター
	のぼり（エンブレム）
	横断幕（エンブレム）
	のぼり（HANABI）
	横断幕（HANABI）
	2020たより
動画	東京2020大会エンブレムコンセプトムービー
	東京2020大会会場計画PR映像
	追加種目紹介ムービー
	「東京2020 NIPPON フェスティバル」イメージムービー
	東京2020大会イメージ映像
	東京2020大会マスコットデビュー映像
	東京2020大会マスコットデビューイベント映像
	東京2020教育プログラムPR映像
	東京2020オリンピックスポーツピクトグラム紹介映像
	東京2020パラリンピックスポーツピクトグラム紹介映像
	東京2020オリンピックスポーツピクトグラムコンセプトムービー
	東京2020パラリンピックスポーツピクトグラムコンセプトムービー
	Tokyo 2020 Olympic Torch Movie
	Tokyo 2020 Paralympic Torch Movie
	東京2020オリンピック聖火リレートーチができるまで
	東京2020パラリンピック聖火リレートーチができるまで

区分	制作物の名称等
動画	東京2020パラリンピック 22競技紹介動画
	Experience the unbelievable 本編動画
	都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト
	東京2020オリンピックメダルができるまで
	東京2020オリンピックメダルデザインコンセプトムービー
	東京2020パラリンピックメダルができるまで
	東京2020パラリンピックメダルデザインコンセプトムービー
	東京2020オリンピックマスコット ミライトワ競技アニメーション
	東京2020パラリンピックマスコット ソメイティ競技アニメーション
	東京2020大会モットーステートメントムービー
	東京2020公式アートポスタームービー
	東京2020オリンピック聖火のこれまでの歩み
	競技紹介動画「One minute, One sport」
	今日もまた、前を向こうとする人がいる。 (阿部詩、木村敬一、瀬立モニカ、野口啓代、桃田賢斗)
ポスター画像	パラリンピックPRビジュアル～「パラリンピアン」×「東京」～ マット・スタッツマン（アーチェリー）、マルクス・レーム（陸上競技） 国枝 慎吾（車いすテニス）、谷 真海（トライアスロン）
	今日もまた、前を向こうとする人がいる。 (阿部詩、木村敬一、瀬立モニカ、野口啓代、桃田賢斗)
CD	東京五輪音頭-2020-
	東京五輪音頭-2020- ロゴデータ
	東京五輪音頭-2020- 歌手イラスト

東京2020PRツール（一部）

のぼり



のぼり（HANABI）



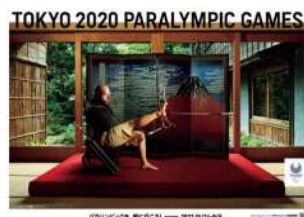
横断幕



横断幕（HANABI）



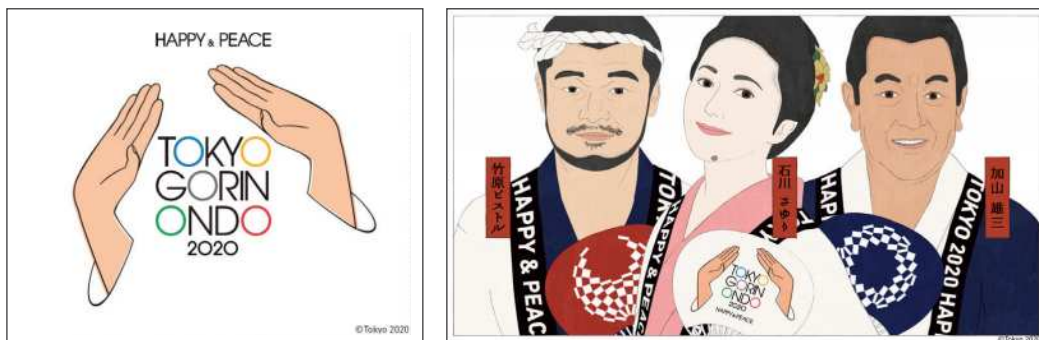
パラリンピックPRビジュアル～「パラリンピアン」×「東京」～



今日もまた、前を向こうとする人がいる。(ポスター画像)

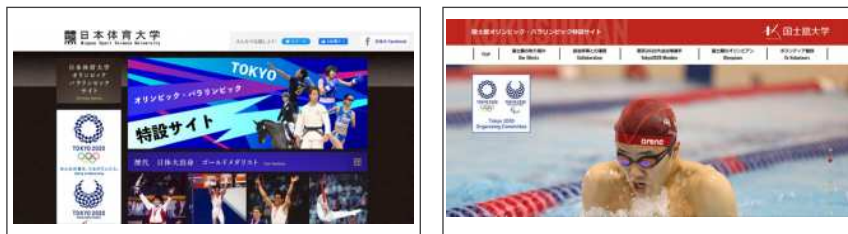


東京五輪音頭-2020-



② ホームページ用エンブレムバナーの提供

連携大学のウェブサイトで使用できるエンブレム入りのバナー(画像)を提供しました。東京2020組織委員会公式ウェブサイトへリンクいただきました。



③ 学内での公式ライセンス商品販売

連携大学内の売店や書店で、公式ライセンス商品を販売いただきました。

愛媛大学、鹿屋体育大学、京都大学、慶応義塾大学、順天堂大学、上智大学、駿河台大学、成蹊大学、中央大学、東京医科大学、東京都市大学、名古屋大学、北陸大学、武蔵野大学、早稲田大学(2019.3.15現在)

上智大学

販売場所：大学内書店

取扱商品：ピンバッジ・キーホルダー・ネックストラップ等の雑貨商品



駿河台大学

販売場所：大学内売店

取扱商品：ピンバッジ等の雑貨やポロシャツ・フェイスタオル等のアパレル商品



2.5 東京2020大会に向けて

東京2020ライブサイトin 2016ーリオから東京へー

リオ2016大会期間中、組織委員会と東京都は、「東京2020ライブサイトin 2016ーリオから東京へー」を実施しました。会場では、大型スクリーンを利用した競技中継や、競技体験、ステージイベントなどが行われました。大学連携では、岩手県、宮城県、福島県の会場において、県内の連携大学に、ステージイベントへの出演募集を行いました。

(1) 概要およびプログラム

	日程	会場	出演大学	出演団体
オリンピック	8月6日	岩手県 もりおか歴史文化館前	岩手大学	岩手ストリートパフォーマンスクラブ (ISPC)
	8月14日	宮城県 勾当台公園市民広場	仙台大学	仙台大学 新体操競技部
パラリンピック	9月15日	宮城県 勾当台公園市民広場	宮城大学	宮城大学 娘すずめ。
	9月15日	宮城県 勾当台公園市民広場	東北大学	東北大学 ゴスペルサークルGO∞HIP

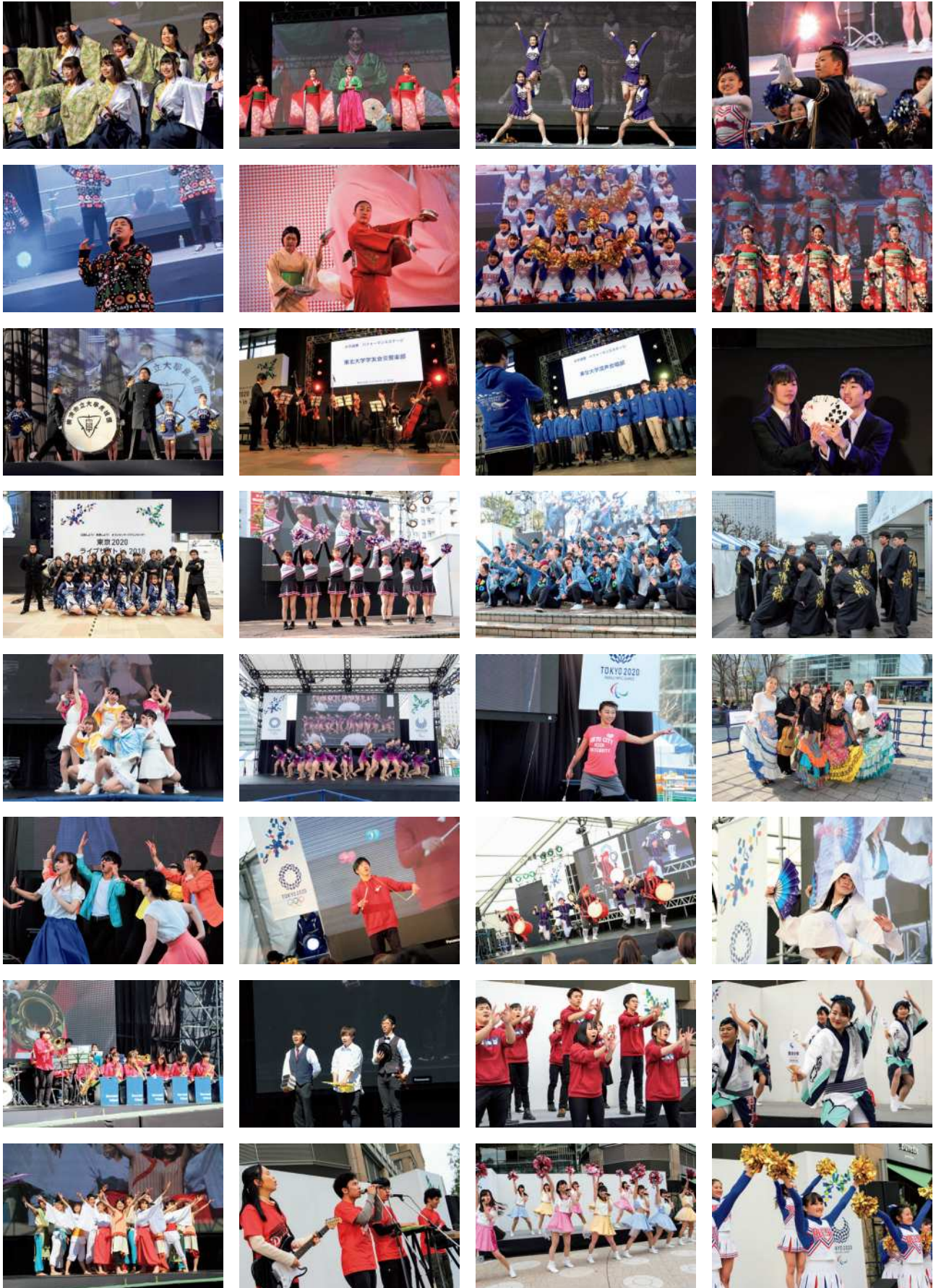


東京2020ライブサイト in 2018

リオ2016大会に続き、平昌2018大会においても、組織委員会と東京都は、「東京2020ライブサイト in 2018」を実施しました。大学連携では、「東京2020ライブサイト in 2016ーリオから東京へー」での反響を踏まえ、前回よりも出演団体を拡大し、全会場にて、「大学連携 パフォーマンスステージ」を実施しました。20大学、31組、約550名の学生が、熱いパフォーマンスで会場を魅了しました。

(1) 概要およびプログラム

	日程	会場	出演団体（連携大学）
オリンピック	2018年 2月10日（土） ～12日（月・祝）	都立井の頭恩賜公園 西園 （東京都会場）	・実践女子大学同短期大学部 YOSAKOI ソーラン部 WING（実践女子大学／よさこい演舞） ・礼法研究部（実践女子大学／着物による演舞） ・チアリーディング部 S.S.S（清泉女子大学／チアリーディング） ・学習院大学応援団（学習院大学／応援団） ・Harmonic Motion（東洋大学／アカペラ） ・古典芸能研究会（東京家政大学／日本舞踊） ・体育会チアリーディング部 REESES（青山学院大学／チアリーディング） ・麗澤大学 学友会 きものお作法の会（麗澤大学／着物による演舞） ・応援団（横浜市立大学／応援団） ・応援団チアリーダー部 SEAGULLS（横浜市立大学／応援団）
	2018年 2月17日（土）	JR 仙台駅 2階 ステンドグラス前 （宮城県会場）	・東北大学学友会交響楽部（東北大学／管弦楽） ・東北大学学友会混声合唱部（東北大学／合唱） ・東北学院大学奇術研究会（東北学院大学／マジック・ジャグリング） ・トレ・フレッチェ（東北学院大学／チアリーダー、吹奏楽）
	2018年 2月18日（日）	郡山駅 西口駅前広場 （福島県会場）	・福島大学チアダンスサークル PEACH ☆ GRAFFITI（福島大学／チアダンス） ・ストリートダンス同好会 D.FOOL（福島大学／ストリートダンス）
	2018年 2月22日（木） ～24日（土）	都立シンボルプロムナード公園 イーストプロムナード・石と光の広場 （東京都会場）	・芝浦工業大学グローバルソーラン節ダンサーズ（芝浦工業大学／ダンス） ・winK♡（北里大学／アイドルコピーダンス） ・女子チアダンス部 VERITAS（尚美学園大学／チアダンス） ・ポップ☆エンジェル（東京都市大学／パトントワーリング） ・フラメンコクラブ "Las majas"（清泉女子大学／フラメンコ） ・ダンス部（愛知教育大学／ダンス）
	2018年 2月24日（土）	岩手県会場 盛岡駅前 滝の広場	・Iwate Street Performance Club（岩手大学／ジャグリングパフォーマンス）
	3月10日	（仮称）花畑（はなばた） 広場（熊本県会場）	・沖縄県人会（崇城大学／エイサー） ・崇城大学 学友会文化委員会所属 よさこい部（崇城大学／よさこい演舞）
パラリンピック	3月17日	都立日比谷公園 （東京都会場）	・Second Wind Jazz Orchestra（横浜市立大学／ビッグバンド・ジャズ） ・大道芸サークル PASTIME（東洋大学／ジャグリングパフォーマンス） ・東洋大学 手話サークル・つみき（東洋大学／手話ソング） ・阿波踊り愛好会（東洋大学／演舞） ・東海大学チャレンジセンター DAN DAN DANCE & SPORTS プロジェクト（東海大学／ダンス）
	3月18日	東京ミッドタウン日比谷 （東京都会場）	・バンドサークル（Durandal）（筑波技術大学／バンド演奏） ・東海大学チャレンジセンター DAN DAN DANCE & SPORTS プロジェクト（東海大学／ダンス） ・阿波踊り愛好会（東洋大学／演舞） ・東洋大学 手話サークル・つみき（東洋大学／手話ソング） ・大道芸サークル PASTIME（東洋大学／ジャグリングパフォーマンス） ・winK♡（北里大学／アイドルコピーダンス） ・体育会チアリーディング部 PEESES（青山学院大学／チアリーディング）



大学連携'18プログラム 東京2020オリンピック・パラリンピック ボランティア募集説明会

東京2020大会における大会ボランティアの募集開始に先立ち、連携大学の学生および教職員を対象に、「大学連携'18プログラム 東京2020オリンピック・パラリンピック ボランティア募集説明会」を開催しました。大会ボランティアの面接会場都市にある、全国13の連携大学を会場に、これまでのオリンピック・パラリンピック大会におけるボランティアの活躍や、東京2020大会での募集内容など、さまざまなセクションから組織委員会職員が集まり、紹介をしました。参加者からは、募集に関する積極的なご意見や質問が、数多く寄せられました。説明会後は、各連携大学や学生団体によって、学内で、独自の説明会や広報活動が行われ、さらに関心が広がっていききました。

(1) 概要

	日 程	会 場
1	7月31日	東京都 上智大学 [四ツ谷キャンパス 6号館101教室]
2	8月3日	神奈川県 慶應義塾大学 [日吉キャンパス 第4校舎独立館 DB201]
3	8月7日	愛知県 中京大学 [名古屋キャンパス 清明ホール]
4	8月10日	茨城県 筑波大学 [東千田キャンパス 東千田未来創生センター M401/402講義室]
5	8月16日	福島県 福島大学 [筑波キャンパス 春日講堂]
6	8月17日	宮城県 東北大学 [川内北キャンパス C棟C200教室]
7	8月21日	東京都 日本体育大学 [世田谷キャンパス 記念講堂]
8	8月24日	静岡県 静岡大学 [静岡キャンパス 共通教育A棟201室 (A201)]
9	8月31日	富山県 富山大学 [五福キャンパス 黒田講堂 大ホール]
10	9月3日	北海道 北海道大学 [札幌キャンパス 学術交流会館講堂]
11	9月6日	福岡県 福岡大学 [中央図書館多目的ホール]
12	9月7日	大阪府 大阪経済大学 [大隅キャンパス D館 D10教室]
13	10月19日	広島県 広島大学 [東千田キャンパス 東千田未来創生センター M401/402講義室]

参加者数：約2,660名（学生 2,040名、教職員 620名）

参加大学数：208大学

(2) プログラム

- ①東京2020大会の概要と大学連携
- ②オリンピック・パラリンピックにおける大会ボランティアについて
- ③東京2020大会ボランティアの活動内容
- ④応募方法について
- ⑤募集後のスケジュールについて
- ⑥都市ボランティアについて

参加自治体 宮城県、福島県、茨城県、埼玉県、東京都、静岡県、札幌市、横浜市

- ⑦質疑応答



大会ボランティア募集説明会 参加大学一覧

No.	参加大学				
2018年7月31日(火) 15時～17時 説明会会場：上智大学		75	了徳寺大学	19	名古屋市立大学
1	愛国学院短期大学	76	麗澤大学	20	日本福祉大学
2	青山学院大学	77	早稲田大学	21	びわこ成蹊スポーツ大学
3	亜細亜大学	78	和洋女子大学	22	三重大学
4	大妻女子大学	2018年8月3日(金) 14時～16時 説明会会場：慶應義塾大学		23	明治大学
5	鎌倉女子大学	1	青山学院大学	2018年8月10日(金) 14時～16時 説明会会場：筑波大学	
6	神田外語大学	2	跡見学園女子大学	1	青山学院大学
7	北里大学	3	江戸川大学	2	茨城県立医療大学
8	共栄大学	4	亀田医療大学	3	江戸川大学
9	共立女子大学	5	神田外語大学	4	鹿屋体育大学
10	杏林大学	6	國學院大學	5	川村学園女子大学
11	群馬医療福祉大学	7	国際医療福祉大学	6	共愛学園前橋国際大学
12	國學院大學	8	国際教養大学	7	國學院大學
13	国際医療福祉大学	9	国際基督教大学	8	国際医療福祉大学
14	国際教養大学	10	埼玉県立大学	9	国際教養大学
15	国際基督教大学	11	産業技術大学院大学	10	国際基督教大学
16	国際武道大学	12	十文字学園女子大学	11	淑徳大学
17	国士舘大学	13	淑徳大学	12	順天堂大学
18	実践女子大学	14	首都大学東京	13	成蹊大学
19	芝浦工業大学	15	順天堂大学	14	聖徳大学
20	十文字学園女子大学	16	情報セキュリティ大学院大学	15	聖マリアンナ医科大学
21	淑徳大学	17	湘北短期大学	16	千葉県立保健医療大学
22	首都大学東京	18	昭和女子大学	17	千葉大学
23	順天堂大学	19	白百合女子大学	18	中央大学
24	城西国際大学	20	信州大学	19	東京家政大学
25	城西大学	21	成蹊大学	20	東京藝術大学
26	上智大学短期大学部	22	聖心女子大学	21	東京大学
27	昭和大学	23	聖マリアンナ医科大学	22	東京電機大学
28	女子栄養大学	24	大東文化大学	23	東京理科大学
29	白梅学園大学	25	玉川大学	24	常盤大学
30	白百合女子大学	26	千葉大学	25	日本女子体育大学
31	杉野服飾大学	27	中央大学	26	日本女子大学
32	成蹊大学	28	デジタルハリウッド大学	27	明治大学
33	聖心女子大学	29	東京有明医療大学	28	山梨学院大学
34	聖マリアンナ医科大学	30	東京医療保健大学	29	山梨大学
35	専修大学	31	東京家政大学	30	麗澤大学
36	創価大学	32	東京経済大学	2018年8月16日(木) 14時～16時 説明会会場：福島大学	
37	第一工科大学	33	東京工業大学	1	國學院大學
38	大東文化大学	34	東京女子体育大学	2	国際教養大学
39	拓殖大学	35	東京女子体育短期大学	3	大東文化大学
40	千葉商科大学	36	東京聖栄大学	4	東京理科大学
41	千葉大学	37	東京大学	5	福島大学
42	中央大学	38	東京電機大学	6	明治大学
43	デジタルハリウッド大学	39	東京都市大学	2018年8月17日(金) 13時～15時 説明会会場：東北大学	
44	東京医療保健大学	40	東京薬科大学	1	茨城県立医療大学
45	東京学芸大学	41	東京理科大学	2	岩手県立大学
46	東京家政大学	42	日本女子体育大学	3	国際教養大学
47	東京経済大学	43	日本女子大学	4	首都大学東京
48	東京藝術大学	44	星薬科大学	5	順天堂大学
49	東京工業大学	45	武蔵野大学	6	仙台大学
50	東京女子体育大学	46	明治大学	7	東京理科大学
51	東京女子大学	47	山梨大学	8	明治大学
52	東京大学	48	横浜市立大学	2018年8月21日(火) 14時～16時 説明会会場：日本体育大学	
53	東京電機大学	49	立教大学	1	青山学院大学
54	東京農工大学	50	立正大学	2	茨城県立医療大学
55	東京理科大学	51	立命館大学	3	江戸川大学
56	東邦音楽大学	2018年8月7日(火) 14時～16時 説明会会場：中京大学		4	大阪大学
57	東邦音楽短期大学	1	愛知医科大学	5	学習院大学
58	東邦大学	2	愛知医療学院短期大学	6	神田外語大学
59	東洋大学	3	愛知学院大学	7	共愛学園前橋国際大学
60	新潟大学	4	愛知県立大学	8	共立女子大学
61	日本女子体育大学	5	愛知淑徳大学	9	國學院大學
62	日本女子大学	6	愛知東邦大学	10	国際医療福祉大学
63	東日本国際大学	7	愛知みずほ大学	11	国際教養大学
64	フェリス学院大学	8	青山学院大学	12	国際基督教大学
65	文化学園大学	9	朝日大学	13	埼玉大学
66	文化学園大学短期大学部	10	鹿屋体育大学	14	静岡県立大学
67	明海大学	11	国際教養大学	15	信州豊南短期大学
68	明治大学	12	星城大学	16	東京理科大学
69	明星大学	13	中部大学	17	北陸大学
70	山梨学院大学	14	東海学園大学	10	山梨大学
71	山梨大学	15	東京藝術大学	2018年9月3日(月) 13時～15時 説明会会場：北海道大学	
72	横浜市立大学	16	東京理科大学	1	旭川医科大学
73	立教大学	17	名古屋外国語大学	2	大阪大学
74	立正大学	18	名古屋工業大学		
				21	昭和大学
				22	女子栄養大学
				23	女子栄養大学短期大学部
				24	白梅学園大学
				25	白百合女子大学
				26	杉野服飾大学
				27	成蹊大学
				28	聖徳大学
				29	西武文理大学
				30	洗足こども短期大学
				31	大東文化大学
				32	拓殖大学
				33	多摩大学
				34	多摩美術大学
				35	千葉商科大学
				36	千葉大学
				37	鶴見大学
				38	貞静学園短期大学
				39	東海大学
				40	東京家政学院大学
				41	東京家政大学
				42	東京工業大学
				43	東京女子体育大学
				44	東京大学
				45	東京電機大学
				46	東京都市大学
				47	東京理科大学
				48	東洋英和女学院大学
				49	東洋学園大学
				50	日本女子体育大学
				51	日本女子大学
				52	文教大学
				53	法政大学
				54	宮崎大学
				55	明治大学
				56	山梨大学
				57	横浜市立大学
				58	立教大学
				59	麗澤大学
				60	和洋女子大学
				2018年8月24日(金) 14時～16時 説明会会場：静岡大学	
				1	大阪大学
				2	國學院大學
				3	国際医療福祉大学
				4	国際教養大学
				5	静岡県立大学
				6	首都大学東京
				7	順天堂大学
				8	聖心女子大学
				9	中央大学
				10	東京家政大学
				11	東京藝術大学
				12	東京女子体育大学
				13	東京大学
				14	東京電機大学
				15	東京理科大学
				16	日本女子体育大学
				17	日本女子大学
				18	山口東京理科大学
				19	山梨大学
				2018年8月31日(金) 13時～15時 説明会会場：富山大学	
				1	秋田公立美術大学
				2	金沢学院大学
				3	金沢大学
				4	共愛学園前橋国際大学
				5	國學院大學
				6	上越教育大学
				7	信州豊南短期大学
				8	東京理科大学
				9	北陸大学
				10	山梨大学
				2018年9月3日(月) 13時～15時 説明会会場：北海道大学	
				1	旭川医科大学
				2	大阪大学
				3	小樽商科大学
				4	札幌国際大学
				5	札幌大学
				6	北翔大学
				7	北星学園大学
				8	北海学園大学
				9	北海道教育大学
				10	宮崎大学
				11	明治大学
				2018年9月6日(木) 13時～15時 説明会会場：福岡大学	
				1	鹿屋体育大学
				2	九州共立大学
				3	国際医療福祉大学
				4	国際基督教大学
				5	電気通信大学
				6	東海大学
				7	東京理科大学
				8	徳山大学
				9	長崎大学
				10	西九州大学
				11	日本大学
				12	宮崎大学
				13	明治大学
				14	山口県立大学
				2018年9月7日(金) 13時～15時 説明会会場：大阪経済大学	
				1	大阪青山大学
				2	大阪学院大学
				3	大阪観光大学
				4	大阪教育大学
				5	大阪市立大学
				6	大阪大学
				7	大阪保健医療大学
				8	鹿屋体育大学
				9	関西国際大学
				10	関西学院大学
				11	畿央大学
				12	京都外国語大学
				13	京都産業大学
				14	甲南大学
				15	神戸市外国語大学
				16	神戸女学院大学
				17	国際教養大学
				18	埼玉県立大学
				19	山陽学園大学
				20	滋賀医科大学
				21	四天王寺大学
				22	首都大学東京
				23	信州大学
				24	成蹊大学
				25	園田学園女子大学
				26	太成学院大学
				27	天理大学
				28	東海大学
				29	東京理科大学
				30	奈良教育大学
				31	奈良芸術短期大学
				32	兵庫教育大学
				33	びわこ成蹊スポーツ大学
				34	佛教大学
				35	三重大学
				36	宮崎大学
				37	和歌山県立医科大学
				38	和歌山大学
				2018年10月19日(金) 13時～15時 説明会会場：広島大学	
				1	環太平洋大学
				2	群馬大学
				3	比治山大学
				4	広島経済大学
				5	福山大学
				6	福山平成大学
				7	安田女子大学

東京2020 みんなのフードプロジェクト

日本の「食」を選手村アスリートへと届けよう！あなたのメニュー募集キャンペーン

組織委員会は、2019年8月8日～9月6日に、選手村カジュアルダイニング採用メニューを募集する「東京2020 みんなのフードプロジェクト 日本の「食」を選手村アスリートへと届けよう！あなたのメニュー募集キャンペーン」を実施しました。全国の連携大学に、このプロジェクトへの参加を呼び掛けるとともに、上位100作品を選定する二次選考審査員に、2017年7月に実施した「大学連携'17イベント 出張講座プログラムSpecial『学生が考えるアスリート飯（めし）』」に参加した、昭和女子大学の学生が参加しました。なお、審査の結果、本賞5作品、特別賞としてパートナー賞5作品、学生賞10作品、東北復興賞11作品が選定され、本賞5作品は、選手村カジュアルダイニングで、実際にメニューとして、提供されました。

日時：2019年9月28日（土） 13:00～16:00
会場：昭和女子大学（東京都世田谷区太子堂1-7-57）
参加者：11名



Tokyo 2020 "Make The Beat!" 応援プロジェクト発表会

組織委員会は、すべての出場選手を応援する「Tokyo 2020 "Make The Beat!" 応援プロジェクト」を発表しました。この発表会に、明治大学応援団が参加しました。SNS投稿で集まった、#2020beat動画は、東京2020大会期間中に、競技会場等で上映されました。

(1) 概要

日時：2019年9月6日（金） 11:00～11:40
会場：明治大学 駿河台キャンパスリパティタワー 1階「リパティホール」（東京都千代田区神田駿河台1-1）
出席者：土屋 炎伽（「2019 ミス・ジャパン」東京代表）
木嶋 真優（ヴァイオリニスト）
XTRAP（フィンガーパフォーマンスグループ）
明治大学応援団
三木 泰雄（東京2020組織委員会チーフ・テクノロジー・イノベーション・オフィサー）
ミライトワ（東京2020オリンピックマスコット）
ソメイティ（東京2020パラリンピックマスコット）

(2) プログラム

- ①プロジェクト紹介
- ②Tokyo 2020 "Make The Beat!" プロモーションビデオ放映
- ③明治大学応援団による三三七拍子
- ④明治大学応援団、ミライトワ、ソメイティ、ゲストによる"2020beat"実演



3. 大会の開催と大学連携

3.1 大会の延期と大学連携

組織委員会は、2020年3月24日、新型コロナウイルスの世界的感染拡大を受け、東京2020オリンピック・パラリンピック競技の開催を延期することを決定しました。そして、2020年3月30日に、東京2020大会の新たな開催期間を、オリンピック競技大会について2021年7月23日から8月8日、パラリンピック競技大会について2021年8月24日から9月5日とすることを発表しました。

世界中の人々の生活様式が大きく変わる中、大学連携もまた、あらたな活動を模索していきました。

出張講座プログラム online

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、多くの連携大学が、遠隔授業に移行しました。この状況を踏まえ、「出張講座プログラム」は、従来の対面講義形式を、ウェブ会議システムを活用したオンライン講義形式に変え、2020年度も継続していくこととしました。コロナ禍により、学生たちが、さまざまな出会いや経験の場を制限されていたことを考慮し、講義テーマも、その内容を一新しました。学生自身が、将来の社会問題を考えるきっかけになること、学生自身が今後のキャリア形成のヒントを見つけられること、などを目的に、テーマを選定していきました。

音声会話やチャットを手軽に活用することでコミュニケーションが充実し、学生が、活発に質問し、意見交換をする姿が見られました。また、遠方の学生同士がディスカッションを展開することもありました。この年に、当プログラムに参加した連携大学の半数は、初めての参加であり、また、福岡県や大阪府をはじめ、さまざまな地域から申込がありました。これまでには見られなかった、活動の広がりが生まれました。



(1) 受講学生からの感想 (一部抜粋)

- 今回のお話を聞いて、小さなことでも自分から1歩踏み出し何か新しい挑戦をすることで、それが自分にとっての大きな自信、強みになり、自分の将来を切り開いていくことができるということを学びました。講師の方は、大学の時に自ら情報を取り入れボランティアに参加し、また、リオ大会では自分にできる、自分が必要とされる仕事を見つけて積極的にしていた、というお話が印象に残っています。今までの私の大学生活を振り返ると、どちらかというと授業を受けたり課題をしたり、といった受動的な姿勢で過ごしてきました。しかしこれからは、ボランティアや校外での活動など様々なことにまず自分からチャレンジして、そこでの人との出会い、関わりを大切にしつつ、その体験をきっかけに自分の将来の道を広げていきたいと思いました。

(講義テーマ6「オリンピック・パラリンピックと私」受講学生より)

- オリンピックが延期となり、この空白の一年でやらなければいけないことがたくさんあるのだなと感じました。オリンピックがスポーツの祭典だけでなく文化の祭典として、教育を融合させ均整の取れた人間を目指すということで、私が目指している体育教員には、より工夫した教育が必要ではないかと考えました。高校の時にはあまり触れないオリンピックの単元を児童・生徒に学習させることがオリンピックを考えるきっかけとなり、均整の取れた人間を目指す上で重要になるのではないかと考えました。今回はキャリア形成を含め、自分がこれからどのようにしていくかを考えるきっかけとなりました。ありがとうございました。

(講義テーマ7「『オリンピック・パラリンピック文化』から学ぶキャリア形成」受講学生より)

- 講義を受講して、「好きを強く」することの重要性、またその好きを仕事にしていく魅力をとて感じました。その好きはもっと好きなことを見つけることに繋がり、それが自分に自信をつけ、何事でも挑戦していけるようになる。とても素晴らしいサイクルだと思いました。自分自身もう大学4年生になり、就職先もあまり好きなど考えずに決まってしまうと、正直心に刺さる言葉がたくさんありました。しかし、まだこれから先長く、好きを見つける時間はたくさんあると信じているので、今日のお話を忘れずに頑張っていきたいと思います。

(講義テーマ10「ファインダー越しに見るオリンピック・パラリンピック」受講学生より)

- 講師のお話を通して、世界中からの参加があり、様々な形で国際交流が行われるオリンピックだからこそ、国内外のメディアとのコミュニケーションが非常に重要で大事な役割を占めていることが分かりました。双方向の情報発信を大事にしているとありましたが、単に日本からの情報発信を行うだけでなく、他国がどのように報道しているかも把握することは規模の大きい大変な仕事であると思います。ですが、そのようなメディアとのコミュニケーションが世界中の人々との交流が可能としているのだな、と感じました。オリンピックが文化を伝えるきっかけとなっていること、アスリートやスポーツ関係者のみならず、たくさんの人の交流を生み出していることに改めて気がつきました。

(講義テーマ11「世界とつながるオリンピック・パラリンピック」受講学生より)

- 今回の講師の方々の話を聞いて、社会は障がい者をいらないものとして作られているという言葉が最も印象的でした。町中に体の不自由な人や障がい者のための設備があり自分としても認識できているつもりでしたが当事者から見ればまだ理解の足りないところもたくさんあるということに気づくことができました。障がい者のことはなってみないと分からないと思っていたし実際それは間違いではないと思うが、分からないなりに理解しようとする努力が必要だしその意識で社会はさらに誰にとっても平等に過ごしやすいものになっていくことができると感じました。パラリンピックについては中継でもあまり見たことが無かったのでブラインドサッカーなど来年開催されれば見てみたいと思いました。

(講義テーマ25「パラリンピックとその先の共生社会について」受講学生より)

(2) 2021年度以降の「出張講座プログラム」について

「出張講座プログラム」は、高等教育における、貴重な教育プログラムに成長しました。大会終了後も、本プログラムへのニーズがあることから、2021年度以降は、ともに運営を行ってきた、日本オリンピックアカデミー（JOA）に事業を継承し、プログラムを継続していきます。

出張講座プログラム 問合せ
特定非営利活動法人オリンピックアカデミー

メール：inform@olympic-academy.jp
URL：<https://olympic-academy.jp/>

出張講座プログラム 実施概要

	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	合計
テーマ数	2	25	40	49	50	25	—
実施回数	9	33	46	39	37	41	205
受講者数	1,465	5,421	3,973	6,885	6,162	2,768	26,674

【巻末：出張講座プログラム実施一覧】

大学連携イベント'20「Tokyo2020学園祭 online」

2017年度より開催してきた「Tokyo2020学園祭」シリーズは、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、集客型イベントでの実施が難しくなっていました。多くの連携大学においても、この年の学園祭の実施について試行錯誤する中、連携大学の1つである、早稲田大学の学生団体「VIVASEDA」の発案のもと、2020年の「Tokyo2020学園祭」は、オンライン形式で開催することを決定しました。

学生たちが、自ら企画し、東京2020大会で水泳会場となる「東京アクアティクスセンターの完成披露式典」取材しました。取材をもとに、クイズを交えた番組を制作し、学園祭当日は、ライブ配信を行いました。学生ならではの視点で、東京2020大会の準備が着実に進んでいる様子や、競技会場の迫力、競技観戦の楽しさを発信し、オリンピック・パラリンピックムーブメントを広げていきました。

(1) 概要

【事前取材 東京アクアティクスセンター 完成披露式典】

取材日：2020年10月24日（土）

会場：東京アクアティクスセンター（東京都江東区辰巳2-2-1）

【早稲田祭2020内「Tokyo2020学園祭 online」】

日程：2020年11月8日（日）

主催：公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会

協力：早稲田大学オリンピック・パラリンピック推進、VIVASEDA

配信：早稲田祭2020公式サイト内 公式Youtubeチャンネル

おもな内容：アクアティクスセンターや競技に関する情報を取材し、クイズ番組を制作し、学園祭当日に、ライブ配信を行った。

- ・会場内のバリアフリーの状況、サステナビリティへの配慮
- ・オリンピック・パラリンピックの国際基準を備えた会場の仕様について（規模、特徴、最新技術）
- ・緊急時の対策（医療、災害、天候への対策）



(2) 参加学生からの感想

VIVASEDAは2019年より、早稲田大学から東京2020大会の機運を醸成することを目的に活動を行っている団体で、私も設立時から所属しております。設立して間もない頃は手探りの中、活動を進めることも多くありました。そんな中でも、メンバー同士協力しながら東京2020大会に向けて積極的に多くのプロジェクトを始動させ、軌道にのせることができました。

しかし、2020年からは新型コロナウイルスの流行が始まり、予定していたプロジェクトは軒並み中止となってしまいました。更に、東京2020大会が延期され、メンバーの士気が下がっていると感ずることもありました。また、新型コロナウイルスへの対応や大会の延期で、活動スケジュールがほぼ白紙状態となってしまう、今後どのように活動をしたら良いかわからず、何もすることができない期間もありました。しかし、それでも団体としてどのように活動を継続させるか、何をすることができるのかを一生懸命考え、活動を継続しました。

そして、毎年11月に開催される早稲田大学の学園祭である早稲田祭2020がオンライン開催されることが決まり、VIVASEDAも「Tokyo2020 学園祭 online」と題して企画出展を行いました。この活動では視聴者の方に東京2020大会への関心を高めてもらうことを目的に、組織委員会ご協力のもと、東京アクアティクスセンターの施設取材を行い、その様子を動画編集して配信しました。取材を行って配信するための動画を制作するということは初めての経験で分からないことも多々ありましたが、団体設立時のように、手探りの中でもメンバー同士が協力しながら積極的に活動を行うことでなんとか企画を実現することができました。また、このTokyo2020 学園祭 onlineの経験も活かして、その後もVIVASEDAではオンラインのイベントや動画制作、配信を行う活動を実施することができました。

これらの経験を通じて、どのような逆境の中でも、工夫を重ねて粘り強く取り組むことの大切さを学ぶことができました。今では、VIVASEDAで活動を行うことができたことを本当に誇りに思います。また、大変な状況の中でも活動に多くの支援をしてくださった関係者の皆様に心から感謝しております。

早稲田大学
VIVASEDA代表
大井晃亮

ウェブ リザルト システム（競技結果表示システム）アクセシビリティ向上ユーザーテスト

東京2020公式ウェブサイトのアクセシビリティ向上を目的に、「ウェブ リザルト システム（競技結果表示システム）アクセシビリティ向上ユーザーテスト」を実施しました。このユーザーテストに、連携大学の1つである、筑波技術大学が参加しました。ユーザーテストでは、ユーザーが、「公式ウェブサイト求める情報を取得するまでのさまざまなケースから、目的の情報をスムーズに取得できるか」を検証しました。学生たちは、様々な側面から検証し、改善点について意見を交わしました。この意見は、東京2020公式ウェブサイトの改良に、活用されていきました。

（1）概要

期間：2020年11月4日～2020年11月13日

参加者：筑波技術大学在籍のスクリーンリーダー（音声読み上げソフト）または画面拡大ソフトウェアを使用する視覚障がいのある学生7名

テスト内容：ユーザーの行動を想定した複数タスクに対し、公式ウェブサイト上のアクセシビリティを検証。

※なお、テストは、新型コロナウイルス感染症拡大により、フルリモートで実施
（想定例）

- ・これからオリンピック・パラリンピックの競技を観戦したい
- ・バスケットボール男子3位決定戦の試合結果が知りたい
- ・今、パラリンピックで、日本がいくつのメダルを獲得しているか知りたい
- ・シットイングバレーボール男子決勝を観戦したい
- ・8月2日の陸上競技で出た、世界記録について知りたい

（想定に対する検証点）

- ・見やすい見出しやレイアウト
- ・認識しづらい特殊な文字や画像についての指摘
- ・ハイライト機能
- ・音声読み上げがしやすい競技結果表記 など

（2）参加学生からの感想

- 情報システム学科の学生としての、自分の知識や実力の足りなさ気付かされました。学びの多い機会となり、とても感謝しています。このような形で大会に関われたこと、誰もがより大会を楽しめるようになるお手伝いできたこと、非常に光栄に思います。活気のある大会になれば良いと思います。そのためには、一人でも多くの人に関わり、コンテンツを楽しめる必要があります。今回の活動でその一部に貢献できたのなら嬉しいです。
- 私にとって、今回のオリンピック・パラリンピックは、進化したITと、発展した日本の経済を、たくさんの人にアピールするとてもよい機会だと感じています。今回、ユーザーテストに参加でき、歴史に残る東京2020大会のお手伝いできたことを誇りに思っています。新型コロナウイルス感染症や災害で、思うようにイベントに参加できなかった人が、笑顔で2021年の夏を過ごせるような大会になると嬉しいです。
- 大会開催にあたっては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、過去大会とは違った工夫が求められるかと思います。そんな中、ユーザーテストという形で東京2020大会に関われたことは、日本人として、また視覚障がいがある者として、とても光栄に思っています。
- パラリンピック種目を何年もやっていることもあり、東京開催のオリンピック・パラリンピックには何らかの形で関わりたいと思っていました。今回のテストで、利便性とアクセシビリティの両立は非常に難しいということを感じました。ある人には使いやすいと感じるものは、もしかしたら他の誰かには使いにくいと感じているかもしれません。その中で、よりよい着地点を見つけるために本テストはとても有意義だと感じました。

東京2020アスリートサポートプログラム

*このプログラムは中止となりました

前年度より、東京2020大会に出場する、海外アスリートの家族や友人の滞在をサポートしながら、国際交流を体験する「東京2020アスリートサポートプログラム」の準備が進められていました。大会期間中、アスリートの家族等へ大学での滞在機会を提供し、ともにアスリートを応援する貴重なプログラムとして、参加大学では、学生募集が行われていました。本プログラムは、東京2020大会で初めての試みでしたが、大会延期に伴い、大会運営の簡素化や事業の大幅な見直しを図る必要性により、参加大学のご了承のもと、中止となりました。

(1) 概要

※2020年3月時点

期間：＜オリンピック期間＞2020年7月21日～8月12日まで

＜パラリンピック時＞2020年8月22日～9月9日まで

滞在先：大学が所有する学生寮、研修所など

主なサポート：空港での出迎えや、競技会場への案内、交通・観光案内など

参加大学：実践女子大学、首都大学東京、専修大学、玉川大学、東京都市大学

(2) 参加大学からのコメント（プレス発表資料より）

- 学生がアスリートの家族や友人と一緒に東京2020大会の盛り上がり体験できる素晴らしいプログラムだと思います。すでに多数の学生がこのプログラムに応募しており、グローバル社会を生きる学生にとって、この交流は極めて有意義な体験になると共に、一人ひとりのレガシーとなって心に刻まれるものになると期待しています。（実践女子大学）
- 本学では学生が大会に参加しやすい環境作りに取り組んでおり、このプログラムへの参加を通じて、学生が貴重な経験をし、大会の成功に貢献するとともに、学生自身の成長につながることを期待しています。（首都大学東京）
- 東京オリンピック・パラリンピック開催年の2020年に、専修大学は創立140周年を迎えます。日本にとっても本学にとっても記念となるこの年に、本学学生がサポート役として活躍してくれるだけでなく、国際的な視点と多様性を身に付け、将来日本を支えるグローバル人材として社会に貢献してくれることを期待しています。（専修大学）
- 玉川大学では全学部生が世界中の誰とでも意思疎通ができる英語を身に付ける取り組みをしています。その経験を活かしつつ、この機会にしかできない貴重な体験となることを期待しています。（玉川大学）
- 本学がこの世界初となるプログラムに参加できることを光栄に思います。また、選手のご家族が日本、東京そして本学 国際学生寮での滞在中を楽しめることを願うとともに、そのサポートにあたる本学学生が、本プログラムを通じて成長することを期待しています。（東京都市大学）

事前キャンプの受入調査

東京2020大会における新型コロナウイルス感染症対策は、選手村や競技会場と同様に、日本各地で行われる事前キャンプ地でも、重要課題となっていました。大学施設が、ホストタウン自治体、あるいは単独でキャンプ地となっているケースもあることから、今後の情報共有を図る目的として、全国の連携大学へ現状調査を行いました。

(1) 調査概要

内容：東京2020大会における事前キャンプの実施を予定しているか（国・地域、競技名）

調査期間：2020年10月～2021年1月

調査方法：インターネットを使ったアンケート形式、電話確認

*この結果は、国（内閣官房）、自治体、東京2020組織委員会による、新型コロナウイルス感染症対策調整会議にて報告されました。

大学連携協定の継続

大会が1年延期になったことに伴い、連携大学の関係者ならびに学生のみなさんから、引き続き、ご理解、ご協力をいただき、コロナ禍における新しい大会を成功へ導くため、大学連携協定の締結期間の延長を、全国の連携大学へ依頼しました。810校、全ての連携大学よりご同意いただき、協定期間は、2020年12月31日から、2021年12月31日に変更となりました。

3.2 大会の開催と大学連携

組織委員会は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、2021年7月8日、五者協議にて、東京2020オリンピックにおける無観客開催を、2021年8月16日、四者協議にて、東京2020パラリンピックにおける無観客開催(学校観戦事業を除く)を決定しました。大会の延期に続き、無観客開催となり、残念ながら、募集前に中止となったプログラム、募集後に中止となったプログラムもありましたが、連携大学や学生のみなさんご協力のもと、実施することができたプログラムもありました。そして、遠隔においても、みなさんの声援は多くのアスリートに届き、最高のパフォーマンスを発揮する大会となりました。

大学連携 情報保障プログラム

東京2020大会は、世界中の人々が、東京2020大会を通じて、「多様性と調和」の重要性を改めて認識し、共生社会を育む契機となり、そして、言語の違いや障がいの有無を互いに認め合い、誰もが参加できる大会となることを目指しました。その目的を実現する取り組みの1つとして、また、学生のみなさんに、アクセシビリティや多様性、共生社会について、理解を深める機会としていただくため、「大学連携 情報保障プログラム」を実施しました。学生のみなさんの気づきやご意見は、今後の情報保障の取組に、役立てられています。

(1) 概要

主催：公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会

参加者数：78名

対象競技と参加大学：

競技(オリンピック)	大学(団体)
馬術	駒澤大学(学生赤十字奉仕団)
バドミントン	中央大学(バドミントン部)
卓球	実践女子大学、法政大学、流通経済大学
アーチェリー	東京藝術大学、一橋大学、法政大学、武蔵野大学、流通経済大学、早稲田大学

【事前研修】

日程・会場：2021年6月19日(土) ウェブ会議システムによるオンライン開催(馬術)

20日(日) ウェブ会議システムによるオンライン開催(バドミントン)

26日(土) 実践女子大学渋谷キャンパス(卓球)

27日(日) 東京2020組織委員会オフィス(アーチェリー)

プログラム：第1部

- ① 東京2020大会と大学連携について
- ② 情報保障プログラムについて
- ③ 東京2020大会とダイバーシティ&インクルージョン

第2部

- ① 視覚障がい者への配慮
- ② 配信・競技について
- ③ アプリ操作方法・実技実習



東京2020大会に向けたD&Iの基本的考え方

1. 目的

東京2020大会ビジョンの实现には、ダイバーシティ&インクルージョンの推進が必要
D&Iを促進し、多様な人材がいきいきと活躍できる環境を築く
東京2020大会の計画・運営にD&Iの考えを反映し、誰もが安心してサービスを提供
スポーツルンダーや関係者などによるD&Iの推進を支援
大会終了後、東京2020で培ったD&Iの意識を一人ひとりが新たなフィールドで実践

2. アクションワード

Know Differences.
Show Differences.

東京2020大会組織委員会 広報課

1. 視覚の障がいについて

(3) コロナ禍での困りごと

コロナ禍で視覚障がいの方は、どのようなことに困っていると思いますか？

1. 視覚の障がいについて

<触覚の例>
・点字・触知地図

(参考) 凹凸のあるエンブレム

会場：馬術	馬事公苑（東京都世田谷区上用賀 2-1-1）
バドミントン	武蔵野の森総合スポーツプラザ（東京都調布市西町 290-11）
卓球	東京体育館（東京都渋谷区千駄ヶ谷 1-17-1）
アーチェリー	夢の島アーチェリー場（東京都江東区夢の島 2-1-4）

活動内容：大会時に、会場アナウンスの少ない競技会場に入り、競技会場内のビデオボードや競技フィールドを確認しながら、専用タブレットへ競技情報を文字入力し、専用アプリケーションに配信する。専用アプリケーションでは、文字での確認だけでなく、スマートフォンの読み上げ機能を活用することで、音声確認も可能となり、聴覚・視覚障がいのある方に有用となる。また、文字情報は、多言語表記が可能であり、日本語・英語・中国語（繁体字・簡体字）・韓国語・スペイン語・フランス語で確認することもできる。

④ アプリの改善案

学生さんに、アプリの使用感について、良い点・改善したいと思う点をヒアリング。

- 飛ぶ、飛ばない、失格、失点というのが馬鹿のポイントだと思うので、それが定型文にあればタイマーに伝えられると思う。臨場感につながる。
- 活動終了後に話し合う場を設け、こういった用語を定型文に追加しておくよなど話し合えて反復できるとよいのでは。
- 送信したことがわからないので、何度も打ったり、打たなかったりしてしまう。送信が成功していたらボタンの色が変わるとよい。
- 自由文の入力位置がはなれているので、どちらか（定型文・自由入力）に揃えたい。

⑤ 目を閉じて聞いた体験とその後の変化

お互いに目を閉じて、音だけで競技進行を感じてもらい、感想をもらった。その後の配信に違いはあったか？

● さん：

- 何がおきているのかわからない。飛んだ・失敗などがあるといい。
- 経験してみると、音（解説？）が少なすぎて不安だった。
- さっき何を聞いていたのか、戻って聞きたくなった。

変化：

体験前は入場・終了など定型文が多かったが、体験後は具体的な事象や起きている事など、入力内容に変化があった。

（※学生さんには感覚が鋭いとの指摘がなかったがゆえに、体験後の変化が大きかったのではという）

変化は次のページで・・・

⑤ 目を閉じて聞いた体験とその後の変化

定型文が多かった → さん体験前と体験後の配信内容

タイムアウト

競技開始です。

2021-08-08 17:00

2021-08-08 17:00

2021-08-08 17:00

2021-08-08 17:00

2021-08-08 17:00

2021-08-08 17:00

2021-08-08 17:00

2021-08-08 17:00

2021-08-08 17:00

➡

タイムアウト

競技開始です。

2021-08-08 17:00

2021-08-08 17:00

2021-08-08 17:00

2021-08-08 17:00

2021-08-08 17:00

2021-08-08 17:00

2021-08-08 17:00

2021-08-08 17:00

2021-08-08 17:00

淡々とした配信が多かっただけに、体験後のこの配信を聞いて驚いた。

その後も、具体的な役が起きているのかわかるよう入力が増えている。



- 東京2020大会の開催が決まった際、大学生のうちに大会に貢献できる活動に参加したいと思い、今回のプログラムに応募しました。活動の際、プログラムの趣旨でもあった「障がい者への配慮」という点をものすごく意識するよう心掛けました。競技におけるスコアをお伝えしていくのはもちろんですが、選手の表情やしぐさ、会場の雰囲気などを伝え、臨場感ある配信を心掛けました。プログラム終了後、参加前よりもふとした瞬間の日常生活の中で障がい者の方の立場に考える機会が増えました。
- コロナ禍だったこともあり、参加する前はとても不安でしたけど、実際に参加してみたら感染対策が徹底されていたので、安全にそして楽しく活動することができました。活動の際、試合を的確に伝えることを最優先に考えました。そして、会場に入れて実際に観戦できているという点から、雰囲気やCMで放送されていない場面も伝えようと心がけました。
- 馬術競技に参加しましたが、今回は直接視覚障がいの方にお伝えするボランティアではなかった中でも、自分たちも小さなことで役に立てることがあるのだと痛感しました。コロナ禍で本当に大会が開催するのかギリギリまで不安がありましたが、多くの人によって支えられていることを実際に会場に行けたことで強く感じました。活動を通じて、自分自身で目を瞑ってアプリ使って競技状況を確認し、配信内容の質を高めようと自分なりに工夫しました。今回の経験から、障がいに対する意識が変わり、また自分たちにできることを探してみたいと思うようになりました。

- 参加前は、オリンピックという世界的な大会なので、もっと厳格なイメージがありましたが、役員や多くのボランティアの方々が活動している姿を間近で感じ、オリンピックに対してのイメージが大きく変わりました。活動を通じて、視覚障がいの方には、会場の雰囲気や色味、どんな所でどんな人が試合をしているのか、もっと具体的に伝えたい、共有したいと感じました。
- 無観客開催の影響のため、競技会場は緊張感でピリついているのではないかと感じていましたが、実際の運営は和やかな雰囲気の中で行われていましたので、私もリラックスして活動に取り組むことができました。また、視覚障がいを持った方へのアプリ上でのサポートを実際に行ってみて、どのように会場の雰囲気を伝えれば視覚障がいを持った方でも楽しむことができるのかを工夫することの大変さを知ることができました。
- 無観客開催ということで、本来のボランティアとは内容が異なるものになったとは思いますが、このボランティアに参加したことで、障がい者の方のためのアプリがあることを知り、実際にそのアプリを配信する側と配信を見る側を経験できました。今回のオリンピックに対しては様々な意見がありましたが、参加してよかったと思いました。今後、障がい者の方が様々な場面でもっと生活しやすい仕組みやアプリなどがもっと増えてほしいと思いました。
- 今回のプログラムに参加する前は、オリンピック・パラリンピック自体にあまり関心を持っていませんでした。ですが、一日でもプログラムに参加して、その場の臨場感をボランティアという形で体験することができ、オリンピック・パラリンピックの魅力を感じることが出来ました。活動中は、私自身が当たり前に見えている景色とそこから感じる雰囲気を重点的に伝えるよう工夫しました。具体的には、競技のスコアを配信だけでなく、ユニフォームの色や応援席や監督の様子なども詳細に伝えるよう意識しました。
- 自分は運動が苦手で、参加競技のルールも何もかも分からない状態だったので、役に立てるかが不安でした。ですが、ペアの方にルールを教えていただいたり、配信システムの操作が簡単で、スクリプトも準備してくださっていたので、自分にもしっかり配信をすることができました。私は卓球競技に参加しましたが、競技に詳しくなかったのも、卓球に詳しくない人としてどんなところが印象に残ったかを伝えたいと思いました。また、本大会は完全無観客で行われて、そんな状況下でも実際に会場で試合を目にすることができたので、競技状況や会場全体の雰囲気が伝わるような配信を心がけました。視覚障がい者の方の目になろうと思い、色彩や試合中の選手の表情が伝わるように意識しました。
- コロナ禍での開催ということで、様々な意見がありましたが、スポーツが持つ人を勇気づける力、感動させる力、を現場で改めて実感することができました。活動の際は、視覚障がい者の方が配信を聞いていると想定し、実際に思い浮かべることが出来るような、端的にわかりやすく伝えられるように心掛けました。実際に自分が観戦する時何を聞きたいのかを考えながら、選手のこと、演技のことを詳細に伝えました。
- 今回のプログラムに申し込んだ当初は、コロナ禍で本当にプログラムを実施できるのかギリギリまで不安でした。ですが、実際に会場に行ってみると、感染症対策は徹底されていて安心して活動に取り組みました。活動中は、迅速かつ臨場感を伝えられるような配信を心掛けました。結果だけなら後でニュースを聞けば良いし、情報保障プログラムの良さはリアルタイムであることだと思いましたので、その場の盛り上がりやちょっとした動きも伝えるべきだと感じました。また音だけを頼りにする視覚障がい者からすると、音声途切れると不安になると思ったので、常に競技に関する情報を発信し続けるべきだと思いました。
- 人生に一度あるかないかのオリンピックに携わりたいと思ったため今回のプログラムの参加を決意しました。今までこのような情報保障プログラムがあると知りませんでしたが、活動を通じてとても良いプログラムだと思いました。今回のプログラムを今後も活用することで、全ての人が皆平等に同じ情報を取り入れられ、競技を観戦するにあたり、喜びをシェアすることなどができるようになると思いました。

「ゲームズ・エクスペリエンス・プログラム」への協力

これまでの大会における「ゲームズ・エクスペリエンス・プログラム」では、競技会場の視察が中心でした。しかし、東京2020大会では、参加者の学習をより充実させるため、学びに最適な場所を会場とし、また同時に、学生にとっての貴重な国際交流の機会とするため、競技会場へのアクセスなどの条件をもとに、連携大学の1つである明治学院大学で実施することを決定しました。運営には、2017年度「Tokyo2020学園祭」を機に設立した学生団体「明治学院大学MGオリンピック・パラリンピックプロジェクト実行委員会」の学生が参加し、参加者と交流を図りながら、運営をサポートしました。

ゲームズ・エクスペリエンス・プログラム (Games Experience Programme) について

将来の組織委員会（北京2022、パリ2024、ミラノ・コルティナ2026、ロサンゼルス2028等メンバー）が、大会期間中に、開催都市に来日し、IOC、IPCおよび東京2020組織委員会より、オリンピック・パラリンピック競技大会の運営を学び、現地現物の学習プログラム。

(1) 概要

期間：2021年7月14日（水）～9月5日（日）※準備期間含む

会場：明治学院大学 白金キャンパス 本館及び2号館の一部教室（東京都港区白金台1-2-37）

主催：国際オリンピック委員会（IOC）

国際パラリンピック委員会（IPC）

公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会

運営参加：明治学院大学MGオリンピック・パラリンピックプロジェクト実行委員会

参加者数：26名

主なサポート：学内での運営・誘導、競技会場等への視察の引率、等



(2) 参加学生からの感想

2013年9月に、東京でオリンピック・パラリンピックが開催されることが決定した時、当時の私はどのような形でも良いから、「東京2020大会に関わることをやってみたい!」と漠然と考えていました。その思いから、2017年の大学入学と同時に、MGオリンピック・パラリンピックプロジェクト実行委員会に所属し、東京2020大会成功に向け、様々なイベントを企画し実施してきました。コロナ禍以前の活動では、組織委員会職員の皆様や他大学の学生さんと協力し支え合いながら活動に従事し、活動を通じて、自分たちがやってきたことに自信を持つようになり、東京2020大会本番がさらに楽しみになりました。

本来、私が4年生の時に、大会を迎える予定でしたので、進学や授業等と両立できるように3年生までに必要単位数をとり終え、全力で大会に臨めるように準備してきました。そのため、大会延期が決まった時はとても悔しく、また残念な気持ちでいっぱいでした。延期後は、東京2020大会開催に関するマイナスな声なども聞かれ、今まで懸命に取り組んできた自分たちの活動に自信を持てなくなる時期もありました。また、延期後の2021年は、自分が学生ではなく社会人となっているため、これまで以上に積極的に活動できるのか不安に思う時もありました。しかし、今まで自分が取り組んできた活動を無駄にしたくない、何よりどんな状況下でも、東京2020大会成功に向け、自分ができることを取り組んでいきたい、という確かな思いから、在学時代から準備を進めてきたゲームズ・エクスペリエンス・プログラムへ、大学OGとして参加することを決意しました。

プログラム中は、普段の生活では関わり合えない人たちと一緒に活動ができ、毎日が楽しかったです。活動の中では受付業務や街頭誘導に取り組み、その際、コロナウイルス感染対策のため、学生や一般の方と接触しないよう意識しながら活動に従事してきました。活動中、文化の違いや言葉の壁に苦勞する場面もありましたが、対応した、将来の組織委員会のメンバーの方々からの感謝や励みの言葉をいただき、前向きに活動することが出来ました。また、活動を通じて出会った方々から、大会準備や運営に関するエピソードを教えていただいたり、様々な競技会場へ直接赴くことができたので、オリンピック・パラリンピックへの関心が高い私にとって、貴重な財産となりました。

大会延期や無観客開催など、活動を始めた時に思い描いていた大会とは少し違うものになってしまったけれど、それでも今は、大会が決まった時からの自分の願いを叶えることができとても嬉しく思っています。

私たちの活動参加を可能にくださった関係者の皆様に心より感謝申し上げます。

明治学院大学

MGオリンピック・パラリンピックプロジェクト実行委員会

鈴木星彩

OISスポーツ・レポーター・プログラム

東京2020大会を通じて、国際的なスポーツジャーナリズムを体感し、将来、スポーツジャーナリストやニュースメディアの職業を目指す学生の育成・支援を目的とし、東京2020大会で、初めて実施されました。トレーニングプログラムを経て、選出された「ヤングレポーター」は、東京2020大会期間中、チームの一員として、世界一流の経験豊富なスポーツ記者や編集者たちとともに、取材・編集活動の一翼を担いました。

オリンピックインフォメーションサービス (Olympic Information Service / OIS) について

IOCによって、平昌2018大会より、初めて導入された、オリンピック・パラリンピック大会における公式情報サービス。各競技会場にレポーターを配置・取材し、大会関連情報（スポーツのプレビューやレビュー、競技や記者会見での記事、アスリートのインタビューなど）を、インフォメーションシステムを通じて、正確に、タイムリーにメディアに提供する。

(1) 概要

主催：国際オリンピック委員会 (IOC)

公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会

応募者数：46名

参加大学：朝日大学、亜細亜大学、鹿屋体育大学、京都外国語大学、皇學館大学、首都大学東京、順天堂大学、上智大学、聖心女子大学、専修大学、筑波学院大学、筑波大学、津田塾大学、テンプル大学ジャパンキャンパス、東海大学、東京国際大学、東京都市大学、東北学院大学、新潟大学、日本女子大学、福岡大学、法政大学、明星大学、横浜国立大学、横浜市立大学、早稲田大学

【トレーニングプログラム】

ワークショップ 日程：2019年6月1日、2日

会場：東京2020組織委員会オフィス（晴海トリトンスクエア）

ライブトレーニング 日程：2019年8月7日～11日（ボート）、8月12日～14日（馬術）

会場：海の森水上競技場（ボート）、馬事公苑、海の森クロスカントリーコース（馬術）

トレーニングの内容：テストイベントの現地に入り、競技会場内の確認や、競技やアスリートについての事前学習を行ったあと、アスリートのインタビューを行うミックスゾーンに入り、競技を終えてやってくる選手へ、インタビューを行った。インタビュー内容をもとに、記事をおこし、メディアに配信をした。



【大会期間中】

日程：2021年7月24日（土）～8月8日（日）

活動場所：各競技会場、メインプレスセンターなど

活動内容：「ヤングレポーター」として、選手のインタビューやレポート、ライティング等の業務を行った。

参加者数：計8名

参加大学：朝日大学、鹿屋体育大学、皇學館大学、首都大学東京、東北学院大学、法政大学、横浜国立大学、早稲田大学

参加者の感想

- オリンピックという大きなイベントの場で国際的なスポーツジャーナリズムを体感することができ、これからの自分のキャリア形成に非常に有意義な経験となった。

ブロードキャスティング・トレーニング・プログラム (BTP)

オリンピック・パラリンピックを通じて、国際経験、放送技術、メディア知識の充実やキャリア形成の機会を提供することを目的に行われるインターンプログラムです。これまでの開催国においても、オリンピック放送機構 (OBS) によって実施され、世界中で11,000人以上の学生が参加しました。東京2020大会においても、日本の大学生・留学生を対象に、参加者を募集しました。プログラムは、すべて英語で行われ、学生たちは意欲的に参加し、貴重な経験を得ることができました。

オリンピック放送機構 (Olympic Broadcasting Services / OBS) について

夏季・冬季のオリンピック・パラリンピック大会と国際オリンピック委員会総会ごとに設けられる国際放送センター (IBC) を構築し、テレビ・ラジオによるオリンピック放送の国際信号を制作して、オリンピック中継を行う権利を持つ各国の放送事業者 (RHB) に向けて配信するホスト放送機構。

(1) 概要

主催：オリンピック放送機構 (OBS)

協力：BTPパートナー大学 (上智大学、東京外語大学、東京大学、早稲田大学)、株式会社パソナ

参加大学：青山学院大学、学習院大学、鹿屋体育大学、関西学院大学、神田外語大学、慶應義塾大学、神戸市外国語大学、神戸大学、国際医療福祉大学、国際教養大学、国際基督教大学、埼玉大学、首都大学東京、上智大学、上智大学短期大学部、昭和女子大学、昭和大学、白百合女子大学、信州大学、成城大学、清泉女子大学、創価大学、千葉大学、中央大学、中部大学、筑波大学、津田塾大学、テンプル大学、東海大学、東京医療保健大学、東京外国語大学、東京工芸大学、東京女子大学、東京大学、東京農業大学、同志社大学、東北学院大学、東洋大学、南山大学、日本大学、一橋大学、法政大学、北星学園大学、北海道教育大学、北海道大学、武蔵野大学、明治学院大学、明治大学、横浜国立大学、横浜市立大学、立教大学、立命館大学、早稲田大学

【トレーニング期間】

期間：2019年10月5日 (土)～11月30日 (土)

※上記期間内にて、共通研修 (1日) と職種別研修 (2～5日) に参加。

会場：各BTPパートナー大学のキャンパス及び国際放送センター

参加者数：1,880名 (日本人大学生：1,126名、国内留学生：754名)

トレーニングコース

実際の現場で使われる機材に触れながら、世界の放送業界の専門家からトレーニングを受ける。

- Archives：競技映像のロギング (メタデータ付与、保存) と映像データの流れ
- Broadcaster Support：OBSによる放送関係者の支援
- Commentary：実況機材の操作、実況・音声の仕組み
- Games Services：OBSのロジスティクスオペレーション及び国際放送センターの設営・運営
- Office Support：OBSの本部の役割、事務職の業務
- Olympic Channel：OBS独自のコンテンツ制作及びPR施策、オンライン配信
- Production：競技会場外のコンテンツ制作
- Venue Operations：競技会場運営補助、競技会場内の映像制作



【インターンシップ期間】

期間：2021年7月中旬～8月上旬（平均21日間）

会場：各競技会場、国際放送センター、その他OBS関連施設

参加者数：1,217名（日本人：644名、国内留学生：267名、海外からの参加者：306名）

インターンシップコース

放送関連施設内の150以上のポジションにて、制作クルーのサポート、競技映像の簡易編集、映像の保存作業、オフィスワーク、翻訳・通訳の支援等に就業



（2）参加者の感想

- 大学卒業後のキャリアに対する視野も、自分の人脈も広げる貴重な機会だった。
 - 英語を使って様々な分野で挑戦できる自信がついた。
- など

「東京2020公式アートポスター」のキャンパスでの掲出

20世紀の初頭より、各開催国は、オリンピック・パラリンピックの認知と理解を促進するために、公式ポスターを制作してきました。オリンピック・パラリンピックのポスターは、各大会の特色を世界に伝える役割を果たし、近年では、文化的・芸術的レガシーとなる作品を制作するようになりました。

東京2020大会においても、国内外のアーティストに、オリンピックまたはパラリンピックをテーマにした芸術作品を制作いただきました。大会期間中、連携大学のキャンパス内に、ポスターを掲出いただき、多くの学生に、「東京2020 公式アートポスター」に触れていただきました。

(1) 概要

期間：2021年7月23日より

対象：競技会場のある都道府県（北海道、宮城県、福島県、茨城県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県、静岡県）に所在する連携大学334大学

(2) 連携大学での掲出例



茨城大学



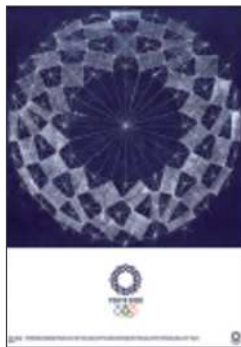
埼玉工業大学

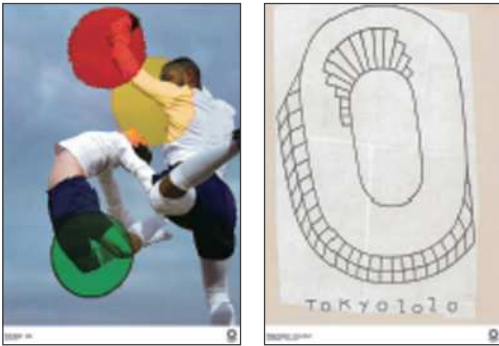


湘北短期大学

(3) ポスターの種類

公式アートポスター（オリンピックをテーマとする作品）





公式アートポスター（パラリンピックをテーマとする作品）



「東京NIPPONフェスティバル」への参加

「東京2020NIPPONフェスティバル」では、組織委員会が主催する3つのプログラムに加え、全国の自治体や文化芸術団体等と連携して実施する「共催プログラム」を行いました。日本を代表する様々な文化・芸術を国内外に強く発信することを目指しました。

東京NIPPONフェスティバルについて

リオ2016大会以降、日本全国で展開してきた文化プログラムの集大成として、世界の注目が日本・東京に集まる2021年4月から9月にかけて、開催しました。文化プログラムは、オリンピック憲章におけるオリンピズムの根本原則「スポーツと文化、教育を融合させ、生き方の創造を探究することで、平和な社会の推進を目指すもの」であり、オリンピック・パラリンピックがスポーツの祭典であると同時に、平和の祭典と言われる所以です。

「東京NIPPONフェスティバル」共催プログラムに参加した連携大学

多摩美術大学	「現代日本画の系譜-タマビDNA展」	世界の人々に日本人の心のありように触れてもらい、日本画および日本文化の魅力を世界に発信。
筑波大学	リボン・アートボール2020展	使い古したスポーツ競技用のボールに絵を描いたり、工作をしたりして、アートの力で再生させる取り組み。
東京藝術大学	TURN	障がいの有無、世代、国籍、住環境等の背景や習慣の違いを超えた、多様な人々の出会いによる相互作用を、表現として生み出すアートプロジェクト。

連携大学におけるパブリックビューイング

競技会場外で、競技中継を通じて、誰もが競技観戦を楽しみ、大会の感動と興奮を感じることができるパブリックビューイングは、連携大学においても、かねてより、関心が高く、さまざまな大学で計画されていました。新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、多くの連携大学で中止となりましたが、オンライン観戦や自宅観戦によって、地元や母校のアスリートを応援しました。

(1) 連携大学での実施

連携大学の1つである甲南大学では、国立競技場で行われた東京五輪・陸上女子4×100mリレー予選に在学中の青山華依選手が出場し、キャンパス内でパブリックビューイングが実施されました。感染対策を徹底した上、学内関係者のみの実施となりましたが、学生・教職員一同で、青山選手を懸命に応援しました。

日程：2021年8月5日（木）

会場：甲南大学 岡本キャンパス iCommons Agora, Agora West

競技：東京五輪・陸上女子4×100mリレー予選

参加対象：甲南大学関係者のみ

参加者数：約40名

参加者の感想

- 感染予防のため声援ではなくスティックバルーンを使用して、学生、教職員が一丸となって応援することができた。
- 大舞台で輝く彼女に感動と尊敬しかない。同じ競技に取り組んでいる私も頑張ろうと思いました。



みんなの応援！NHK「世界を応援しよう！」×大学連携 連動企画

NHKは、世界200超の国・地域の「応援コール」を紹介する「世界を応援しよう！」プロジェクトを立ち上げました。そして、このプロジェクトをもとに、全国からの応援を世界に届けるため、「あなたの応援動画大募集」を開始しました。連携大学では、学内で撮影会や撮影講座が開かれ、学生のみならず、職員のみなさんからも、多くの動画を投稿いただきました。集まった動画は、NHKの番組やホームページで紹介され、また東京2020組織委員会が取り組んだ「TOKYO 2020ShareThePassionプロジェクト」とも連携し、競技会場のビデオボードや選手村で上映されました。無観客開催の中、新しい形で、世界中の選手たちにエールを送りました。

NHK 世界を応援しよう！ウェブサイト <https://sports.nhk.or.jp/dream/cheer/>

大会期間中の大学施設の協力

大会の運営には、競技会場だけでなく、さまざまな施設が必要です。連携大学においても、施設の貸し出しについて、多くのご協力をいただきました。

	使用用途	使用期間
日本体育大学 東京・世田谷キャンパス、 横浜・健志台キャンパス	野球・ソフトボール 競技練習会場	2021年7月～8月
早稲田大学 東伏見キャンパス	近代五種（馬術競技）練習会場	2021年5月～9月
東北学院大学 多賀城キャンパス	宮城スタジアム付近 シャトルバス待機所	2021年7月28日及び7月31日
国立大学法人 東京外国語大学	武蔵野の森公園（自転車ロード） ①大会関係車両の乗降場＜ロータリー＞ ②コントラクター等の集合・待機場所＜会議室ほか＞	①2021年7月22日～7月25日 ②2021年7月19日～7月25日
学校法人北海道科学大学 （北海道科学大学高校）	札幌大通公園付近 路上競技運営スペース ボランティア集合場所	2021年8月6日～8月8日
学校法人北海学園	札幌大通公園付近 路上競技運営スペース ボランティア集合場所	2021年8月6日～8月8日
北海道大学	札幌大通公園付近 路上競技運営スペース ボランティア集合場所	2021年8月6日～8月8日
武蔵野大学 有明キャンパス4号館	トーキョーウォーターフロントシティ 運営拠点、警備・誘導員控室	2021年7月16日～9月12日

*都合により、一部施設の掲載は割愛しています。

東京2020ライブサイトin2020

*このプログラムは中止となりました

リオ2016大会、平昌2018冬季大会での反響を踏まえ、「東京2020ライブサイトin2020」においても、連携大学に在籍する学生のステージイベントを計画していました。2019年度の募集では、計40大学70団体からの応募があり、最多の応募数となりました。連携大学や学生たちの意向を踏まえながら、コロナ禍での実施に向け、来場者数の大幅削減や、事前申込制導入による来場の分散化など、様々な可能性を検討しましたが、感染状況の悪化によって、人流対策を見直すこととなり、すべてのステージが中止となりました。

また、地方自治体が主催する「コミュニティライブサイト」においても、地方自治体とともに連携大学での実施が計画されていましたが、連携大学で行われるコミュニティライブサイトは、感染状況を踏まえ、残念ながら、すべて中止となりました。

(1) 概要

※2020年3月時点

全ライブサイト会場のうち、下記会場にて「大学連携 ステージイベント」が計画されていました。

期間：＜オリンピック期間＞2020年7月24日（金）～8月9日（日）

＜パラリンピック期間＞2020年8月25日（火）～9月6日（日）

会場：＜東京都＞都立代々木公園、都立井の頭恩賜公園、高輪ゲートウェイ駅前用地

＜岩手県＞盛岡城跡公園 多目的広場 ＜宮城県＞勾当台公園

＜福島県＞鶴ヶ城公園

＜熊本県＞熊本城ホール

＜茨城県＞茨城県庁

＜埼玉県＞ソニックシティ、朝霞市立総合体育館、狭山市市民会館

＜神奈川県＞片瀬東浜海水浴場、小田原城址公園

主催：公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会

共催：東京都、茨城県、埼玉県、埼玉県朝霞市、埼玉県狭山市、神奈川県

応募大学：40大学

応募団体：70団体

(2) 東京都ホームページ（特設ウェブサイト）上での公開

東京都では、東京都が主催する、大学連携ステージイベントに出演予定だった40団体のうち、希望する団体を対象に、パフォーマンス内容等を収録し、大会期間中に、東京都ホームページ（特設ウェブサイト）上で動画を公開しました。

公開場所：東京都ホームページ（特設ウェブサイト）内、「おうちde楽しむ！スペシャルパフォーマンス from東京」「おうちde楽しむ！スペシャルパフォーマンス from東北&熊本県」

開設期間：2021年7月21日～9月30日

参加団体数：7団体

参加者数：68名

参加団体：Go Beyond（上智大学）、桜風エイサー琉球風車（桜美林大学）、新体操競技部（東京女子体育大学・東京女子短期大学）、応援団（中央大学）、ダブルダッチサークル（岩手県立大学）、ルネッタカルテット（東京音楽大学）、体育会応援団リーダー部（熊本大学）



(3) 応募大学及び応募団体（2020年3月時点）

大学名	団体名
愛知教育大学	あやめ
石巻専修大学	石巻専修大学 ダンス愛好会
茨城大学	茨城大学吹奏楽団
茨城大学	茨城大学大道芸サークルスウェット組合
茨城大学	Cherry's
岩手県立大学	吹奏楽サークル
岩手県立大学	ダブルダッチサークル ROPE A DOPE
岩手県立大学	Re:thrum
桜美林大学	桜風エイサー琉球風車
大阪大学	FtoS
沖縄科学技術大学院大学	チャタジービデッシュ
お茶の水女子大学	狂言研究会
お茶の水女子大学	モダンダンス部
北里大学	北里大学北里三陸湧昇龍部
熊本大学	熊本大学体育会応援団リーダー部
熊本大学	熊本大学体育会応援団チアリーダー部
神戸大学	神戸大学アメリカンフットボール部 チアリーダー RAVENS
神戸大学	神戸大学アコースティックサークルArpeggio
埼玉大学	Swing Cube Jazz Orchestra white band
静岡大学	静岡大学よさこいサークルお茶ノ子祭々
実践女子大学	礼法研究部
実践女子大学	アカペラサークルJAC ～ Jissen Acappella Club ～「夢だけど！」
実践女子大学	実践女子大学YOSAKOIソーラン部WING
実践女子大学	実践女子大学マンドリンクラブ
実践女子大学	実践女子大学同短期大学部 日本舞踊研究部
四天王寺大学	IBUチアリーディングクラブ DEERS
四天王寺大学	四天王寺大学 和太鼓同好会
首都大学東京	首都大学東京吹奏楽団
上智大学	ソフィア オリンピック・パラリンピック 学生プロジェクト Go Beyond
白百合女子大学	チアリーディング部 RECKLESS
成蹊大学	成蹊大学 吹奏楽団
中央大学	和太鼓サークル 鼓央
中央大学	中央大学応援団
中央大学	中央大学タップダンスサークル Freiheit
中央大学	中央大学ソングリーディング部 GarnetGirls

大学名	団体名
テンプル大学	堀内理沙
東京医療保健大学	Jasmine
東京音楽大学	MG5
東京音楽大学	KOE NO KAI
東京音楽大学	CROSSOVER
東京音楽大学	Lunetta
東京音楽大学	Sor d'or 5
東京外国語大学	東京外国語大学アカペラサークルLINES
東京外国語大学	東京外国語大学チアリーディング部 RAMS
東京外国語大学	東京外国語大学KPOPカバーダンスサークルSouls
東京学芸大学	東京学芸大学ウインドアンサンブル
東京家政大学	長谷川 愛
東京家政大学	東京家政大学チアリーディング部HONEYBEES
東京国際大学	Mellow Dolphin Jazz Orchestra
東京女子体育大学	ストリートダンス部
東京女子体育大学	チアリーディング部
東京女子体育大学	ダンス部
東京女子体育大学	新体操競技部
東京理科大学	東京理科大学 Yosakoi ソーラン部
東京理科大学	和太鼓サークル樹
東北学院大学	東北学院大学応援団
東北大学	東北大学ブルーグラス同好会
東洋大学	Tomboys☆
常磐大学	Boogie Train
常磐大学	伝統文化研究会
獨協大学	折原 康晃（1人）
名古屋工業大学	MKC
フェリス女学院大学	フェリス女学院大学チアリーダー部Mastiffs
フェリス女学院大学	ベリーダンス部JAMIL
福島大学	福島学生“源種”～seed～
文京学院大学	文京学院大学 ソングリーディングダンスチーム LEOPARDS
横浜市立大学	横浜市立大学応援団チアリーダー部SEAGULLS
横浜市立大学	Second Wind Jazz Orchestra
立教大学	立教大学よさこい連 百合文殊
立教大学	手話サークル Hand Shape

分別ナビゲーター

*このプログラムは中止となりました

これまでの大会では、会場等での細かい分別が行われず、リサイクルに課題がありました。東京都は、東京2020大会を持続可能な大会とするとともに、ごみの再資源化を促進し、この活動を通じて、サステナビリティ意識の向上に繋げることを目的に、「分別ナビゲーター」活動を計画しました。無観客開催となったため、本プログラムは中止となりましたが、多くの学生から応募をいただき、学生の関心の高さを示す結果となりました。

(1) 概要

※2021年4月時点

競技会場等の観客に向け、ごみを種類別に分別するよう案内する「分別ナビゲーター」を募集。

期間：＜オリンピック期間＞2021年7月23日（金）～8月8日（日）

＜パラリンピック期間＞2021年8月24日（火）～9月5日（日）

実施会場：東京2020大会の都内競技会場（オリンピックスタジアム、東京体育館、有明アリーナ、武蔵野森総合スポーツプラザ）、及びライブサイト会場（都立代々木公園・都立井の頭公園）

主催：東京都環境局

対象：都内の連携大学に在籍する学生

応募者数：計681名

応募大学：青山学院大学、桜美林大学、お茶の水女子大学、学習院大学、北里大学、共立女子大学、恵泉女学園大学、國學院大學、国士舘大学、駒澤大学、札幌市立大学、実践女子大学、首都大学東京、順天堂大学、上智大学、専修大学、創価大学、千葉大学、中央大学、津田塾大学、帝京大学、電気通信大学、東海大学、東京大学、東京医科歯科大学、東京外国語大学、東京学芸大学、東京経済大学、東京藝術大学、東京工業大学、東京農工大学、東京薬科大学、東京理科大学、東邦大学、東洋大学、日本女子大学、日本体育大学、一橋大学、二松学舎大学、法政大学、明治学院大学、立教大学、早稲田大学、他

4. 大学連携を振り返って

2021年9月5日、東京2020パラリンピック大会の閉会式を迎え、東京2020大会は、閉幕しました。大会終了後も、各連携大学では、活動の総括や、新しい未来に向けたチャレンジが続いています。

長年にわたり、オリンピック・パラリンピックの意義や理念を研究され、大学連携の活動を支えていただいたみなさまに、それぞれの想いやご意見をいただきました。

大学連携の活動を振り返って

2014年6月23日、早稲田大学にて、日本全国の大学・短期大学552校と、東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会と連携協定の締結を行なった。協定を結んだ数は、最終的に810校に達したが、これだけの数の高等教育機関が、大会組織委員会と協定を結ぶのは、オリンピック・パラリンピックムーブメント史上、初めてのことである。

連携の内容は、次のようなものであった。

1. 人的分野及び教育的分野
2. 大会に関わる研究分野
3. 大会の国内PR活動
4. オリンピック・ムーブメントの推進やレガシーの継承

協定を結んだ後に、全国各地でシンポジウムなどを行い、各大学の意見や要望を聞いた。どの大学も東京2020大会に向けて、自身の大学における特徴的な取り組みを模索していた。オリンピックやパラリンピックに関する大学における講座の開設を目指す大学も多くあった。芸術関連や体育・スポーツ学関連の大学が連携して新しい創造的な取り組みも行われた。それらをもとにして、医学医療系、栄養食物系、国際交流系の大学や学部が連携して、研究成果のもと新たなムーブメントを形成するということを構想したが、残念ながらそこまでは至らなかった。十分な予算とマンパワーがなかったことなどによるが、その後の展開は首都圏中心になってしまった感が否めない。新型コロナウイルスの影響もあり、全国規模のムーブメントとして十分に維持できなかった点が反省として残る。

それでも各大学で、オリンピック・ムーブメントやパラリンピック・ムーブメントに関する講義や講座が開かれた点や、学生サークルと連携してTokyo2020学園祭が行われたことは成果としてあげていいだろう。特に日本オリンピック・アカデミーの協力を得て、さまざまな視点からオリンピックやパラリンピックについて出張講義が継続してできたことは、今後のレガシーとしても重要ではないかと思う。第32回オリンピックアードは2023年年末までであり、そこまでは我々の責任範囲である。コロナ禍によりオンラインでの講義形式の経験も積んだので、オリンピックやパラリンピックに関する動画教材を関係機関と連携してシリーズものとして製作し、今後のオリンピック・パラリンピック関連の講座や講義に益することができれば、大学連携を実施したことの意味も大きくなると思う。

大学連携検討会委員長
東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会参与
筑波大学特命教授
真田 久



東京2020大会における大学連携について

パラリンピックを通して大学生が経験することは何か。大学連携のスタートにあたって、「パラリンピックを身近で経験した大学生の（変容した）姿をイメージすることから始めましょう」と提案した。オリンピック憲章、オリンピックムーブメント、オリンピック教育には明文化されたものがあるが、パラリンピックにはそれがなかった。方向性が定まらないことには、何をどうやって展開していいのか検討できないので、まずはゴールについての共通イメージを持ちたい。パラスポーツ、パラリンピック、障がい者スポーツという用語から抱くイメージも解釈も人それぞれであろう。

そのような中、オリンピック・パラリンピック教育に関する有識者会議（2016）は「パラリンピックについての学び」と「パラリンピックを通じた学び」が必要であるとし、平成29年告示の学習指導要領にパラリンピック教育の推進が明記されたのは画期的なエポックである。1964年の東京パラリンピックは「障がい者がスポーツをする」ということを社会に発信し、1998年の長野パラリンピックは「障がい者スポーツから競技スポーツ」へのパラダイムシフトとなった。そして迎える東京2020パラリンピックは、「スポーツを通じた共生社会」への契機になると捉え、大学生が自分にできることを自ら探し、できる形で「する」という意識と実践力の高まりを期待した。さらに今大会はテレビやインターネットでほとんどの競技が配信されたこともパラリンピックとして画期的であった。会場での観戦はかなわなかったが、「見る」機会は提供された。あとはどのくらいの人が「観た」かである。

コロナ禍で様々な活動が制限されても、パラアスリートは自分の置かれた環境で常にできることを模索し、トレーニングを続けていた。障がいによっては、感染リスクを避けるために全く外に出られない環境と対峙するアスリートもいた。しかし常に工夫をしながらできる形を模索するパラアスリートの姿を通して、これは「私たちの生活でも同じではないか」ということに気づいたことであろう。社会には様々な人が生活し、抱える障壁もそれぞれ違う。競技のスタートラインに立つまでに、一般の人たちには気づかれぬ多くの障壁があるパラアスリート、同様に社会にもそれぞれの事情で障壁を抱えてスタートラインに立てない状況にある人がある。その存在にも思いを巡らせることができれば、共生社会へのスタートラインに立てたのであろう。しかし、ここからが本当の意味でのスタートである。大会開催がゴールではない。パラリンピックムーブメントとして今後につながっていくことを願っている。

最後に、東京大会で披露されたIPCの新しいキャンペーン「#WeThe15」も興味深いのでぜひご覧いただきたい。

大学連携検討会委員
筑波大学准教授
齊藤 まゆみ



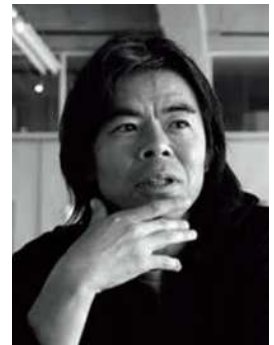
伝えるために

アスリート（表現者）は自己の身体を通して他者（自分以外の全ての人々）にあることを伝えようとしている。近代オリンピック競技であるマラソンは古代ギリシャのマラトンの戦いの戦士の活躍が起源になっている。戦士は自国に勝利（援軍という説もある）を伝えるために走った。遠くにいる仲間に伝えるために、ここにはいない仲間に伝えるために、ここにくることができない仲間に伝えるために、ここの様子を得ることができない仲間に伝えるために走った。

無観客で行われた東京オリンピック・パラリンピックにおいてスタジアムには観客はいなかった。その様子を伝えるために大学生が観客席にいた。スタジアムに来ることができない仲間に伝えるために、遠くにいる仲間に伝えるために、ここにはいない仲間に伝えるために、ここにくることができない仲間に伝えるために、ここの様子を得ることができない仲間に伝えるために、視覚障がいを持ち競技の情報を得ることができない人のために自分が感じたことを文字にして競技場の空間と一緒にいるアスリートの表現の末端の器官となり伝えた。

情報保障プログラムに参加した大学生はアスリートの息遣いを感じ取り、アスリートの身体が拡張された空間に包まれて、その空気感に反応した己の感覚から発信した言葉を視覚障がい者にアスリートの一部となり伝えた。この体験をした大学生はこの貴重な感覚を身体に備えて、多様性が求められる現代社会の中で活躍して行くであろう。

大学連携検討会委員
東京藝術大学美術学部長・教授
日比野 克彦



大学連携を振り返って

オリンピック、パラリンピック・ムーブメントは、若い世代を中心的な対象とするスポーツを通じた教育活動である。この観点では、本大会における大学連携の取り組み（以下、大学連携）は、オリパラ教育と並び、大会デリバリー以前のムーブメント活動として、最も重点が置かれるべき事業のひとつであった。

近年のオリンピック・ムーブメントに関する研究においては、大学連携は2012年ロンドン大会におけるPODIUMに類似する活動に位置づけられている。ここでは、大学連携の振り返りとして、（1）PODIUMとの対比からの評価、（2）大学連携の課題と中長期的視点での評価の必要性、という2つの観点から述べる。

（1）2012年ロンドン大会におけるPODIUMとの対比からの評価

ロンドン大会のPODIUMはイギリス高等教育部門の基金により設立された組織である。舩本ら（2018）は、この組織の活動を「HE（高等教育機関、150校）やFE（継続教育カレッジ、433校）の各機関がロンドン2012レガシープロジェクトに参加して、スポーツ事業や文化プログラムを実践する際に、各機関間の調整、人的配分調整、資金調達、多様な実践をネットワークで共有化し、オリンピック・パラリンピックの7つの価値（卓越、友情、尊敬／尊重、勇気、決意、鼓舞、平等）を推進すること（括弧内は本稿筆者注）」が役割であったと総括している。この研究では、活動に関する事後の調査では、90%を超えるHEとFEが連携活動を実施し、また94%がPODIUMの大会関連の活動についてコミュニケーションがうまくとれていたと評価したことにについても記されている。

一方、本大会の大学連携では、2019年現在639校の大学、171校の短大が存在する国内において、あわせて810校が組織委と連携協定を締結した。イギリスにおける組織数とは母集団に違いがあることから、およそ7割の大学・短大が連携したことは、PODIUMに匹敵するネットワークが構築されたといえるだろう。

PODIUMは大会組織委員会外部の組織であり、財源も専属スタッフ（8名）も別に置かれていた。この体制に比して、本大会の大学連携のハブとなる組織は、組織委内部に置かれた。これにより、組織委と連携協定を締結した組織（以下、連携大学と略）との間にコミュニケーションに齟齬が発生しない点で、高く評価することができる。オリンピックやパラリンピックに関わる商標等の諸権利関係のガイドラインの運用上の混乱を避けることにも貢献したと考えられる。

ただし、コミュニケーションにおいては、連携大学と組織委との1対1対応になりがちで、連携大学の横のつながりを醸成するための仕組み作りには留意する必要があった。連携チームの初期の事業には、地域巡回フォーラムがあった。これらは、地域単位での組織連携につながる可能性があったと考えられる。

東京2020大会組織委が大会準備を進めた時期に、IOCは中長期戦略であるアジェンダ2020を公表した。この戦略では、非スポーツ領域の人々とのつながりにより、オリンピック・ムーブメントにおける価値の多様化が促進されることの重要性が強調された。この新たな方針にとって、連携大学は、スポーツに関心のある人々だけでなく、様々な専門分野とのつながりを創出するプラットフォームとなり得るものであった。この観点での事業の列記は本報告の各章に譲るが、これを意識した事業を進めたことは、特筆に値する。

（2）大学連携の課題と中長期的視点での評価の必要性

組織委内に大学連携を担当する部署が置かれることによるリスクや課題がないわけではなかった。考え得るリスクのひとつは、組織委においてこの事業の重要性が認識されていない場合に、この事業のための人的・財的資源に大きな限界が生じ得るということである。この限界の中では、大学連携によって生み出された事業や人的なつながりが、レガシーに至る以前の未成熟な段階で消失する可能性がある。

また、課題としては、国内の7割近くの大学・短大のネットワークを構築した活動であったにも関わらず、組織委が推進したムーブメント活動としてその事業が十分には広報されとはいえないことがある。大学連携によって進められた出張講座では、オリンピック、パラリンピックが、単なるスポーツイベントではなく、国際社会と連携し、多角的な意味を持つ社会運動であることが教育活動として伝えられてきた。こうした活動は、ムーブメントの本質に関わる事業であり、それらがより多く社会に発信されることにより、コロナ禍での開催の是非に関する議論に深まりをもたらすことができたと考えられる。そのためには、オリンピック、パラリンピックの多角的な価値について、メディアとの良好な関係を築きながら伝えるための努力が必要であった。その努力は、国内のスポーツ報道、ひいてはスポーツの価値全体により良い影響を与えることに結びついたと考えられる。

今後、組織委による大会報告書においては、大学連携にどのような人的・財的資源を配分したのかが明示されるとともに、レガシーとしてどのような事業継続がみられるか、連携大学における教育・研究へのインパクトがどのようなものであったか、教育・研究におけるインパクトはボランティア等としてのムーブメントへの参画にどのような影響を与えたか等、中長期的な視点での検証が必要である。

ちなみに、PODIUMは2015年1月末に資金がカットされ、廃止された。それでも、大会後約2年半は活動を継続し、大学に委託し、調査研究による検証、評価を行っている。本大会の場合、組織委の解散と同時に連携大学のハブとなっていた大学連携チームも消滅することから、関係資料の保存と検証評価の道筋をつけておくことが必要である。

参考文献：舩本直文・小林勝夫・後藤光将・師岡文男（2018）2020年東京大会のレガシー形成に寄与する大学間連携のあり方に関する総合的研究：特に2012ロンドンPODIUMに焦点を当てて、大学体育学15：57-62。



大学連携検討会委員
東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会理事
中京大学教授
来田 享子

「知の飛翔」と大学連携

ほとんど知られていませんが、ピエール・ド・クーベルタン（1863－1937年）はオリンピック・ムーブメントを展開する中で、19世紀後半から20世紀初頭にかけて諸科学が築いた膨大な知識の山を、どのように認識すべきかという問題に取り組んでいました。細分化・専門化された断片的な知識は人間を自分の殻に閉じこめ、そこから生まれる人間相互の無理解が戦争の原因になると考えていたからです。オリンピック大会の開催ばかりに目を向けるIOCに限界を感じたクーベルタンは、「残された時間を使い、一つの生産的な教育学を構築するという喫緊の課題に取り組む」と述べ、1925年に万国教育連盟を設立しました。そこで彼が示したのは、険しい登山ルートをピッケル片手に時間をかけて登る方法ではなく、膨大かつ複雑な知識体系からなる巨大な山を飛行機で一気に飛び越え、その全体像を一気に俯瞰する「知の飛翔」という考え方でした。

この「知の飛翔」という考え方に照らし合わせると、組織委員会による大学連携は「教育」の面で一定の成果を上げたと言えます。それは、東京大会（大学連携）という飛行機が日本全国の大学をオリンピック・パラリンピック関連の授業や公開講座へ誘い、これらを実現させる方法論を提供し、大会後の道筋にも目処をつけたからです。

この成果の背景の一つに、2014年8月から2015年11月まで計13回にわたり組織委員会が日本各地の大学で実施した「地域巡回フォーラム」があります。各地の大学が共催者となり会場を提供してくださったことで、特に東京以外の学生たちや大学職員の方々がオリンピックへの関心を高める機会を得ました。

近代オリンピックはスポーツ界の専有物ではありません。「世界を映す鏡」とも呼ばれるように、そこには政治や経済、産業、教育、科学技術、地方自治、安全保障、環境、歴史、哲学、組織のガバナンス等、人間社会の実に多くの活動分野が関係しています。800を超える連携大学による教育活動を俯瞰したとき、さまざまな学部に所属する教員がそれぞれの専門分野から、オリンピックを巡る諸問題や東京大会の構造を「オリンピック」という世界共通のプラットフォームに収束させて、批判的に語っていた様子が想像できます。

組織委員会は2015年度から出張講座プログラムを連携大学に提供し、2020年度までの6年間で205講座の利用がありました。このプログラムは日本オリンピック・アカデミーとの連携事業であり、組織委員会の解散後も講師派遣の仕組みは残ります。この仕組みも活用しながら、国連加盟国数を超える206の国と地域が参加し、しかもコロナ禍における未曾有の大会となった東京大会を批判的・建設的に議論するための授業を期待したいところです。プログラムのもう一つのポイントは、組織委員会の職員自身が講師となり、内からの視点でオリンピックを語る機会が提供されたことです。理論・理屈だけでは説明できない矛盾に満ちたオリンピックの世界規模の力学を、学生たちは肌で感じたことでしょう。

未来のオリンピック・ムーブメントを支えるのは、紛れもなく学生たちです。それぞれの大学でそれぞれの分野を通してオリンピックを学んだ学生たちが将来、その知識と経験を持ち寄ってこの世界的なムーブメントをその是非を含めて議論するとき、クーベルタンのいう「知の飛翔」の有効性が示されるに違いありません。



大学連携検討会委員
フェリス学院大学教授
和田 浩一

10,000人の学生と共に創り上げた「東京2020」レガシー

東京渋谷に位置する小規模な女子大学において、2014年から2021年までに、何らかの形で「東京2020大会」に関わった学生の総数は、延べ10,000人を超えました。これも、ひとえに組織委員会大学連携チームの皆さんのサポートのお蔭です。改めてここに、心からの感謝を申し上げたいと思います。

2014年6月、「大学連携協定締結式」が開催され、過去のオリンピック・パラリンピックでも初めてという大学生との連携の取り組みが始まりました。そして、7月に行われた本学キャリア教育科目「国際理解とキャリア形成」において、「東京2020大会に向けて女子大生に何が出来るか」をテーマとしたプレゼンテーションセッションに、当時の組織委員会総務局長をはじめ、なんと5名のメンバーが聴講と審査に駆けつけて下さいました。その模様はNHKテレビにも取り上げていただき、学生は勿論、学長も含め大学サイドもその重みを感じ、大学を挙げての取り組みへと進化していったわけです。まさに実践女子大学における「東京2020大会レガシー創りの旅」の始まりでした。

以来、組織委員会主催の「地域巡回フォーラム」「Tokyo 2020学園祭シリーズ」「東京2020ライブサイト」そして「大会ボランティア」「情報保障プログラム」「Tokyo 2020 “Make The Beat!” 応援動画」「アスリートサポートプログラム」などへの参加、大学主管で言えば「正課科目(国際理解とキャリア形成、オープン講座)」、「大会ボランティア説明会」の推進、東京2020オリパラプロジェクトによる「女子大生フォーラム」「高校生フォーラム」の定期的な開催など、思い返せば、「多様性と調和」を目指した「東京2020大会」一色の7年間となりました。

そして、フィナーレとして位置づけたのは、組織委員会・実践女子大学共催の「All Jissen Festival 2019」の開催でした。実践女子大学、実践女子学園中学高等学校が一つになり、「表彰台プロジェクト」への取り組み内容の報告、全面的にサポートいただいた手島総務局長への贈呈式、ミライトワ・ソメイティとの記念撮影、ボッチャ大会の開催、そして200名の仲間とともに踊った「Tokyo 2020 “Make The Beat!” 応援動画」など、今も学園に語り継がれる一大イベントとなり、文字通り「未来への継承」となりました。

こうして振り返ると、何と言っても印象に残ることは、学生たちの「主体性」でした。今の若者には積極性が欠けているなどと言われて久しいと思いますが、それは大人たちの一方的な思い込みで、彼女たちはチャンスや機会を見つければ、どこまでも成長し続け、仲間を巻き込んで大きな偉業を達成してくれることを「東京2020大会」が教えてくれました。まさに「全員が自己ベスト」を成し遂げてくれたわけです。

最後に、私自身も、ご縁をいただき「東京2020組織委員会・文化教育委員」を務めさせていただいたり、聖火ランナーという貴重な経験をさせていただいたり、勿論、大会ボランティアにも参加いたしました。貴重なご縁を与えて下さった組織委員会大学連携チームの皆さま、本当にありがとうございました。感謝いたします。

学生一人ひとりの心には、東京2020大会のレガシーが、深く心に刻まれたことと思います。私共学園にとっても、大きなレガシーをいただきました。厳しかった大会でしたが、必ずやこの経験が、東京2020大会に関わった全ての方のレガシーとなることを祈りたいと思います。「ARIGATO」



実践女子大学文学部国文学科教授
オリンピック・パラリンピック連携事業推進室学長補佐
深澤 晶久

大学連携を後世へのレガシーに

東京開催が決まった翌年の2014年、早稲田大学で東京2020組織委員会（以下、組織委員会）と全国552の大学や短期大学との連携協定締結式と講演会が開催された。大学連携の事業はここに正式に始まったのだが、この席上で日本オリンピック・アカデミー（以下、JOA）会員で上智大学の師岡文男教授が組織委員会の布村幸彦副事務総長に対し、組織委員会とJOAが協力すれば大学連携はさらに充実したものになると提案した。これがこの事業における両者の関係の始まりとなった。

全国の大学と連携してオリンピックの教育的、文化的な側面を支えようという組織委員会の考えはユニークで優れたものだったと思う。しかし当初は周知を試みても各大学の内部で連絡が滞るなどして、この問題に興味のある教員や学生に情報が届かないこともしばしばであった。連携の申し込みが次第に増え、扱う講義の内容も厚くなったのは、組織委員会幹部が全国を行脚するなどの努力が実を結んだものである。ただ組織委員会の決定的な弱点は、大会が終了したら組織委員会自体が解散してしまうので、大会の後にこの事業をレガシーとして残せないことにあった。この弱点を克服する意味でも組織委員会とJOAの協力関係には重要な意味がある。

JOAは、日本体育協会（当時）や学界などの有志が集まって1978年に独立した団体として創設した日本国内のオリンピック・アカデミーである。ギリシャに本部を持つ国際オリンピック・アカデミー（IOA）を頂点とし世界の149（2021年現在）の国や地域にある国内アカデミーの一つで、JOAは世界でも最も古いものの一つだ。その目的と使命は、オリンピックについて思想や歴史、さらに政治、経済、外交、技術、メディア、環境など社会の様々な分野との関わりという広い視点から捉え、オリンピック・ムーブメントの普及や教育を通じてその考え方を広めることにある。創立以来の会員は織田幹雄氏、猪谷千春氏など日本を代表するオリンピックを初め学界の碩学、メディア幹部や実業家など顔触れは多彩である。この章で様々なレガシーについて執筆している検討会委員にもJOAの会員が多い。

オリンピック・パラリンピックというのは巨大な氷山のようなものだ。大会の準備や運営全体から見れば、一番目立つ競技や選手は水上に見える氷山と同じく全体のほんの一部分に過ぎない。それ以外のいわば「水中にある巨大な部分」にはオリンピックの理念もあり文化もあり、また建設から警備、輸送、通信、メディア、テクノロジーに至るまでの巨大かつ複雑な大会実施の実務作業が詰まっている。

東京2020大会では、隠れた部分も含めた氷山の全体からどのようなレガシーが生まれたのか、それをどのような形で受け継ぎ今後の世代につないでいくのか。JOAは組織委員会の解散後もその意思を引き継ぎ、将来の日本を支える柱となる学生たちに対して様々な角度からレガシーを受け渡す使命を負ったのである。前回1964年の東京大会は経済的にも国際的にも日本が右肩上がりになり始める高揚感の中で開催された。それとは全く異なる閉塞感と制度疲労の中で開催された東京2020大会のレガシーをJOAは今後の日本再生の礎となるよう伝えていきたいと思う。

特定非営利活動法人
日本オリンピック・アカデミー理事
藤原 庸介



協定書（見本）

協 定 書

〇〇大学（以下「大学」という。）と公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会（以下「組織委員会」という。）は、以下のとおり協定を締結する。

（目的）

本協定は、2020年に開催する東京オリンピック・パラリンピック競技大会の成功に向け、大学と組織委員会がそれぞれの資源を活用し、オリンピック教育の推進や大会機運の醸成等大会に向けた取り組みを進めるため、相互に連携・協力体制を構築することを目的とする。

（連携事項）

- 1）人的分野及び教育的分野での連携
- 2）オリンピック・パラリンピック競技大会に関わる研究分野での連携
- 3）オリンピック・パラリンピック競技大会の国内PR活動での連携
- 4）オリンピックムーブメントの推進及びオリンピックレガシーの継承に関する連携

（協定に関わる組織）

本協定の執行にあたり、大学と組織委員会はそれぞれの担当部署を通じて相互に連携・協力を図るものとする。

（有効期間）

本協定の有効期間は、締結の日から2020年12月31日までとする。

年 月 日

（所在地）

東京都中央区晴海 1-8-11

（大学名）

公益財団法人

（役職）（氏名）

東京オリンピック・パラリンピック競技大会
組織委員会 会長

〇 〇 〇 〇

橋 本 聖 子

*有効期間は、大会の延期に伴い、2021年12月31日に変更になりました。

締結校一覧

2016年 招致

No.	都道府県	大学名
1	茨城	筑波大学
2	茨城	流通経済大学
3	東京	専修大学
4	東京	東京女子体育大学

No.	都道府県	大学名
5	東京	日本体育大学
6	山梨	山梨学院大学
7	大阪	大阪体育大学
8	大阪	近畿大学
9	鹿児島	鹿屋体育大学

2020年 招致

No.	都道府県	大学名
1	北海道	帯広畜産大学
2	北海道	北翔大学
3	青森	八戸工業大学
4	岩手	岩手大学
5	宮城	仙台大学
6	宮城	東北大学
7	茨城	筑波技術大学
8	茨城	流通経済大学
9	栃木	宇都宮大学
10	栃木	作新学院大学
11	群馬	関東学園大学
12	群馬	群馬大学
13	群馬	高崎経済大学
14	埼玉	城西大学
15	埼玉	駿河台大学
16	埼玉	東京国際大学
17	埼玉	日本工業大学
18	千葉	国際武道大学
19	千葉	千葉工業大学
20	東京	大妻女子大学
21	東京	学習院大学
22	東京	神田外語大学
23	東京	慶応義塾大学
24	東京	国士舘大学
25	東京	実践女子大学、実践女子短期大学
26	東京	首都大学東京
27	東京	順天堂大学
28	東京	上智大学
29	東京	専修大学
30	東京	創価大学
31	東京	大東文化大学
32	東京	拓殖大学
33	東京	高千穂大学
34	東京	中央大学
35	東京	筑波大学
36	東京	電気通信大学
37	東京	東京女子体育大学
38	東京	東京未来大学
39	東京	二松学舎大学
40	東京	日本女子体育大学
41	東京	日本女子大学
42	東京	日本体育大学
43	東京	明治大学

No.	都道府県	大学名
44	東京	目白大学
45	東京	早稲田大学
46	神奈川	麻布大学
47	神奈川	神奈川工科大学
48	神奈川	関東学院大学
49	神奈川	産業能率大学
50	神奈川	女子美術大学
51	神奈川	桐蔭横浜大学
52	神奈川	東海大学
53	福井	福井工業大学
54	山梨	山梨学院大学
55	長野	信州大学
56	岐阜	朝日大学
57	岐阜	岐阜経済大学
58	愛知	愛知学院大学
59	愛知	南山大学
60	三重	三重大学
61	滋賀	滋賀短期大学
62	滋賀	びわこ成蹊スポーツ大学
63	京都	龍谷大学
64	大阪	大阪大谷大学
65	大阪	大阪学院大学
66	大阪	大阪国際大学
67	大阪	大阪商業大学
68	大阪	関西医療大学
69	大阪	関西大学
70	大阪	近畿大学
71	大阪	桃山学院大学
72	兵庫	芦屋大学
73	兵庫	甲南大学
74	兵庫	神戸親和女子大学
75	岡山	環太平洋大学
76	広島	福山大学
77	山口	山口大学
78	徳島	徳島文理大学
79	福岡	九州工業大学
80	福岡	中村学園大学
81	福岡	福岡女子大学
82	福岡	福岡大学
83	佐賀	佐賀大学
84	宮崎	宮崎大学
85	鹿児島	鹿児島大学
86	鹿児島	鹿屋体育大学

東京2020大会

No	都道府県	国公私	大学名(日本語)	協定年月日
2014年				
1	北海道	国立	旭川医科大学	6月23日
2	北海道	国立	小樽商科大学	6月23日
3	北海道	国立	帯広畜産大学	6月23日
4	北海道	国立	北見工業大学	6月23日
5	北海道	国立	北海道教育大学	6月23日
6	北海道	国立	北海道大学	6月23日
7	北海道	国立	室蘭工業大学	6月23日
8	北海道	公立	札幌医科大学	6月23日
9	北海道	私立	札幌学院大学	6月23日
10	北海道	私立	札幌国際大学	6月23日
11	北海道	私立	札幌大学	6月23日
12	北海道	私立	星槎道都大学	6月23日
13	北海道	私立	藤女子大学	6月23日
14	北海道	私立	北翔大学	6月23日
15	北海道	私立	北海学園大学	6月23日
16	北海道	私立	北海商科大学	6月23日
17	北海道	私立	北海道医療大学	6月23日
18	北海道	私立	北海道科学大学	6月23日
19	北海道	私立	釧路短期大学	6月23日
20	北海道	私立	北海道科学大学短期大学部	6月23日
21	青森	国立	弘前大学	6月23日
22	青森	公立	青森県立保健大学	6月23日
23	青森	私立	東北女子大学	6月23日
24	青森	私立	八戸工業大学	6月23日
25	青森	私立	八戸学院大学	6月23日
26	青森	私立	弘前学院大学	6月23日
27	岩手	国立	岩手大学	6月23日
28	岩手	公立	岩手県立大学	6月23日
29	岩手	公立	岩手県立大学宮古短期大学部	6月23日
30	岩手	公立	岩手県立大学盛岡短期大学部	6月23日
31	岩手	私立	岩手医科大学	6月23日
32	岩手	私立	富士大学	6月23日
33	岩手	私立	修紅短期大学	6月23日
34	宮城	国立	東北大学	6月23日
35	宮城	国立	宮城教育大学	6月23日
36	宮城	私立	石巻専修大学	6月23日
37	宮城	私立	仙台白百合女子大学	6月23日
38	宮城	私立	仙台大学	6月23日
39	宮城	私立	東北学院大学	6月23日
40	宮城	私立	東北工業大学	6月23日
41	宮城	私立	東北生活文化大学	6月23日
42	宮城	私立	東北福祉大学	6月23日
43	宮城	私立	東北文化学園大学	6月23日
44	宮城	私立	東北生活文化大学短期大学部	6月23日
45	秋田	国立	秋田大学	6月23日
46	秋田	公立	秋田県立大学	6月23日
47	秋田	公立	秋田公立美術大学	6月23日
48	秋田	公立	国際教養大学	6月23日
49	山形	国立	山形大学	6月23日
50	山形	私立	東北公益文科大学	6月23日
51	福島	国立	福島大学	6月23日
52	福島	私立	郡山女子大学	6月23日
53	福島	私立	郡山女子大学短期大学部	6月23日
54	茨城	国立	茨城大学	6月23日
55	茨城	国立	筑波技術大学	6月23日
56	茨城	国立	筑波大学	6月23日
57	茨城	公立	茨城県立医療大学	6月23日
58	茨城	私立	筑波学院大学	6月23日
59	茨城	私立	常磐大学	6月23日
60	茨城	私立	日本ウェルネススポーツ大学	6月23日
61	茨城	私立	流通経済大学	6月23日
62	栃木	国立	宇都宮大学	6月23日
63	栃木	私立	宇都宮共和大学	6月23日
64	栃木	私立	国際医療福祉大学	6月23日

No	都道府県	国公私	大学名(日本語)	協定年月日
65	栃木	私立	作新学院大学	6月23日
66	栃木	私立	自治医科大学	6月23日
67	栃木	私立	白鷺大学	6月23日
68	栃木	私立	文星芸術大学	6月23日
69	栃木	私立	宇都宮短期大学	6月23日
70	栃木	私立	佐野日本大学短期大学	6月23日
71	群馬	国立	群馬大学	6月23日
72	群馬	公立	群馬県立女子大学	6月23日
73	群馬	公立	高崎経済大学	6月23日
74	群馬	私立	関東学院大学	6月23日
75	群馬	私立	共愛学園前橋国際大学	6月23日
76	群馬	私立	桐生大学	6月23日
77	群馬	私立	群馬医療福祉大学	6月23日
78	群馬	私立	高崎健康福祉大学	6月23日
79	群馬	私立	高崎商科大学	6月23日
80	群馬	私立	桐生大学短期大学部	6月23日
81	群馬	私立	群馬医療福祉大学短期大学部	6月23日
82	埼玉	国立	埼玉大学	6月23日
83	埼玉	公立	埼玉県立大学	6月23日
84	埼玉	私立	浦和大学	6月23日
85	埼玉	私立	共栄大学	6月23日
86	埼玉	私立	埼玉医科大学	6月23日
87	埼玉	私立	埼玉工業大学	6月23日
88	埼玉	私立	十文字学園女子大学	6月23日
89	埼玉	私立	城西大学	6月23日
90	埼玉	私立	駿河台大学	6月23日
91	埼玉	私立	西武文理大学	6月23日
92	埼玉	私立	東京国際大学	6月23日
93	埼玉	私立	日本工業大学	6月23日
94	埼玉	私立	日本薬科大学	6月23日
95	埼玉	私立	文京学院大学	6月23日
96	埼玉	私立	文教大学	6月23日
97	埼玉	私立	平成国際大学	6月23日
98	埼玉	私立	武蔵野学院大学	6月23日
99	埼玉	私立	明海大学	6月23日
100	埼玉	私立	浦和大学短期大学部	6月23日
101	埼玉	私立	国際学院埼玉短期大学	6月23日
102	埼玉	私立	埼玉医科大学短期大学	6月23日
103	埼玉	私立	武蔵丘短期大学	6月23日
104	埼玉	私立	武蔵野短期大学	6月23日
105	千葉	国立	千葉大学	6月23日
106	千葉	公立	千葉県立保健医療大学	6月23日
107	千葉	私立	江戸川大学	6月23日
108	千葉	私立	開智国際大学	6月23日
109	千葉	私立	亀田医療大学	6月23日
110	千葉	私立	川村学園女子大学	6月23日
111	千葉	私立	神田外語大学	6月23日
112	千葉	私立	敬愛大学	6月23日
113	千葉	私立	秀明大学	6月23日
114	千葉	私立	淑徳大学	6月23日
115	千葉	私立	城西国際大学	6月23日
116	千葉	私立	聖徳大学	6月23日
117	千葉	私立	清和大学	6月23日
118	千葉	私立	千葉科学大学	6月23日
119	千葉	私立	千葉商科大学	6月23日
120	千葉	私立	中央学院大学	6月23日
121	千葉	私立	放送大学	6月23日
122	千葉	私立	了徳寺大学	6月23日
123	千葉	私立	麗澤大学	6月23日
124	千葉	私立	和洋女子大学	6月23日
125	千葉	私立	昭和学院短期大学	6月23日
126	千葉	私立	聖徳大学短期大学部	6月23日
127	千葉	私立	千葉敬愛短期大学	6月23日
128	東京	国立	お茶の水女子大学	6月23日
129	東京	国立	政策研究大学院大学	6月23日
130	東京	国立	電気通信大学	6月23日
131	東京	国立	東京医科歯科大学	6月23日
132	東京	国立	東京外国語大学	6月23日
133	東京	国立	東京海洋大学	6月23日

No	都道府県	国公私	大学名(日本語)	協定年月日
134	東京	国立	東京学芸大学	6月23日
135	東京	国立	東京藝術大学	6月23日
136	東京	国立	東京工業大学	6月23日
137	東京	国立	東京大学	6月23日
138	東京	国立	東京農工大学	6月23日
139	東京	国立	一橋大学	6月23日
140	東京	公立	産業技術大学院大学	6月23日
141	東京	公立	首都大学東京	6月23日
142	東京	私立	青山学院大学	6月23日
143	東京	私立	亜細亜大学	6月23日
144	東京	私立	跡見学園女子大学	6月23日
145	東京	私立	上野学園大学	6月23日
146	東京	私立	桜美林大学	6月23日
147	東京	私立	嘉悦大学	6月23日
148	東京	私立	北里大学	6月23日
149	東京	私立	共立女子大学	6月23日
150	東京	私立	慶應義塾大学	6月23日
151	東京	私立	工学院大学	6月23日
152	東京	私立	國學院大學	6月23日
153	東京	私立	国士舘大学	6月23日
154	東京	私立	国立音楽大学	6月23日
155	東京	私立	駒澤大学	6月23日
156	東京	私立	産業能率大学	6月23日
157	東京	私立	事業構想大学院大学	6月23日
158	東京	私立	実践女子大学	6月23日
159	東京	私立	芝浦工業大学	6月23日
160	東京	私立	順天堂大学	6月23日
161	東京	私立	上智大学	6月23日
162	東京	私立	昭和女子大学	6月23日
163	東京	私立	昭和大学	6月23日
164	東京	私立	女子美術大学	6月23日
165	東京	私立	成蹊大学	6月23日
166	東京	私立	成城大学	6月23日
167	東京	私立	聖心女子大学	6月23日
168	東京	私立	清泉女子大学	6月23日
169	東京	私立	聖路加国際大学	6月23日
170	東京	私立	専修大学	6月23日
171	東京	私立	創価大学	6月23日
172	東京	私立	大正大学	6月23日
173	東京	私立	大東文化大学	6月23日
174	東京	私立	高千穂大学	6月23日
175	東京	私立	拓殖大学	6月23日
176	東京	私立	玉川大学	6月23日
177	東京	私立	多摩美術大学	6月23日
178	東京	私立	中央大学	6月23日
179	東京	私立	津田塾大学	6月23日
180	東京	私立	帝京科学大学	6月23日
181	東京	私立	帝京大学	6月23日
182	東京	私立	帝京平成大学	6月23日
183	東京	私立	東京有明医療大学	6月23日
184	東京	私立	東京医科大学	6月23日
185	東京	私立	東京音楽大学	6月23日
186	東京	私立	東京家政学院大学	6月23日
187	東京	私立	東京家政大学	6月23日
188	東京	私立	東京経済大学	6月23日
189	東京	私立	東京工科大学	6月23日
190	東京	私立	東京歯科大学	6月23日
191	東京	私立	東京慈恵会医科大学	6月23日
192	東京	私立	東京純心大学	6月23日
193	東京	私立	東京女子医科大学	6月23日
194	東京	私立	東京女子体育大学	6月23日
195	東京	私立	東京女子大学	6月23日
196	東京	私立	東京電機大学	6月23日
197	東京	私立	東京都立大学	6月23日
198	東京	私立	東京富士大学	6月23日
199	東京	私立	東京未来大学	6月23日
200	東京	私立	東京薬科大学	6月23日
201	東京	私立	東京理科大学	6月23日
202	東京	私立	東洋学園大学	6月23日
203	東京	私立	東洋大学	6月23日

No	都道府県	国公私	大学名（日本語）	協定年月日	No	都道府県	国公私	大学名（日本語）	協定年月日	No	都道府県	国公私	大学名（日本語）	協定年月日
204	神奈川	私立	日本教育大学院大学 （2017年より、星槎大学 と統合）	6月23日	272	新潟	私立	新潟経営大学	6月23日	341	愛知	私立	同朋大学	6月23日
205	東京	私立	日本女子体育大学	6月23日	273	新潟	私立	新潟工科大学	6月23日	342	愛知	私立	豊田工業大学	6月23日
206	東京	私立	日本女子大学	6月23日	274	新潟	私立	新潟産業大学	6月23日	343	愛知	私立	名古屋音楽大学	6月23日
207	東京	私立	日本体育大学	6月23日	275	新潟	私立	新潟青陵大学	6月23日	344	愛知	私立	名古屋外国語大学	6月23日
208	東京	私立	日本大学	6月23日	276	新潟	私立	新潟薬科大学	6月23日	345	愛知	私立	名古屋学芸大学	6月23日
209	東京	私立	日本文化大学	6月23日	277	新潟	私立	新潟青陵大学短期大学部	6月23日	346	愛知	私立	名古屋芸術大学	6月23日
210	東京	私立	ハリウッド大学院大学	6月23日	278	新潟	私立	新潟中央短期大学	6月23日	347	愛知	私立	名古屋産業大学	6月23日
211	東京	私立	ビジネス・ブレークス ルー大学	6月23日	279	富山	国立	富山大学	6月23日	348	愛知	私立	名古屋造形大学	6月23日
212	東京	私立	文化学園大学	6月23日	280	富山	私立	富山国際大学	6月23日	349	愛知	私立	南山大学	6月23日
213	東京	私立	法政大学	6月23日	281	富山	私立	富山短期大学	6月23日	350	愛知	私立	日本福祉大学	6月23日
214	東京	私立	武蔵野音楽大学	6月23日	282	石川	国立	金沢大学	6月23日	351	愛知	私立	藤田医科大学	6月23日
215	東京	私立	武蔵野大学	6月23日	283	石川	国立	北陸先端科学技術大学院 大学	6月23日	352	愛知	私立	名城大学	6月23日
216	東京	私立	武蔵野美術大学	6月23日	284	石川	私立	金沢医科大学	6月23日	353	愛知	私立	愛知医療学院短期大学	6月23日
217	東京	私立	明治学院大学	6月23日	285	石川	私立	金沢学院大学	6月23日	354	愛知	私立	一宮研伸大学	6月23日
218	東京	私立	明治大学	6月23日	286	石川	私立	金沢工業大学	6月23日	355	愛知	私立	愛知工科大学 自動車短期大学	6月23日
219	東京	私立	明星大学	6月23日	287	石川	私立	金沢星稜大学	6月23日	356	愛知	私立	愛知江南短期大学	6月23日
220	東京	私立	目白大学	6月23日	288	石川	私立	金城大学	6月23日	357	愛知	私立	至学館大学短期大学部	6月23日
221	東京	私立	ヤマザキ学園大学	6月23日	289	石川	私立	北陸大学	6月23日	358	愛知	私立	名古屋経営短期大学	6月23日
222	東京	私立	立教大学	6月23日	290	石川	私立	金沢学院短期大学	6月23日	359	三重	国立	三重大学	6月23日
223	東京	私立	立正大学	6月23日	291	石川	私立	金城大学短期大学部	6月23日	360	三重	私立	皇學館大学	6月23日
224	東京	私立	和光大学	6月23日	292	福井	国立	福井大学	6月23日	361	三重	私立	四日市看護医療大学	6月23日
225	東京	私立	早稲田大学	6月23日	293	福井	公立	福井県立大学	6月23日	362	三重	私立	四日市大学	6月23日
226	東京	私立	愛国学院短期大学	6月23日	294	福井	私立	仁愛大学	6月23日	363	滋賀	国立	滋賀医科大学	6月23日
227	東京	私立	有明教育芸術短期大学	6月23日	295	福井	私立	仁愛女子短期大学	6月23日	364	滋賀	国立	滋賀大学	6月23日
228	東京	私立	上野学園大学短期大学部	6月23日	296	福井	私立	福井医療短期大学	6月23日	365	滋賀	私立	成安造形大学	6月23日
229	東京	私立	共立女子短期大学	6月23日	297	山梨	国立	山梨大学	6月23日	366	滋賀	私立	びわこ成蹊スポーツ大学	6月23日
230	東京	私立	実践女子大学短期大学部	6月23日	298	山梨	公立	都留文科大学	6月23日	367	滋賀	私立	滋賀短期大学	6月23日
231	東京	私立	淑徳大学短期大学部	6月23日	299	山梨	公立	大月短期大学	6月23日	368	滋賀	私立	滋賀文教短期大学	6月23日
232	東京	私立	帝京短期大学	6月23日	300	山梨	公立	山梨学院大学	6月23日	369	京都	国立	京都教育大学	6月23日
233	東京	私立	東京家政大学短期大学部	6月23日	301	長野	国立	信州大学	6月23日	370	京都	国立	京都工芸繊維大学	6月23日
234	東京	私立	東京女子体育短期大学	6月23日	302	長野	公立	公立諏訪東京理科大学	6月23日	371	京都	公立	京都府立医科大学	6月23日
235	東京	私立	新渡戸文化短期大学	6月23日	303	長野	私立	清泉学院大学	6月23日	372	京都	公立	京都府立大学	6月23日
236	東京	私立	日本大学短期大学部	6月23日	304	長野	公立	長野大学	6月23日	373	京都	私立	京都医療科学大学	6月23日
237	東京	私立	文化学園大学短期大学部	6月23日	305	長野	私立	松本大学	6月23日	374	京都	私立	京都外国語大学	6月23日
238	東京	私立	目白大学短期大学部	6月23日	306	長野	私立	信州豊南短期大学	6月23日	375	京都	私立	京都華頂大学	6月23日
239	神奈川	国立	横浜国立大学	6月23日	307	長野	私立	清泉学院短期大学	6月23日	376	京都	私立	嵯峨美術大学	6月23日
240	神奈川	公立	神奈川県立保健福祉大学	6月23日	308	長野	私立	松本大学松商短期大学部	6月23日	377	京都	私立	京都産業大学	6月23日
241	神奈川	公立	横浜市立大学	6月23日	309	岐阜	国立	岐阜大学	6月23日	378	京都	私立	京都精華大学	6月23日
242	神奈川	私立	麻布大学	6月23日	310	岐阜	公立	岐阜市立女子短期大学	6月23日	379	京都	私立	京都橘大学	6月23日
243	神奈川	私立	神奈川大学	6月23日	311	岐阜	私立	朝日大学	6月23日	380	京都	私立	京都ノートルダム女子大学	6月23日
244	神奈川	私立	鎌倉女子大学	6月23日	312	岐阜	私立	岐阜協立大学	6月23日	381	京都	私立	同志社大学	6月23日
245	神奈川	私立	関東学院大学	6月23日	313	岐阜	私立	岐阜聖徳学園大学	6月23日	382	京都	私立	明治国際医療大学	6月23日
246	神奈川	私立	相模女子大学	6月23日	314	岐阜	私立	東海学院大学	6月23日	383	京都	私立	立命館大学	6月23日
247	神奈川	私立	昭和音楽大学	6月23日	315	岐阜	私立	岐阜保健短期大学	6月23日	384	京都	私立	龍谷大学	6月23日
248	神奈川	私立	星槎大学	6月23日	316	岐阜	私立	東海学院大学短期大学部	6月23日	385	京都	私立	華頂短期大学	6月23日
249	神奈川	私立	聖マリアンナ医科大学	6月23日	317	静岡	国立	静岡大学	6月23日	386	京都	私立	京都外国語短期大学	6月23日
250	神奈川	私立	洗足学園音楽大学	6月23日	318	静岡	国立	浜松医科大学	6月23日	387	京都	私立	嵯峨美術短期大学	6月23日
251	神奈川	私立	鶴見大学	6月23日	319	静岡	公立	静岡県立大学	6月23日	388	京都	私立	龍谷大学短期大学部	6月23日
252	神奈川	私立	桐蔭横浜大学	6月23日	320	静岡	私立	静岡理工科大学	6月23日	389	大阪	国立	大阪教育大学	6月23日
253	神奈川	私立	東海大学	6月23日	321	静岡	私立	常葉大学	6月23日	390	大阪	国立	大阪大学	6月23日
254	神奈川	私立	東京工芸大学	6月23日	322	愛知	国立	愛知教育大学	6月23日	391	大阪	公立	大阪市立大学	6月23日
255	神奈川	私立	東洋英和女学院大学	6月23日	323	愛知	国立	豊橋技術科学大学	6月23日	392	大阪	私立	追手門学院大学	6月23日
256	神奈川	私立	フェリス学院大学	6月23日	324	愛知	国立	名古屋大学	6月23日	393	大阪	私立	大阪大谷大学	6月23日
257	神奈川	私立	横浜創英大学	6月23日	325	愛知	公立	愛知県立芸術大学	6月23日	394	大阪	私立	大阪学院大学	6月23日
258	神奈川	私立	横浜美術大学	6月23日	326	愛知	公立	愛知県立大学	6月23日	395	大阪	私立	大阪河崎リハビリテー ション大学	6月23日
259	神奈川	私立	小田原短期大学	6月23日	327	愛知	公立	名古屋市立大学	6月23日	396	大阪	私立	大阪工業大学	6月23日
260	神奈川	私立	鎌倉女子大学短期大学部	6月23日	328	愛知	私立	愛知学院大学	6月23日	397	大阪	私立	大阪歯科大学	6月23日
261	神奈川	私立	相模女子大学短期大学部	6月23日	329	愛知	私立	愛知工科大学	6月23日	398	大阪	私立	大阪商業大学	6月23日
262	神奈川	私立	上智大学短期大学部	6月23日	330	愛知	私立	愛知産業大学	6月23日	399	大阪	私立	大阪成蹊大学	6月23日
263	神奈川	私立	昭和音楽大学短期大学部	6月23日	331	愛知	私立	愛知淑徳大学	6月23日	400	大阪	私立	大阪体育大学	6月23日
264	神奈川	私立	鶴見大学短期大学部	6月23日	332	愛知	私立	愛知大学	6月23日	401	大阪	私立	大阪電気通信大学	6月23日
265	新潟	国立	上越教育大学	6月23日	333	愛知	私立	愛知東邦大学	6月23日	402	大阪	私立	大阪物療大学	6月23日
266	新潟	国立	新潟大学	6月23日	334	愛知	私立	愛知みづほ大学	6月23日	403	大阪	私立	大阪保健医療大学	6月23日
267	新潟	国立	長岡技術科学大学	6月23日	335	愛知	私立	金城学院大学	6月23日	404	大阪	私立	関西医療大学	6月23日
268	新潟	公立	長岡造形大学	6月23日	336	愛知	私立	至学館大学	6月23日	405	大阪	私立	関西外国語大学	6月23日
269	新潟	公立	新潟県立大学	6月23日	337	愛知	私立	星城大学	6月23日	406	大阪	私立	関西大学	6月23日
270	新潟	私立	敬和学園大学	6月23日	338	愛知	私立	中京大学	6月23日	407	大阪	私立	近畿大学	6月23日
271	新潟	私立	長岡大学	6月23日	339	愛知	私立	中部大学	6月23日	408	大阪	私立	摂南大学	6月23日

No	都道府県	国公私	大学名（日本語）	協定年月日
409	大阪	私立	東大阪大学	6月23日
410	大阪	私立	桃山学院大学	6月23日
411	大阪	私立	藍野大学短期大学部	6月23日
412	大阪	私立	大阪学院大学短期大学部	6月23日
413	大阪	私立	関西外国語大学短期大学部	6月23日
414	大阪	私立	東大阪大学短期大学部	6月23日
415	兵庫	国立	神戸大学	6月23日
416	兵庫	国立	兵庫教育大学	6月23日
417	兵庫	公立	神戸市外国語大学	6月23日
418	兵庫	私立	芦屋大学	6月23日
419	兵庫	私立	関西国際大学	6月23日
420	兵庫	私立	関西学院大学	6月23日
421	兵庫	私立	姫路大学	6月23日
422	兵庫	私立	甲南大学	6月23日
423	兵庫	私立	神戸医療福祉大学	6月23日
424	兵庫	私立	神戸情報大学院大学	6月23日
425	兵庫	私立	神戸女学院大学	6月23日
426	兵庫	私立	神戸親和女子大学	6月23日
427	兵庫	私立	神戸常盤大学	6月23日
428	兵庫	私立	園田学園女子大学	6月23日
429	兵庫	私立	姫路獨協大学	6月23日
430	兵庫	私立	兵庫医療大学	6月23日
431	兵庫	私立	兵庫大学	6月23日
432	兵庫	私立	武庫川女子大学	6月23日
433	兵庫	私立	聖和短期大学	6月23日
434	兵庫	私立	園田学園女子大学短期大学部	6月23日
435	兵庫	私立	兵庫大学短期大学部	6月23日
436	兵庫	私立	武庫川女子大学短期大学部	6月23日
437	奈良	国立	奈良教育大学	6月23日
438	奈良	国立	奈良女子大学	6月23日
439	奈良	国立	奈良先端科学技術大学院大学	6月23日
440	奈良	私立	畿央大学	6月23日
441	奈良	私立	帝塚山大学	6月23日
442	奈良	私立	天理大学	6月23日
443	奈良	私立	奈良芸術短期大学	6月23日
444	和歌山	国立	和歌山大学	6月23日
445	和歌山	公立	和歌山県立医科大学	6月23日
446	鳥取	国立	鳥取大学	6月23日
447	鳥取	公立	公立鳥取環境大学	6月23日
448	鳥取	私立	鳥取短期大学	6月23日
449	島根	国立	島根大学	6月23日
450	岡山	国立	岡山大学	6月23日
451	岡山	私立	岡山学院大学	6月23日
452	岡山	私立	岡山商科大学	6月23日
453	岡山	私立	岡山理科大学	6月23日
454	岡山	私立	環太平洋大学	6月23日
455	岡山	私立	吉備国際大学	6月23日
456	岡山	私立	倉敷芸術科学大学	6月23日
457	岡山	私立	くらしき作陽大学	6月23日
458	岡山	私立	山陽学園大学	6月23日
459	岡山	私立	ノートルダム清心女子大学	6月23日
460	岡山	私立	岡山短期大学	6月23日
461	岡山	私立	作陽短期大学	6月23日
462	岡山	私立	山陽学園短期大学	6月23日
463	広島	国立	広島大学	6月23日
464	広島	公立	県立広島大学	6月23日
465	広島	公立	広島市立大学	6月23日
466	広島	私立	比治山大学	6月23日
467	広島	私立	広島経済大学	6月23日
468	広島	私立	広島国際大学	6月23日
469	広島	私立	広島修道大学	6月23日
470	広島	私立	広島都市学園大学	6月23日
471	広島	私立	広島文化学園大学	6月23日
472	広島	私立	福山大学	6月23日
473	広島	私立	福山平成大学	6月23日
474	広島	私立	安田女子大学	6月23日
475	広島	私立	比治山大学短期大学部	6月23日

No	都道府県	国公私	大学名（日本語）	協定年月日
476	広島	私立	広島文化学園短期大学	6月23日
477	広島	私立	安田女子短期大学	6月23日
478	山口	国立	山口大学	6月23日
479	山口	公立	山口県立大学	6月23日
480	徳島	国立	徳島大学	6月23日
481	徳島	国立	鳴門教育大学	6月23日
482	徳島	私立	徳島文理大学	6月23日
483	徳島	私立	徳島工業短期大学	6月23日
484	香川	国立	香川大学	6月23日
485	香川	公立	香川県立保健医療大学	6月23日
486	愛媛	国立	愛媛大学	6月23日
487	愛媛	公立	愛媛県立医療技術大学	6月23日
488	愛媛	私立	環太平洋大学短期大学部	6月23日
489	高知	国立	高知大学	6月23日
490	高知	公立	高知県立大学	6月23日
491	高知	公立	高知工科大学	6月23日
492	福岡	国立	九州工業大学	6月23日
493	福岡	国立	九州大学	6月23日
494	福岡	国立	福岡教育大学	6月23日
495	福岡	公立	福岡県立大学	6月23日
496	福岡	私立	九州共立大学	6月23日
497	福岡	私立	九州国際大学	6月23日
498	福岡	私立	九州情報大学	6月23日
499	福岡	私立	九州女子大学	6月23日
500	福岡	私立	久留米大学	6月23日
501	福岡	私立	第一薬科大学	6月23日
502	福岡	私立	筑紫女子学園大学	6月23日
503	福岡	私立	中村学園大学	6月23日
504	福岡	私立	西日本工業大学	6月23日
505	福岡	私立	日本赤十字九州国際看護大学	6月23日
506	福岡	私立	福岡工業大学	6月23日
507	福岡	私立	福岡歯科大学	6月23日
508	福岡	私立	福岡大学	6月23日
509	福岡	私立	九州女子短期大学	6月23日
510	福岡	私立	久留米信愛短期大学	6月23日
511	福岡	私立	中村学園大学短期大学部	6月23日
512	福岡	私立	西日本短期大学	6月23日
513	福岡	私立	福岡工業大学短期大学部	6月23日
514	佐賀	国立	佐賀大学	6月23日
515	佐賀	私立	西九州大学	6月23日
516	佐賀	私立	西九州大学短期大学部	6月23日
517	長崎	国立	長崎大学	6月23日
518	長崎	公立	長崎県立大学	6月23日
519	長崎	私立	活水女子大学	6月23日
520	長崎	私立	長崎ウエスレヤン大学	6月23日
521	長崎	私立	長崎外国語大学	6月23日
522	長崎	私立	長崎国際大学	6月23日
523	長崎	私立	長崎短期大学	6月23日
524	熊本	国立	熊本大学	6月23日
525	熊本	公立	熊本県立大学	6月23日
526	熊本	私立	九州ルーテル学院大学	6月23日
527	熊本	私立	熊本保健科学大学	6月23日
528	熊本	私立	尚絅大学	6月23日
529	熊本	私立	崇城大学	6月23日
530	熊本	私立	平成音楽大学	6月23日
531	熊本	私立	尚絅大学短期大学部	6月23日
532	大分	国立	大分大学	6月23日
533	大分	私立	日本文理大学	6月23日
534	大分	私立	別府大学	6月23日
535	大分	私立	立命館アジア太平洋大学	6月23日
536	大分	私立	東九州短期大学	6月23日
537	大分	私立	別府大学短期大学部	6月23日
538	宮崎	国立	宮崎大学	6月23日
539	宮崎	公立	宮崎県立看護大学	6月23日
540	宮崎	公立	宮崎公立大学	6月23日
541	宮崎	私立	九州保健福祉大学	6月23日
542	宮崎	私立	宮崎産業経営大学	6月23日
543	鹿児島	国立	鹿児島大学	6月23日
544	鹿児島	国立	鹿屋体育大学	6月23日

No	都道府県	国公私	大学名（日本語）	協定年月日
545	鹿児島	私立	志学館大学	6月23日
546	鹿児島	私立	鹿児島国際大学	6月23日
547	鹿児島	私立	鹿児島純心女子大学	6月23日
548	鹿児島	私立	第一工科大学	6月23日
549	鹿児島	私立	鹿児島女子短期大学	6月23日
550	沖縄	国立	琉球大学	6月23日
551	沖縄	公立	沖縄県立芸術大学	6月23日
552	沖縄	公立	名桜大学	6月23日
553	青森	私立	青森中央学院大学	9月1日
554	千葉	私立	国際武道大学	9月1日
555	東京	私立	大妻女子大学	9月1日
556	東京	私立	学習院女子大学	9月1日
557	東京	私立	学習院大学	9月1日
558	東京	私立	大妻女子大学短期大学部	9月1日
559	東京	私立	貞静学園短期大学	9月1日
560	山梨	公立	山梨県立大学	9月1日
561	愛知	国立	名古屋工業大学	9月1日
562	滋賀	公立	滋賀県立大学	9月1日
563	京都	国立	京都大学	9月1日
564	京都	公立	京都先端科学大学	9月1日
565	福岡	公立	北九州市立大学	9月1日
566	福岡	私立	日本経済大学	9月1日
567	北海道	公立	札幌市立大学	10月1日
568	北海道	私立	旭川大学	10月1日
569	北海道	私立	苫小牧駒澤大学	10月1日
570	北海道	私立	日本赤十字北海道看護大学	10月1日
571	北海道	私立	函館大学	10月1日
572	北海道	私立	北星学園大学	10月1日
573	北海道	私立	酪農学園大学	10月1日
574	北海道	私立	稚内北星学園大学	10月1日
575	北海道	私立	旭川大学短期大学部	10月1日
576	北海道	私立	札幌大学女子短期大学部	10月1日
577	北海道	私立	北星学園大学短期大学部	10月1日
578	青森	私立	青森大学	10月1日
579	青森	私立	青森明の星短期大学	10月1日
580	青森	私立	青森中央短期大学	10月1日
581	岩手	私立	盛岡大学	10月1日
582	岩手	私立	盛岡大学短期大学部	10月1日
583	宮城	公立	宮城大学	10月1日
584	宮城	私立	尚絅学院大学	10月1日
585	宮城	私立	宮城学院女子大学	10月1日
586	山形	公立	山形県立米沢栄養大学	10月1日
587	山形	公立	山形県立米沢女子短期大学	10月1日
588	山形	私立	東北文科大学	10月1日
589	山形	私立	東北文科大学短期大学部	10月1日
590	福島	公立	会津大学	10月1日
591	福島	公立	福島県立医科大学	10月1日
592	福島	公立	会津大学短期大学部	10月1日
593	福島	私立	東日本国際大学	10月1日
594	福島	私立	いわき短期大学	10月1日
595	茨城	私立	茨城キリスト教大学	10月1日
596	茨城	私立	つくば国際大学	10月1日
597	茨城	私立	常磐短期大学	10月1日
598	栃木	私立	足利大学	10月1日
599	栃木	私立	獨協医科大学	10月1日
600	栃木	私立	宇都宮文星短期大学	10月1日
601	群馬	公立	群馬県立県民健康科学大学	10月1日
602	群馬	私立	新島学園短期大学	10月1日
603	埼玉	私立	尚美学園大学	10月1日
604	埼玉	私立	女子栄養大学	10月1日
605	埼玉	私立	日本保健医療大学	10月1日
606	埼玉	私立	人間総合科学大学	10月1日
607	埼玉	私立	ものつくり大学	10月1日
608	埼玉	私立	埼玉純真短期大学	10月1日
609	埼玉	私立	城西短期大学	10月1日
610	埼玉	私立	山村学園短期大学	10月1日
611	千葉	私立	愛国学園大学	10月1日
612	千葉	私立	植草学園大学	10月1日
613	千葉	私立	千葉経済大学	10月1日
614	千葉	私立	千葉工業大学	10月1日

No	都道府県	国公私	大学名（日本語）	協定年月日	No	都道府県	国公私	大学名（日本語）	協定年月日	No	都道府県	国公私	大学名（日本語）	協定年月日
615	千葉	私立	東京情報大学	10月1日	683	三重	私立	鈴鹿医療科学大学	10月1日	751	大分	公立	大分県立芸術文化短期大学	10月1日
616	千葉	私立	植草学園短期大学	10月1日	684	三重	私立	高田短期大学	10月1日	752	宮崎	私立	南九州大学	10月1日
617	千葉	私立	清和大学短期大学部	10月1日	685	京都	私立	京都光華女子大学	10月1日	753	宮崎	私立	宮崎国際大学	10月1日
618	千葉	私立	千葉経済大学短期大学部	10月1日	686	京都	私立	京都情報大学院大学	10月1日	754	宮崎	私立	南九州短期大学	10月1日
619	東京	私立	杏林大学	10月1日	687	京都	私立	京都女子大学	10月1日	755	鹿児島	公立	鹿児島県立短期大学	10月1日
620	東京	私立	グロービス経営大学院大学	10月1日	688	京都	私立	京都文教大学	10月1日	756	沖縄	公立	沖縄県立看護大学	10月1日
621	東京	私立	惠泉女子大学	10月1日	689	京都	私立	同志社女子大学	10月1日	757	沖縄	私立	沖縄科学技術大学院大学	10月1日
622	東京	私立	昭和薬科大学	10月1日	690	京都	私立	佛教大学	10月1日	758	沖縄	私立	沖縄キリスト教学院大学	10月1日
623	東京	私立	白百合女子大学	10月1日	691	京都	私立	平安女学院大学	10月1日	759	沖縄	私立	沖縄国際大学	10月1日
624	東京	私立	杉野服飾大学	10月1日	692	京都	私立	京都光華女子大学短期大学部	10月1日	760	沖縄	私立	沖縄キリスト教短期大学	10月1日
625	東京	私立	多摩大学	10月1日	693	京都	私立	京都文教短期大学	10月1日	761	東京	私立	東京成徳大学	12月1日
626	東京	私立	デジタルハリウッド大学	10月1日	694	大阪	公立	大阪府立大学	10月1日	762	東京	私立	日本医科大学	12月1日
627	東京	私立	東京医療保健大学	10月1日	695	大阪	私立	藍野大学	10月1日	763	東京	私立	日本獣医生命科学大学	12月1日
628	東京	私立	東京聖米大学	10月1日	696	大阪	私立	大阪青山大学	10月1日	764	東京	私立	戸板女子短期大学	12月1日
629	東京	私立	東京造形大学	10月1日	697	大阪	私立	大阪観光大学	10月1日	765	東京	私立	東京成徳短期大学	12月1日
630	東京	私立	東京農業大学	10月1日	698	大阪	私立	大阪女学院大学	10月1日	766	神奈川	私立	情報セキュリティ大学院大学	12月1日
631	東京	私立	東邦大学	10月1日	699	大阪	私立	関西福祉科学大学	10月1日	767	愛知	私立	愛知文教大学	12月1日
632	東京	私立	二松學舎大学	10月1日	700	大阪	私立	四條畷学園大学	10月1日	768	兵庫	私立	神戸松蔭女子学院大学	12月1日
633	東京	私立	文化ファッション大学院大学	10月1日	701	大阪	私立	千里金蘭大学	10月1日	2015年				
634	東京	私立	星薬科大学	10月1日	702	大阪	私立	相愛大学	10月1日	769	山形	公立	山形県立保健医療大学	2月1日
635	東京	私立	ルーテル学院大学	10月1日	703	大阪	私立	太成学院大学	10月1日	770	山形	私立	東北芸術工科大学	2月1日
636	東京	私立	青山学院女子短期大学	10月1日	704	大阪	私立	常盤会学園大学	10月1日	771	愛知	私立	名古屋学院大学	2月1日
637	東京	私立	国際短期大学	10月1日	705	大阪	私立	梅花女子大学	10月1日	772	京都	公立	京都市立芸術大学	2月1日
638	東京	私立	自由が丘産能短期大学	10月1日	706	大阪	私立	阪南大学	10月1日	773	福井	公立	敦賀市立看護大学	4月1日
639	東京	私立	女子栄養大学短期大学部	10月1日	707	大阪	私立	森ノ宮医療大学	10月1日	774	京都	私立	京都看護大学	4月1日
640	東京	私立	女子美術大学短期大学部	10月1日	708	大阪	私立	大阪青山大学短期大学部	10月1日	775	大阪	私立	大阪経済大学	6月1日
641	東京	私立	杉野服飾大学短期大学部	10月1日	709	大阪	私立	大阪城南女子短期大学	10月1日	776	兵庫	私立	神戸山手大学（2020年より、関西国際大学と統合）	7月1日
642	東京	私立	創価女子短期大学	10月1日	710	大阪	私立	大阪女学院短期大学	10月1日	777	神奈川	私立	湘南医療大学	8月1日
643	東京	私立	鶴川女子短期大学	10月1日	711	大阪	私立	関西女子短期大学	10月1日	778	長野	私立	長野保健医療大学	8月1日
644	東京	私立	山野美容芸術短期大学	10月1日	712	大阪	私立	常盤会短期大学	10月1日	779	鳥取	私立	鳥取看護大学	8月1日
645	神奈川	国立	総合研究大学院大学	10月1日	713	兵庫	公立	兵庫県立大学	10月1日	780	山口	私立	東亜大学	8月1日
646	神奈川	私立	神奈川工科大学	10月1日	714	兵庫	私立	大手前大学	10月1日	781	香川	私立	高松大学	9月1日
647	神奈川	私立	横浜商科大学	10月1日	715	兵庫	私立	関西福祉大学	10月1日	782	香川	私立	高松短期大学	9月1日
648	神奈川	私立	湘北短期大学	10月1日	716	兵庫	私立	甲子園大学	10月1日	783	埼玉	私立	東邦音楽大学	12月1日
649	神奈川	私立	洗足こども短期大学	10月1日	717	兵庫	私立	甲南女子大学	10月1日	784	東京	私立	桐朋学園大学	12月1日
650	新潟	公立	新潟県立看護大学	10月1日	718	兵庫	私立	神戸芸術工科大学	10月1日	785	東京	私立	東邦音楽短期大学	12月1日
651	新潟	私立	国際大学	10月1日	719	兵庫	私立	兵庫医科大学	10月1日	2016年				
652	新潟	私立	新潟医療福祉大学	10月1日	720	兵庫	私立	流通科学大学	10月1日	786	東京	私立	国際基督教大学	9月1日
653	新潟	私立	新潟国際情報大学	10月1日	721	兵庫	私立	大手前短期大学	10月1日	787	兵庫	私立	宝塚大学	9月1日
654	新潟	私立	新潟リハビリテーション大学	10月1日	722	兵庫	私立	神戸常盤大学短期大学部	10月1日	788	群馬	私立	東京福祉大学短期大学部	12月1日
655	新潟	私立	明倫短期大学	10月1日	723	奈良	公立	奈良県立医科大学	10月1日	789	東京	私立	東京福祉大学	12月1日
656	石川	公立	石川県立大学	10月1日	724	奈良	公立	奈良県立大学	10月1日	790	大阪	私立	大阪国際大学	12月1日
657	石川	公立	金沢美術工芸大学	10月1日	725	島根	公立	島根県立大学	10月1日	791	大阪	私立	大阪国際大学短期大学部	12月1日
658	石川	私立	北陸学院大学	10月1日	726	岡山	公立	岡山県立大学	10月1日	2017年				
659	石川	私立	北陸学院大学短期大学部	10月1日	727	岡山	公立	新見公立大学	10月1日	792	静岡	私立	静岡福祉大学	4月1日
660	山梨	私立	健康科学大学	10月1日	728	岡山	公立	新見公立短期大学	10月1日	793	大阪	私立	四天王寺大学	4月1日
661	山梨	私立	山梨学院短期大学	10月1日	729	広島	私立	広島国際学院大学	10月1日	794	大阪	私立	四天王寺大学短期大学部	4月1日
662	長野	公立	長野県看護大学	10月1日	730	広島	私立	広島女学院大学	10月1日	795	京都	私立	京都芸術大学	10月1日
663	長野	私立	佐久大学	10月1日	731	広島	私立	広島国際学院大学自動車短期大学部	10月1日	796	大阪	私立	羽衣国際大学	10月1日
664	長野	私立	松本歯科大学	10月1日	732	山口	私立	山口学芸大学	10月1日	797	奈良	私立	奈良大学	10月1日
665	長野	私立	上田女子短期大学	10月1日	733	山口	公立	山口県立理科大学	10月1日	798	東京	外国大学の 日本校	テンプル大学ジャパン キャンパス	10月1日
666	長野	私立	佐久大学信州短期大学部	10月1日	734	山口	私立	山口芸術短期大学	10月1日	799	東京	私立	白梅学園大学	12月1日
667	長野	私立	松本短期大学	10月1日	735	徳島	私立	四国大学	10月1日	800	東京	私立	白梅学園短期大学	12月1日
668	岐阜	公立	岐阜県立看護大学	10月1日	736	徳島	私立	四国大学短期大学部	10月1日	2018年				
669	岐阜	私立	岐阜医療科学大学	10月1日	737	徳島	私立	徳島文理大学短期大学部	10月1日	801	埼玉	私立	獨協大学	1月1日
670	岐阜	私立	岐阜女子大学	10月1日	738	香川	私立	香川短期大学	10月1日	802	大阪	私立	大阪医科大学	4月1日
671	岐阜	私立	中京学院大学	10月1日	739	愛媛	私立	松山大学	10月1日	803	山口	私立	徳山大学	6月1日
672	岐阜	私立	大垣女子短期大学	10月1日	740	愛媛	私立	松山短期大学	10月1日	804	東京	私立	東京医療学院大学	7月1日
673	岐阜	私立	岐阜聖徳学園大学短期大学部	10月1日	741	福岡	公立	九州歯科大学	10月1日	805	福岡	私立	九州大谷短期大学	11月1日
674	静岡	公立	静岡文化芸術大学	10月1日	742	福岡	公立	九州産業大学	10月1日	2019年				
675	静岡	私立	静岡産業大学	10月1日	743	福岡	私立	純真学園大学	10月1日	806	岐阜	私立	中部学院大学	8月1日
676	愛知	私立	愛知医科大学	10月1日	744	福岡	私立	純真短期大学	10月1日	807	岐阜	私立	中部学院大学短期大学部	8月1日
677	愛知	私立	岡崎女子大学	10月1日	745	福岡	私立	福岡医療短期大学	10月1日	808	東京	私立	駒沢女子大学	9月1日
678	愛知	私立	豊橋創造大学	10月1日	746	佐賀	私立	佐賀女子短期大学	10月1日	809	東京	私立	駒沢女子短期大学	9月1日
679	愛知	私立	愛知大学短期大学部	10月1日	747	長崎	私立	長崎純心大学	10月1日	2021年				
680	愛知	私立	愛知みずほ短期大学	10月1日	748	熊本	私立	九州看護福祉大学	10月1日	810	石川	公立	公立小松大学	1月1日
681	愛知	私立	岡崎女子短期大学	10月1日	749	熊本	私立	熊本学園大学	10月1日					
682	愛知	私立	豊橋創造大学短期大学部	10月1日	750	大分	公立	大分県立看護科学大学	10月1日					

出張講座プログラム テーマ一覧

No	講座名	講座のポイント
2015年度		
1	東京2020大会の概要	開催期間、会場、競技／大会ビジョン、大会エンブレム 大学連携
2	オリンピック全般	理念、歴史、現代的課題等
2016年度		
大会の運営、計画などについて学ぶ		
1	東京2020大会の概要	
2	東京2020大会のトピック	
3	東京2020大会のリスクマネジメント	
4	東京2020大会の文化プログラム・教育プログラム	
5	東京2020大会に向けたアンチドーピング対策	
6	東京2020大会と持続可能性	
7	東京2020大会におけるアクセシビリティ	
8	東京2020大会に向けたサイバーセキュリティ対策	
9	オリンピック・パラリンピックとエンゲージメント	
10	オリンピック・パラリンピックとイベント事業	
11	オリンピック・パラリンピックにおける選手村運営	
12	オリンピック・パラリンピックの会場整備	
13	オリンピックのマーケティング	
オリンピック・パラリンピックの基礎知識を学ぶ		
1	古代オリンピックの歴史と精神	
2	近代オリンピックの歴史	
3	クーベルタンと嘉納治五郎－世界と日本のオリンピックの黎明期	
4	近代オリンピックの理念－オリンピズムとは何か	
5	オリンピックと政治	
6	オリンピックと外交	
7	オリンピックとレガシー	
8	オリンピックとジェンダー	
9	メディアとオリンピック	
10	国際オリンピック委員会とその変遷	
11	オリンピックとボランティア	
12	パラリンピックの理念、歴史、競技	
2017年度		
I. 大会の運営、計画について学ぶ		
1	東京2020大会の概要	開催期間、会場、競技／大会ビジョン、大会エンブレム 大学連携
2	東京2020大会のトピック	現在メディアで報道されているタイムリーな東京2020大会トピック
3	アクション&レガシープラン	東京2020大会のレガシーとは／アクション&レガシープラン2016策定における重要な視点 (参画・パラリンピック・2020年前後5年間の大規模大会との連携)／5本柱におけるレガシーとアクション
4	東京2020参画プログラム	東京2020大会へのエンゲージメント(東京2020参画プログラム)
5	文化オリンピアード	オリンピック文化プログラムとは／取組事例の紹介 大学との連携(大学生にできること)
6	教育プログラム	オリンピック・パラリンピック教育とは 教育プログラムの枠組み、現状と今後の展開(よい、ドン! スクールの認証、大学との連携)
7	東京2020への国民参画(エンゲージメント)	IOC、IPCが近年の大会で重要視している『エンゲージメント』とは 大学生が東京2020大会へ参画してもらうための様々なプログラムの紹介
8	イベント紹介・参画プログラム・認証事業	パートナーを中心とした各ステークホルダー連携の具体的なイベント紹介／代表的な参画プログラム実施内容、イベント傾向の紹介／イベント時に活用できる制作物の紹介とイベント参画への奨励
9	オリンピックのマーケティング	東京2020大会を支えるオリンピックマーケティングの全体像 オリンピックマーケティングの仕組み
10	メガスポーツイベント開催を機に地域の課題解決、創生を考える	地域の課題解決、創生に向けて果たすべき役割を考えてみる
11	オリンピック休戦	オリンピック休戦プログラムとは／東京大会のオリンピック休戦プログラムに向けて オリンピックを通じた国際協力
12	東京2020大会と持続可能性(サステナビリティ)	持続可能性とは(経緯や概念の整理)／オリンピックと持続可能性の関係(IOCの方針、過去大会、NGOとの関係) ／東京2020大会について(目標、施策、持続可能性に配慮した調達コード)
13	東京2020大会をはじめとするスポーツイベントの運営	オリンピック・パラリンピックをはじめとした大型スポーツイベントがどのように開催・運営されるか

No	講座名	講座のポイント
14	オリンピック・パラリンピックにおける飲食提供	誰がどこで何を誰に提供するか／飲食提供にて配慮すべき事項（栄養、衛生、宗教、文化等） 過去大会における事例紹介／東京2020大会における飲食提供
15	東京2020大会に向けたアンチ・ドーピング対策	アンチ・ドーピング概論（オリンピズムとの関連含） 東京2020大会における組織委員会の役割
16	パラリンピック/アクセシビリティ	東京2020パラリンピック競技大会開催を通じての共生社会の実現 パラリンピックムーブメント、パラリンピックの歴史／東京2020大会におけるアクセシビリティ
17	オリンピック・パラリンピックにおける選手村運営	東京2020大会における選手村運営 選手村で活躍するボランティア
18	東京2020大会に向けたサイバーセキュリティ対策	現実空間のセキュリティとサイバーセキュリティ／オールジャパンによるサイバーセキュリティの取組 CSIRTの活動
19	東京2020大会におけるテクノロジー	東京2020大会で使われるテクノロジーの概要／東京2020大会におけるネットワーク・情報システム 東京2020大会における計測・表示システム
20	オリンピック・パラリンピックの会場整備	オリンピック・パラリンピック競技会場ができあがるまで（仮設・オーバーレイの仕組み、整備の進め方）

II. オリンピック・パラリンピックの基礎知識

1	古代オリンピックの歴史と精神	クーベルタンが着想を得た古代オリンピックとはいかなるものだったのか
2	クーベルタンと嘉納治五郎 —世界と日本のオリンピックの黎明期—	オリンピックに込めたクーベルタンと嘉納治五郎の理想とは
3	オリンピックとレガシー	IOCが提唱するレガシーとはどのような概念なのか レガシーの具体的事例
4	オリンピックとジェンダー	性別で種目が分けられるスポーツ、この是非とは
5	オリンピックと政治・外交	オリンピックを通して表出される国際政治の有様
6	近代オリンピックの理念—オリンピズムとは何か—	オリンピックと平和／オリンピックと環境問題 ユースオリンピックと原点回帰
7	国際オリンピック委員会とその変遷	リオから読み解く IOC の光と影
8	文化プログラムの変遷と現状	芸術競技から文化プログラムへ
9	オリンピックと教育	IOCのオリンピック教育プログラム（OVEP） オリンピックのアクティブ・ラーニングの実践
10	オリンピックと報道	オリンピック報道の歴史と変遷／東京大会に向けた日本メディアの動向 オリンピック報道の中立性とは
11	オリンピックの放送	オリンピックの映像制作／オリンピック放送権料の意味と変遷 オリンピック放送の仕組みや放送とSNS
12	オリンピックとボランティア	長野、ロンドンのボランティア体験／北京のボランティア教育 世界選手権のボランティア／ボランティアと外国語
13	オリンピックの「関連産業」	オリンピックを支える人たち／オリンピック開催に関わる産業 オリンピックを支える人たち
14	オリンピックの競技場	オリンピック競技場とオーバーレイの歴史と実態／「オリンピック仕様」とは何か アスリート・ファーストの競技
15	オリンピック招致2020 東京と2026 札幌	東京招致成功の要因と理由／札幌のオリンピック招致の現状と問題点 アジェンダ2020による招致計画の柔軟化
16	ホストタウン構想と地方自治体	各国選手団のホストタウン構想の現状 ホストタウンが自治体にもたらすもの
17	オリンピックと政策	オリンピックの開催が当該国の政策（スポーツ政策）にどのような影響を及ぼしたのか
18	オリンピックと環境	IOCが展開する環境プログラム 札幌冬季大会や長野冬季大会での環境問題の対応
19	パラリンピックの理念と歴史	ストークマンデビル病院とグットマン／中村医師と東京パラリンピック 負傷兵と障害者／障害者スポーツの現状
20	パラリンピックの競技	競技用義足とは何か

2018年度

I. 大会の運営、計画について学ぶ

1	パラリンピック/アクセシビリティ	東京2020パラリンピック競技大会開催を通じての共生社会の実現／パラリンピックムーブメント、パラリンピックの歴史／東京2020大会におけるアクセシビリティ／「アクセシビリティサポートガイド」を活用したソフト・レガシー／パラリンピックの事前キャンプに求められるアクセシビリティ／「バリアフリー情報」の集積と活用
2	東京2020大会の概要	開催期間、会場、競技／大会ビジョン、大会エンブレム／大学連携
3	東京2020大会と持続可能性（サステナビリティ）	持続可能性とは（経緯や概念の整理）／オリンピックと持続可能性の関係（IOCの方針、過去大会、NGOとの関係） ／東京2020大会について（目標、施策、持続可能性に配慮した調達コード）
4	東京2020大会の準備状況	大会に向けた準備状況の概略
5	アクション&レガシープラン	東京2020大会のレガシーとは／アクション&レガシープラン2016策定における重要な視点（参画・パラリンピック・2020年前後5年間の大規模大会との連携）／5本柱におけるレガシーとアクション
6	東京2020参画プログラム	東京2020大会へのエンゲージメント（東京2020参画プログラム）～オールジャパンで大学生とともにできること～
7	文化オリンピアード	オリンピック文化プログラムとは／取組事例の紹介／大学との連携（大学生にできること）

No	講座名	講座のポイント
8	教育プログラム	オリンピック・パラリンピック教育とは／教育プログラムの枠組み、現状と今後の展開（よいい、ドン！スクールの認証、大学との連携）
9	東京2020への参加の仕方（エンゲージメント）	IOC、IPCが近年の大会で重要視している東京2020大会の特徴である『エンゲージメント』とは／大学生が東京2020大会へ参画してもらうための様々なプログラムの紹介
10	イベント紹介・参画プログラム・認証事業	パートナーを中心とした各ステークホルダー連携の具体的なイベント紹介／代表的な参画プログラム実施内容、イベント傾向の紹介／イベント時に活用できる制作物の紹介とイベント参画への奨励
11	オリンピックのマーケティング	東京2020大会を支えるオリンピックマーケティングの全体像／オリンピックマーケティングの仕組み
12	東京2020大会メガスポートイベント開催を機に地域の課題解決、創生を考える	地域の課題解決、創生に向けて果たすべき役割を考えてみる
13	オリンピック休戦	オリンピック休戦プログラムとは／東京大会のオリンピック休戦プログラムに向けて／オリンピックを通じた国際協力
14	オリンピック・パラリンピックにおける競技運営の実際	過去大会等の事例から特に競技フィールド周辺で何が行われているか／またそのための準備について
15	オリンピック・パラリンピックにおける飲食提供	誰がどこで何を誰に提供するか／飲食提供にて配慮すべき事項（栄養、衛生、宗教、文化等）過去大会における事例紹介／東京2020大会における飲食提供
16	東京2020大会におけるアンチ・ドーピング対策	オリンピック・パラリンピックにおけるアンチ・ドーピング活動とは／東京2020大会に向けた組織委員会の役割／オリンピック・パラリンピックでアンチ・ドーピング活動に参加するには
17	オリンピック・パラリンピックにおける選手村運営	東京2020大会の概要／選手村運営（過去大会の様子含む）
18	オリンピック・パラリンピックにおける空港運営	東京2020大会における空港の重要性／空港で活躍するボランティア
19	東京2020大会に向けたサイバーセキュリティ対策	現実空間のセキュリティとサイバーセキュリティ／想定脅威と対策／CSIRTの活動紹介
20	東京2020大会におけるテクノロジー～東京2020大会におけるデジタルメディアの活用～	東京2020大会で使われるテクノロジーの概要／東京2020大会におけるネットワーク・情報システム／東京2020大会における計測・表示システムの紹介およびデジタルメディアの活用について
21	オリンピック・パラリンピックの輸送	オリンピック・パラリンピック輸送の概要／輸送に関する東京2020大会の環境／輸送に関するトピックス／今後のスケジュール 等
Ⅱ. オリンピック・パラリンピックの基礎知識		
1	古代オリンピックの歴史～その精神と今日的意義～	古代オリンピックの歴史と会場／古代オリンピックの内容と競技／古代オリンピックと芸術／古代オリンピックでの不正やドーピング
2	クーベルタンと嘉納治五郎～世界と日本のオリンピックの黎明期	オリンピックに込めたクーベルタンの理想／日本のオリンピック参加と嘉納治五郎の理想／初期の近代オリンピックの特徴や競技
3	オリンピック競技大会の歴史	第1回アテネ大会から第31回リオデジャネイロまで／冬季オリンピックの始まり／幻の東京オリンピック／オリンピックの肥大化
4	聖火リレーの歴史	聖火リレーの誕生／平和メッセージと聖火リレー／国際聖火リレー／聖火リレーのトーチデザイン
5	オリンピックの開会式・閉会式	開会式の歴史／開会式のパフォーマンス／聖火台と最終点火／開会式の政治性／閉会式の入場行進
6	オリンピックとレガシー	IOCが提唱するレガシーとはどのような概念か／正のレガシー、負のレガシー／レガシーの具体的事例／社会貢献やガバナンス
7	オリンピックとジェンダー	性別で種目が分けられるスポーツ／国際女子オリンピック大会／イスラム諸国の女子選手とスポーツ／女子アスリートが抱える諸問題
8	オリンピックとドーピング～選手の「高潔性」とは～	スポーツにおけるドーピングの意味／旧東側諸国のドーピング問題／ロシアの資格停止と国家的ドーピング／これからの新たな問題
9	オリンピックと政治・外交	オリンピックと国際紛争／テロリズム、難民、人権問題／平昌オリンピックをめぐる南北朝鮮の駆け引き／国連とオリンピック運動
10	近代オリンピックの歴史と理念～オリンピズムとは何か	オリンピックと平和／人種差別とオリンピック／ユースオリンピックの持つ意味
11	オリンピックと平和運動	古代オリンピックのエケケイリア／クーベルタンの平和思想／オリンピック休戦センターの設置と活動／国連とIOCの休戦決議
12	国際オリンピック委員会とその変遷	時計屋の2階から始まったIOC／アマチュアリズムの崩壊とIOCマーケティング／リオから読み解くIOCの光と影／アジェンダ2020の方向性
13	文化プログラムの変遷と現状	メダルも授与された芸術競技／芸術競技のメダリストたち／芸術展示から文化プログラムへ／成功したロンドンの文化プログラム
14	オリンピックと教育	IOCのオリンピック教育プログラム（OVEP）／オリンピックのアクティブ・ラーニングの実践／オリンピック教育の実践と内容／世界に広がった長野の「一校一國運動」
15	オリンピックと報道	オリンピック報道の歴史と変遷／東京大会に向けた日本メディアの動向／オリンピック報道の中立性とは
16	オリンピックの放送	オリンピックの映像制作／オリンピック放送権料の意味と変遷／オリンピック放送の仕組み／4K・8Kテレビとソーシャルメディア
17	オリンピックとボランティア	オリンピックや国際大会のボランティア体験／オリンピックのボランティア教育／ボランティアと外国語
18	オリンピックの「関連産業」	オリンピック開催に関わる広い裾野産業／オリンピックを裏で支える数十万人の人たち／オリンピックとインフラ整備
19	オリンピックの競技場	オリンピック競技場に必要となる条件／「オリンピック仕様」とは何か／アスリート・ファーストの競技場とは
20	オリンピックミュージアム	オリンピックと芸術／IOCミュージアム／世界のミュージアムネットワーク／日本のオリンピックミュージアム
21	オリンピック招致 東京2020と札幌2026	オリンピック招致と開催都市決定の仕組み東京招致成功の要因と理由／札幌のオリンピック招致の現状と問題点、アジェンダ2020による招致計画の柔軟化
22	オリンピックと国際交流	ホストタウン構想の現状／ホストタウンが自治体にもたらすもの／自治体の国際交流とは／開催都市の国際交流の実態

No	講座名	講座のポイント
23	オリンピックと政策	オリンピックの開催がスポーツ政策に及ぼす影響／オリンピック開催に必要な政策課題／日本の国際協力／各国のスポーツ振興策の比較
24	オリンピックと環境	札幌大会から始まった環境問題／IOCが展開する環境プログラム／長野など冬季大会での環境問題の対応
25	オリンピックと人権	クーベルタンの女性観／オリンピックの人権問題／障害者スポーツのインクルージョン
26	オリンピックの名選手たち	歴史と記憶に残るオリンピックの名選手たち／熊谷一弥から羽生結弦までの日本人メダリスト／ジェシー・オーエンスからボルトまでの名選手／戦場に消えた西竹一、自死を選んだ円谷幸吉
27	パラリンピックの理念と歴史	ストークマンデビル病院とグットマン／中村裕医師と1964年東京パラリンピック／負傷兵と障害者／障害者スポーツの現状
28	パラリンピックの競技	アーチェリーから始まったパラリンピック／ボッチャ、ゴールボールなどパラ特有の競技／競技用義足などパラリンピックで使われる用具
2019年度		
Ⅰ. 東京2020大会について知る		
1	東京2020大会の概要	東京2020大会の計画、準備状況について（基礎情報）
2	選手村	選手村の概要について
3	競技	競技の運営について
4	テクノロジー	大会における映像撮影と放送・デジタルメディア・最新技術について
5	輸送	選手や関係者、観客の輸送計画・準備について
6	空港	大会期間中における空港の役割・運営について
7	情報システム・ネットワーク	大会を支える情報システム・ネットワーク、サイバーセキュリティ対策について
8	アンチ・ドーピング	アンチ・ドーピング活動について
9	飲食	アスリートや観客に提供される食事について
10	マーケティング	オリンピックマーケティングの仕組みについて
11	持続可能性（サステナビリティ）	大会における持続可能性の目標と施策について
12	国際交流	オリンピック・パラリンピックの起源、変遷を通じた国際交流について
13	アーカイブプロジェクト	大会アーカイブの目的・役割について
14	パラリンピック・アクセシビリティ	パラリンピックの歴史・パラリンピックムーブメント、大会開催を通じた共生社会の実現について
15	Overcoming communication challenges	The major events like Olympic and Paralympic Games will help understand challenges inside global and complex working environments. ※英語での講義
16	エンゲージメント（大会への参加）	エンゲージメント、学生ならではの大会参加について
17	教育プログラム	オリンピック・パラリンピック教育について
18	文化オリンピアード	文化オリンピアードについて
19	アクション&レガシープラン	アクション&レガシープランについて
20	東京2020参画プログラム	東京2020参画プログラムについて
Ⅱ. オリンピック・パラリンピックについて知る		
21	ファインダー越しに見るオリンピックとパラリンピック	写真でみるオリンピック・パラリンピック／学生時代に、大会を通して感じてほしいこと
22	古代オリンピックの歴史	歴史・会場／内容・競技／芸術／不正・ドーピング
23	近代オリンピックの歴史	歴史・理念／オリンピズムとは何か／オリンピックと平和／オリンピックと人種差別／ユースオリンピックの持つ意味
24	競技大会の歴史	第1回アテネ大会から第31回リオデジャネイロまで／冬季オリンピックの始まり／幻の東京オリンピック／オリンピックの肥大化
25	クーベルタンと嘉納治五郎	オリンピックに込めたクーベルタンの理想／日本のオリンピック参加と嘉納治五郎の理想／近代オリンピック初期の特徴や競技
26	競技場	オリンピック競技場に必要となる条件／「オリンピック仕様」とは何か／アスリート・ファーストの競技場とは
27	聖火リレー	誕生／平和メッセージ／国際聖火リレー／トーチデザイン
28	開会式・閉会式	歴史／パフォーマンス／聖火台と最終点火／開会式の政治性／入場行進
29	ボランティア	オリンピックや国際大会のボランティア体験／ボランティア教育／ボランティアと外国語
30	ドーピング	選手の「高潔性」とは／スポーツにおけるドーピングの意味／旧東側諸国のドーピング問題／ロシアの資格停止と国家的ドーピング／これからの新たな問題
31	報道	オリンピック報道の歴史と変遷／東京大会に向けた日本メディアの動向／オリンピック報道の中立性とは
32	放送	オリンピックの映像制作／オリンピック放送権料の意味と変遷／オリンピック放送の仕組み／4K・8Kテレビとソーシャルメディア
33	文化プログラム	メダルも授与された芸術競技／芸術競技のメダリストたち／芸術展示から文化プログラムへ／成功したロンドンの文化プログラム
34	教育	IOCのオリンピック教育プログラム（OVEP）／オリンピックのアクティブ・ラーニングの実践／オリンピック教育の実践と内容／世界に広がった長野の「一校一運動」
35	平和運動	古代オлимпиаのエケケイリア／クーベルタンの平和思想／オリンピック休戦センターの設置と活動／国連とIOCの休戦決議
36	ホストタウン	ホストタウン構想の現状／ホストタウンが自治体にもたらすもの／自治体の国際交流とは／開催都市の国際交流の実態

No	講座名	講座のポイント
37	環 境	札幌大会から始まった環境問題／IOCが展開する環境プログラム／冬季大会での環境問題
38	人 権	クーベルタンの女性観／オリンピックの人権問題／障害者スポーツのインクルージョン
39	ジェンダー	性別で種目が分けられるスポーツ／国際女子オリンピック大会／イスラム諸国の女子選手とスポーツ／女子アスリートが抱える諸問題
40	政治・外交	国際紛争／テロリズム・難民・人権問題／平昌オリンピックをめぐる南北朝鮮の駆け引き／国連とオリンピック運動
41	政策	オリンピックの開催がスポーツ政策に及ぼす影響／オリンピック開催に必要な政策課題／日本の国際協力／各国のスポーツ振興策の比較
42	オリンピック関連産業	オリンピック開催に関わる広い裾野産業／オリンピックを裏で支える数十万人の人たち／オリンピックとインフラ整備
43	レガシー	IOCが提唱するレガシーとはどのような概念か／正のレガシー・負のレガシー／レガシーの事例／社会貢献・ガバナンス
44	オリンピックミュージアム	オリンピックと芸術／IOCミュージアム／世界のミュージアムネット／日本のオリンピックミュージアム
45	オリンピックの逸話とトリビア	金メダルはなぜ銀製なのか／友情のメダル／マラソンはなぜ42.195キロになったのか／選手村の始まりと選手村生活／競技時間はどのように決まるのか／など
46	オリンピックの名選手たち	歴史と記憶に残るオリンピックの名選手たち／熊谷一弥から羽生結弦までの日本人メダリスト／ジェシー・オーエンスからボルトまでの名選手／戦場に消えた西竹一、自死を選んだ円谷幸吉
47	国際オリンピック委員会	時計屋の2階から始まったIOC／アマチュアリズムの崩壊とIOCマーケティング／リオから読み解くIOCの光と影／アジェンダ2020の方向性
48	オリンピック招致	オリンピック招致と開催都市決定の仕組み東京招致成功の要因と理由／札幌のオリンピック招致の現状と問題点／アジェンダ2020による招致計画の柔軟化
49	理念・歴史	ストークマンデビル病院とグットマン／中村裕医師と1964年東京パラリンピック／負傷兵と障害者／障害者スポーツの現状
50	競 技	アーチェリーから始まったパラリンピック／特有の競技／パラリンピックで使われる用具
2020年度		
1	オリンピック・パラリンピック × イノベーション × 行政	・オリンピック・パラリンピックでのイノベーションとは・イノベーションにおける行政の役割とは ・民間企業から自治体へ転職してわかった民間企業と自治体との違い・関係性とは ・キャリア形成について
2	オリンピック・パラリンピックにおけるアンチ・ドーピング活動	・アンチ・ドーピング活動の目的 ・アンチ・ドーピング活動とは ・東京2020組織委員会の役割
3	東京2020大会と持続可能性	こちらの講義は、7つのテーマに分かれています。下記より、お選びください（複数の組み合わせも可能です）。 1 気候変動 省エネルギーや再生可能エネルギーの利用等カーボン削減の具体的取組、大会のカーボンオフセットなどについて 2 資源管理 3R（リデュース・リユース・リサイクル）、ムダのない資源活用方法 などについて 3 大気・水・緑・生物多様性等 水資源の有効活用、在来植物による競技会場の緑化 などについて 4 人権・労働、公正な事業慣行等 ダイバーシティ&インクルージョン、人権の尊重、ILOとの協力 などについて 5 参加・協働、情報発信（エンゲージメント） 多様な主体とのパートナーシップの構築、持続可能性に関する取組の発信 などについて 6 持続可能性に配慮した調達コード サプライチェーンにおける環境や社会への配慮を推進する取組 などについて 7 全体概要 持続可能性というテーマに初めて触れる方、東京2020大会での全体の取り組みを学びたい場合におすすめです
4	東京2020大会と選手村	・東京2020大会の概要 ・選手村の運営について ・過去大会の選手村について（リオ2016大会、平昌2018冬季大会） ・東京2020大会に向けた取組について
5	東京2020大会を支えるリスクマネジメント	・オリンピック・パラリンピックのリスクマネジメント ・東京2020組織委員会では、どのような方々が働いているのか ・職員として伝えたい、キャリア形成に向けたヒント
6	オリンピック・パラリンピックと私	・日本で、オリンピック・パラリンピックを開催するにあたり、学生時代に感じてきたこと ・リオ2016大会 大会ボランティア ・学生時代に取り組んだこと、将来を考えたいこと ・社会人1年目に感じること ・東京2020大会終了後に思い描くこと
7	「オリンピック・パラリンピック文化」から学ぶキャリア形成	・なぜオリンピック・パラリンピックに文化が必要か ・過去のオリンピック・パラリンピック大会での文化イベントの取組 ・今、日本の若者が日本の文化を知るべき5つのこと ・文化を学べばいい大人になれるか、君はどんな大人になりたいか
8	国際スポーツにおける渉外とコミュニケーション	・国際スポーツにおける渉外とコミュニケーション ・選手団とのコミュニケーションから見る多様性 ・なぜ、「海外で学ぼう、働こう」と思ったのか ・「経験」を積むことの大切さ
9	Society 5.0におけるオリンピック・パラリンピックの役割（*）	・オリンピック・パラリンピックが果たしてきた歴史的役割や変容 ・Society5.0について ・Society5.0におけるオリンピック・パラリンピックの意義 ・変革を続ける社会へ私たちはどのように対応すべきか、必要なスキルとは ・グローバルコミュニケーション

No	講座名	講座のポイント
10	ファインダー越しに見るオリンピック・パラリンピック（＊）	・学生時代、卒業後の経験について、スポーツ写真を撮るようになったきっかけ ・オリンピック・パラリンピックとの出会い、フォトグラファーになるまで ・「好きなこと」を仕事にするためには ・学生時代にやってみてほしいこと ・好きなことをみつけるには、人との出会い
11	世界とつながるオリンピック・パラリンピック	・メディア視点から考えるオリンピック・パラリンピック ・スポーツだけではなく、過去大会との比較など多様な視点から注目される東京2020大会 ・東京2020大会を通して生まれる日本と世界の新たなつながり ・国際的イベントを日本から発信する意義、そして世界から学ぶこと
12	ソーシャルメディア戦略とキャリア形成	・東京2020組織委員会におけるソーシャルメディア運用 ・メディア業務の醍醐味 ・多様な国籍・人種のスタッフと働く上での心構え ・大学／大学院で習得した知識の仕事への活用 ・偶発性と必然性をハンドリングしながらのキャリア形成
13	オリンピック・パラリンピックと知的財産／弁護士の仕事	・オリンピック・パラリンピックの知的財産とは ・知的財産は、オリンピック・パラリンピックの運営資金の源泉 ・オリンピック・パラリンピックでは誰とどのような契約が結ばれているのか ・スポンサー？マーケティング？ってどういうこと？ ・ニセモノ対策として何をしているのか ・弁護士がオリンピック・パラリンピックでどんな仕事をしているのか
14	オリンピック・パラリンピックにおけるマーケティングの仕組みについて	・なぜ、オリンピック・パラリンピックには、スポンサーからの資金提供が必要なのか ・オリンピック・パラリンピックマーケティングの歴史的背景とその仕組み ・記者や広告代理店の仕事の意義 ・将来へのポジティブな可能性と社会に貢献することとは
15	オリンピック・パラリンピックのマーケティング	・マーケティング概論 ・スポーツマーケティング概論 ・オリンピック・パラリンピックマーケティングの理論と実際 ・実際の事例に見るマーケティング権の実現 ・公務員としてスポーツビジネスに関わることの意味
16	東京2020大会・マーケティング	・東京2020大会の理念、意義、概要 ・東京2020大会のマーケティング ・学生にとって、就職先を選ぶということ ・学生時代の自分、今までのキャリアやスキルと今の仕事
17	東京2020大会マーケティングとその活用	・東京2020大会マーケティングの概要 ・東京2020大会における実践事例 ・ブランド開発、管理について ・マーケティングと行政運営のコラボレーションの検討 ・東京2020大会後の東京
18	About the Olympic and Paralympic Games	・オリンピック・パラリンピックの概要 ・スポーツイベントの運営方法 ・競技運営の仕組み、構造 ・オリンピック、パラリンピックを支える人たち（ボランティア、技術役員など） ※本講義は、英語での実施になります。
19	Sports Organization Management	・スポーツ組織が確立される経緯、目的 ・スポーツ組織における戦略的経営と分析 ・スポーツ組織での人材活用 ・スポーツ組織と一般企業の違い ※本講義は、英語での実施になります。
20	スポーツと社会	・東京2020大会概要 ・オリンピックとパラリンピックの歴史 ・大学から現職までの経歴をベースとした体験談 ・スポーツの力から学ぶこと ・今後のキャリア形成
21	スポーツの力、オリンピックムーブメント	・近代オリンピックの成り立ち ・日本におけるオリンピックムーブメント ・ウエイトリフティング選手時代を振り返って ・選手引退後の新しいキャリアについて ・スポーツ経験者から見る、オリンピックの楽しみ方
22	東京2020大会を通して考える「スポーツの現場で働く」ということ	・スポーツ産業でのキャリア紹介 ・東京2020大会に関わる仕事の紹介 ・働く上で大事な『理念』『未来』そして『現実』 ・スポーツの現場で働く、という意味 ・スポーツの明日、みんなの明日
23	オリンピック・パラリンピックで実現する都市の成長と成熟	・なぜ、東京都は、開催に手を挙げたのか ・東京2020大会をきっかけに、変わる都市活動 ・東京2020大会が都民にもたらすものとは ・全国自治体との連携、日本に残したいレガシーとは
24	「復興オリンピック・パラリンピック」について	・大会招致での提唱（東日本大震災からの復興） ・スポーツの力とは ・復興オリンピック・パラリンピックとは
25	パラリンピックとその先の共生社会について	・パラリンピックについて ・アクセシビリティについて ・インクルージョン、共生社会について

（＊）の講座については、日本オリンピックアカデミー（JOA）からの派遣です。

出張講座プログラム 年度別実施一覧

No.	大学名	実施日	テーマ	講師
2015年度				
1	亀田医療大学	10月3日	2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の概要について	雑賀 真（東京2020組織委員会総務局）
2	デジタルハリウッド大学	10月16日	2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の概要について	雑賀 真（東京2020組織委員会総務局）
3	東京富士大学	10月27日	イベント特講「オリンピック・パラリンピック学」	雑賀 真（東京2020組織委員会総務局）
4	大阪教育大学	11月3日	祝祭としてのスポーツ オリンピックパラリンピックを教育にどう活かすか	来田 享子（JOA理事、中京大学教授）
5	豊橋創造大学	11月4日	東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて～学校教育における教材・スポーツの役割や実践的な取り組み～	木村 華織（JOAオリンピック教育研究委員、東海学園大学助教）
6	鎌倉女子大学鎌倉女子短期大学部	11月14日	1964年大会は、戦後日本に何を残したか。2020年大会は何を残すのか。	佐野 慎輔（JOA理事、産経新聞特別記者兼論説委員）
7	東京女子体育大学	1月23日	2020年大会概要について	雑賀 真（東京2020組織委員会総務局）
8	大阪大谷大学	2月6日	大阪大谷大学スポーツ健康学会 2020年大会（東京オリンピック）とスポーツ振興	来田 享子（JOA理事、中京大学教授）
9	群馬大学	2月19日	東京オリンピック・パラリンピック競技大会の概要について	雑賀 真（東京2020組織委員会総務局）
2016年度				
1	北陸大学	6月14日	東京2020大会に向けたアンチドーピング対策	平井 千貴（東京2020組織委員会大会準備運営第一局大会計画部）
2	フェリス学院大学	6月21日	オリンピック・パラリンピックとエンゲージメント	井上 利彦（東京2020組織委員会広報局広報部）
3	デジタルハリウッド大学	6月24日	東京2020大会におけるアクセシビリティ	中南 久志（東京2020組織委員会大会準備運営第一局パラリンピック統括部）
4	デジタルハリウッド大学	7月6日	クーベルタンと嘉納治五郎・世界と日本のオリンピックの黎明期	後藤 光将（JOA理事、明治大学政治経済学部准教授）
5	実践女子大学	7月11日	国際理解とキャリア形成	大住 恒三（東京2020組織委員会総務局総合調整部）
6	デジタルハリウッド大学	7月12日	近代オリンピックの歴史・近代オリンピックの理念-オリンピズムとは何か	田原 淳子（JOA理事、国士舘大学体育学部教授）
7	北陸大学	7月20日	オリンピックとマーケティング	小谷 健（東京2020組織委員会マーケティング局調整部）
8	東洋大学	7月23日	東京2020大会の概要	小幡 泰弘（東京2020組織委員会企画財務局企画部）
9	朝日大学	8月27日	近代オリンピックの理念-オリンピズムとは何か	近藤 良享（JOA会員、中京大学スポーツ科学部教授）
10	朝日大学	9月3日	メディアとオリンピック	藤原 庸介（JOA副会長、日本オリンピック委員会理事、全日本柔道連盟理事）
11	横浜市立大学	9月17日	オリンピックとボランティア	雑賀 真（JOA会員）
12	早稲田大学	10月4日	オリンピック・パラリンピックの理念と意義	室伏 広治（東京2020組織委員会スポーツ局）
13	早稲田大学	10月11日	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の概要	手島 浩二（東京2020組織委員会総務局）
14	東洋学園大学	10月15日	オリンピックとボランティア	舩本 直文（JOA理事）
15	女子栄養大学	10月15日	近代オリンピックの理念-オリンピズムとは何か	結城 和香子（読売新聞社東京本社編集委員）
16	早稲田大学	10月25日	開催都市からみたオリンピック	戸谷 泰之（東京都オリンピック・パラリンピック準備局）
17	東洋大学	10月28日	オリンピック・パラリンピックとエンゲージメント	井上 利彦（東京2020組織委員会広報局広報部）
18	帝京短期大学	11月1日	オリンピックとボランティア	雑賀 真（JOA会員）
19	江戸川大学	11月3日	公益財団法人 東京オリンピック・パラリンピック競技大会の概要について（持続可能性の側面から）	田中 丈夫（東京2020組織委員会大会準備運営第一局持続可能性）
20	近畿大学	11月8日	オリンピック・パラリンピックとイベント事業	栗原 裕二（東京2020組織委員会広報局事業部）
21	女子栄養大学短期大学部	11月10日	オリンピック・パラリンピックにおける選手村運営	八島 和彦（東京2020組織委員会大会準備運営第二局会場マネジメント部）
22	亜細亜大学	11月10日	オリンピック・パラリンピックとエンゲージメント	藤本 ルナ（東京2020組織委員会広報局広報部）
23	成蹊大学	11月11日	近代オリンピックの歴史	和田 浩一（JOA理事、フェリス学院大学教授）
24	帝京短期大学	11月14日	オリンピックとボランティア	塚本 博（JOA会員）
25	帝京短期大学	11月24日	オリンピックとボランティア	雑賀 真（JOA会員）
26	武蔵野大学	12月1日	オリンピック・パラリンピックのマーケティングの法律問題	小谷 健（東京2020組織委員会マーケティング局調整部）
27	早稲田大学	12月13日	東京2020大会に向けたアンチドーピング対策	平井 千貴（東京2020組織委員会大会準備運営第一局大会計画部）

No.	大学名	実施日	テーマ	講師
28	京都産業大学	12月16日	オリンピックと外交 オリンピック・パラリンピックとパブリック・ディプロマシー	小野 日子（東京2020組織委員会広報局）
29	実践女子大学	12月17日	東京2020大会の文化プログラム・教育プログラムについて	和田 浩一（JOA理事、フェリス学院大学教授）
30	戸板女子短期大学	12月21日	パラリンピックの理念・歴史・競技 オリンピックとボランティア	安藤 佳代子（JOA会員、立教大学コミュニティ福祉学部スポーツ ウェルネス学科助教）
31	大阪経済大学	1月21日	東京2020文化プログラム・教育プログラム	堀 和憲（東京2020組織委員会企画財務局アクション&レガシー 部）
32	武蔵野大学	1月24日	東京2020大会のセキュリティ対策の実際	今井 勝典（東京2020組織委員会警備局）
33	東京女子体育大学・東京女子 体育短期大学	2月25日	オリンピックのマーケティング	小谷 健（東京2020組織委員会マーケティング局調整部）
2017年度				
1	十文字学園大学	5月10日	オリンピックとエンゲージメントイベント	栗原 裕二（東京2020組織委員会広報局事業部）
2	十文字学園大学	5月17日	オリンピックと参画プログラム	栗原 裕二（東京2020組織委員会広報局事業部）
3	摂南大学	5月18日	文化オリンピック	来田 京子（JOA理事・中京大学教授）
4	成蹊大学	5月27日	近代オリンピックの理念 - オリンピズムとは何か -	佐野 慎輔（JOA理事）
5	玉川大学	6月7日	東京2020大会におけるテクノロジー	古庄 裕司（東京2020組織委員会テクノロジーサービス局情報シ ステム部）
6	北陸大学	6月13日	東京2020大会に向けたアンチ・ドーピング対策	平井 千貴（東京2020組織委員会大会準備運営第一局医療サービ ス部）
7	一橋大学	6月15日	東京2020大会と持続可能性	西中 隆（東京2020組織委員会大会準備運営第一局）
8	東京外国語大学	6月21日	パラリンピック/アクセシビリティ	仲前 信治（東京2020組織委員会パラリンピック統括室パラリン ピック統括部）
9	成蹊大学	6月28日	文化オリンピック	橘 晃嗣（東京2020組織委員会企画財務局アクション&レガシー 部）
10	デジタルハリウッド大学	6月30日	パラリンピック/アクセシビリティ	中南 久志（東京2020組織委員会大会準備運営第一局）
11	東京外国語大学	7月5日	オリンピックとボランティア	舩本 直文（JOA副会長）
12	慶応義塾大学	7月5日	東京2020への国民参画（エンゲージメント）	井上 利彦（東京2020組織委員会広報局広報部）
13	フェリス学院大学	7月18日	文化オリンピック	堀 和憲（東京2020組織委員会企画財務局アクション&レガシー 部）
14	東洋大学	7月22日	オリンピックとボランティア	雑賀 真（JOA会員）
15	女子栄養大学	7月31日	オリンピック・パラリンピックにおける飲食提供	澤崎 道男（東京2020組織委員会大会準備運営第一局大会計画部）
16	東京外国語大学	7月31日	古代オリンピックの歴史と精神	真田 久（JOA副会長、筑波大学教授）
17	東京外国語大学	8月1日	パラリンピックの理念と歴史	田中 暢子（JOA会員、桐蔭横浜大学准教授）
18	東京外国語大学	8月2日	オリンピックと環境	田原 淳子（JOA理事、国士舘大学教授）
19	東京外国語大学	8月3日	オリンピックと報道	結城 和香子（JOA会員）
20	東京外国語大学（東京都）	8月4日	東京2020大会のトピック	手島 浩二（東京2020組織委員会総務局）
21	一橋大学	8月10日	オリンピックとマーケティング	池松 州一郎（東京2020組織委員会マーケティング局ブランド管 理部）
22	女子栄養大学短期大学部	8月30日	オリンピック・パラリンピックにおける選手村運営	飯野 淳（東京2020組織委員会大会準備運営第二局会場マネジメ ント部）
23	愛知大学	9月10日	オリンピックとボランティア	塚本 博（JOA会員）
24	上野学園大学	10月4日	文化プログラムの変遷と現状	舩本 直文（JOA副会長）
25	亜細亜大学	10月5日	東京2020大会の概要	手島 浩二（東京2020組織委員会総務局）
26	東京家政大学	10月19日	オリンピック・パラリンピックにおける飲食提供	山田 和明（東京2020組織委員会大会準備運営第一局大会計画部）
27	デジタルハリウッド大学	10月24日	東京2020への国民参画（エンゲージメント）	井上 利彦（東京2020組織委員会広報局広報部）
28	東京外国語大学	10月25日	東京2020大会と持続可能性	田中 丈夫（東京2020組織委員会大会準備運営第一局持続可能性 部）
29	情報セキュリティ大学院大学	10月26日	東京2020大会におけるテクノロジー 東京2020大会に向けたサイバーセキュリティ対策	館 剛司（東京2020組織委員会テクノロジーサービス局） 中西 克彦（東京2020組織委員会警備局サイバー攻撃対処部）
30	和洋女子大学	10月30日	パラリンピックの競技	田中 暢子（JOA会員）
31	成蹊大学	10月30日	東京2020大会に向けたアンチ・ドーピング対策	平井 千貴（東京2020組織委員会大会準備運営第一局医療サービ ス部）
32	琉球大学	11月1日	オリンピック・パラリンピックにおける飲食提供	澤崎 道男（東京2020組織委員会大会準備運営第一局大会計画部）

No.	大学名	実施日	テーマ	講師
33	デジタルハリウッド大学	11月1日	パラリンピック/アクセシビリティ	中南 久志（東京2020組織委員会パラリンピック統括室）
34	成蹊大学	11月10日	メガスポーツイベント開催を契機に地域の課題解決、創生を考える	村里 敏彰（東京2020組織委員会国際局）
35	フェリス学院大学	11月16日	東京2020大会の概要	手島 浩二（東京2020組織委員会総務局）
36	東京家政大学	11月16日	オリンピックとジェンダー	田原 淳子（JOA理事、国士舘大学教授）
37	玉川大学	11月30日	東京2020大会に向けたサイバーセキュリティ対策	中西 克彦（東京2020組織委員会警備局サイバー攻撃対処部）
38	東京家政大短期大学部	12月2日	パラリンピック/アクセシビリティ	犬島 朋子（東京2020組織委員会パラリンピック統括室パラリンピック統括部）
39	デジタルハリウッド大学	12月6日	東京2020大会におけるテクノロジー	井上 淳也（東京2020組織委員会テクノロジーサービス局情報基盤部）
40	早稲田大学	12月7日	オリンピックの社会科学的・人文的検討	手島 浩二（東京2020組織委員会総務局）
41	成蹊大学	12月13日	ホストタウン構想と地方自治体	望月 敏夫（JOA理事）
42	戸板女子短期大学	12月13日	オリンピックとボランティア	塚本 博（JOA会員）
43	東京外国語大学	12月20日	オリンピックとジェンダー	荒井 啓子（JOA専務理事）
44	デジタルハリウッド大学	1月11日	ホストタウン構想と地方自治体	雑賀 真（JOA会員）
45	東京外国語大学	1月17日	オリンピックと政治・外交	望月 敏夫（JOA理事）
46	駿河台大学	3月23日	オリンピックのマーケティング	小谷 健（東京2020組織委員会マーケティング局調整部）
2018年度				
1	成蹊大学	5月16日	オリンピックと政治・外交	望月 敏夫（元駐ギリシア大使/日本オリンピックアカデミー理事）
2	筑波大学	6月4日	オリンピック・パラリンピックにおける選手村運営	飯野 淳（東京2020組織委員会大会準備運営第二局選手村マネジメント部）
3	上野学園大学	6月6日	東京2020への参加の仕方（エンゲージメント）	井上 利彦（東京2020組織委員会広報局広報部）
4	玉川大学	6月11日	東京2020大会におけるテクノロジー	吉田 忠城（東京2020組織委員会テクノロジーサービス局ベニューテクノロジー部）
5	法政大学	6月18日	パラリンピック/アクセシビリティ	仲前 信治（東京2020組織委員会パラリンピック統括室パラリンピック統括部）
6	東京成徳大学	6月22日	オリンピック・パラリンピックにおける飲食提供	丸山 玄（東京2020組織委員会大会大会準備運営第一局飲食サービス部）
7	早稲田大学	6月25日	川淵三郎キャプテン企画 早稲田2020講演会	室伏 広治（東京2020組織委員会スポーツディレクター）
8	女子栄養大学	7月2日	オリンピック・パラリンピックにおける飲食提供	丸山 玄（東京2020組織委員会大会大会準備運営第一局飲食サービス部）
9	北陸大学	7月4日	東京2020大会におけるアンチ・ドーピング対策	平井 千貴（東京2020組織委員会大会大会準備運営第一局医療サービス部）
10	法政大学	7月9日	ダイバーシティ&インクルージョン	小川 一郎（東京2020組織委員会大会大会準備運営第二局会場サービス部）
11	尚絅学院大学	7月21日	オリンピックとボランティア	塚本 博（NPO法人日本オリンピックアカデミー会員）
12	立教大学	7月21日	イベント紹介・参画プログラム・認証事業	栗原 裕二（東京2020組織委員会広報局事業部）
13	九州大谷短期大学	8月6日	イベント紹介・参画プログラム・認証事業	栗原 裕二（東京2020組織委員会広報局事業部）
14	多摩大学	9月27日	東京2020への参加の仕方（エンゲージメント）	井上 利彦（東京2020組織委員会広報局）
15	東京家政大学	10月4日	オリンピックとボランティア	雑賀 真（JOA会員/東京都職員信用組合専務理事）
16	多摩大学	10月4日	東京2020参画プログラム	井上 利彦（東京2020組織委員会広報局広報部）
17	多摩大学	10月10日	東京2020参画プログラム	星野 陽子（東京2020組織委員会企画財務局アクション&レガシー部）
18	亜細亜大学	10月11日	東京2020大会の準備状況	荏原 哲生（東京2020組織委員会企画財務局企画部）
19	芝浦工業大学	10月15日	東京2020への参加の仕方（エンゲージメント）	近藤 聖（東京2020組織委員会広報局広報部）
20	芝浦工業大学	10月19日	オリンピックとボランティア	雑賀 真（JOA会員/東京都福祉保健財団）
21	芝浦工業大学	10月19日	オリンピックとボランティア	塚本 博（JOA会員/上毛新聞社編集局編集部主事）
22	玉川大学	10月25日	東京2020大会に向けたサイバーセキュリティ対策	加納 暢之（東京2020組織委員会警備局サイバー攻撃対処部）
23	情報セキュリティ大学院大学	11月8日	東京2020大会に向けたサイバーセキュリティ対策	加納 暢之（東京2020組織委員会警備局サイバー攻撃対処部）
24	フェリス学院大学	11月15日	国際交流への招待	竹見 修吾（フォトグラファー/日本オリンピック・アカデミー会員）

No.	大学名	実施日	テーマ	講師
25	早稲田大学	11月15日	東京2020大会の概要	手島 浩二（東京2020組織委員会総務局長）
26	立教大学・東日本国際大学	11月24日	イベント紹介・参画プログラム・認証事業	栗原 裕二（東京2020組織委員会企画財務局アクション&レガシー部）
27	杏林大学	11月27日	東京2020大会と持続可能性（サステナビリティ）	荒田 有紀（東京2020組織委員会総務局持続可能性部）
28	尚絅学院大学	12月1日	パラリンピック/アクセシビリティ	中南 久志（東京2020組織委員会パラリンピック統括室）
29	東京家政大学短期大学部	12月8日	パラリンピック/アクセシビリティ	犬島 朋子（東京2020組織委員会パラリンピック統括室パラリンピック統括部）
30	東京外国語大学	12月12日	パラリンピック/アクセシビリティ	犬島 朋子（東京2020組織委員会パラリンピック統括室パラリンピック統括部）
31	戸板女子短期大学	12月12日	オリンピックとボランティア	雑賀 真（JOA会員/元東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会チーフコンプライアンス・オフィサー総務局長）
32	女子栄養大学短期大学部	12月18日	オリンピック・パラリンピックにおける選手村運営	飯野 淳（東京2020組織委員会大会準備運営第二局選手村マネジメント部）
33	成蹊大学	12月24日	オリンピックと報道	藤原 庸介（日本オリンピック委員会理事/流通経済大学スポーツ健康科学部准教授）
34	東京外国語大学	1月16日	東京2020大会の概要	手島 浩二（東京2020組織委員会総務局長）
35	熊本県立大学	1月16日	東京2020大会におけるテクノロジー	堀 賢治（東京2020組織委員会テクノロジーサービス局リザルトシステム部）
36	山梨学院大学	1月17日	近代オリンピックの歴史と理念-オリンピズムとは何か	真田 久（JOA会員/筑波大学）
37	四天王寺大学	1月31日	ファインダー越しに見るオリンピック	竹見 修吾（フォトグラファー/日本オリンピック・アカデミー会員）
38	山梨学院大学	2月26日	オリンピックとドーピング～選手の「高潔性」とは～	近藤 良享（JOA会員/中京大学）
39	東京女子医科大学	2月28日	オリンピックと政治・外交	藤原 庸介（日本オリンピック委員会理事/流通経済大学スポーツ健康科学部准教授）
2019年度				
1	四天王寺大学	4月3日	ファインダー越しに見るオリンピックとパラリンピック	竹見 修吾（フォトグラファー/日本オリンピック・アカデミー会員）
2	玉川大学	5月28日	情報システム・ネットワーク	田村 研輔（東京2020組織委員会警備局サイバー攻撃対処部）
3	東京経済大学	5月31日	パラリンピックの理念・歴史	安藤 佳代子（日本福祉大学スポーツ科学部助教/日本オリンピック・アカデミー所属）
4	十文字学園女子大学	6月5日	「NIPPON フェスティバル」	栗原 裕二（東京2020組織委員会企画財務局アクション&レガシー部）
5	北陸大学	6月10日	アンチドーピング	平井 千貴（東京2020組織委員会大会運営局医療サービス部）
6	上野学園大学	6月12日	オリンピックの名選手たち	木村 華織（東海学園大学講師/JOA会員）
7	法政大学	6月13日	パラリンピック・アクセシビリティ	仲前 信治（東京2020組織委員会パラリンピック統括室パラリンピック統括課）
8	法政大学	6月20日	ダイバーシティ&インクルージョン	小川 一郎（東京2020組織委員会大会運営局会場サービス部）
9	実践女子大学	7月5日	パラリンピック・アクセシビリティ	犬島 朋子（東京2020組織委員会パラリンピック統括室パラリンピック統括課）
10	早稲田大学	7月26日	パラリンピック・アクセシビリティ	中南 久志（東京2020組織委員会パラリンピック統括室）
11	朝日大学	7月31日	参画プログラム	星野 陽子（東京2020組織委員会企画財務局アクション&レガシー部）
12	女子栄養大学	7月31日	飲食	高梨 淳子（東京2020組織委員会大会運営局飲食サービス部）
13	女子栄養大学短期大学部	8月26日	飲食	石井 あかね（東京2020組織委員会大会運営局飲食サービス部）
14	日本ウェルネススポーツ大学	9月8日	東京2020大会の概要	荻原 哲生（東京2020組織委員会企画財務局企画部）
15	日本ウェルネススポーツ大学	9月14日	オリンピックの名選手たち	佐野 慎輔（日本オリンピックアカデミー理事/産経新聞客員論説委員）
16	日本ウェルネススポーツ大学	9月15日	ファインダー越しに見るオリンピックとパラリンピック	竹見 修吾（フォトグラファー/日本オリンピック・アカデミー会員）
17	法政大学	10月7日	ドーピング	近藤 良享（名古屋学院大学教授/JOA会員）
18	東京外国語大学	10月9日	持続可能性（サステナビリティ）	荒田 有紀（東京2020組織委員会総務局持続可能性部）
19	立教大学	10月11日	マーケティング	栗原 裕二（東京2020組織委員会マーケティング局ブランド管理部）
20	東京外国語大学	10月16日	レガシー	結城 和香子（読売新聞/JOA会員）
21	早稲田大学	10月16日	東京2020大会の概要	手島 浩二（東京2020組織委員会総務局）
22	東京外国語大学	10月23日	人権	建石 真公子（法政大学/JOA会員）
23	早稲田大学	10月23日	ファインダー越しに見るオリンピックとパラリンピック	竹見 修吾（フォトグラファー/日本オリンピック・アカデミー会員）

No.	大学名	実施日	テーマ	講師
24	玉川大学	10月24日	ファインダー越しに見るオリンピックとパラリンピック	竹見 修吾 (フォトグラファー/日本オリンピック・アカデミー会員)
25	東京家政大学短期大学部	11月2日	パラリンピック・アクセシビリティ	犬島 朋子 (東京2020組織委員会パラリンピック統括室パラリンピック統括課)
26	フェリス学院大学	11月7日	ファインダー越しに見るオリンピックとパラリンピック	竹見 修吾 (フォトグラファー/日本オリンピック・アカデミー会員)
27	東京外国語大学	11月13日	平和運動	舩本 直文 (首都大学東京/JOA会員)
28	亜細亜大学	11月28日	東京2020大会の概要	太田 健司 (東京2020組織委員会企画財務局企画部)
29	東京外国語大学	12月4日	環境	大津 克哉 (東海大学/JOA会員)
30	戸板女子短期大学	12月4日	ファインダー越しに見るオリンピックとパラリンピック	竹見 修吾 (フォトグラファー/日本オリンピック・アカデミー会員)
31	亜細亜大学	12月5日	マーケティング	小谷 健 (東京2020組織委員会マーケティング局調整部)
32	亜細亜大学	12月12日	飲食	渡邊 剛史 (東京2020組織委員会大会運営局飲食サービス部)
33	朝日大学	12月19日	パラリンピックの理念・歴史	安藤 佳代子 (日本福祉大学/JOA会員)
34	東京外国語大学	1月8日	オリンピック関連産業	佐野 慎輔 (日本オリンピックアカデミー理事/産経新聞客員論説委員)
35	山梨学院大学	1月9日	ジェンダー	新井 喜代加 (松本大学/日本スポーツとジェンダー学会会員)
36	東京外国語大学	1月15日	東京2020大会の概要	手島 浩二 (東京2020組織委員会総務局)
37	亜細亜大学	1月16日	空港	堤 俊哉 (東京2020組織委員会輸送局出入国部)
2020年度				
1	大阪経済大学	6月23日	パラリンピックとその先の共生社会について	犬島 朋子 (東京2020組織委員会パラリンピック統括室パラリンピック統括課)
2	実践女子大学	7月28日	ファインダー越しに見るオリンピック・パラリンピック	竹見 修吾 (フォトグラファー/オリンピックアカデミー会員)
3	戸板女子短期大学	8月6日	ファインダー越しに見るオリンピック・パラリンピック	竹見 修吾 (フォトグラファー/オリンピックアカデミー会員)
4	早稲田大学	10月7日	ファインダー越しに見るオリンピック・パラリンピック	竹見 修吾 (フォトグラファー/オリンピックアカデミー会員)
5	西日本短期大学	10月20日	オリンピック・パラリンピックと私	新山 美紗子 (東京2020組織委員会国際局NOC/NPC部)
6	佛教大学	10月29日	パラリンピックとその先の共生社会について	犬島 朋子 (東京2020組織委員会パラリンピック統括室パラリンピック統括課)
7	早稲田大学	11月4日	世界とつながるオリンピック・パラリンピック	一色 崇典 (東京2020組織委員会広報局広報部)
8	法政大学	11月12日	パラリンピックとその先の共生社会について	犬島 朋子 (東京2020組織委員会パラリンピック統括室パラリンピック統括課)
9	青山学院大学	11月18日	ソーシャルメディア戦略とキャリア形成	永田 到 (東京2020組織委員会広報局企画制作部)
10	大阪経済大学	11月19日	パラリンピックとその先の共生社会について	犬島 朋子 (東京2020組織委員会パラリンピック統括室パラリンピック統括課)
11	中央大学	11月24日	スポーツと社会	谷口 晃親 (東京2020組織委員会国際局NOC/NPC部)
12	亜細亜大学	11月26日	国際スポーツにおける渉外とコミュニケーション	川部 亮子 (東京2020組織委員会国際局NOC/NPC部)
13	白百合女子大学	12月2日	ファインダー越しに見るオリンピック・パラリンピック	竹見 修吾 (フォトグラファー/オリンピックアカデミー会員)
14	亜細亜大学	12月3日	オリンピック・パラリンピックにおけるマーケティングの仕組みについて	古賀 徹郎 (東京2020組織委員会マーケティング局セールスプランニング部)
15	福岡教育大学	12月4日	スポーツの力、オリンピックムーブメント	知念 令子 (東京2020組織委員会スポーツ局競技運営部)
16	中央大学	12月4日	オリンピック・パラリンピックと私	新山 美紗子 (東京2020組織委員会国際局NOC/NPC部)
17	福岡教育大学	12月8日	スポーツの力、オリンピックムーブメント	知念 令子 (東京2020組織委員会スポーツ局競技運営部)
18	福岡教育大学	12月8日	スポーツの力、オリンピックムーブメント	知念 令子 (東京2020組織委員会スポーツ局競技運営部)
19	上智大学	12月8日	東京2020大会と持続可能性	杉本 信幸 (東京2020組織委員会総務局持続可能性部)
20	早稲田大学	12月9日	東京2020大会と選手村	飯野 淳 (東京2020組織委員会大会運営局選手村マネジメント部)
21	成蹊大学	12月10日	「オリンピック・パラリンピック文化」から学ぶキャリア形成	加藤 貴也 (東京2020組織委員会企画財務局アクション&レガシー部)
22	亜細亜大学	12月10日	東京2020大会を通して考える「スポーツの現場で動く」ということ	西尾 圭五 (東京2020組織委員会スポーツ局競技計画部)
23	2020学生連携プロジェクトBRiDGe	12月10日	特別講座	高谷 正哲 (東京2020組織委員会スポーツスパーソン)
24	桃山学院大学	12月11日	パラリンピックとその先の共生社会について	犬島 朋子 (東京2020組織委員会パラリンピック統括室パラリンピック統括課)

No.	大学名	実施日	テーマ	講師
25	青山学院大学	12月16日	オリンピック・パラリンピックにおけるアンチ・ドーピング活動	平井 千貴（東京2020組織委員会大会運営局医療サービス部）
26	東京家政大学短期大学部	12月17日	パラリンピックとその先の共生社会について	犬島 朋子（東京2020組織委員会パラリンピック統括室パラリンピック統括課）
27	上智大学	12月20日	スポーツの力、オリンピックムーブメント	知念 令子（東京2020組織委員会スポーツ局競技運営部）
28	実践女子大学	12月22日	ダイバーシティ&インクルージョン	茅 和子（東京2020組織委員会総務局人事部）
29	福岡教育大学	12月25日	オリンピック・パラリンピックと私	新山 美紗子（東京2020組織委員会国際局NOC/NPC部）
30	福岡教育大学	12月25日	スポーツの力、オリンピックムーブメント	知念 令子（東京2020組織委員会スポーツ局競技運営部）
31	福岡教育大学	1月5日	「オリンピック・パラリンピック文化」から学ぶキャリア形成	加藤 貴也（東京2020組織委員会企画財務局アクション&レガシー部）
32	早稲田大学	1月6日	オリンピック・パラリンピックと知的財産／弁護士の仕事	五十嵐 敦（東京2020組織委員会総務局法務部）
33	実践女子大学	1月8日	スポーツと社会	谷口 晃親（東京2020組織委員会国際局NOC/NPC部）
34	福岡教育大学	1月8日	スポーツの力、オリンピックムーブメント	知念 令子（東京2020組織委員会スポーツ局競技運営部）
35	福岡教育大学	1月8日	「オリンピック・パラリンピック文化」から学ぶキャリア形成	加藤 貴也（東京2020組織委員会企画財務局アクション&レガシー部）
36	実践女子大学	1月12日	「オリンピック・パラリンピック文化」から学ぶキャリア形成	加藤 貴也（東京2020組織委員会企画財務局アクション&レガシー部）
37	福岡教育大学	1月12日	「オリンピック・パラリンピック文化」から学ぶキャリア形成	加藤 貴也（東京2020組織委員会企画財務局アクション&レガシー部）
38	白百合女子大学	1月14日	スポーツと社会	谷口 晃親（東京2020組織委員会国際局NOC/NPC部）
39	実践女子大学	1月19日	ソーシャルメディア戦略とキャリア形成	永田 到（東京2020組織委員会広報局企画制作部）
40	福岡教育大学	1月22日	オリンピック・パラリンピックにおけるアンチ・ドーピング活動	平井 千貴（東京2020組織委員会大会運営局医療サービス部）
41	東京家政大学	1月28日	ファインダー越しに見るオリンピック・パラリンピック	竹見 脩吾（フォトグラファー／オリンピックアカデミー会員）

東京2020参画プログラム アクション申請一覧

No	組織・団体名	アクション名	分野
2016年度			
001	東京藝術大学	コンサート・シンポジウム「それぞれの美」 Sports Arts Science	文化
2017年度			
002	聖マリアンナ医科大学	初期臨床研修プログラム「スポーツ医学コース」	教育
003	聖マリアンナ医科大学	第21回マリアンナ筋力アップ教室	スポーツ・健康
004	大阪教育大学	ジェンダーとセクシュアリティ	教育
005	大阪教育大学	スポーツ科学論特論Ⅲ	教育
006	大阪教育大学	生涯教育計画論Ⅰ	教育
007	大阪教育大学	生涯スポーツ論	教育
008	大阪教育大学	平和のための教育	教育
009	大阪教育大学	現場に活かすスポーツ実践論	教育
010	大阪教育大学	社会教育課題研究A	教育
011	大阪教育大学	体育史特論	教育
012	大阪教育大学	スポーツ文化論	教育
013	大阪教育大学	課題研究Ⅰ	教育
014	国立大学法人大阪大学	スポーツ研究イノベーション拠点形成事業（SRIP） ジャパン・スポーツ・サイバーフィジカルシステム（JS-CPS）構築	スポーツ・健康
015	フェリス学院大学	クーベルタンの視点から文化プログラムについて学ぶ全学共通科目の実施	教育
016	聖マリアンナ医科大学	講義「臨床スポーツ医学」	教育
017	関西学院大学	人間福祉学部 障害者スポーツ論	スポーツ・健康
018	聖マリアンナ医科大学	講義「スポーツ科学」	教育
019	東京女子体育大学・東京女子体育短期大学	東京2020応援プログラム 東京女子体育大学・東京女子体育短期大学 特別講座 ～東京2020オリンピック・パラリンピックプロジェクト～	スポーツ・健康
020	東京女子体育大学・東京女子体育短期大学	東京2020応援プログラム 東京女子体育大学・東京女子体育短期大学 特別講座 ～東京2020オリンピック・パラリンピックプロジェクト～	スポーツ・健康
021	学校法人 昭和大学	夢の実現へ ～2018年冬 最高の舞台へ挑むアイスホッケー選手たち～	スポーツ・健康
022	玉川大学	アメリカ桜祭り公演「TAIKO & DANCE 2017」凱旋公演	スポーツ・健康
023	東京家政学院大学	東京2020応援教育プログラム（ようい、ドン！）	教育
024	富士大学	富士大学スポーツ振興アカデミー 設立記念 キックオフミーティング 「大学スポーツの未来」	スポーツ・健康
025	聖マリアンナ医科大学	かわさき市民アカデミー地域協働講座 2017年度 前期 スポーツ医学の意義と実践 ～シニアライフを豊かにする食と筋力アップトレーニング～	スポーツ・健康
026	大阪教育大学	大学祭（5月祭）でのぼりを掲出	教育
027	学校法人浪商学園 大阪体育大学	大体大DASHプロジェクトシンポジウム「大学が拓くハイパフォーマンスサポートとスポーツ振興」	教育
028	法政大学	ブラインドサッカーから学ぶチームビルディング	スポーツ・健康
029	東洋大学	東京2020応援プログラム 学習支援講座	教育
030	山梨県立大学	「女姿三四郎」と賞賛された女子柔道家 山口香先生教育講演会 第2回山梨県立大学FD・SD研修会 「2020東京を考えるための効果的授業とは」	教育
031	仙台大学	第3回プラズマ大会～仙台大学開学50周年記念大会～	スポーツ・健康
032	上智大学	障がい者スポーツ支援イベント “バリアを超えていこう！” HEALTH ANGELS（切断者スポーツクラブ）	スポーツ・健康
033	上智大学	障がい者スポーツ支援イベント “バリアを超えていこう！” HEALTH ANGELS（切断者スポーツクラブ）	スポーツ・健康
034	法政大学	インクルーシブデザインワークショップ体験会	教育
035	法政大学	ユニバーサルスポーツ・「ボッチャ」体験教室	スポーツ・健康
036	東京外国語大学	東京外国語大学主催講演シリーズ - オリンピック・パラリンピックを考える	教育
037	早稲田大学	オリンピック・レガシー	教育
038	早稲田大学	オリンピック・レガシー	教育
039	法政大学	「新しい防災」と「地域コミュニティの力を活かした復興まちづくり」	復興
040	東京外国語大学	東京外国語大学主催講演シリーズ - オリンピック・パラリンピックを考える	教育
041	学校法人 昭和大学	昭和大学スポーツ運動科学研究所第4回学術発表会～東京2020大会に向けて～	スポーツ・健康
042	実践女子大学	第3回 JJ cup スポGOMI 大会	持続可能性
043	法政大学	避難所体験～Save Yourself～	教育
044	法政大学	多言語音声翻訳アプリから学ぶ“デジタル”おもてなし	教育
045	植草学園短期大学	第1回 植草学園理事長杯争奪戦 千葉県特別支援学校ボッチャ選手権大会	スポーツ・健康
046	植草学園大学	第1回 植草学園理事長杯争奪戦 千葉県特別支援学校ボッチャ選手権大会	スポーツ・健康
047	東京外国語大学	東京外国語大学主催講演シリーズ - オリンピック・パラリンピックを考える	教育
048	玉川大学	光のヒーリングコンサート	文化
049	学校法人 昭和大学	第23回藤が丘地域連携フォーラム	街づくり
050	大阪教育大学	大阪教育大学オープンキャンパスでのぼりを掲出	教育
051	東京有明医療大学	ビデオ映像を使ってケガに繋がる動きを観察してみよう！	スポーツ・健康
052	学校法人 昭和大学	第4回あおば心臓リハビリ教室	スポーツ・健康
053	帝京平成大学	なでしこレジェンドとサッカーをしよう！	スポーツ・健康
054	実践女子大学	日本・タイ文化ふれあい交流講演会	文化
055	学校法人 昭和大学	昭和大学保健医療学部・スポーツ運動科学研究所市民公開講座	スポーツ・健康
056	法政大学	東北被災地支援ボランティアツアー	復興
057	西日本工業大学	大学教育フォーラム in 北九州	教育
058	聖マリアンナ医科大学	第43回日本整形外科学会スポーツ医学会学術集会 パネルディスカッション「スポーツにおける頭頸部外傷の現状と課題」	スポーツ・健康

No	組織・団体名	アクション名	分野
059	国立大学法人 北海道大学	「スポーツグローバル教室—英語でスポーツを学ぼう—」プログラム	教育
060	群馬医療福祉大学	東京2020応援プログラム 第3回チャレンジキッズフェスタ	教育
061	早稲田大学	早稲田スポーツフェスタ in 東伏見	スポーツ・健康
062	学校法人 昭和大学	第2回昭和大学歯科病院スポーツ歯科外来マウスガードセミナー	スポーツ・健康
063	上智大学	第1回 通訳ボランティア養成講座 ～国際的スポーツイベントで活躍するために～	教育
064	東洋大学	東洋大学全学総合科目オリンピック・パラリンピック講座 ーオリンピック・パラリンピックを哲学するー	教育
065	法政大学	日本初のユニバーサルシアターで学ぶバリアフリー映画入門講座	教育
066	聖マリアンナ医科大学	第22回マリアンナ筋力アップ教室	スポーツ・健康
067	大阪教育大学	ジェンダーとセクシュアリティ	教育
068	大阪教育大学	生涯学習概論	教育
069	大阪教育大学	遊びとスポーツ	教育
070	大阪教育大学	スポーツ競技力向上論	教育
071	大阪教育大学	スポーツ教育原理	教育
072	駒澤大学	駒澤大学スポーツフェスティバル in 玉川 2017	スポーツ・健康
073	国立大学法人筑波大学	ダイバーシティ Awareness Week 2017	教育
074	東京大学	東京大学が海外に向けて提供する大規模公開オンライン講座（MOOC）における連携	教育
075	国立大学法人 北海道大学	ESDキャンパスアジア・パンフィック「スポーツ文化研究交流」プログラム	教育
076	国立大学法人筑波大学	ダイバーシティ Awareness Week 2017	教育
077	国立大学法人筑波大学	ダイバーシティ Awareness Week 2017	教育
078	国立大学法人筑波大学	ダイバーシティ Awareness Week 2017	教育
079	国立大学法人筑波大学	ダイバーシティ Awareness Week 2017	教育
080	国立大学法人筑波大学	ダイバーシティ Awareness Week 2017	教育
081	国立大学法人筑波大学	ダイバーシティ Awareness Week 2017	教育
082	国立大学法人筑波大学	ダイバーシティ Awareness Week 2017	教育
083	国立大学法人筑波大学	ダイバーシティ Awareness Week 2017	教育
084	国立大学法人筑波大学	ダイバーシティ Awareness Week 2017	教育
085	国立大学法人筑波大学	ダイバーシティ Awareness Week 2017	教育
086	学校法人 昭和大学	第5回あおば心臓リハビリ教室	スポーツ・健康
087	東京有明医療大学	第2回 東京有明医療大学国際交流親善柔道大会	スポーツ・健康
088	帝京平成大学	第2回 障がい者スポーツ応援フェア	スポーツ・健康
089	城西大学	城西大学水田美術館企画展「夢をかたちに、2020年の主役たち」 ー東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催を記念してー	教育
090	早稲田大学	川淵三郎企画「早稲田2020」講演会	教育
091	敬愛大学	敬愛大学バラスポーツ交流会	スポーツ・健康
092	公立大学法人 首都大学東京	TMU2020伝道講座Ⅱ ～「今」レガシー（遺産）を考える～	教育
093	学校法人 津田塾大学	津田塾大学オープンユニバーシティ（TOU）観光英語 Welcome to Sendagaya	教育
094	上智大学	障がい者スポーツと国際協力の課題ー東南アジア地域を中心に	スポーツ・健康
095	聖マリアンナ医科大学	かわさき市民アカデミー地域協働講座 2017年度 後期 スポーツ医学の意義と実践 ～スポーツ科学とエクササイズ～	スポーツ・健康
096	法政大学	車いすフェンシングから考えるバラスポーツの世界	スポーツ・健康
097	中京大学	中京大学スポーツ・ミュージアム 第3回プレ・オープン展示	文化
098	法政大学	法政大学ポッチャ体験教室	スポーツ・健康
099	東京外国語大学	東京外国語大学主催講演シリーズ - オリンピック・パラリンピックを考える	教育
100	学校法人 昭和大学	「いつまでも元気で動けるために」～自分の体を知ろう！対策を立てよう！～	スポーツ・健康
101	北里大学	薬学生によるオリンピック・パラリンピックに向けた薬学講座	スポーツ・健康
102	国立大学法人山口大学	第5回山口大学ホームカミングデー	教育
103	国立大学法人山口大学	特別講演「運動器とスポーツ」	教育
104	国立大学法人山口大学	スリッパ卓球大会 in 山大	スポーツ・健康
105	国立大学法人筑波大学	「高校生のためのオリンピック・パラリンピックボランティア講座」	教育
106	武蔵野大学	武蔵野大学特別企画 みんなで2020年を考えよう ～東京2020オリンピック、パラリンピックに向けた1000日前応援企画～	教育
107	武蔵野大学	武蔵野大学特別企画 みんなで2020年を考えよう ～東京2020オリンピック、パラリンピックに向けた1000日前応援企画～	教育
108	東京有明医療大学	Hanada Athletic Trainer Symposium ～アスリートを支えるプロフェッショナルの流儀～	スポーツ・健康
109	学校法人 津田塾大学	津田塾大学オープンユニバーシティ（TOU）観光英語 Welcome to Sendagaya	教育
110	大阪経済大学	関西から東京へ、熱い風を	スポーツ・健康
111	大阪教育大学	大学祭（11月祭）でのぼりを掲出	教育
112	公立大学法人 首都大学東京	首都大学東京みやこ祭 スポーツフェス	教育
113	上智大学	共生社会実現のヒントを掴もう！ポッチャ講演会・体験会	スポーツ・健康
114	国立大学法人 鹿屋体育大学	東京2020応援プログラム 特別公開講座・桑田真澄氏による野球教室	教育
115	公立大学法人 首都大学東京	首都大学東京みやこ祭 スポーツフェス	教育
116	鎌倉女子大学	鎌倉女子大学2020プロジェクト特別講演会	教育
117	明治学院大学	ポッチャを体験しよう！	スポーツ・健康
118	法政大学	競技活動やボランティア活動で成長する学生たち ～オリンピック・パラリンピックを契機として～	スポーツ・健康
119	学校法人 昭和大学	第6回 あおば心臓リハビリ教室	スポーツ・健康
120	国立大学法人 鹿屋体育大学	東京2020応援プログラム シンポジウム サッカーによるダイバーシティの推進 ＜みんなプレーを楽しめる＞	教育
121	東京有明医療大学	アスレティックトレーナーになるには ～学生の為のアスレティックトレーナー入門～	スポーツ・健康
122	法政大学	サクラテラス調査隊～バリアフリー情報アプリで地域貢献～	街づくり
123	法政大学	みんなで遊ぼう子ども食堂ボランティア	教育

No	組織・団体名	アクション名	分野
124	学校法人佐野学園 神田外語大学	スポーツリベラルアーツ講座	教育
125	公立大学法人大阪府立大学	第14回三大学連携事業（公開講座）「スマートエイジングとスポーツ」	スポーツ・健康
126	愛知大学	愛知大学スポーツビジネスセミナー	街づくり
127	東洋大学	創立130周年記念行事「スポーツを哲学する ～TOYO SPORTS VISION～」	教育
128	学校法人専修大学	支えるスポーツのフロントライン	教育
129	大東文化大学	大東文化大学 TOKYO2020 キックオフイベントオリンピック・パラリンピックを考える	スポーツ・健康
130	武蔵野大学	江東区民向け障害者スポーツ普及イベント 障がい者スポーツチャレンジ2017 in KOTO	教育
131	法政大学	日本橋発！ポートで行く水の街東京清掃ボランティア	持続可能性
132	東洋大学	バラスポーツDVD上映会	スポーツ・健康
133	東洋大学	バラスポーツ体験会	スポーツ・健康
134	共立女子大学・共立女子短期大学	共立女子大学・短期大学2017スポーツフォーラム	教育
135	淑徳大学	訪日外国人に大学生が制作した冊子「日本人あるある」を配布	文化
136	東洋大学	バラスポーツ体験会（ポッチャ）	教育
137	関西学院大学	関西学院大学×特定非営利活動法人STAND連携企画シンポジウム CHALLENGE FOR 2020 ～パラリンピックで社会を変える～（仮）	スポーツ・健康
138	学校法人 昭和大学	昭和大学スポーツ運動科学研究第5回学術研究発表会	スポーツ・健康
139	法政大学	食べ物の銀行「フードバンク」～家庭にある缶詰貯金しませんか？～	持続可能性
140	法政大学	福島被災地スタディーツアー	復興
141	千葉大学	千葉大学ポッチャオープン、パラボラ研修会	スポーツ・健康
142	帝京平成大学	東京2020応援プログラム 帝京平成大学×帝京平成スポーツアカデミー公開講座	教育
143	法政大学	こども達に素敵なクリスマスをこども食堂ボランティア	教育
144	実践女子大学	女子大生フォーラム2017	街づくり
145	千葉大学	千葉大学ポッチャオープン、パラボラ研修会	スポーツ・健康
146	東洋大学	中学生陸上教室	スポーツ・健康
147	東京外国語大学	東京外国語大学主催講演シリーズ - オリンピック・パラリンピックを考える	教育
148	東洋大学	バラスポーツ体験会（ポッチャ）	教育
149	東京藝術大学	五大陸アーツサミット	教育
150	有明教育芸術短期大学	有明教育芸術短期大学 東京2020大会学生ボランティア募集	教育
151	東京外国語大学	東京外国語大学主催講演シリーズ - オリンピック・パラリンピックを考える	教育
152	実践女子大学	オリンピックについて考える ボランティアの視点から	教育
153	横浜市立大学	創作紙芝居お披露目会	文化
154	東京造形大学	「ふつう」をつくったデザイナー 桑澤洋子 活動と教育の軌跡	教育
155	学校法人津田塾大学	津田塾大学オープンユニバーシティ（TOU）観光英語 Welcome to Sendagaya	教育
156	東京外国語大学	東京外国語大学主催講演シリーズ - オリンピック・パラリンピックを考える	教育
157	横浜市立大学	創作紙芝居普及活動	文化
158	旭川医科大学	旭川医科大学スポーツ医科学研究委員会市民講演会	スポーツ・健康
159	東京有明医療大学	ランニング障害予防の為に身体評価	スポーツ・健康
160	和光大学	和光大学地域連携研究センター主催シンポジウム「地域におけるスポーツ教育の推進～オリパラ教育において、大学、地域、アスリートが果たすべき役割～」	教育
161	明治学院大学	オリンピック・パラリンピックについて触れて、考えてみよう！	文化
162	東京有明医療大学	第2回スポーツ医科学フェスティバル	スポーツ・健康
163	学校法人津田塾大学	津田塾大学オープンユニバーシティ（TOU）観光英語 Welcome to Sendagaya	教育
164	東京有明医療大学	ランニング障害予防の為に身体評価	スポーツ・健康
165	法政大学	岩手宮城被災地スタディーツアー	復興
166	千葉大学	学生団体おりがみ2017年度報告会	教育
167	東京医科歯科大学	TMDU SPORTS MEDICINE SYMPOSIUM 2018 ～多種職によるトータル医科学サポートを議論する～	教育
168	中京大学	NPO法人日本オリンピックアカデミー 第5回ユース・セッション in 中京	教育
169	千葉大学	千葉大学ブラインドサッカー体験会	スポーツ・健康
170	上智大学	第2回通訳：言語サービスボランティア養成講座～国際的スポーツイベントで活躍するために～	教育
171	横浜市立大学	創作紙芝居普及活動	文化
172	大東文化大学	大東文化大学 TOKYO 2020 アスリートセミナー	スポーツ・健康
2018年度			
173	国立大学法人筑波大学	筑波大学 障害者スポーツ支援・障害者支援ボランティア養成講座	教育
174	国立大学法人筑波大学	筑波大学 障害者スポーツ支援・障害者支援ボランティア養成講座	教育
175	国立大学法人筑波大学	筑波大学 障害者スポーツ支援・障害者支援ボランティア養成講座	教育
176	流通経済大学	流通経済大学「東京2020応援プログラム（オールジャパン・世界への発信）」キックオフイベント	オールジャパン・世界への発信
177	大阪教育大学	スポーツ科学論特論Ⅲ	教育
178	大阪教育大学	生涯スポーツ論	教育
179	大阪教育大学	現場に活かすスポーツ実践論	教育
180	大阪教育大学	社会教育課題研究 A	教育
181	大阪教育大学	体育史特論	教育
182	大阪教育大学	体育史	教育
183	多摩大学	世代間交流健康トレーニング（春学期）	スポーツ・健康
184	流通経済大学	流通経済大学RKU東京2020応援プログラム「日本的障がい者サッカー連盟日本代表とのトレーニングマッチ」	スポーツ・健康
185	聖マリアンナ医科大学	第23回マリアンナキンリョクアップ教室	スポーツ・健康
186	学校法人津田塾大学	津田塾大学オープンユニバーシティ（TOU）ようこそ千駄ヶ谷（英語・スペイン語）	教育
187	多摩大学	世代間交流健康トレーニング（春学期）	スポーツ・健康
188	実践女子大学	英語教育テキスト「Jissen Joshi English Support Handbook」作成と利用	オールジャパン・世界への発信

No	組織・団体名	アクション名	分野
189	実践女子大学	英語教育テキスト「Jissen Joshi English Support Handbook」作成と利用	オールジャパン・世界への発信
190	東京女子体育大学・東京女子体育短期大学	東京2020応援プログラム 東京女子体育大学・東京女子体育短期大学 特別講座 ～東京2020オリンピック・パラリンピック プロジェクト～	スポーツ・健康
191	明治大学	パラリンピックスポーツ 体験&交流会	スポーツ・健康
192	駒澤大学	学長課外特別講座	教育
193	多摩大学	世代間交流健康トレーニング（春学期）	スポーツ・健康
194	流通経済大学	流通経済大学・JICA 大学連携ボランティア報告会 ～インドネシアにおけるラグビーを通じた国際協力～	スポーツ・健康
195	多摩大学	第1回多摩大スポーツフェスティバル	スポーツ・健康
196	横浜市立大学	創作紙芝居普及活動	文化
197	流通経済大学	流通経済大学スポーツ健康科学部膳法ゼミ 「食事改善と運動の習慣化による適切な生活習慣改善法を習得しよう」	スポーツ・健康
198	流通経済大学	流通経済大学スポーツ健康科学部生方ゼミ「自身オリジナル・スポーツメンタルトレーニングを構築し、競技力・指導力向上の術を体感・習得しよう！」	スポーツ・健康
199	学校法人津田塾大学	津田塾大学オープンユニバーシティ（TOU）ようこそ千駄ヶ谷（英語・スペイン語）	教育
200	多摩大学	世代間交流健康トレーニング（春学期）	スポーツ・健康
201	早稲田大学	川淵三郎企画「早稲田2020」講演会	教育
202	千葉大学	千葉大学パラスポーツ交流会	スポーツ・健康
203	多摩大学	世代間交流健康トレーニング（春学期）	スポーツ・健康
204	法政大学	富士見坂庭園に救助犬がやってくる！～ふれあいから学ぶ犬との共生～	教育
205	芝浦工業大学	芝浦工業大学公開講座	教育
206	東京女子体育大学・東京女子体育短期大学	東京2020応援プログラム 東京女子体育大学・東京女子体育短期大学 特別講座 ～東京2020オリンピック・パラリンピック プロジェクト～	スポーツ・健康
207	法政大学	法政大学富士山外来植物駆除ツアー	持続可能性
208	東洋大学	東京2020応援プログラム 学習支援講座	教育
209	学校法人津田塾大学	津田塾大学オープンユニバーシティ（TOU）ようこそ千駄ヶ谷（英語・スペイン語）	教育
210	多摩大学	世代間交流健康トレーニング（春学期）	スポーツ・健康
211	法政大学	多様な人々をデザインプロセスの上流から巻き込む インクルーシブデザインワークショップ体験会	教育
212	東海大学	スポーツボランティア研修会	教育
213	横浜市立大学	スポーツボランティアセミナー	スポーツ・健康
214	学校法人 昭和大学	第7回 あおば心臓リハビリ教室	スポーツ・健康
215	法政大学	法政大学ポッチャ体験教室～神田すずらん祭り～	スポーツ・健康
216	学校法人佐野学園 神田外語大学	ボランティアシンポジウム～平昌から東京へ～	教育
217	上智大学	ユニバーサルマナー実践！体験を通して考える共生社会	教育
218	多摩大学	世代間交流健康トレーニング（春学期）	スポーツ・健康
219	法政大学	猫たちに会いに行こう！～保護猫カフェで学ぶ動物愛護ツアー～	教育
220	法政大学	ブラインドサッカーから学ぶチームビルディング	スポーツ・健康
221	流通経済大学	流通経済大学「東京2020応援プログラム」講演スポーツボランティア東京2020」オリンピックに向けて」	オールジャパン・世界への発信
222	芝浦工業大学	芝浦工業大学公開講座	教育
223	法政大学	料理de難民を知ろう～世界の郷土料理づくり体験～	教育
224	流通経済大学	流通経済大学RKU東京2020応援プログラム「ブラインドサッカー日本代表とのトレーニングキャンプ」	スポーツ・健康
225	学校法人津田塾大学	津田塾大学オープンユニバーシティ（TOU）ようこそ千駄ヶ谷（英語・スペイン語）	教育
226	多摩大学	世代間交流健康トレーニング（春学期）	スポーツ・健康
227	芝浦工業大学	芝浦工業大学公開講座	教育
228	実践女子大学	2018 実践女子大学 スポーツのためのクッキングトレーニング	スポーツ・健康
229	法政大学	東京メトロ飯田橋駅ボランティア	街づくり
230	学校法人佐野学園 神田外語大学	筑波大学×神田外語大学 国際スポーツ・ボランティア人財育成プログラム	教育
231	多摩大学	世代間交流健康トレーニング（春学期）	スポーツ・健康
232	東京外国語大学	平昌大会ボランティアに参加した本学学生による報告会	教育
233	法政大学	グリーンツーリズムによる被災地の地域コミュニティの形成促進	復興
234	流通経済大学	流通経済大学東京2020応援プログラム「パラスポーツにおける共生社会 視覚障害者スポーツ・ゴールボール」	スポーツ・健康
235	法政大学	あの子の気持ち・疑似体験を通して発達障害を理解しよう	教育
236	芝浦工業大学	芝浦工業大学公開講座	教育
237	法政大学	学んで遊ぼうこども食堂ボランティア	教育
238	学校法人佐野学園 神田外語大学	筑波大学×神田外語大学 国際スポーツ・ボランティア人財育成プログラム	教育
239	多摩大学	世代間交流健康トレーニング（春学期）	スポーツ・健康
240	法政大学	会話の見える化アプリ体験！～音声認識&多言語翻訳で会話をリアルタイム表示～	教育
241	東海大学	3.11生活復興支援プロジェクト	復興
242	東京女子体育大学・東京女子体育短期大学	東京2020応援プログラム 東京女子体育大学・東京女子体育短期大学 特別講座 ～東京2020オリンピック・パラリンピック プロジェクト～	スポーツ・健康
243	法政大学	都市と地域をつなぐ銀座ミツバチボランティア	持続可能性
244	多摩大学	世代間交流健康トレーニング（春学期）	スポーツ・健康
245	法政大学	法政大学ポッチャ体験教室	スポーツ・健康
246	東海大学	キャンパスストリートプロジェクト【申請取消】	文化
247	学校法人 昭和大学	昭和大学スポーツ運動科学研究所第6回学術研究発表会	スポーツ・健康
248	実践女子大学	第4回 JJ cup スポGOMI大会	持続可能性
249	法政大学	避難所体験～東北大震災から学んだこと～	教育
250	大東文化大学	第三回 大東文化大学 TOKYO 2020 キックオフイベント～オリンピック・パラリンピックに参加しよう、スポーツイベントとボランティア～	スポーツ・健康

No	組織・団体名	アクション名	分野
251	多摩大学	世代間交流健康トレーニング（春学期）	スポーツ・健康
252	公立大学法人 首都大学東京	TMU2020 伝道講座Ⅲ	教育
253	女子美術大学	女子美術大学・ラフバラ大学 合同リサーチプロジェクト ～オリンピックと文化：過去・現在・未来・つながり～	文化
254	法政大学	地域のこどもたちにパラスポーツを知ってもらおう	スポーツ・健康
255	女子美術大学	女子美術大学・ラフバラ大学 合同リサーチプロジェクト ～オリンピックと文化：過去・現在・未来・つながり～	文化
256	法政大学	見えないけど見えている？ゴールボール体験教室	スポーツ・健康
257	芝浦工業大学	芝浦工業大学公開講座	教育
258	芝浦工業大学	芝浦工業大学公開講座	教育
259	学校法人専修大学	CLEAN TOWN 2018	街づくり
260	学校法人専修大学	CLEAN TOWN 2018	街づくり
261	学校法人専修大学	CLEAN TOWN 2018	街づくり
262	東海大学	東海大学ラグビーフットボール部丹沢祭【申請取消】	スポーツ・健康
263	多摩大学	世代間交流健康トレーニング（春学期）	スポーツ・健康
264	多摩大学	世代間交流健康トレーニング（春学期）	スポーツ・健康
265	流通経済大学	流通経済大学東京2020応援プログラム“超”ポジティブな夢の叶え方	スポーツ・健康
266	芝浦工業大学	芝浦工業大学公開講座	教育
267	東京女子体育大学・東京女子体育短期大学	東京2020応援プログラム 東京女子体育大学・東京女子体育短期大学 特別講座 ～東京2020オリンピック・パラリンピック プロジェクト～	スポーツ・健康
268	東京家政学院大学	東京2020応援教育プログラム（ようい、どん！）	教育
269	多摩大学	世代間交流健康トレーニング（春学期）	スポーツ・健康
270	女子美術大学	女子美術大学・ラフバラ大学 合同リサーチプロジェクト ～オリンピックと文化：過去・現在・未来・つながり～	文化
271	上智大学	【Tokyo 2020 2 Years to Go!】オリンピック・パラリンピックに関する上智大学周辺マップ	オールジャパン・世界への発信
272	東洋大学	ブランドマラソン体験会	持続可能性
273	学校法人 昭和大学	第8回 あおば心臓リハビリ教室	スポーツ・健康
274	法政大学	富士見わんぱくひろばでおこなう こども音楽ボランティア	教育
275	国立大学法人筑波大学	ダイバーシティで未来をえがく	教育
276	学校法人佐野学園 神田外語大学	第6回全国外大連携プログラム通訳ボランティア育成セミナー	教育
277	玉川大学	大学生・高校生の為の玉川大学公開講座 ～オリンピック・パラリンピックへの学生の関わり及びオリンピック・パラリンピックと観光人材の育成～	教育
278	国立大学法人筑波大学	障害者スポーツボランティア・リーダー養成講座	教育
279	国立大学法人筑波大学	障害者スポーツボランティアとビジネスリーダーから学ぶ ダイバーシティ&インクルージョン集中講座	教育
280	流通経済大学	龍ヶ崎市×流通経済大学「中高齢者における寝たきり・生活習慣病予防のための運動支援」	スポーツ・健康
281	学校法人 昭和大学	第3回昭和大学歯科病院スポーツ歯科外来 マウスガードセミナー	スポーツ・健康
282	東洋大学	TOYO2020 プロジェクト～英国・ボーンマス大学との連携講座～	教育
283	実践女子大学	英語教育テキスト「Jissen Joshi English Support Handbook」作成と利用	オールジャパン・世界への発信
284	実践女子大学	英語教育テキスト「Jissen Joshi English Support Handbook」作成と利用	オールジャパン・世界への発信
285	実践女子大学	2018 実践女子大学 スポーツのためのクッキングトレーニング	スポーツ・健康
286	聖マリアンナ医科大学	第24回マリアンナ筋力アップ教室	スポーツ・健康
287	学校法人佐野学園 神田外語大学	筑波大学×神田外語大学 第4回国際スポーツ・ボランティア人財育成プログラム	教育
288	多摩大学	世代間交流健康トレーニング（秋学期）	スポーツ・健康
289	学校法人津田塾大学	津田塾大学オープンユニバーシティ（TOU）ようこそ千駄ヶ谷（英語・スペイン語・中国語）	教育
290	法政大学	JAPANパラバドミントン国際大会2018観戦ツアー	スポーツ・健康
291	学校法人佐野学園 神田外語大学	筑波大学×神田外語大学 第4回国際スポーツ・ボランティア人財育成プログラム	教育
292	大阪教育大学	遊びとスポーツ	教育
293	大阪教育大学	スポーツコーチング論	教育
294	大阪教育大学	スポーツ教育原理	教育
295	多摩大学	世代間交流健康トレーニング（秋学期）	スポーツ・健康
296	東京大学	東京大学が海外に向けて提供する大規模公開オンライン講座（MOOC）における連携	教育
297	中京大学	ハ事いきいきアカデミー シニア世代と東京2020をツナグ	スポーツ・健康
298	駒澤大学	駒澤大学スポーツフェスティバル in 玉川 2018	スポーツ・健康
299	多摩大学	世代間交流健康トレーニング（秋学期）	スポーツ・健康
300	学校法人獨協学園獨協大学	みんなでつくろう！つまようじアート!!	教育
301	国立大学法人筑波大学	Diversity Week 2018	教育
302	大妻女子大学、大妻女子大学短期大学部	2018 CHALLENGE WALKING ～Aiming for a vibrant TAMA 5 campus!～	スポーツ・健康
303	大妻女子大学、大妻女子大学短期大学部	2018 CHALLENGE WALKING ～Aiming for a vibrant TAMA 5 campus!～	スポーツ・健康
304	宮城大学	宮城大学事業構想学研究所特別講義	教育
305	学校法人津田塾大学	津田塾大学オープンユニバーシティ（TOU）ようこそ千駄ヶ谷（英語・スペイン語・中国語）	教育
306	多摩大学	世代間交流健康トレーニング（秋学期）	スポーツ・健康
307	法政大学	風景を言葉で描写するユニバーサルシアター音声ガイド制作体験教室	教育
308	駒澤大学	学長課外特別講座	教育
309	学校法人津田塾大学	津田塾大学オープンユニバーシティ（TOU）ようこそ千駄ヶ谷（英語・スペイン語・中国語）	教育
310	公立大学法人 首都大学東京	首都大学東京 ボランティアセンター講座 ～スポーツボランティア2020～	教育
311	東京大学	東京大学ホームカミングデイ 特別フォーラム 「[身体 からだ]」と「[こころ]」のフロンティアに挑む（仮）	スポーツ・健康
312	東京女子体育大学・東京女子体育短期大学	東京2020応援プログラム 東京女子体育大学・東京女子体育短期大学 特別講座 ～東京2020オリンピック・パラリンピック プロジェクト～	スポーツ・健康
313	敬愛大学	敬愛大学パラスポーツ交流会	スポーツ・健康

No	組織・団体名	アクション名	分野
314	多摩大学	世代間交流健康トレーニング(秋学期)	スポーツ・健康
315	中京大学	中京大学スポーツ・ミュージアム 第4回プレ・オープン展示	文化
316	学校法人津田塾大学	津田塾大学オープンユニバーシティ(TOU) ようこそ千駄ヶ谷(英語・スペイン語・中国語)	教育
317	日本体育大学	公開講座:スポーツの祭典の継承 ―オリンピック・パラリンピックを識る・考える・遺す―	教育
318	公立大学法人 首都大学東京	首都大学東京 ボランティアセンター講座 ～スポーツボランティア2020～	教育
319	学校法人 昭和大学	東京2020応援プログラム 地域健康増進公開講座 「いつまでも元気で動けるために ～自分の体を知ろう! 対策をたてよう!～」	スポーツ・健康
320	公立大学法人 首都大学東京	首都大学東京 ボランティアセンター講座 ～スポーツボランティア2020～	教育
321	学校法人 昭和大学	第9回 あおば心臓リハビリ教室	スポーツ・健康
322	東京有明医療大学	ブラインドサッカー体験会	スポーツ・健康
323	東洋大学	パラリンピック種目の体験会「ボッチャ体験会」(白山)	スポーツ・健康
324	多摩大学	世代間交流健康トレーニング(秋学期)	スポーツ・健康
325	法政大学	フェンシング・車いすフェンシング応援イラストコンテスト	スポーツ・健康
326	学校法人 昭和大学	健康フェスティバル「スポーツマウスガードができるまで」	スポーツ・健康
327	公立大学法人 首都大学東京	首都大学東京みやこ祭 スポーツフェス	教育
328	鎌倉女子大学	鎌倉女子大学学園祭“激熱! みんなの2020!!”	教育
329	法政大学	競技体験 in Hosei Fes	スポーツ・健康
330	国立大学法人鹿屋体育大学	～パラリンピック競技を体験しよう～蒼天祭ボッチャ体験会	教育
331	東洋大学	パラリンピック種目の体験会「射撃(ビームライフル)体験会」(朝霞)	スポーツ・健康
332	多摩大学	世代間交流健康トレーニング(秋学期)	スポーツ・健康
333	東京女子体育大学・東京女子体育短期大学	東京2020応援プログラム 東京女子体育大学・東京女子体育短期大学 特別講座 ～東京2020オリンピック・パラリンピック プロジェクト～	スポーツ・健康
334	国立大学法人筑波大学	障害者スポーツボランティア・リーダー養成講座	教育
335	国立大学法人筑波大学	障害者スポーツボランティアとビジネスリーダーから学ぶ ダイバーシティ&インクルージョン集中講座	教育
336	国立大学法人鹿屋体育大学	鹿屋体育大学公開講座 小宮山氏・黒木氏による野球イベント	教育
337	国立大学法人鹿屋体育大学	鹿屋で世界を体験しよう! 水中スクーター体験!	教育
338	多摩大学	世代間交流健康トレーニング(秋学期)	スポーツ・健康
339	日本体育大学	公開講座:スポーツの祭典の継承 ―オリンピック・パラリンピックを識る・考える・遺す―	教育
340	上智大学	叡智が世界をつなぐ～東京2020オリンピック・パラリンピックを体感する1週間～	オールジャパン・世界への発信
341	順天堂大学	宇宙で行うスポーツ競技～宇宙スポーツ大会開催を目指して～	スポーツ・健康
342	多摩大学	世代間交流健康トレーニング(秋学期)	スポーツ・健康
343	多摩大学	世代間交流健康トレーニング(秋学期)	スポーツ・健康
344	流通経済大学	ブラインドサッカー日本代表流通経済大学サッカー場合宿	スポーツ・健康
345	武蔵野大学	障がい者スポーツチャレンジ2018	教育
346	多摩大学	世代間交流健康トレーニング(秋学期)	スポーツ・健康
347	日本体育大学	公開講座:スポーツの祭典の継承 ―オリンピック・パラリンピックを識る・考える・遺す―	教育
348	淑徳大学	外国人向け異文化理解促進の冊子配布イベント	文化
349	共立女子大学・共立女子短期大学	共立女子大学・共立女子短期大学スポーツフォーラム ゴールボール体験	スポーツ・健康
350	東京女子体育大学・東京女子体育短期大学	東京2020応援プログラム 東京女子体育大学・東京女子体育短期大学 特別講座 ～東京2020オリンピック・パラリンピック プロジェクト～	スポーツ・健康
351	実践女子大学	「女子大生の視点から考えるフォーラム2018」	教育
352	千葉大学	2020学生会議	教育
353	多摩大学	世代間交流健康トレーニング(秋学期)	スポーツ・健康
354	流通経済大学	ゴールボール研修・体験会―大学生が県内開催競技を体験―	オールジャパン・世界への発信
355	学校法人 昭和大学	昭和大学スポーツ運動科学研究所第7回学術研究発表会	スポーツ・健康
356	多摩大学	世代間交流健康トレーニング(秋学期)	スポーツ・健康
357	中京大学	NPO法人日本オリンピックアカデミー 第6回ユース・セッション in 中京	教育
358	多摩大学	世代間交流健康トレーニング(秋学期)	スポーツ・健康
359	早稲田大学	オリンピック・パラリンピック事業推進室協力講座2020年 東京オリンピック、パラリンピックを楽しむ	教育
360	横浜市立大学	横浜市立大学スポーツボランティア講習会 ～オリンピック・パラリンピック及びスポーツ大会等の現場における、リスクと医療・健康対策講座～	スポーツ・健康
361	国立大学法人筑波大学	GO! 2020 in Univ. Tsukuba	教育
362	多摩大学	世代間交流健康トレーニング(秋学期)	スポーツ・健康
363	学校法人津田塾大学	津田塾大学オープンユニバーシティ(TOU) ようこそ千駄ヶ谷(英語・スペイン語・中国語)	教育
364	国立大学法人筑波大学	嘉納治五郎・金栗四三特別展	教育
365	国立大学法人筑波大学	嘉納治五郎・金栗四三特別展	教育
366	国立大学法人筑波大学	嘉納治五郎・金栗四三特別展	教育
367	学校法人津田塾大学	津田塾大学オープンユニバーシティ(TOU) ようこそ千駄ヶ谷(英語・スペイン語・中国語)	教育
368	学校法人津田塾大学	津田塾大学オープンユニバーシティ(TOU) ようこそ千駄ヶ谷(英語・スペイン語・中国語)	教育
369	東京女子体育大学・東京女子体育短期大学	東京2020応援プログラム 東京女子体育大学・東京女子体育短期大学 特別講座 ～東京2020オリンピック・パラリンピック プロジェクト～	スポーツ・健康
370	帝京平成大学	世界で戦うアスリートを身近に感じよう!～見て、聞いて、体感する!!～	スポーツ・健康
371	東洋大学	「障害理解教育のいま」幼児期における多様性理解教育の普及にむけて	教育
372	東京女子体育大学・東京女子体育短期大学	東京2020応援プログラム 東京女子体育大学・東京女子体育短期大学 特別講座 ～東京2020オリンピック・パラリンピック プロジェクト～	スポーツ・健康
373	日本体育大学	公開講座:スポーツの祭典の継承 ―オリンピック・パラリンピックを識る・考える・遺す―	教育
374	学校法人津田塾大学	津田塾大学オープンユニバーシティ(TOU) ようこそ千駄ヶ谷(英語・スペイン語・中国語)	教育
375	学校法人 桜美林学園・桜美林大学	見えない光の桜吹雪展	文化

No	組織・団体名	アクション名	分野
376	法政大学	「春のまちのわ」でのポッチャ体験会	街づくり
377	山梨大学	J.S.パッパ「口短調ミサ曲」演奏会	文化
378	法政大学	岩手・宮城被災地スタディツアー	復興
379	大阪教育大学	学校危機メンタルサポートセンターフォーラム	街づくり
380	実践女子大学	2018 実践女子大学 スポーツのためのクッキングトレーニング	スポーツ・健康
381	東京医科歯科大学	TMDU SPORTS MEDICINE SYMPOSIUM 2019 ～多職種によるトータル医科学サポートを議論する～	教育
382	帝京平成大学	なでしこレジェンドとサッカーをしよう！	スポーツ・健康
2019年度			
383	大阪教育大学	スポーツ科学論特論Ⅲ	教育
384	大阪教育大学	体育史	教育
385	大阪教育大学	生涯スポーツ論	教育
386	大阪教育大学	現場に活かすスポーツ実践論	教育
387	大阪教育大学	社会教育課題研究A	教育
388	大阪教育大学	体育史特論	教育
389	国立大学法人筑波大学	筑波大学 障害者スポーツ支援・障害者支援ボランティア養成講座	教育
390	国立大学法人筑波大学	筑波大学 障害者スポーツ支援・障害者支援ボランティア養成講座	教育
391	中京大学	八事いきいきアカデミー シニア世代と東京2020をツナグ	スポーツ・健康
392	多摩大学	世代間交流健康トレーニング（2019春学期）	スポーツ・健康
393	法政大学	法政大学スポーツ・サイエンス・インスティテュート（SSI）授業科目 「オリンピック・パラリンピックを考える」	教育
394	早稲田大学	オリンピック・パラリンピック事業推進室協力講座2020年 東京オリンピック、パラリンピックを楽しむ	教育
395	千葉大学	千葉大学ポッチャオープン	スポーツ・健康
396	学校法人津田塾大学	津田塾大学オープンユニバーシティ（TOU）ようこそ千駄ヶ谷 （初級英語・初級スペイン語・初級中国語講座）	教育
397	多摩大学	第2回多摩大スポーツフェスティバル	スポーツ・健康
398	横浜市立大学	横浜市立大学スポーツボランティア講習会～オリンピック・パラリンピック及びスポーツ大会等の現場における、リスクと医療・健康対策講座【新入生編】～	スポーツ・健康
399	千葉大学	千葉大学パラスポーツ交流会	スポーツ・健康
400	学校法人津田塾大学	津田塾大学オープンユニバーシティ（TOU）ようこそ千駄ヶ谷 （初級英語・初級スペイン語・初級中国語講座）	教育
401	学校法人津田塾大学	津田塾大学オープンユニバーシティ（TOU）ようこそ千駄ヶ谷 （初級英語・初級スペイン語・初級中国語講座）	教育
402	法政大学	インクルーシブデザインワークショップ ～多様化0する社会、あなたはどのデザインをどう思いますか？～	教育
403	法政大学	法政大学富士山外来植物駆除ボランティアツアー	持続可能性
404	学校法人津田塾大学	津田塾大学オープンユニバーシティ（TOU）ようこそ千駄ヶ谷 （初級英語・初級スペイン語・初級中国語講座）	教育
405	東洋大学	東京2020応援プログラム 学習支援講座	教育
406	法政大学	ポッチャ体験教室 in スポーツフェスティバル	スポーツ・健康
407	学校法人 昭和大学	第10回 あおば心臓リハビリ教室	スポーツ・健康
408	東京女子体育大学・東京女子体育短期大学	東京2020応援プログラム 東京女子体育大学・東京女子体育短期大学 特別講座 ～東京2020オリンピック・パラリンピック プロジェクト～	スポーツ・健康
409	法政大学	医療と福祉の新たな形・ドッグセラピーへの理解	持続可能性
410	法政大学	ブラインドサッカーから学ぶチームビルディング	スポーツ・健康
411	法政大学	東京メトロ飯田橋駅ボランティア	街づくり
412	国立大学法人筑波大学	筑波大学産学連携講演会	教育
413	秀明大学	東京2020応援プログラム 水球普及イベント「水球ってなあに？」	スポーツ・健康
414	法政大学	ユニバーサルマナー～多様性の時代に～	教育
415	明治大学	明治2020 ～明治大学から東京2020応援プログラムに申請するイベントを企画しよう！～	教育
416	東海大学	東海大学特別企画セミナー	教育
417	日本体育大学	公開講座：スポーツの祭典の継承 ーオリンピック・パラリンピックを識る・考える・遺すー	教育
418	早稲田大学	川淵三郎企画「早稲田2020」講演会	教育
419	法政大学	自閉症スペクトラム障害について考える	持続可能性
420	実践女子大学	第5回 JJ cup スポGOMI 大会	持続可能性
421	青山学院大学	学生×アスリート×ファッション 学園祭（番外編）in 青山学院大学	スポーツ・健康
422	法政大学	被災地で働くを考える～仕事として被災地を支え、地域をつくるとは～	復興
423	明治大学	ボラcafe2020	教育
424	東京女子体育大学・東京女子体育短期大学	東京2020応援プログラム 東京女子体育大学・東京女子体育短期大学 特別講座 ～東京2020オリンピック・パラリンピック プロジェクト～	スポーツ・健康
425	秀明大学	東京2020応援プログラム 水球普及イベント「プールで球技を楽しもう！」	スポーツ・健康
426	法政大学	ゴールボール体験教室	スポーツ・健康
427	法政大学	避難所体験。いざという時、あなたならどうしますか。	街づくり
428	公立大学法人 首都大学東京	TMU2020伝道講座Ⅳ	教育
429	関西大学	公開講座：東京2020大会が導く“交差集積”の時代がジャパンブランドに求めているもの ースポーツ、ホスピタリティ、ビジネスー	オールジャパン・世界への発信
430	早稲田大学	オリンピック・パラリンピック事業推進室協力講座2020年 東京オリンピック、パラリンピックを楽しむ	教育
431	敬愛大学	敬愛大学総合地域研究所シンポジウム2019	教育
432	上智大学	映像が伝える、東京1964パラリンピック	教育
433	東京家政学院大学	東京2020応援教育プログラム（ようい、ドン！）	教育

No	組織・団体名	アクション名	分野
434	東京女子体育大学・東京女子体育短期大学	東京2020応援プログラム 東京女子体育大学・東京女子体育短期大学 特別講座 ～東京2020オリンピック・パラリンピック プロジェクト～	スポーツ・健康
435	公立大学法人 広島市立大学	基町、昔の写真展V－Growth－	文化
436	学校法人 昭和大学	第11回 あおば心臓リハビリ教室	スポーツ・健康
437	学校法人獨協学園獨協大学	エコバッグをしよう～レジ袋つかいませんげん～	教育
438	上智大学	ウォーターパラ体験とGo Beyondブース	オールジャパン・世界への発信
439	法政大学	高齢者と音楽を通じて楽しく交流しよう！	教育
440	国立大学法人鹿屋体育大学	東京2020応援プログラム NIFS GALLERY特別展示～オリンピック・パラリンピックに詳しくなろう！鹿屋体育大学 オリンピック・パラリンピックギャラリー～	教育
441	法政大学	障がい（全盲）について学ぶ	教育
442	学校法人 昭和大学	第4回昭和大学歯科病院スポーツ歯科外来 マウスガードセミナー	スポーツ・健康
443	学校法人 昭和大学	あおばラグビー教室（心臓リハビリ教室番外編）	スポーツ・健康
444	大阪教育大学	遊びとスポーツ	教育
445	大阪教育大学	スポーツコーチング論	教育
446	大阪教育大学	スポーツ教育原理	教育
447	学校法人津田塾大学	津田塾大学オープンユニバーシティ（TOU）ようこそ千駄ヶ谷 （初級英語・初級スペイン語・初級中国語講座）	教育
448	東京外国語大学	2019年度国際社会と地域2「オリンピック・パラリンピックを考える」	教育
449	法政大学	ユニバーサルシアターで学ぶバリアフリー映画	持続可能性
450	早稲田大学	オリンピック・パラリンピック事業推進室協力講座2020年 東京オリンピック、パラリンピックを楽しむ	教育
451	多摩大学	世代間交流健康トレーニング（2019秋学期）	スポーツ・健康
452	法政大学	オリンピックとドーピング	スポーツ・健康
453	法政大学	外濠の浚渫工事について知り環境問題改善について学ぶ	街づくり
454	学校法人獨協学園獨協大学	エコバッグをしよう～レジ袋つかいませんげん～	教育
455	東京女子体育大学・東京女子体育短期大学	東京2020応援プログラム 東京女子体育大学・東京女子体育短期大学 特別講座 ～東京2020オリンピック・パラリンピック プロジェクト～ オリンピアンによるトークショー	スポーツ・健康
456	学校法人津田塾大学	津田塾大学オープンユニバーシティ（TOU）ようこそ千駄ヶ谷 （初級英語・初級スペイン語・初級中国語講座）	教育
457	敬愛大学	敬愛大学パラスポーツ交流会	スポーツ・健康
458	学校法人津田塾大学	津田塾大学オープンユニバーシティ（TOU）ようこそ千駄ヶ谷 （初級英語・初級スペイン語・初級中国語講座）	教育
459	法政大学	車いすラグビー体験から学ぶ障がい者の理解と多様性	スポーツ・健康
460	国立大学法人鹿屋体育大学	宮下純一氏による講演会「出会いに感謝 思い続けたオリンピック」	教育
461	帝京平成大学	第3回 障がい者スポーツ応援フェア	スポーツ・健康
462	駒澤大学	学長課外特別講座	教育
463	学校法人津田塾大学	津田塾大学オープンユニバーシティ（TOU）ようこそ千駄ヶ谷 （初級英語・初級スペイン語・初級中国語講座）	教育
464	国立大学法人筑波大学	令和元年度筑波大学附属図書館特別展 ～東京1964と日本文化について考える～	教育
465	学校法人常葉大学	北区わくわく元気プロジェクト スポーツフェスタ2019	スポーツ・健康
466	日本福祉大学	パラスポーツ体験会	スポーツ・健康
467	日本福祉大学	パラスポーツ体験会	スポーツ・健康
468	東京女子体育大学・東京女子体育短期大学	東京2020応援プログラム 東京女子体育大学・東京女子体育短期大学 特別講座 ～東京2020オリンピック・パラリンピックプロジェクト～	スポーツ・健康
469	鎌倉女子大学	鎌倉女子大学学園祭“突き進め！みんなの2020！”	教育
470	駒澤大学	Welcome to パラ2020	スポーツ・健康
471	学校法人 昭和大学	2019秋の健康フェスティバル「スポーツマウスガードができるまで」	スポーツ・健康
472	早稲田大学	大学生の近代5種	スポーツ・健康
473	公立大学法人 首都大学東京	首都大学東京みやこ祭 スポーツフェス	教育
474	公立大学法人 首都大学東京	五大陸国際学生シンポジウム	教育
475	帝京平成大学	トレーナー・スポーツ経営コース展示コーナー ～オリンピック・パラリンピックを知ろう～	文化
476	帝京平成大学	トレスポ セミナー展示会 ～About Olympic Games～	文化
477	法政大学	多様化の進む時代において性的マイノリティについて考える	持続可能性
478	成蹊大学	2020からはじまるTOKYOへ～スポーツボランティアの役割～	オールジャパン・世界への発信
479	中京大学	中京大学子どもスポーツフェスタ	スポーツ・健康
480	駒澤大学	駒澤大学スポーツフェスティバルin 玉川2019	スポーツ・健康
481	国立大学法人鹿屋体育大学	蒼天祭ポッチャ体験会～パラリンピック競技を体験しよう～	スポーツ・健康
482	国立大学法人鹿屋体育大学	蒼天祭特別展示～東京1964大会について知ろう！～	教育
483	国立大学法人鹿屋体育大学	鹿屋体育大学で、みんなのオリジナルメダルを作ろう！	教育
484	関西大学	シンポジウム：大学スポーツとオリンピック・パラリンピックの精神	教育
485	大妻女子大学、大妻女子大学短期大学部	日常生活で陥りやすい著作権・肖像権のNG行為	持続可能性
486	学校法人 昭和大学	第12回 あおば心臓リハビリ教室	スポーツ・健康
487	大阪教育大学	東京2020大会に導入された空手道の知識と実践	教育
488	大阪教育大学	直前連携セミナー	教育
489	武蔵野大学	江東スポーツチャレンジ	教育
490	法政大学	福島被災地スタディツアー	教育
491	東洋大学	スポーツを哲学する TOYO SPORTS VISION SYMPOSIUM2019	スポーツ・健康
492	国土館大学	日本近代スポーツの礎を築いた男・岡部平太の生涯	教育
493	大妻女子大学、大妻女子大学短期大学部	足が1本くらい どうってことない！	スポーツ・健康
494	実践女子大学短期大学部	源氏物語、伝統と未来	オールジャパン・世界への発信
495	国立大学法人鹿屋体育大学	鹿屋体育大学公開講座 ヨーコ・セッターランドさんとのバレーボールイベント	教育

No	組織・団体名	アクション名	分野
496	横浜市立大学	5人制サッカー（ブラインドサッカー講演会&体験会）	スポーツ・健康
497	日本体育大学	公開講座：スポーツの祭典の継承 ―オリンピック・パラリンピックを識る・考える・遺す―	教育
498	大阪教育大学	直前連携セミナー	教育
499	学校法人 昭和大学	昭和大学スポーツ運動科学研究所第8回学術研究発表会	スポーツ・健康
500	実践女子大学短期大学部	ALL JISSEN FEST 東京2020オリンピックに向けて、オール実践で盛り上げよう！ 2019	教育
501	中京大学	NPO法人日本オリンピックアカデミー 第7回ユースセッション in 中京	教育
502	早稲田大学	オリンピック・パラリンピック事業推進室協力講座2020年 東京オリンピック、パラリンピックを楽しむ	教育
503	学校法人津田塾大学	津田塾大学オープンユニバーシティ（TOU）ようこそ千駄ヶ谷（英語・スペイン語・中国語）	教育
504	学校法人津田塾大学	津田塾大学オープンユニバーシティ（TOU）ようこそ千駄ヶ谷（英語・スペイン語・中国語）	教育
505	学校法人津田塾大学	津田塾大学オープンユニバーシティ（TOU）ようこそ千駄ヶ谷（英語・スペイン語・中国語）	教育
506	日本体育大学	公開講座：スポーツの祭典の継承 ―オリンピック・パラリンピックを識る・考える・遺す―	教育
507	明治大学	神田発信！大学スポーツの軌跡	文化
508	明治大学	神田発信！大学スポーツの軌跡	文化
509	日本女子体育大学	東京2020応援プログラム 日本女子体育大学大学院・附属基礎体力研究所合同フォーラム（基礎体力研究所第30回公開研究フォーラム）～女性とオリンピック～	スポーツ・健康
510	大阪学院大学	生涯学習吹田市民大学 大阪学院大学講座（第10回）「スポーツと健康を考える」	スポーツ・健康
511	大阪学院大学	大阪学院大学 Presents 「チームQランニングクリニック」	スポーツ・健康
512	大阪教育大学	2020 柏原シティキャンパスマラソン	スポーツ・健康
513	学校法人津田塾大学	津田塾大学オープンユニバーシティ（TOU）ようこそ千駄ヶ谷（英語・スペイン語・中国語）	教育
514	日本体育大学	公開講座：スポーツの祭典の継承 ―オリンピック・パラリンピックを識る・考える・遺す―	教育
515	明治大学	神田発信！近代スポーツと大学スポーツ	文化
516	帝京平成大学	なでしこレジェンドとサッカーをしよう！	スポーツ・健康
517	大阪教育大学	第18回学校危機メンタルサポートセンターフォーラム	街づくり
518	東京医科歯科大学	TMDU SPORTS MEDICINE SYMPOSIUM 2020 ～ TOKYO2020からのスポーツ医学のレガシー～	教育
2020年度			
519	明治大学	明治2020 ～明治大学から東京2020応援プログラムに申請するイベントを企画しよう！～	教育
520	国立大学法人鹿屋体育大学	東京2020応援プログラム NIFS GALLERY 特別展示～オリンピック・パラリンピックに詳しくなろう！鹿屋体育大学 オリンピック・パラリンピックギャラリー～	教育
521	明治大学	明治2020 ～モザイクアート～	文化
522	明治大学	明治2020 ～モザイクアート～	文化
523	明治大学	明治2020 ～ゴミ箱開発～	持続可能性
524	明治大学	明治2020 ～ワールドカフェ～	文化
525	明治大学	明治2020 ～マンジェ・マンジェ・マンジョン～	持続可能性
526	明治大学	明治2020 ～障がい者体験会～	教育
527	明治大学	明治2020 ～障がい者体験会～	教育
528	東京工芸大学	田沼武能 文化勲章受章記念 写真展「日本の子ども 世界の子ども」	文化
529	早稲田大学	オリンピック・パラリンピック事業推進室協力講座2020年 東京オリンピック、パラリンピックを楽しむ	教育
530	学校法人津田塾大学	津田塾大学オープンユニバーシティ（TOU）ようこそ千駄ヶ谷（英語・スペイン語・中国語）	教育
531	天理大学	天理参考館 創立90周年特別展「スポーツの歴史と文化」	教育
532	天理大学	天理参考館 創立90周年特別展「スポーツの歴史と文化」	教育
533	大阪教育大学	スポーツ科学論特論演習Ⅲ	教育
534	大阪教育大学	体育史	教育
535	大阪教育大学	生涯スポーツ論	教育
536	大阪教育大学	現場に活かすスポーツ実践論	教育
537	大阪教育大学	体育史特論	教育
538	大阪教育大学	世界を目指すアスリートの育成および競技力向上の取り組み	教育
539	天理大学	天理参考館 創立90周年特別展「スポーツの歴史と文化」	教育
540	天理大学	天理参考館 創立90周年特別展「スポーツの歴史と文化」	教育
541	明治大学	明治2020 ～ワールドカフェ～	文化
542	明治大学	明治2020プロジェクト ～ポッチャ体験会	教育
543	天理大学	天理参考館 創立90周年特別展「スポーツの歴史と文化」	教育
544	天理大学	天理参考館 創立90周年特別展「スポーツの歴史と文化」	教育
545	法政大学	ブラインドサッカーから学ぶチームビルディング	スポーツ・健康
546	明治大学	明治2020 ～マンジェ・マンジェ・マンジョン～	持続可能性
547	明治大学	明治2020 ～マンジェ・マンジェ・マンジョン～	持続可能性
548	明治大学	明治2020 ～マンジェ・マンジェ・マンジョン～	持続可能性
549	学校法人津田塾大学	津田塾大学オープンユニバーシティ（TOU）ようこそ千駄ヶ谷（英語・スペイン語・中国語）	教育
550	学校法人津田塾大学	津田塾大学オープンユニバーシティ（TOU）ようこそ千駄ヶ谷（英語・スペイン語・中国語）	教育
551	学校法人津田塾大学	津田塾大学オープンユニバーシティ（TOU）ようこそ千駄ヶ谷（英語・スペイン語・中国語）	教育
552	法政大学	インクルーシブデザインワークショップ～多様化する社会、あなたはこのデザインをどう思いますか？	持続可能性
553	明治大学	明治2020 ～モザイクアート～	文化
554	東京工芸大学	写真展「そして東京」	文化
555	天理大学	天理参考館 創立90周年特別展「スポーツの歴史と文化」	教育
556	明治大学	明治2020プロジェクト ～ポッチャ体験会	教育
557	聖心女子大学	〔展示〕 気候変動とスポーツの祭典 ～東京2020オリンピック・パラリンピックをとおして考える私たちの未来～	持続可能性
558	國學院大學	ウガンダ共和国中・長距離陸上競技ナショナルチーム応援プロジェクト2020	教育

No	組織・団体名	アクション名	分野
559	天理大学	天理参考館 創立90周年特別展「スポーツの歴史と文化」	教育
560	明治大学	明治2020 ～障がい者体験会～	教育
561	明治大学	明治2020 ～モザイクアート～	文化
562	明治大学	明治2020 ～モザイクアート～	文化
563	明治大学	明治2020 ～モザイクアート～	文化
564	早稲田大学	エコキャンドルナイトプロジェクト	持続可能性
565	天理大学	天理参考館 創立90周年特別展「スポーツの歴史と文化」	教育
566	國學院大學	國學院大學博物館 What SHINTO is... ー日本の神と祭りー	教育
567	國學院大學	國學院大學 和装DAY	文化
568	淑徳大学	パラスポーツの活力ーその歴史と未来へ向けてー	教育
569	明治大学	明治2020 ～ゴミ箱開発～	持続可能性
570	明治大学	明治2020 ～ゴミ箱開発～	持続可能性
571	明治大学	明治2020 ～ゴミ箱開発～	持続可能性
572	明治大学	明治2020 ～ゴミ箱開発～	持続可能性
573	明治大学	明治2020 ～ワールドカフェ～	文化
574	明治大学	明治2020 ～ワールドカフェ～	文化
575	明治大学	明治2020 プロジェクト ～東京めぐり	オールジャパン・世界への発信
576	明治大学	明治2020 プロジェクト ～東京めぐり	オールジャパン・世界への発信
577	明治大学	明治2020 プロジェクト ～東京めぐり	オールジャパン・世界への発信
578	東京藝術大学	東京藝術大学みちひろば	文化
579	法政大学	インクルーシブデザイン講座（ONLINE）～「誰かの使える」が「みんなの使いやすい」へ～	教育
580	明治大学	明治2020 プロジェクト ～日本文化体験	文化
581	法政大学	「ユニバーサルシアターで学ぶバリアフリー映画」鑑賞会	教育
582	大阪教育大学	スポーツ教育原理	教育
583	大阪教育大学	遊びとスポーツ	教育
584	大阪教育大学	スポーツコーチング論	教育
585	大阪教育大学	健康と科学	スポーツ・健康
586	学校法人渡辺学園 東京家政大学	特別企画展「きものと色ー藍と紅を中心にー」	文化
587	大阪教育大学	東京2020大会に導入された空手道の知識と実践	教育
588	国立大学法人鹿屋体育大学	英語でスポーツを語ろう！ ～もうすぐ東京2020オリンピック！-Talking about the Summer Olympics in English-～	教育
589	早稲田大学	VIVASEDA Sports Festival	スポーツ・健康
590	大阪教育大学	スポーツ活動と新型コロナウイルス感染症との共存	スポーツ・健康
591	法政大学	東京メトロ飯田橋駅ボランティア	街づくり
592	法政大学	日本に暮らす外国人についての理解を深めよう！～コロナ禍を生きる移民について考える～	教育
593	早稲田大学	第6回川淵三郎キャプテン企画早稲田2020講演会	教育
594	早稲田大学	早稲田2020SportsDay	スポーツ・健康
595	東京大学	東京大学が海外に向けて提供する大規模公開オンライン講座（MOOC）における連携	教育
596	駒澤大学	学長課外特別講座	教育
597	法政大学	共生社会・生きやすい社会を考える。難病から学んだ私が伝えたいこと	教育
598	法政大学	コロナ禍の「子どもの貧困」を考えよう	持続可能性
599	法政大学	「誰か」じゃなく「みんな」が生きやすい社会とは？ ～ダウン症のある人との関わりから共生社会を考えよう～	教育
600	法政大学	オンラインで献血企画啓発活動	持続可能性
601	東京工芸大学	「色」の科学・芸術に関する国際シンポジウムとメディア芸術作品展覧会	文化
2021年度			
602	大阪教育大学	大阪教育大学リレー講義	教育
603	大阪教育大学	東京2020大会に向けた全日本柔道の強化について	スポーツ・健康
604	大阪教育大学	スポーツフィットネス演習	スポーツ・健康
605	大阪教育大学	体育科教育法	スポーツ・健康
606	大阪教育大学	視覚障害教育	教育
607	大阪教育大学	体育史	教育
608	東京農業大学	企画展「両極の馬具ー日本人の馬あしらい」	教育
609	国立大学法人鹿屋体育大学	東京2020オリンピック競技大会に向けて、英語のゲームで学ぼう！	教育
610	法政大学	チーム対抗！運動しながら素敵な街に！	スポーツ・健康
611	法政大学	オンライン被災地ツアー	復興
612	早稲田大学	第7回川淵三郎キャプテン企画早稲田2020講演会	教育
613	法政大学	インクルーシブデザイン講座	教育
614	法政大学	ユニバーサルシアターで学ぶバリアフリー映画	教育
615	國學院大學	七夕まつり前夜祭@渋谷川	街づくり
616	法政大学	保護犬ボランティア～保護犬の現状を知ろう～	教育
617	國學院大學	國學院大學 和装DAY	文化
618	早稲田大学	早稲田大学東京2020大会出場選手壮行会	スポーツ・健康
619	早稲田大学	第2回早稲田2020SportsDay	教育
620	東京女子体育大学・東京女子体育短期大学	東京2020オリンピック・パラリンピック パブリック・ビューイング ～東京女子体育大学・東京女子体育短期大学 東京2020オリンピック・パラリンピックプロジェクト～	スポーツ・健康

*実施計画やアクション名は申請時の情報です。実施時にはアクション名の変更や、都合により、アクションが延期、中止となった場合があります。

ポスター・パンフレット

項目	ポスター・パンフレット
大学連携'17イベント 出張講座プログラム Special vol.1 「学生が考える アスリート飯（めし）」	 ポスター
大学連携'17イベント 出張講座プログラム Special vol.2 「パートナーとオリンピック・パラリンピック」	 ポスター・チラシ (表) チラシ (裏)

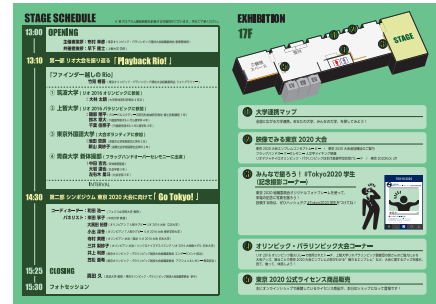
項目

ポスター・パンフレット

大学連携プログラム
学生のための
「Rio to Tokyo」



ポスター



パンフレット

大学連携'17イベント
「Tokyo 2020 学園祭」



ポスター・チラシ (表)



チラシ (裏)



パンフレット (表)



パンフレット (中)

項目

ポスター・パンフレット

大学連携'18 イベント
「Tokyo 2020 学園祭
the 2nd」



ポスター



パンフレット (表)



パンフレット (中)

大学連携'19 イベント
「Tokyo 2020 学園祭
next」



ポスター

大学連携のあゆみ（主な出来事）

大学連携では、東京2020大会に関する情報発信をはじめ、さまざまなプログラム、イベントについて、ご案内や募集を行いました。多くのご協力、ご参加をいただき、ありがとうございました。

年度	月	主な出来事
2014年度	4月	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会における大学・短期大学との連携に関する協定締結（大学連携）開始を案内
	6月	「大学連携協定締結式及び記念シンポジウム」開催
	7月	大学連携協定締結に関する希望再調査
	8月	「連携大学 地域巡回フォーラム 中国ブロック大会 in 広島」開催
		「連携大学 地域巡回フォーラム 四国ブロック大会 in 高知」開催
		「大学連携検討会」の発足
		「TOKYO 2020 みんなのTomorrow」メッセージ募集
	9月	「連携大学 地域巡回フォーラム 北海道ブロック大会」開催
		「連携大学 地域巡回フォーラム 東北ブロック大会 in 青森」開催
		2014年度活動実施報告書及び2015年度活動実施計画書の作成を依頼
	10月	「連携大学 地域巡回フォーラム 九州ブロック大会 in 福岡」開催
		「国連ユースリーダーシップキャンプ東北大会」サポートスタッフ募集
2015年度	11月	「連携大学 地域巡回フォーラム 東海ブロック大会 in 愛知」開催
	12月	「連携大学 地域巡回フォーラム 近畿ブロック大会 in 京都」開催
	1月	東京2020組織委員会が公益財団法人へ移行
	4月	東京2020組織委員会の事業所移転を案内
		東京2020公式ウェブサイト内に「大学連携ページ」を新設
	5月	「連携大学 地域巡回フォーラム 首都圏ブロック大会 in 東京（第1回）」開催
		2014年度活動実施報告書及び2015年度活動実施計画書の作成を依頼
		2015年度「オリンピック・パラリンピック講座等における講師派遣（出張講座プログラム）」を案内
	6月	「連携大学 地域巡回フォーラム 北信越ブロック大会 in 石川」開催
	7月	「連携大学 地域巡回フォーラム 首都圏ブロック大会 in 東京（第2回）」開催
	9月	「連携大学 地域巡回フォーラム in 香川」開催
		各連携大学における、担当者窓口の設置及び公表
	10月	「連携大学 地域巡回フォーラム in 熊本」開催
	11月	「オリンピック・ムーブメントとこれからのミュージアムを考える 2020年東京大会とJOAのイノベーションを視野に」を案内
	10月	「連携大学 地域巡回フォーラム in 奈良」開催
	12月	2014年度活動実施報告書を公表
	1月	「国連ユースリーダーシップキャンプ東北大会」サポートスタッフ募集
	2月	2016年度「オリンピック・パラリンピック講座等における講師派遣（出張講座プログラム）」を案内
2016年度	4月	2015年度活動実施報告書及び2016年度活動実施計画書の作成を依頼
		東京2020エンブレム最終候補作品の発表・意見募集
		東京2020エンブレム決定

年度	月	主な出来事
2016年度	5月	「未来（あした）への道 1000km縦断リレー 2016」参加者募集
		「未来（あした）への道 1000km縦断リレー 2016」通過県下（東北6県、茨城県、千葉県、東京都江東区、江戸川区、台東区）ポスター掲示の協力を依頼
		「世界車いすテニス世界国別選手権」、障害者スポーツ普及啓発映像「Be The HERO」を案内
	6月	「ラグビーテストマッチ」および「ラグビーフェスティバル2016&TOKYO」を案内
		東京2020組織委員会ニュースレター「2020たより」創刊
	7月	東京2020エンブレム「のぼり、ポスターの送付」および「#Tokyo2020学生キャンペーン」を案内
		「みんなのTokyo 2020 4 Years to Go!!」を案内
		学生×みんなの輝き、つなげていこう「#Tokyo2020学生」キャンペーン 東京2020公式ウェブサイト掲載
	8月	<オリンピック大会期間> 「東京2020ライブサイト in 2016 -リオから東京へ-」ステージ出演
	9月	<パラリンピック大会期間> 「東京2020ライブサイト in 2016 -リオから東京へ-」ステージ出演
		「文化オリンピアド・キックオフセレモニー」を案内
	10月	「東京2020アイディアソンVol.1 パラリンピックをテクノロジーで盛り上げよう」参加者募集
		大学における「心のバリアフリー」ワークショップを案内
		東京2020組織委員会ニュースレター「2020たより」 vol.2
	11月	大学連携プログラム 学生のための「Rio to Tokyo」開催
		「東京2020アイディアソン」参加者募集
	12月	「TOKYOパラスポーツch」開設を案内
		「ラグビーワールドカップ2019×東京タワー開幕1000日前カウントダウンイベント」を案内
		「東京2020大会に向けたボランティアシンポジウム～リオから東京へ～」を案内
		「多言語対応ICT化推進フォーラム」を案内
		「第39回JOAセッション「聖火 その価値と活用」」を案内
	1月	「リオから東京、そして、大阪へバトンタッチ！」（大阪経済大学）を案内
		東京2020組織委員会とのイベント共同開催についての希望調査
		2017年度「大学連携 出張講座プログラム」を案内
		東京2020組織委員会ニュースレター「2020たより」 vol.3
	2月	第1回連携大学担当連絡会を開催
2017年度	4月	「東京2020参画プログラム」の開始
		「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」を案内、および「タイアップポスター」発送
		2016年度活動実施報告書の作成について
		東京2020組織委員会ニュースレター「2020たより」 vol.4
		「ジャパンウォーク in SENDAI / 2017春」を案内
	5月	「未来（あした）への道 1000km縦断リレー 2017」参加者募集
	6月	東京2020マスコットデザインの募集
		「みんなで作る 東京2020開会式・閉会式！」意見の募集
		大学連携イベント'17「Tokyo2020学園祭」を開催
		「ユースオリンピック@ブエノスアイレスへ行こう！IOCヤングリポータープログラム」候補者の募集
	7月	「大学連携'17イベント 出張講座プログラムSpecial 学生が考えるアスリート飯（めし）」を開催
		「外国人おもてなし語学ボランティア」育成講座を案内

年度	月	主な出来事
2017年度	7月	東京2020参画プログラム特設サイトオープン
		東京2020組織委員会ニュースレター「2020たより」 vol.5
		「東京2020大会公式LINEアカウント」を開設
		Panasonic presents「SportsDesign.Camp」参加者の募集
	8月	東京2020大会オリンピック・パラリンピック大会開幕3年前 法被、うちの団体販売を案内
	9月	東京マラソン財団オフィシャルボランティアクラブ「VOLUNTAINER」チーム登録申請を案内
		東京2020大会1000日前カウントダウンイベントおよび「1000 Days to Go!」月間について
	10月	「東京2020PRツール」貸し出しを開始
		東京2020組織委員会ニュースレター「2020たより」 vol.6
	11月	「大学連携'17イベント 出張講座プログラムSpecial vol.2 大会パートナーとオリンピック・パラリンピック」開催
		「東京マラソン2018 ボランティア」参加者の募集
	12月	「学生が考える、東京2020大会に向けたボランティアウエア」を開催
		「東京2020大会入賞メダルデザインコンペティションティション」を案内
	1月	東京2020大会における学生向けプログラム（OISスポーツ・レポーター・プログラム）意向調査
		「東京2020大会大会ボランティア」のお知らせ
		東京2020組織委員会ニュースレター「2020たより」 vol.7
	2月	2018年度「大学連携 出張講座プログラム」を案内
		東京2020マスコットの決定
		<オリンピック大会期間>東京2020ライブサイト in 2018ステージ出演
	3月	<パラリンピック大会期間>東京2020ライブサイト in 2018ステージ出演
		「国際総合大会ドーピング・コントロール・オフィサー養成講習会」参加者の募集
		「東京2020大会大会ボランティア募集要項（案）」のお知らせ
		第2回連携大学担当連絡会を開催
2018年度	4月	東京2020組織委員会ニュースレター「2020たより」 vol.8
	5月	「未来（あした）への道 1000km縦断リレー 2018」ランナー & サイクリスト参加者の募集
		東京2020大会における「OISスポーツレポータープログラム」説明会および募集を開始
	6月	大学連携イベント'18「Tokyo2020 学園祭 the 2nd」を開催
		「東京2020大会大会ボランティア募集要項（確定版）」のお知らせ
	7月	「東京2020オリンピック・パラリンピック ボランティア募集説明会」（上智大学）開催
	8月	「東京2020オリンピック・パラリンピック ボランティア募集説明会」（慶應義塾大学）開催
		「東京2020オリンピック・パラリンピック ボランティア募集説明会」（中京大学）開催
		「東京2020オリンピック・パラリンピック ボランティア募集説明会」（筑波大学）開催
		「東京2020オリンピック・パラリンピック ボランティア募集説明会」（福島大学）開催
		「東京2020オリンピック・パラリンピック ボランティア募集説明会」（東北大学）開催
		「東京2021オリンピック・パラリンピック ボランティア募集説明会」（日本体育大学）開催
		「東京2022オリンピック・パラリンピック ボランティア募集説明会」（静岡大学）開催
		「東京2023オリンピック・パラリンピック ボランティア募集説明会」（富山大学）開催
		東京2020組織委員会ニュースレター「2020たより」 vol.9
	9月	「東京2023オリンピック・パラリンピック ボランティア募集説明会」（北海道大学）開催

年度	月	主な出来事
2018年度	9月	「東京2023オリンピック・パラリンピック ボランティア募集説明会」(福岡大学)開催
		「東京2023オリンピック・パラリンピック ボランティア募集説明会」(大阪経済大学)開催
		「東京2020大会大会ボランティア」募集を開始
	10月	「東京2023オリンピック・パラリンピック ボランティア募集説明会」(広島大学)開催
		「東京2020 Let's 55 〜レッツゴーゴー〜 with 青山スポーツフェス」を案内
		東京2020組織委員会ニュースレター「2020たより」 vol.10
	11月	「東京2020アスリートサポートプログラム」説明会開催
	1月	2019年度「大学連携 出張講座プログラム」を案内
	2月	東京2020組織委員会ニュースレター「2020たより」 vol.11
	3月	「連携協定締結校 英語版」作成
		第3回連携大学担当連絡会(書面開催)
2019年度	4月	東京2020公式チケット販売サイト「東京2020オリンピック観戦チケット」抽選申込の開始
		東京2020組織委員会ニュースレター「2020たより」 vol.12
	6月	「東京2020公式ウェブサイト(大学連携ページ)」リニューアル
	7月	「東京2020オリンピック聖火ランナー」募集
	8月	「東京2020大会パブリックニューイングに関するガイドライン」のお知らせ
		「日本の「食」を選手村アスリートへと届けよう!あなたのメニュー募集キャンペーン」を案内
		東京2020公式チケット販売サイト「東京2020パラリンピック観戦チケット」抽選申込の開始
	9月	「東京2020みんなのフードプロジェクト」キャンペーン二次選考会」参加募集、実施
		「Tokyo2020"Make The Beat!"応援プロジェクト発表会」開催
		東京2020大会に向けたアイデアコンテスト「SPORTS CHANGE MAKERS」を案内
	10月	大学連携イベント'19「Tokyo 2020 学園祭next」(秋田県立大学)開催
		大学連携イベント'19「Tokyo 2020 学園祭next」(清泉女学院大学・清泉女学院短期大学)開催 *台風の影響により中止
		大学連携イベント'19「Tokyo 2020 学園祭next」(鳥取看護大学・鳥取短期大学)開催
		「みんなの表彰台プロジェクト」を案内
		東京2020組織委員会ニュースレター「2020たより」 vol.13
	11月	大学連携イベント'19「Tokyo 2020 学園祭next」(愛媛大学)開催
		大学連携イベント'19「Tokyo 2020 学園祭next」(和歌山大学)開催
		大学連携イベント'19「Tokyo 2020 学園祭next」(名桜大学)開催
	12月	「大学連携'19イベント 出張講座プログラムSpecial vol.3 東京2020大会と持続可能性」開催
		「東京2020ライブサイト ステージ出演者(パフォーマンス出演)」の募集
	1月	「東京2020大会パブリックニューイングに関するガイドライン」のお知らせ
	2月	東京2020組織委員会ニュースレター「2020たより」 vol.14
		「東京2020公式ウェブサイト(大学連携ページ)」リニューアル
	3月	第4回連携大学担当連絡会(書面開催)
		IOC理事会において大会の延期も含めた検討を進めることに合意
		安倍総理とバッハIOC会長が電話会談を行い、東京大会を概ね1年程度、延期することを検討することで合意
		東京大会の日程について、4者で合意

年度	月	主な出来事
2020年度	7月	「大学連携 出張講座プログラム」オンライン講座での実施を検討
	8月	2020年度「大学連携 出張講座プログラム」を案内
	10月	大学連携イベント'20「Tokyo2020学園祭 online」開催
		「事前キャンプ」実施予定調査
		大会延期に伴い、大学連携協定を継続
	11月	「ウェブリザルトシステム（競技結果表示システム）アクセシビリティ向上ユーザーテスト」実施
	2月	東京2020組織委員会森会長の退任
		東京2020組織委員会橋本新会長の就任
	3月	第5回連携大学担当連絡会（書面開催）
		「東京2020オリンピック聖火リレー」を案内
		プレイブック（ルールブック）を公表
2021年度	4月	東京2020大会における「分別ナビゲーター」参加大学募集
		「東京2020ライブサイト」募集内容変更に伴う意向調査（再募集）
		「東京NIPPONフェスティバル」を開始
	5月	東京2020公式ウェブサイトURL変更のお知らせ
		「東京2020大会パブリックビューイング・ガイドライン」を公表
	6月	みんなの応援！NHK「世界を応援しよう！」×大学連携 連動企画 動画募集
		プレイブック（ルールブック）第3版を公表
	7月	「東京2020公式アートポスター」の送付
		東京2020大会 開幕
		東京2020オリンピック大会 開催
		「大学連携 情報保障プログラム」の実施
		「ゲームズ・エクスペリエンス・プログラム」の運営サポート
		「OISスポーツ・レポーティング・プログラム」の実施
		「ブロードキャスティング・トレーニング・プログラム」の実施
	8月	「東京2020D&Iアクション」を案内
		東京2020パラリンピック大会 開催
		「ゲームズ・エクスペリエンス・プログラム」の運営サポート
		「OISスポーツ・レポーティング・プログラム」の実施
		「ブロードキャスティング・トレーニング・プログラム」の実施
	9月	東京2020大会 閉幕
	10月	東京2020組織委員会橋本会長より、連携大学の皆様に向けたビデオメッセージを公開
	12月	「大学連携 活動報告書」の発行
		東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会における大学・短期大学との連携に関する協定締結を終了

東京2020大会概要

大会スケジュール

正式名称	開催期間	競技数
第32回オリンピック競技大会（2020 / 東京）	2021年7月23日（金）～8月8日（日）	33 競技
東京2020パラリンピック競技大会	2021年8月24日（金）～9月5日（日）	22 競技

大会ビジョン

スポーツには世界と未来を変える力がある。

1964年の東京大会は日本を大きく変えた。

2020年の東京大会は、

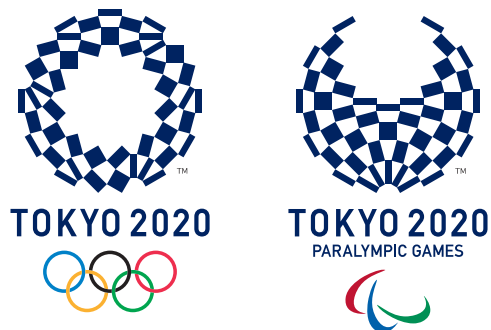
「すべての人が自己ベストを目指し（全員が自己ベスト）」

「一人ひとりが互いを認め合い（多様性と調和）」

「そして、未来につなげよう（未来への継承）」

を3つの基本コンセプトとし、史上最もイノベーティブで、
世界にポジティブな改革をもたらす大会とする。

東京2020エンブレム



組市松門

- 「市松模様」を、日本の伝統色である藍色で、
粋な日本らしさを描きました。
- 形の異なる3種類の四角形を組み合わせ、
「多様性と調和」のメッセージを込めました。
- オリンピックエンブレム、パラリンピックエンブレムとも、
同じ45ピースの四角形から構成されています。

東京2020マスコット

東京2020オリンピックマスコット



ミライトワ
MIRAITOWA

ミライトワという名前は、「未来」と「永遠（とわ）」というふたつの言葉を結びつけて生まれました。名前に込められたのは、素晴らしい未来を永遠にという願い。東京2020大会を通じて、世界の人々の心に、希望に満ちた未来をいつまでも輝かせます。

東京2020パラリンピックマスコット



ソメイティ
SOMEITY

ソメイティという名前は、桜を代表する「ソメイヨシノ」と非常に力強いという意味の「so mighty」から生まれました。東京2020大会を通じて、桜を愛でる日本の心とパラリンピックアスリートの素晴らしさを印象づけます。



感謝状

The Letter of Thanks Award

すべての連携大学のみなさま

あなたは、東京2020大会の準備及び運営に深い理解を示され、
多大なる貢献をされました。

よってここに、ご協力に対し、深く感謝の意を表します。

You have made significant contributions to the Tokyo 2020.
We present this award with our gratitude.

橋本聖子

橋本 聖子 HASHIMOTO Seiko

東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会 会長

President, The Tokyo Organising Committee of the Olympic and Paralympic Games

2021年9月25日 25 September 2021

T
O
K
Y
O
2
0
2
0

